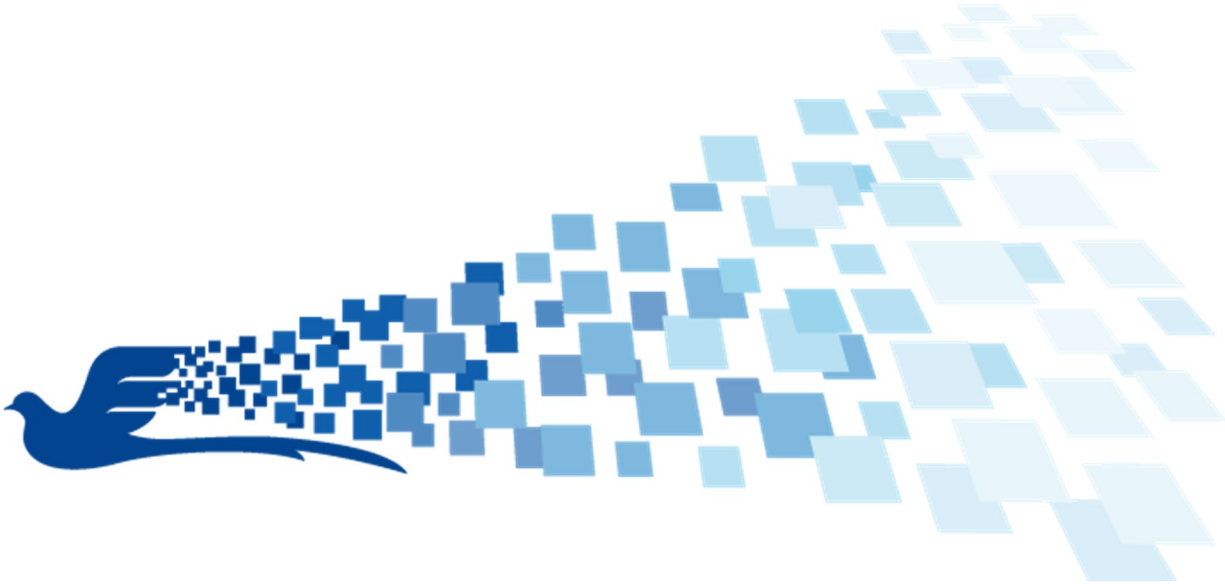
# SkyPDF®
# Standard 2012
# Professional 2012

## ユーザーマニュアル



株式会社スカイコム

# 分冊構成

はじめにお読みください

| | |
|---|---|
| SkyPDF2012<br>_インストールマニュアル | SkyPDF2012 のインストール方法を説明しています。 |

本書

| | |
|---|---|
| **SkyPDF2012<br>_ユーザーマニュアル** | SkyPDF Standard / Professional2012 の基本的な操作手順を説明しています。<br>製品のご使用前にお読みください。 |


© 2015 SKYCOM Corporation

# はじめに

本書は SkyPDF Standard / Professional 2012（以下、本製品）の基本的な使用方法を解説するものです。
本製品をご使用の際には本書をご参照の上、正しくお使いください。

## 注意事項

本製品は、株式会社スカイコム（以下、当社）が開発した製品です。
エンドユーザライセンス契約書により許可されている場合を除き、当社の書面による事前の許可なしに本書および本製品について複製・保存・転送を行うことは、いかなる形式・手段であっても禁止されています。
本製品を輸出する場合には、外国為替、外国貿易法および米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

## 免責事項

本書は、本書に記載される内容があくまでも参照用としてのみ用いられること、製品の改良等に伴い予告なしに変更されることを前提として提供されるものです。本書における誤りや欠落、不正確な記述について、当社は一切責任を負いません。
当社は本書が提供する情報について、その完全性、正確性、有用性、特定目的適合性、第三者の権利の非侵害性等を一切保証せず、またこれらを調査する義務を負わないものとします。
当社はエンドユーザライセンス契約書に従って製品保証を提供しており、本書に基づく保証は行っておりません。したがって、本書の利用あるいは利用できなかったことにより生じたいかなる損害についても、当社は義務や責任を負うものではありません。
予めご了承ください。

## 商標情報

- Microsoft、Windows、Office は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe および Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- TrueType は、Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他本書に記載されている会社名、ブランド名および商品名は、すべて各所有者の商標または登録商標です。
- 本製品には、OpenSSL ツールキット（https://www.openssl.org/）を利用するために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

© 2015 SKYCOM Corporation

# システム環境

以下に示すすべての項目は、ベンダー、メーカーの延長サポート期間に準拠します。例えば、延長サポート期間まで終了した OS は当社製品でもサポート終了となります。ただし、保守契約期間中は当社のサポート規約に準じます。

## ハードウェア要件

下記の要件を満たすハードウェアを使用する必要があります。

| | |
|---|---|
| CPU | 利用する OS の推奨に基づく |
| メモリ | 利用する OS の推奨容量以上 |
| ディスク容量 | 200MB 以上 |
| NIC | 1Gbps |

## ソフトウェア要件

本製品のインストールは、下記の要件を満たすソフトウェアのうち、いずれかがインストール済みである必要があります。

| | |
|---|---|
| OS | 日本語 / 英語 / 中国語（繁体字・簡体字）<br>Microsoft® Windows Vista® (x86)<br>Microsoft® Windows® 7 (x64, x86)<br>Microsoft® Windows® 8.1 (x64, x86) |

ただし、以下の点にご注意ください。

- アマノタイムスタンプおよびアマノタイムスタンプを使用するハイブリッド署名は、Windows 8.1では動作保証外です。
- 長期署名プラグインは、日本語以外のOSおよびWindows 8.1に対応していません。

SkyPDF Pro Driver は、下記のアプリケーションのみ動作が確認されています。

| | |
|---|---|
| Microsoft® | Office Word® / Excel® / PowerPoint® 2007<br>Office Word® / Excel® / PowerPoint® 2010（※）<br>Office Word® / Excel® / PowerPoint® 2013（※）<br>Visio® 2007 / 2010 / 2013<br>Internet Explorer® 9 / 10 / 11（利用する OS の推奨に基づく） |
| その他 | 一太郎® 2012 / 2013 / 2014 |

※ Officeツールボタン（参照：2.1 SkyPDFセットアップ画面を表示する）は、64ビットエディションでは使用できません。

上記のアプリケーション以外でも、印刷機能のあるアプリケーションであれば、PDFファイルを作成することができます。ただし、文書の内容やアプリケーションの種類によっては、正常にPDFファイルを生成できない場合があります。


© 2015 SKYCOM Corporation

SkyPDF変換ユーティリティ機能（一括変換機能）は、下記の拡張子のファイルのみ対応しています。

| | |
|---|---|
| **文書ファイル** | （Office）.doc / .docx / .xls / .xlsx / .ppt / .pptx<br>（Visio）.vsd<br>（一太郎）.jtd<br>（テキストファイル）拡張子は別途設定可 |
| **画像** | .jpg / .jpeg / .jp2 / .jiff / .bmp / .dib / .gif / .png / .tif2 / .tiff / .tif |

## タッチ操作機能適用範囲

対応エディションは以下のとおりです。

| | |
|---|---|
| **SkyPDF Standard / Professional** | 2012 Ver. 5.1.5 以上 |
| **SkyPDF Viewer** | 2012 Ver. 5.1.0.5 以上 |

※　Windows 7以降のOSで有効な機能です。

© 2015 SKYCOM Corporation

# 目次

分冊構成 ..... 2
はじめに ..... 3
システム環境 ..... 4
目次 ..... 6
用語集 ..... 8
1 機能概要 ..... 10
1.1 PDF ファイルとは ..... 10
1.2 本製品でできること ..... 10
1.3 本書の読み方 ..... 10
2 PDF ファイル作成前の準備（変換ドライバーの設定） ..... 12
2.1 SkyPDF セットアップ画面を表示する ..... 12
2.2 印刷設定画面を開く ..... 14
2.3 簡単に設定をしたい（簡単設定タブ） ..... 15
2.4 用紙設定や保存の設定を変更したい（ページ設定タブ） ..... 17
2.5 ファイルサイズを小さくしたい（圧縮オプションタブ） ..... 20
2.6 PDF ファイルにフォントを埋め込みたい（フォントの埋め込みタブ） ..... 22
2.7 PDF ファイルにセキュリティを設定したい（セキュリティタブ） ..... 23
2.8 PDF ファイルにすかしを付けたい（すかしタブ） ..... 25
2.9 タイムスタンプを付与したい（タイムスタンプタブ） ..... 28
2.10 PDF ファイルに文書の情報や URL リンクを付けたい（文書タブ） ..... 36
2.11 PDF 規格に準拠した PDF ファイルを作成したい（規格タブ） ..... 37
2.12 バージョン情報を確認したい（バージョン情報タブ） ..... 40
3 PDF ファイルを作成する ..... 41
3.1 [印刷]メニューから作成する ..... 41
3.2 ドラッグ＆ドロップ*操作で作成する ..... 43
3.3 コンテキストメニューから作成する ..... 44
3.4 Office アプリケーションのアドインから作成する ..... 45
3.5 しおりとリンク注釈付きの PDF ファイルを作成する ..... 46
4 PDF ファイルを表示する ..... 47
4.1 SkyPDF Standard / Professional を起動する ..... 47
4.2 環境設定 ..... 49
4.3 PDF ファイルを開く ..... 52
4.4 ツールバーを表示する ..... 53
4.5 表示状態を変更する ..... 54
4.6 文字列を検索する ..... 57
4.7 タッチで操作する（タッチ操作が可能な表示機器のみ有効） ..... 58
5 PDF ファイルを編集する ..... 67
5.1 ページを編集する ..... 67
5.2 マーカー/取消線/アンダーライン/波線をひく ..... 79
5.3 リンクを追加する ..... 81
5.4 墨消しを付ける ..... 84
5.5 しおりを追加する ..... 86
5.6 注釈を付ける ..... 90


© 2015 SKYCOM Corporation

5.7 テキストを直接編集する ....101
5.8 ファイルを埋め込む ....103
5.9 ファイルを添付する ....105
5.10 選択とズームメニュー ....108
5.11 捺印する ....110
5.12 電子署名を付ける ....115
5.13 GPKI 対応の署名を付ける ....124
6 セキュリティを設定する ....127
6.1 パスワードによるセキュリティ設定 ....127
6.2 電子証明書によるセキュリティ設定 ....128
7 オプション機能 ....133
7.1 RMS によるセキュリティを設定する ....133
7.2 PDF ファイルに時限設定をする ....139
7.3 長期署名を付ける ....144
8 PDF ファイルを保存する ....146
8.1 上書き保存する ....146
8.2 名前を付けて保存する ....146
8.3 PDF/A-1b として保存する ....146
8.4 画像として保存する ....147
9 PDF ファイルを印刷する ....148
9.1 環境設定 ....148
9.2 印刷をする ....148
10 変換ユーティリティを使用する ....150
10.1 変換ユーティリティ画面を表示する ....150
10.2 PDF ファイル同士を結合する ....152
10.3 PDF ファイルの分割とページ抽出 ....153
10.4 複数のファイルを一括で PDF 出力する ....154
11 制限・注意事項 ....157
11.1 取り扱い PDF ファイルに関する事項 ....157
11.2 PDF ファイルの関連付けに関する事項 ....157
11.3 ビューアの起動に関する事項 ....158
11.4 PDF ファイルの作成機能に関する事項 ....158
11.5 PDF ファイルの表示機能に関する事項 ....164
11.6 PDF ファイルの編集機能に関する事項 ....167
11.7 紙印刷（物理プリンターによる印刷）に関する事項 ....167
11.8 セキュリティ機能に関する事項 ....168
11.9 表のコピーに関する事項 ....168
11.10 ページのトリミングに関する事項 ....169
11.11 署名に関する事項 ....169
11.12 電子印鑑に関する事項 ....170
11.13 タイムスタンプに関する事項 ....170
11.14 Office 製品のアドイン表示に関する事項 ....171
11.15 タッチ操作機能に関する事項 ....171
11.16 タブレット端末での表示に関する事項 ....171
11.17 変換ユーティリティに関する事項 ....172

© 2015 SKYCOM Corporation

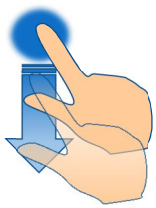
# 用語集

本書における主な用語の定義を説明します。

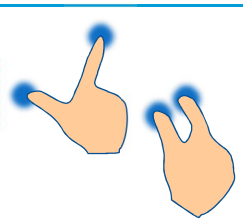
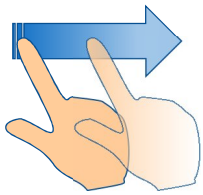
※　本書では、一般的な用法/解釈とは異なる意味で使用している用語もあります。
本書をご使用の際の定義としてご理解ください。

| キーワード | 解説 | 詳細 |
|---|---|---|
| フォルダ<br>フォルダー | 本書では基本的に「フォルダー」と記載<br>ただし、画面上に「フォルダ」の表示がある場合にはそのまま記載する | |
| RMS | Microsoft Windows Rights Management Services<br>マイクロソフト社が提供する、権利管理のテクノロジのこと | 7.1 RMS によるセキュリティを設定する |
| PKI | 公開鍵暗号方式 | |
| GPKI | 政府認証基盤 | |
| LGPKI | 地方公共団体認証基盤 | |
| しおり | 目次のように、各見出しへのリンクが一覧となっているもの<br>（PDF ビューアで本書を表示したときのみ有効） | |

【タッチ操作機能の用語】

| キーワード | 解説 | | 詳細 |
|---|---|---|---|
| | イラスト | 操作 | |
| タッチポイント | | 画面に触れるポイント | |
| コンテキストメニュー | | マウスで特定の場所を右クリックしたときに表示されるメニュー | |
| タップ | | 画面に軽く１回タッチする | 4.7.1 ページ移動（タップ操作） |
| ダブルタップ | | 画面に軽く２回タッチする | 4.7.3 ページの拡大表示（ダブルタップ操作） |
| パン |  | 画面を押さえたまま縦（または横）方向に指をスライドする | 4.7.4 ページのスクロール（パン操作） |


© 2015 SKYCOM Corporation

| | | | |
|---|---|---|---|
| ピンチイン／<br>ピンチアウト |  | ピンチイン：画面を指でつまむように動かす<br><br>ピンチアウト：画面上の 2 点間を広げるように動かす | 4.7.5 ズーム機能（ピンチイン／ピンチアウト操作） |
| 長押し | | 画面を長く押さえる | 4.7.7 コンテキストメニュー表示（長押し操作） |
| スワイプ |  | 画面上を軽く横(または縦)方向にスライドする | 4.7.2 ページ移動（スワイプ操作） |

# 1 機能概要

本製品は、PDFファイルの作成・表示・編集機能を備えています。作成されるPDFファイルは、ISO（国際標準化機構）が管理するPDFの仕様「ISO32000-1」に準拠しているため、環境に依存せず、表示や印刷をすることができます。

## 1.1 PDF ファイルとは

電子化された文書のことです。他者との受け渡しの場合も、相手の利用環境によらずに、オリジナルのイメージを高精度で再生することができます。

## 1.2 本製品でできること

本製品の機能は以下のとおりです。

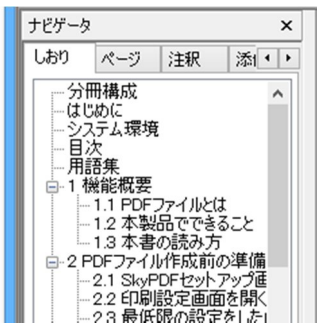
- PDF ファイルの作成
- PDF ファイルの表示
- PDF ファイルの編集
- タッチ操作
- タイムスタンプの付与
- 電子署名の付与
- セキュリティの付与
- PDF ファイルの印刷
- 時限設定

次章以降、各項目について説明します。

## 1.3 本書の読み方

- 本書は、作成 ⇒ 表示 ⇒ 編集 ⇒ 保存 という手順で構成していますが、ご利用目的によっては必要の無い項目もあります。その場合は、「目次」や「しおり」機能（PDFビューアでご覧の場合）を利用して、目的のページを参照してください。

**本製品のしおり機能**





© 2015 SKYCOM Corporation

- ハイパーリンクやしおりを使用してページを移動した場合、元のページに戻るには、ツールバーの[前の画面]ボタン（ ）が便利です。（参照：4.5.5 表示するページを切り替える）

  ※SkyPDF2012 Viewer / Standard / Professionalで本書をご覧の場合

- 各所にハイパーリンクを設定しています。これは、文字をクリックすることで関連ページにジャンプできる機能です。本書をPC画面上でご覧になる場合は、下線付きの**橙色**の文字（例：目次）で表示されます。

- 一般的でない語句の場合は、本文中、または用語集に説明を記載していますのでご参照ください。

- 本製品のご使用に際して、「動作しない」「不具合かな？」などの不明点が発生した場合は、はじめに制限・注意事項をご参照ください。それでも解決しない場合は、当社WebサイトのFAQをご利用ください。

  よくあるご質問：http://www.skycom.jp/support/faq/

- メニューバーからの操作の場合、最初に操作するメニューを以下のように表記しています。

  [ツール]－[署名]（ ）（丸カッコ内はショートカットボタン）

- “キーボードから「**Ctrl + v**」を入力“と記載がある場合は、キーボードの[Ctrl]キーを押しながら、アルファベットの[v]を押す、という動作を表します。

- 本書は、StandardおよびProfessional共通で作成しているため、Professionalのみの上位機能については、見出しに Professional を表示しています。Standardではご利用になれない機能ですのでご注意ください。

© 2015 SKYCOM Corporation

# 2 PDF ファイル作成前の準備（変換ドライバーの設定）

本製品では、文書ファイル等をPDF変換する際に「**SkyPDF Pro Driver**」という変換ドライバーを使用しています。変換時の各種設定はこのドライバー上で行います。

※ **設定を変更するときは、Administrator権限を持つアカウントでログインしてください。**

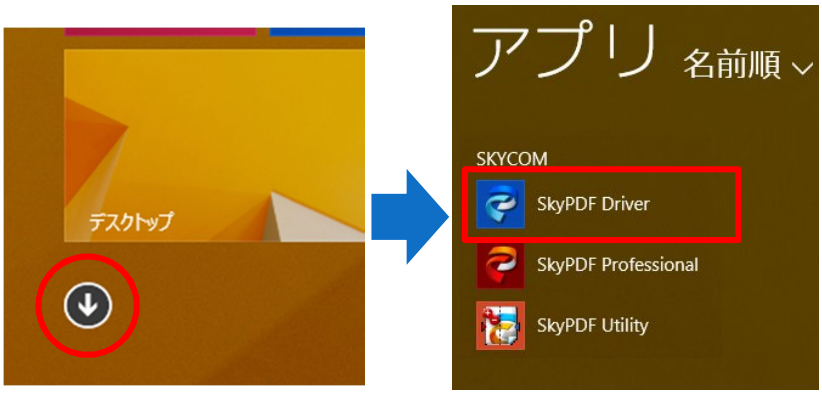
※ **本書では、主にWindows8.1およびInternet Explorer11の画面で説明しています。OSによって表示形式が異なる場合がありますのでご注意ください。**

## 2.1 SkyPDF セットアップ画面を表示する

本製品インストール後にセットアップ画面を表示する手順を説明します。

1. **Windows VistaやWindows 7**の場合、画面左下のスタートボタンを押し、[**すべてのプログラム**]－[**SKYCOM**]－[**SkyPDF**]－[**SkyPDF Driver**]を実行します。

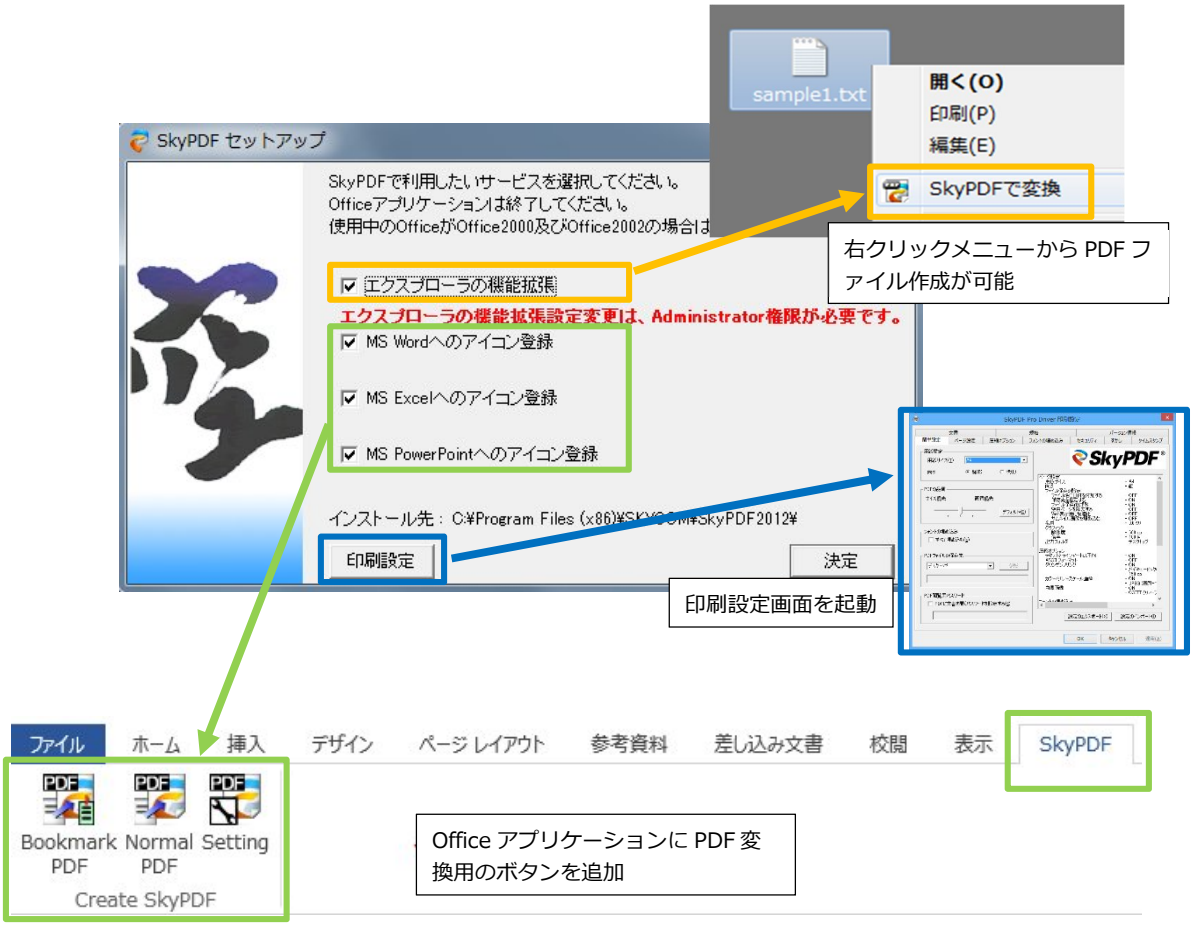
**Windows 8.1**の場合は、スタート画面左下の矢印ボタンを押して、アプリ一覧から[**SkyPDF Driver**]を実行します。





© 2015 SKYCOM Corporation

2. 「**SkyPDF セットアップ画面**」が表示されます。




※Microsoft Officeをインストールしていない場合は、[**エクスプローラの拡張機能**]のみ設定が可能ですが、MS Word/Excel/PowerPointへのアイコン登録ボタンをクリックしても、動作には影響ありません。

SkyPDF Proのインストール後、SkyPDF Pro Driverのプロパティを何も変更せずにPDFファイルを作成した場合は、初期設定でPDFファイルが出力されます。

この初期設定を変更しておくと、アプリケーションからPDFファイルを作成するたびにSkyPDF Pro Driverのプロパティを変更することなく、常に独自の設定でPDFファイルを作成することができます。

© 2015 SKYCOM Corporation

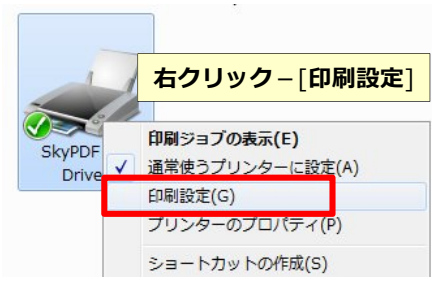
## 2.2 印刷設定画面を開く

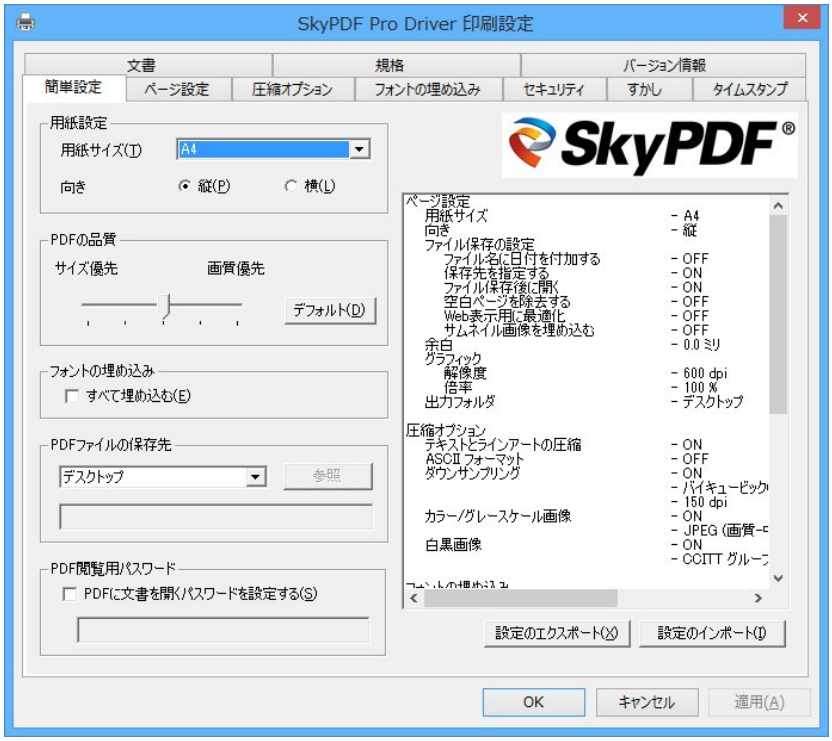
印刷設定画面を開く方法は2通りあります。

a. SkyPDFセットアップ画面から開く
前述のセットアップ画面で[**印刷設定**]を押して表示します。

b. コントロールパネルから開く

1. **Windows VistaやWindows 7**を使用している場合は、[**スタート**]メニューから[**コントロールパネル**]－[**プリンタ**]（または[**デバイスとプリンター**]）を選択します。
**Windows 8.1**を使用している場合は、デスクトップ画面右下にマウスカーソルを合わせ、表示されたチャームから[**設定**]を押して［**コントロールパネル**］を開き、[**デバイスとプリンター**]を選択します。
2. プリンターの一覧が表示されましたら、[**SkyPDF Pro Driver**]を右クリックし、[**印刷設定**]を選択します。



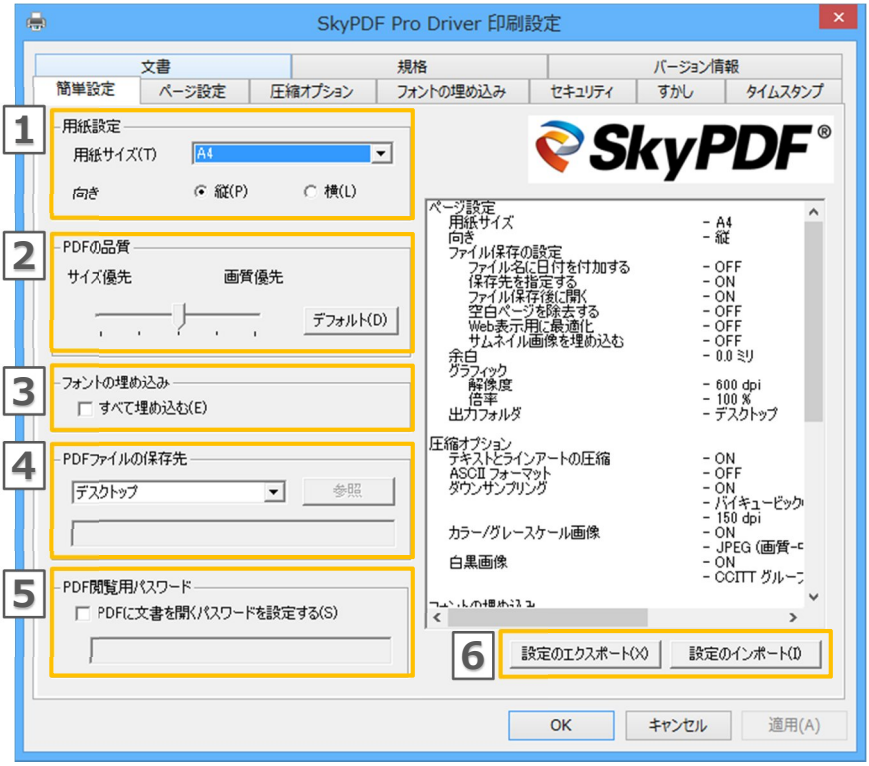




※ ここで設定したSkyPDF Pro Driverの初期設定は、Windowsのユーザーアカウントごとに保存されます。


© 2015 SKYCOM Corporation

## 2.3　簡単に設定をしたい（簡単設定タブ）

用紙サイズや印刷品質、出力先などの最小設定を行います。




### 1 用紙設定

PDFファイルのサイズと向きを設定します。

| 項目 | 詳細 | 詳細設定 |
|---|---|---|
| **用紙サイズ** | 作成する PDF ファイルの用紙サイズ | 2.4 用紙設定や保存の設定を変更したい（ページ設定タブ） |
| **向き** | 作成する PDF ファイルの用紙の向き<br>[縦][横]のいずれかを選択 | |

### 2 PDFの品質

PDFファイルの品質を設定します。

[サイズ優先]か[画質優先]をスライドバーで設定します。詳細は次ページの表2-1を参照してください。

（詳細：2.5 ファイルサイズを小さくしたい（圧縮オプションタブ））

**表 2-1　PDF の品質**

| 設定項目 | サイズ最優先 | サイズ優先 | 標準 | 画質優先 | 画質最優先 |
|---|---|---|---|---|---|
| **グラフィック（解像度）** | 150dpi | 300dpi | 600dpi | 600dpi | 600dpi |
| **ダウンサンプリング** | バイリニア | バイキュービック | バイキュービック (IPP) | バイキュービック | 補間方法 チェック OFF |
| **補間解像度** | 150dpi | 150dpi | 150dpi | 300dpi | 補間方法 チェック OFF |
| **カラー/グレースケール画像圧縮** | JPEG (画質－最低) | JPEG (画質－低) | JPEG (画質－中) | JPEG2000 (画質－中) | JPEG2000 (画質－高) |
| **白黒画像圧縮** | Zip | Zip | CCITT グループ 4 | Run Length | Run Length |
| **バーの位置** | | | | | |

### 3 フォントの埋め込み

元の文書で使用されているフォントをPDFにすべて埋め込む場合にチェックします。

（詳細：2.6 PDFファイルにフォントを埋め込みたい（フォントの埋め込みタブ））

### 4 PDFファイルの保存先

PDFファイルの保存先を指定します。

[カスタム]を選択した場合は、[参照]を押すか、テキストボックスにファイルパスを直接入力して保存先を指定します。

（詳細：2.4 用紙設定や保存の設定を変更したい（ページ設定タブ））

### 5 PDF閲覧用パスワード

PDFファイルを開く際に使用するパスワードを設定します。

（詳細：2.7 PDFファイルにセキュリティを設定したい（セキュリティタブ））

### 6 設定のエクスポート/インポート

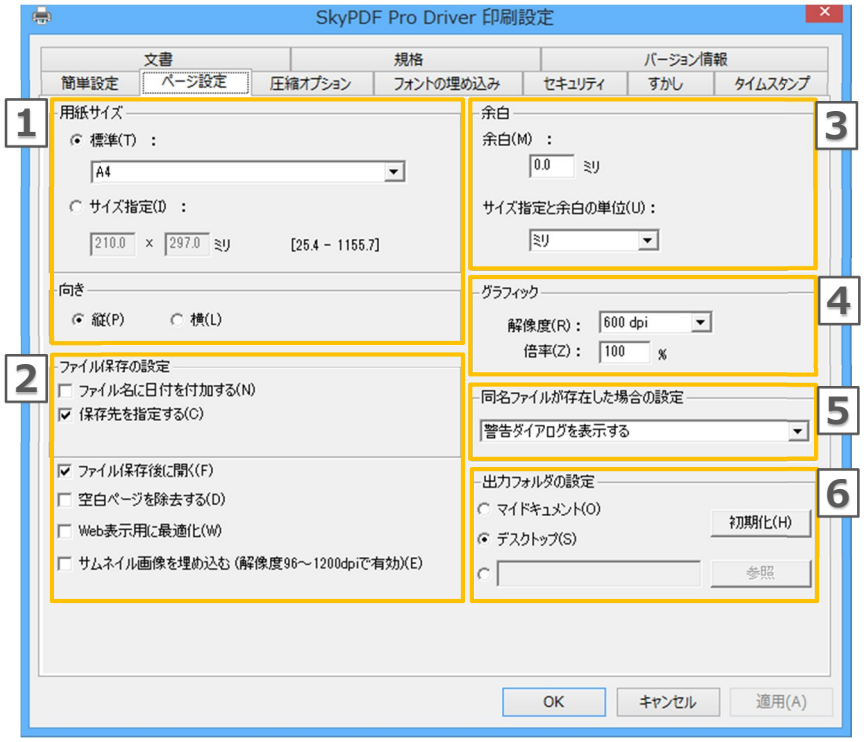
印刷設定の内容を保存したり、読み込んだりすることができます。

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **設定のエクスポート** | 印刷設定を保存<br>設定ファイル（拡張子.ssf）を作成 |
| **設定のインポート** | 印刷設定をインポート<br>設定ファイル（拡張子.ssf）を読み込む |


© 2015 SKYCOM Corporation

## 2.4　用紙設定や保存の設定を変更したい（ページ設定タブ）

用紙やファイル保存に関する各種設定ができます。




### 1 用紙サイズ・向き

PDFファイルのサイズと向きを設定します。

※　元文書のアプリケーションでの設定と異なる場合は、アプリケーションの設定が優先されます。

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **用紙サイズ－標準** | ドロップダウンリストから用紙サイズを選択<br>[**サイズ指定**]下のサイズ欄に縦横サイズが表示される |
| **用紙サイズ－サイズ指定** | 用紙のサイズを横×縦で設定 |
| **向き** | 用紙の向きを設定<br>[**縦**][**横**]のいずれかを指定 |

### 2 ファイル保存の設定

PDFファイルの保存に関する設定を行います。

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **ファイル名に日付を付加する** | PDF ファイル名に作成した年月日と時刻を自動的に付与<br>例えば、ABC.doc を 2015 年 1 月 2 日 12 時 34 分 56 秒に PDF 作成した場合、PDF ファイル名は「ABC20150102123456.pdf」となる |
| **保存先を指定する** | PDF ファイルを作成するたびに、ファイルの保存先とファイル名の確認／変更が可能 |
| **ファイル保存後に開く** | PDF ファイル作成後に自動的に PDF ビューアで開く |
| **空白ページを除去する** | 元文書に空白ページが含まれている場合、自動的に削除して PDF ファイルを作成 |

© 2015 SKYCOM Corporation

| | |
|---|---|
| **Web 表示用に最適化** | Web サイト上で PDF を表示させる際に、表示に最適な構成で PDF を生成<br>ページ単位でダウンロードできるため、表示時間が短縮される |
| **サムネイル画像を埋め込む** | ページの縮小画像を表示する機能<br>※4 グラフィックの解像度が 96～1200dpi の時に有効 |

### 3 余白

PDFファイルの**上側**と**左側**に設定する余白について設定します。

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **余白** | 余白のサイズを指定 |
| **サイズ指定と余白の単位** | 用紙サイズと余白の単位を選択<br>インチ/ポイント/ミリ<br>1 インチ＝72 ポイント＝25.4 ミリ |

### 4 グラフィック

PDFファイルの解像度と倍率を設定します。

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **解像度** | PDF ファイルの解像度を指定<br>※元文書のレイアウトを変えずに PDF ファイルを作成する場合や、高品質での印刷が必要な場合は、300dpi 以上を指定 |
| **倍率** | 用紙サイズを変えずに、指定した倍率で文書を表示させる<br>例：A4 サイズの用紙に 50%で PDF 作成すると、内容が 50%に縮小（A5 サイズ）され、A4 用紙の左上に表示される |

### 5 同名ファイルが存在した場合の設定

PDFファイルの保存先フォルダに、作成するPDFファイルと同じ名前のファイルがある場合の処理を設定します。

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **警告ダイアログを表示する（デフォルト）** | 同名の既存ファイルに上書きするかどうかを確認するメッセージを表示 |
| **上書き** | 自動的に既存ファイルに上書き |
| **ファイル名に連番を付けて保存する** | ファイル名の後に、自動的に 1,2･･･の連番をつけて保存 |
| **既存ファイルの後に追加する** | 作成する PDF ファイルの内容を既存ファイルの後に追加して、ひとつのファイルにする |

### 6 出力フォルダの設定

作成するPDFファイルの保存先を設定します。

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **マイドキュメント** | 保存先を「**マイドキュメント**」にする |
| **デスクトップ** | 保存先を「**デスクトップ**」にする |

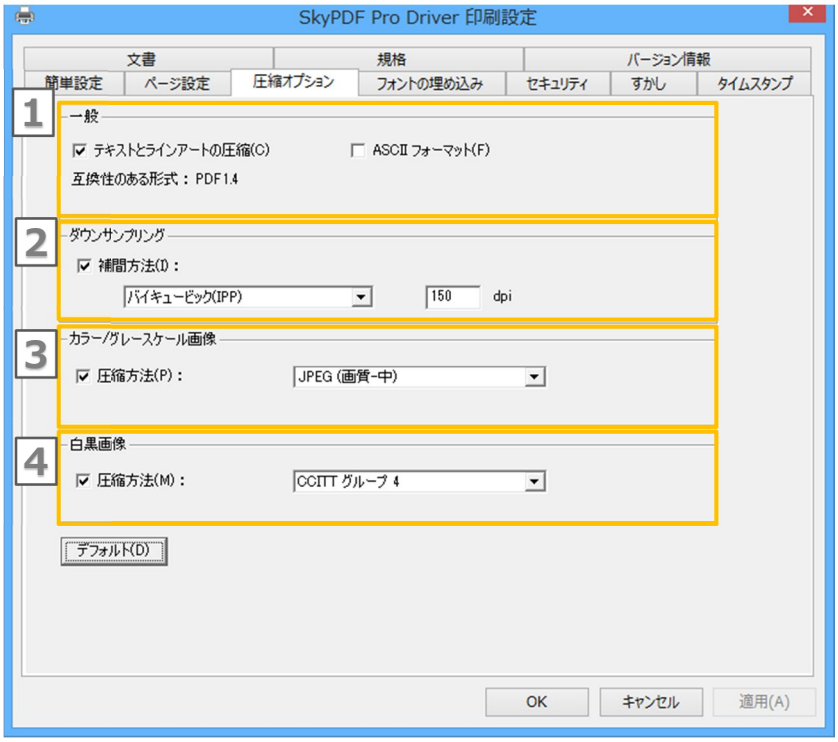

© 2015 SKYCOM Corporation

| | |
|---|---|
| **カスタム（テキストボックス）** | 保存先を任意に指定する<br>テキストボックスにパスを入力するか、[**参照**]を押してフォルダを指定 |
| **初期化** | インストール時に指定した設定に戻す |

© 2015 SKYCOM Corporation

## 2.5 ファイルサイズを小さくしたい（圧縮オプションタブ）

圧縮設定を利用して、画像入りPDFファイルのサイズを抑えることができます。




### 1 一般

テキストとラインアート（線画）の圧縮、PDFファイルのテキスト出力に関する設定を行います。

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **テキストとラインアートの圧縮** | 元文書内のテキストと線画（ドローデータ）が Zip 形式で圧縮される |
| **ASCII フォーマット** | PDF ファイルを 7 ビットの ASCII テキスト形式で出力<br>ASCII 出力した PDF ファイルはテキストエディタで表示して編集することが可能 |

### 2 ダウンサンプリング

ビットマップ画像のダウンサンプリングを行う場合の、補間方法と解像度を設定します。

指定した解像度よりも高い解像度の画像が元の文書にある場合、指定した補間方法の解像度までピクセル数が削除されます。解像度には１インチあたりのピクセル数を入力します。

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **バイリニア**<br>**バイリニア（IPP）**<br>**バイリニア（IPP sharp）** | 隣接したピクセルの平均値を計算し、領域全体を指定した解像度の平均ピクセルカラーに置き換える<br>バイキュービック法よりも画像の品質は落ちるが、データ量は小さくなる |
| **バイキュービック**<br>**バイキュービック（IPP）**<br>**バイキュービック（IPP sharp）** | バイリニア法よりも広い範囲で同様の処理を行う<br>バイリニア法よりもなめらかなグラデーションの画像が得られるが、データ量は大きくなる |
| **スーパーサンプリング（IPP）**<br>**スーパーサンプリング（IPP sharp）** | 画像内に描かれた物体の輪郭が斜線や曲線の場合に発生する縁のギザギザを軽減 |


© 2015 SKYCOM Corporation

## 3 カラー/グレースケール*画像

カラー画像とグレースケール画像の圧縮方法を設定します。

*グレースケール：画像の色を黒・白・灰色濃淡のみで符号化するモード

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **JPEG2000（画質－最高）** | JPEG を発展させたもので、JPEG に比べノイズが発生しない等の画質向上と、JPEG 以上の圧縮率の向上を実現<br>圧縮率は、[最低]がもっとも高く、[最高]がもっとも低くなる |
| **JPEG2000（画質－高）** | |
| **JPEG2000（画質－中）** | |
| **JPEG2000（画質－低）** | |
| **JPEG2000（画質－最低）** | |
| **JPEG（画質－最高）** | 写真などの連続階調の画像や、高解像度でファイルサイズの大きな画像に適している<br>圧縮率は、[最低]がもっとも高く、[最高]がもっとも低くなる |
| **JPEG（画質－高）** | |
| **JPEG（画質－中）** | |
| **JPEG（画質－低）** | |
| **JPEG（画質－最低）** | |
| **Run Length** | 白または黒の部分が広い範囲でまとまっている白黒画像に適している |
| **Zip** | イラストやスクリーンショットなど、均一濃度の部分が多く、階調が連続しない比較的小さい画像に適している<br>画像の劣化は無いが、圧縮率が低いためファイルサイズが大きくなる |

## 4 白黒画像

白と黒のみで構成されている白黒画像の圧縮方法を設定します。

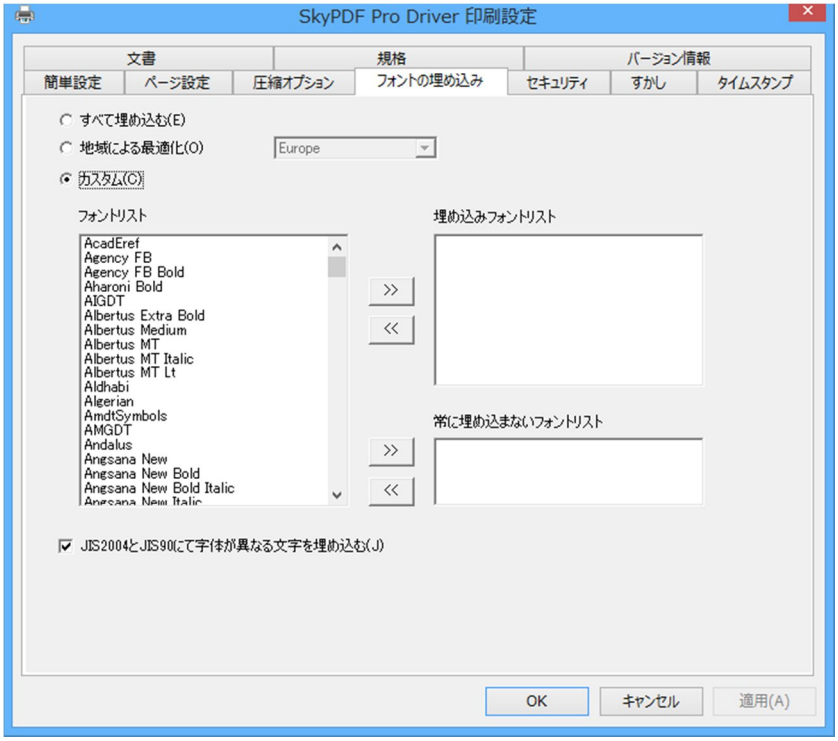
| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **CCITT グループ 3** | ファックスの送信時に使われる形式<br>ペンとソフトの白黒画像などに適している<br>圧縮によるデータの損失もなく、ほとんどの圧縮画像に対応している<br>[**CCITT グループ 4**]は[**CCITT グループ 3**]の **3 倍**の圧縮効果がある |
| **CCITT グループ 4** | |
| **Zip** | 白または黒の部分が細かく分かれている白黒画像に適している |
| **Run Length** | 白または黒の部分が広い範囲でまとまっている白黒画像に適している |
| **JBIG2** | 白黒画像を他の圧縮形式よりも高圧縮率で圧縮するが、処理が遅くなる |

[**デフォルト**]・・・各設定内容を初期状態に戻します。

© 2015 SKYCOM Corporation

## 2.6　PDF ファイルにフォントを埋め込みたい（フォントの埋め込みタブ）

PDFファイルを作成したPC環境と、PDFファイルを表示するPC環境とで、インストールされているフォントが異なる場合、文字化けして表示されることがあります。元文書からPDFファイル作成する際にフォントを埋め込んでおくと、フォントがインストールされていない環境でも、文字化けせずに表示することができます。



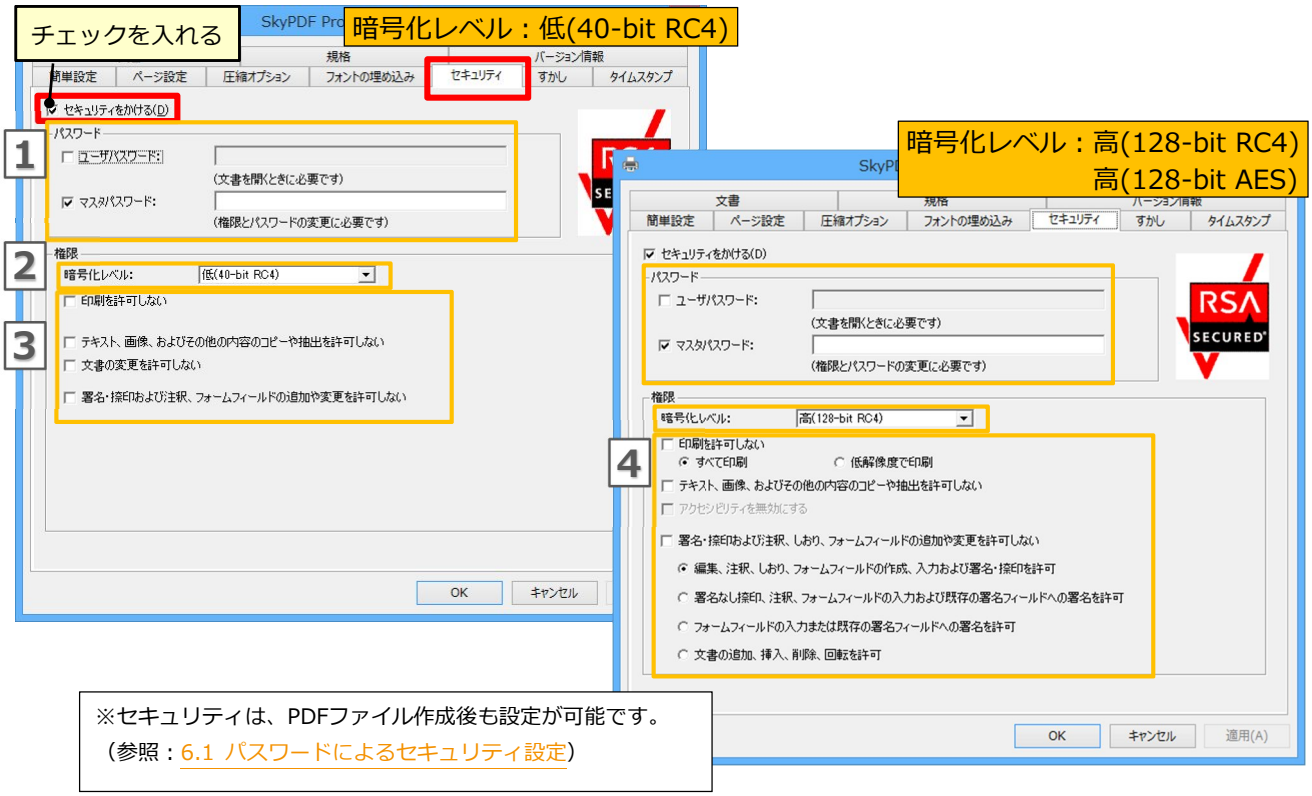

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **すべて埋め込む** | 元の文書で使用されている TrueType フォントをすべて PDF ファイルに埋め込む<br>※PDF ファイルのサイズが非常に大きくなる可能性がある |
| **地域による最適化** | ヨーロッパ言語（**Europe**）または日本（**Japan**）の OS に最適なフォントの埋め込み設定を自動で行う |
| **カスタム** | 埋め込むフォントを手動で設定する |
| **フォントリスト** | 使用している PC にインストールされているフォント一覧<br>※埋め込みが許可されていないフォントは表示されない |
| **埋め込みフォントリスト** | 埋め込むフォントを表示<br>フォントリストから[>>]で追加する<br>※フォントリストに戻す場合は[<<]を使用 |
| **常に埋め込まないフォントリスト** | 埋め込まないフォントを表示<br>フォントリストから[>>]で追加する<br>※フォントリストに戻す場合は[<<]を使用 |
| **JIS2004 と JIS90 にて字体が異なる文字を埋め込む** | JIS2004 フォントが導入されている PC で使用する場合、別の PC でも表示できるように設定 |


© 2015 SKYCOM Corporation

## 2.7　PDF ファイルにセキュリティを設定したい（セキュリティタブ）

セキュリティを設定することで、作成したPDFファイルに対する印刷や編集などの操作を制限することができます。

「**セキュリティ**」タブの[**セキュリティをかける**]をONにして設定します。




※セキュリティは、PDFファイル作成後も設定が可能です。
（参照：6.1 パスワードによるセキュリティ設定）

### 1 パスワード

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **ユーザパスワード** | PDF ファイルを開くときに使用 |
| **マスタパスワード** | セキュリティを変更するときに使用 |

### 2 暗号化レベル

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **低(40-bit RC4)**<br>**高(128-bit RC4)**<br>**高(128-bit AES)** | 選択した暗号化レベルによって、設定できる編集権限の項目が異なる |

### 3 権限　暗号化レベル：低(40-bit RC4)

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **印刷を許可しない** | PDF ファイルを印刷（または別の PDF ファイルとして再出力）できないようにする |
| **テキスト、画像、およびその他の内容のコピーや抽出を許可しない** | PDF ファイル内のテキストやグラフィックを選択してコピーしたり、特定のページを抽出したりできないようにする |
| **文書の変更を許可しない** | リンクやアーティクル、トリミング、フォームフィールドへの入力をできないようにする |

© 2015 SKYCOM Corporation

| | |
|---|---|
| **署名・捺印および注釈、フォームフィールドの追加や変更を許可しない** | 新しい署名・捺印・注釈・フォームフィールドを設定したり、すでに設定されているものを変更したりできないようにする |

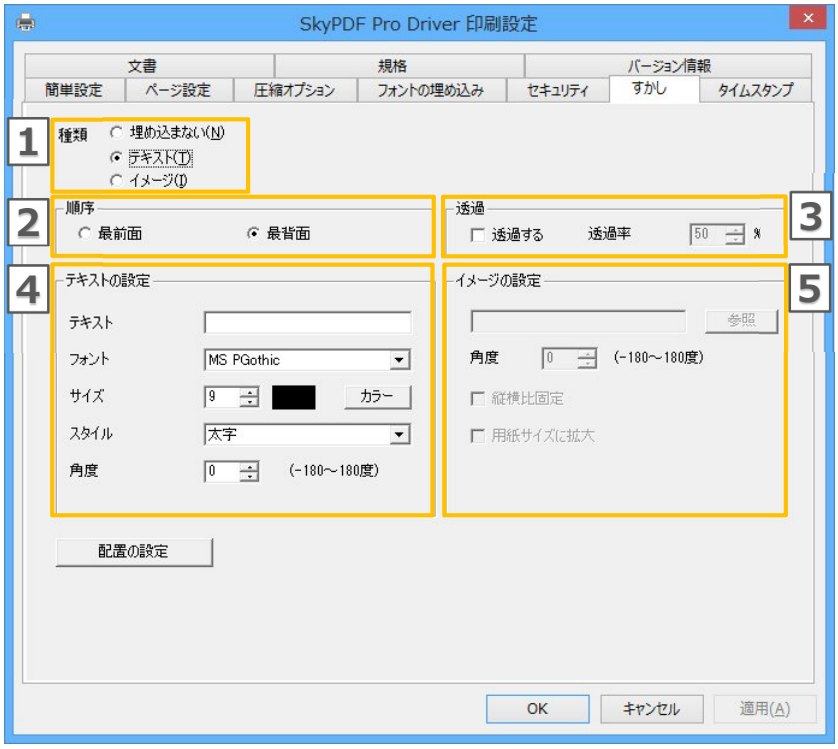
### 4 権限　暗号化レベル：高(128-bit RC4) / 高(256-bit AES)

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **印刷を許可しない** | PDF ファイルを印刷（または別の PDF ファイルとして再出力）できないようにする |
| **すべて印刷** | PDF ファイルをすべての解像度で印刷（または別の PDF ファイルとして再出力）できるようにする |
| **低解像度で印刷** | セキュリティ設定を変更して別の PDF アイルとして再出力しても、品質を確保できない程度の低い解像度（150dpi）で印刷<br>各ページがビットマップ画像として出力されるため、印刷速度は遅くなる |
| **テキスト、画像、およびその他の内容のコピーや抽出を許可しない** | PDF ファイル内のテキストやグラフィックを選択してコピーしたり、特定のページを抽出したりできないようにする |
| **アクセシビリティを無効にする** | アクセシビリティ機能のために PDF ファイルを編集できないようにする |
| **署名・捺印および注釈、フォームフィールドの追加や変更を許可しない** | 新しい署名・捺印・注釈・フォームフィールドを設定したり、すでに設定されているものを変更したりできないようにする |
| **編集、注釈、しおり、フォームフィールドの作成、入力および署名・捺印を許可** | PDF ファイルの内容の抽出と印刷（または再出力）以外の、すべての編集機能を使用できるようにする |
| **署名なし捺印、注釈、フォームフィールドの入力および既存の署名フィールドへの署名を許可** | フォームフィールドの作成と入力、新しい注釈の作成、書名の追加ができるようにする |
| **フォームフィールドの入力または既存の署名フィールドへの署名を許可** | フォームフィールドへの入力と、署名の追加ができるようにする<br>フォームフィールドの作成はできない |
| **文書の追加、挿入、削除、回転を許可** | ページの挿入・削除・回転と、しおりおよびサムネイルの作成ができるようにする |


© 2015 SKYCOM Corporation

## 2.8　PDF ファイルにすかしを付けたい（すかしタブ）

文書コンテンツの前面または背面に、テキストや画像を表示することができます。




### 1 種類

すかしの種類を設定します。

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **埋め込まない** | すかしを設定しない |
| **テキスト** | すかしとしてテキストを挿入 |
| **イメージ** | すかしとして画像を挿入 |

### 2 順序

すかしの配置面を設定します。

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **最前面** | PDF ファイルの前面にすかしを挿入 |
| **最背面** | PDF ファイルの背面にすかしを挿入 |

### 3 透過

すかしの透過を設定します。

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **透過する** | すかしの透過率を設定 |
| **透過率** | 0～100%の間で設定<br>0%：透明、100%：透過されない |

© 2015 SKYCOM Corporation

## 4 テキストの設定

すかしとして挿入するテキストの設定を行います。

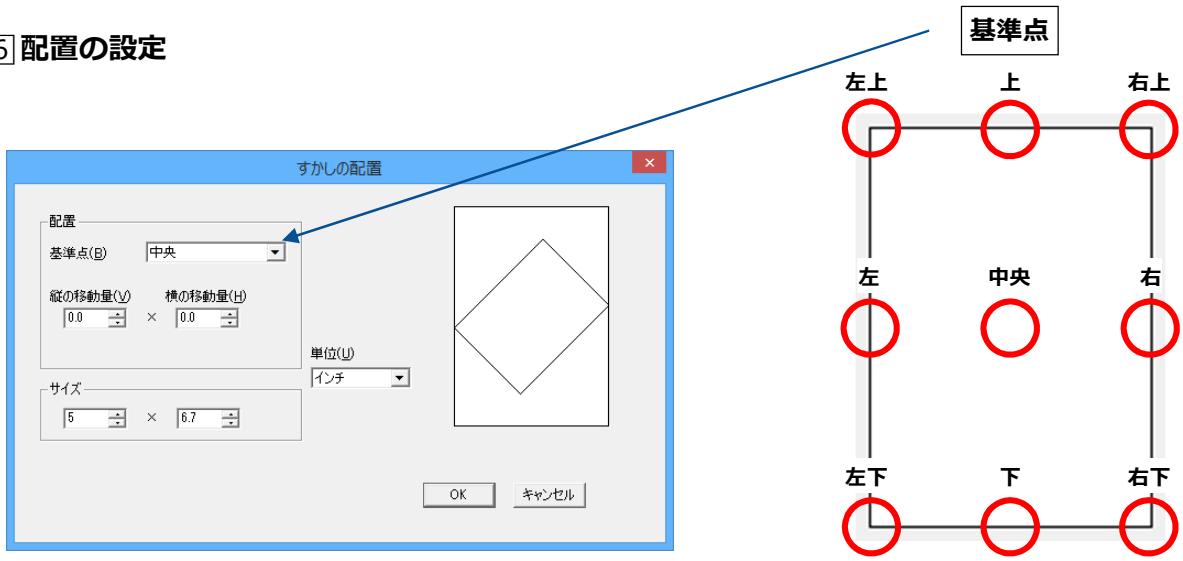
| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **テキスト** | すかしとして挿入する文字列 |
| **フォント** | 文字のフォント |
| **サイズ** | 文字のサイズ |
| **カラー** | 文字の色 |
| **スタイル** | 文字のスタイル（標準/太字/斜体/太字斜体） |
| **角度** | 文字列の表示角度 |

## 5 イメージの設定

すかしとして挿入する画像の設定を行います。

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **参照** | テキストボックスに直接入力するか、[**参照**]を押して、画像のファイルパスを指定 |
| **角度** | 画像の表示角度 |
| **縦横比固定** | 縦横の比率を変えずに画像のサイズを変更する |
| **用紙サイズに拡大** | 画像を用紙全体に拡大 |

## 6 配置の設定




| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **配置－基準点** | テキストや画像の位置の基準となる位置 |
| **配置－縦の移動量** | 基準点で指定した位置から上下に移動したい数値を指定<br>**上**に移動させたい場合：**負**の数値<br>**下**に移動させたい場合：**正**の数値 |
| **配置－横の移動量** | 基準点で指定した位置から左右に移動したい数値を指定<br>**左**に移動させたい場合：**負**の数値<br>**右**に移動させたい場合：**正**の数値 |


© 2015 SKYCOM Corporation

| | |
|---|---|
| **サイズ** | 画像のサイズを入力<br>イメージの設定の[縦横比固定]を ON にしている場合は、いずれかの値を変更すると、もう一方は自動的に変更される |
| **単位** | 縦横の移動量やサイズの指定で使用する単位<br>インチ/ポイント/ミリ<br>1 インチ＝72 ポイント＝25.4 ミリ |

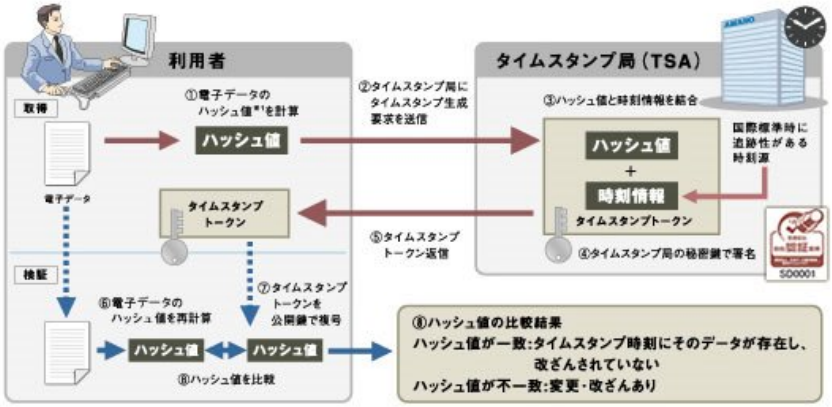
© 2015 SKYCOM Corporation

## 2.9 タイムスタンプを付与したい（タイムスタンプタブ）

SkyPDF Pro Driver では、作成する PDF ファイルにアマノタイムスタンプを付与することができます。

タイムスタンプは、次のような２つの効果によって、電子データの証拠性を確保し、電子署名の限界を補完する事ができます。

| 効果 | 解説 |
|---|---|
| **存在証明** | タイムスタンプが付与された日時に、確かにデータが存在していたことの証明が可能 |
| **完全性証明** | タイムスタンプが付与された日時以降、そのデータが改ざんされていないことの証明が可能 |




**アマノタイムスタンプサービス3161（認定サービス）**：このサービスは、一般財団法人日本データ通信協会の認定をうけています（有償）

アマノタイムスタンプを検証するためには、電子証明書をあらかじめ取得する必要があります。アマノビジネスソリューションズ（株）のウェブサイト（http://www.e-timing.ne.jp）の一番下にある「**リポジトリ及びその他の公開情報**」をクリックし、認定サービス用の電子証明書を次ページ以降の手順で取得してください。

© 2015 SKYCOM Corporation

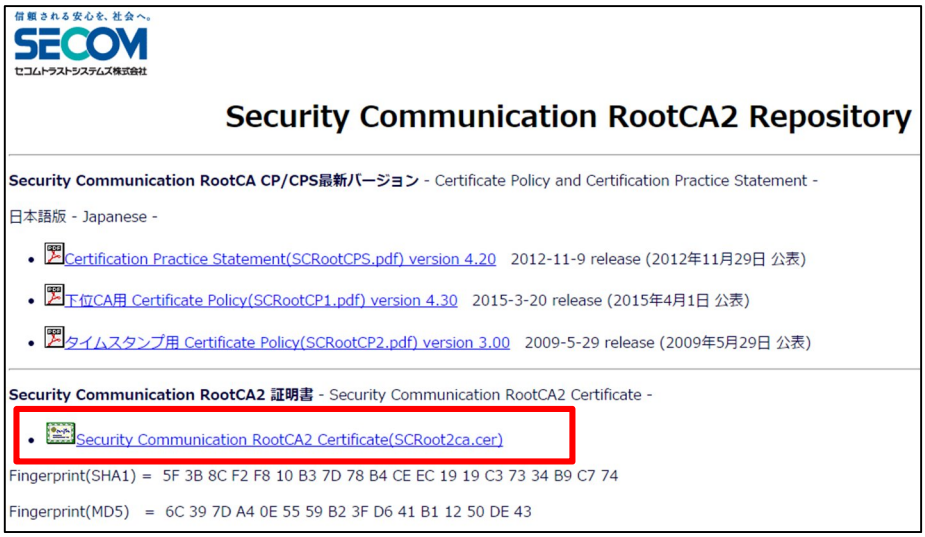
## 2.9.1 アマノタイムスタンプ電子証明書のインストール

1. アマノタイムスタンプサービス3161の電子証明書
   https://www.e-timing.ne.jp/repository/tsa/tsa3161_repository.htmlの「**Root-CAの証明書**」の、セコムトラストシステムズ株式会社のリポジトリからRoot-CA証明書(**SCRoot1ca.cer**と**SCRoot2ca.cer**)２つをクリックします。

SCRoot1ca.cer

© 2015 SKYCOM Corporation

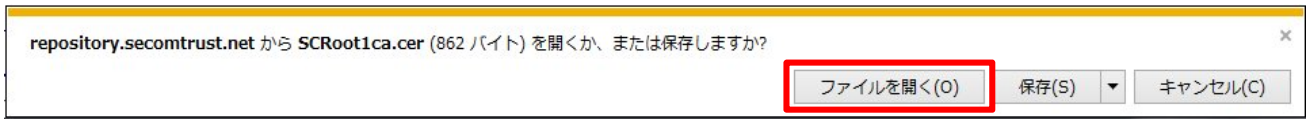
SCRoot2ca.cer




※　RootCA1とRootCA2の両方が必要です。

ここからの手順は、この2つの証明書について実施してください。

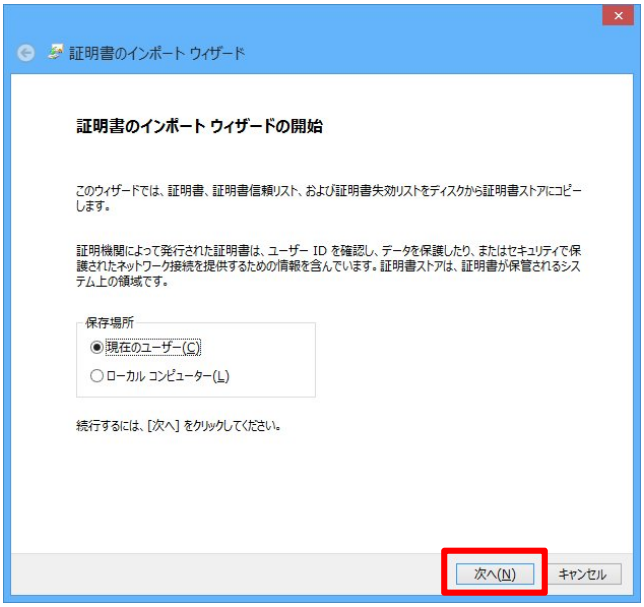
2. [**ファイルを開く**]（または[**開く**]）を押します。




3. [**証明書のインストール**]を押します。

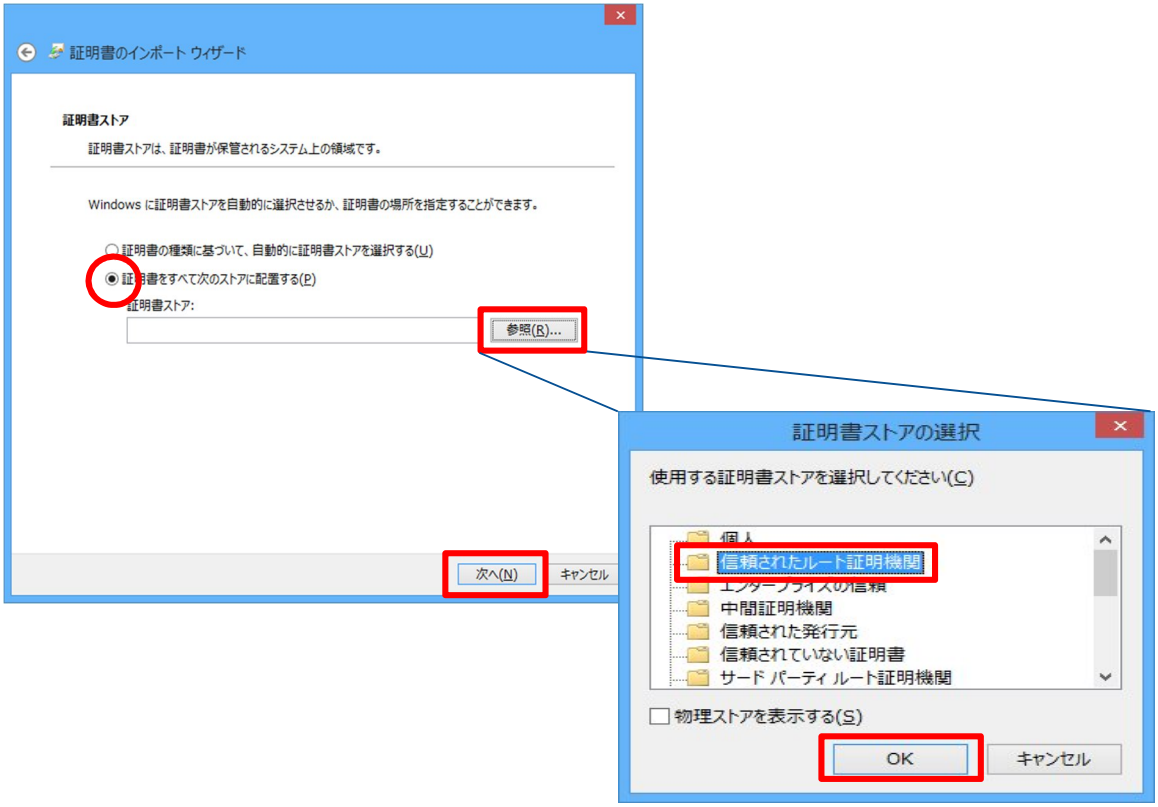
© 2015 SKYCOM Corporation

4. 「**証明書のインポートウィザード**」画面が開きますので[**次へ**]を押します。

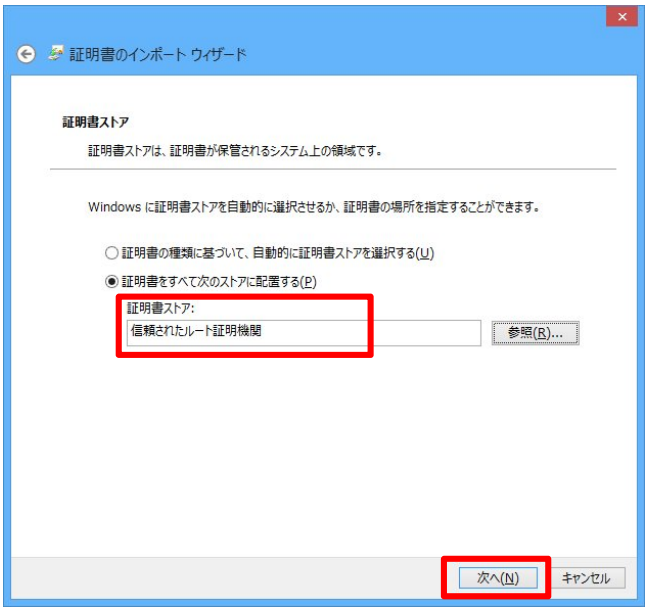



5. 次の「**証明書ストア**」で、下図のように[**証明書をすべて次のストアに配置する**]を選択して、[**参照**]を押します。

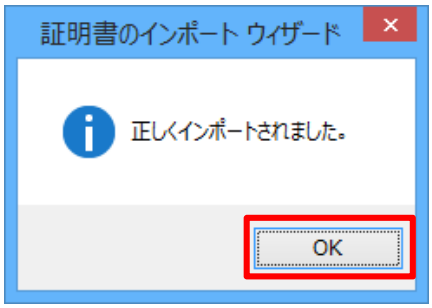
「**証明書ストアの選択**」ダイアログから[**信頼されたルート証明機関**]を選択し、[**OK**]を押してこのダイアログを閉じます。



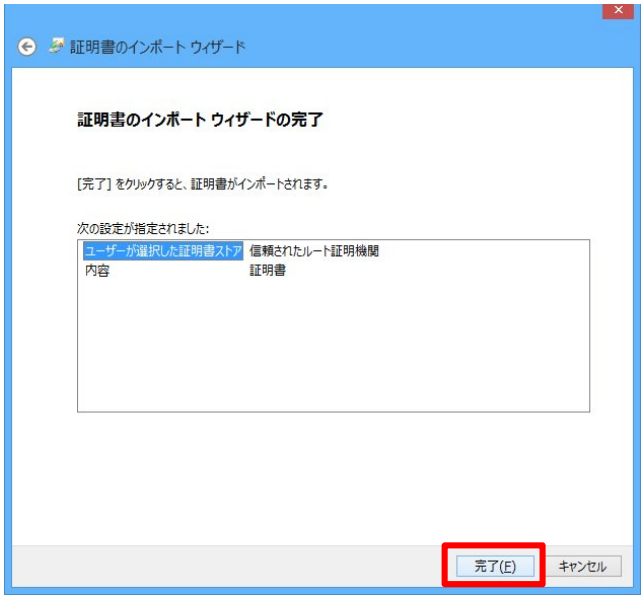
最後に、元画面の[**次へ**]を押します。




6. 「**正しくインポートされました**」のメッセージダイアログを[**OK**]を押して閉じます。




7. 「**証明書のインポートウィザードの完了**」が表示されましたら[**完了**]を押します。

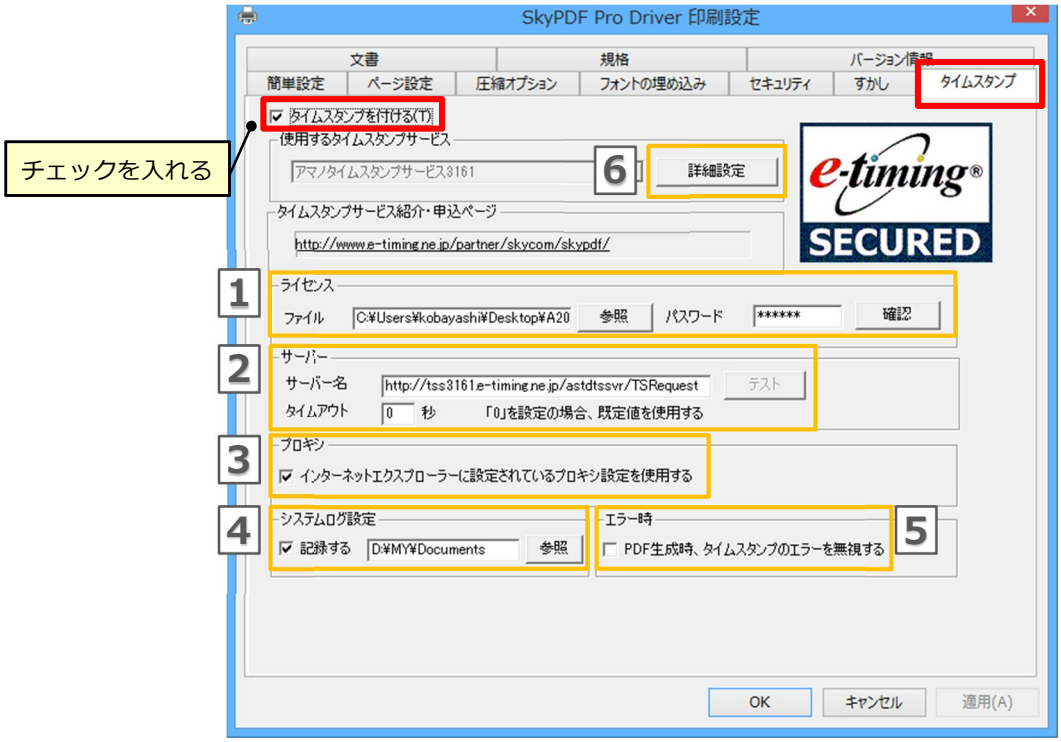



以上で証明書のインポートは終了です。


© 2015 SKYCOM Corporation

## 2.9.2 SkyPDF Pro Driverの設定

電子証明書のインストールが完了したら、SkyPDF Pro Driverで各種設定を行います。




**使用するタイムスタンプサービス**

「アマノタイムスタンプサービス3161」は**ライセンス**と**サーバー**の設定が必要

**タイムスタンプサービス紹介・申込ページ**

アマノビジネスソリューションズ社の当該ページへのリンクで、サービスの利用申し込みやルート証明書のダウンロードが可能

### 1 ライセンス

タイムスタンプライセンスファイルの設定を行います。

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **ファイル/参照** | ライセンスファイルのパスを直接入力<br>または、[**参照**]を押して指定 |
| **パスワード/確認** | ライセンスファイルのパスワードを入力<br>[**確認**]を押してパスワードの有効性を確認 |

### 2 サーバー

タイムスタンプ認証サーバーの設定を行います。

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **サーバー名/テスト** | タイムスタンプ認証の URL を入力<br>[**テスト**]を押して URL の正当性を検証 |
| **タイムアウト** | タイムスタンプ認証のタイムアウト値を設定<br>デフォルト：0（5 秒） |

© 2015 SKYCOM Corporation

### 3 プロキシ

インターネットエクスプローラーで設定されているプロキシ設定が有効になります。

### 4 システムログ設定

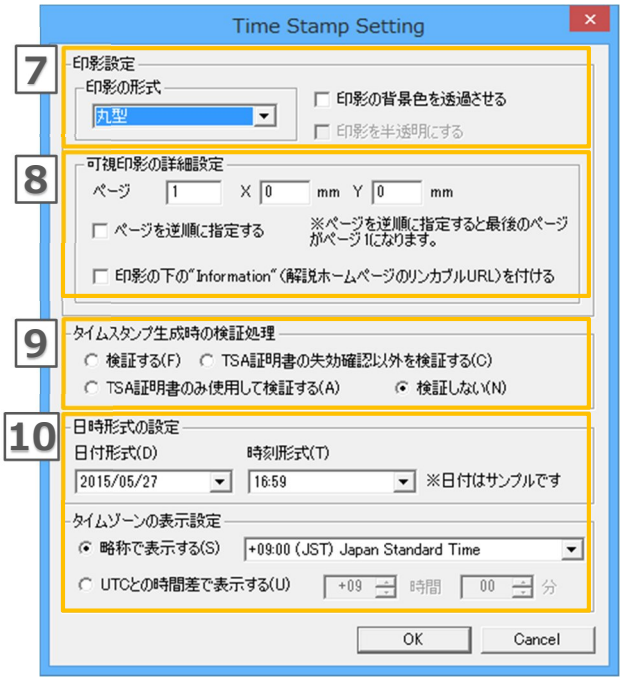
[**記録する**]にチェックを入れると、システムログを出力するフォルダを指定することができます。

### 5 エラー時

[**PDF生成時、タイムスタンプのエラーを無視する**]にチェックを入れると、タイムスタンプ付与に失敗した場合には、タイムスタンプ無しのPDFファイルを生成します。設定しない場合は、PDFファイルは生成されません。

### 6 詳細設定

タイムスタンプの印影・検証・日時形式に関する設定を行います。




### 7 印影の形式

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **不可視** | 印影を表示しない |
| **丸型** | |
| **角型** | |
| **印影の背景色を透過させる** | 印影の背景を透明にして、文書上に印影を配置しても文書が読み取れるようにする |
| **印影を半透明にする** | [**印影の背景色を透過させる**]を選択した場合に、印影自体を半透明にする |


© 2015 SKYCOM Corporation

## 8 可視印影の詳細設定

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **ページ** | 印影を配置するページ番号を指定 |
| **X, Y** | ページの左上角を基点として、タイムスタンプを配置する位置を指定 |
| **ページを逆順に指定する** | 文書の最後からページを数える |
| **印影の下の“Information”を付ける** | 印影の下に、タイムスタンプについて解説しているウェブサイトの URL が表示される |

## 9 タイムスタンプ生成時の検証処理

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **検証する** | Windows の証明書ストアに格納されているルート CA 証明書を信頼の基点として、「**証明書パス検証**」を含む検証を実施<br>通信系路上でのタイムスタンプトークンの改ざんや、TSA のなりすましをリアルタイムで防止する効果がある |
| **TSA 証明書の失効確認以外を検証する** | 「**TSA 証明書の失効確認**」を省略した検証を実施<br>TS 証明書の失効リスト取得のための通信が発生しない |
| **TSA 証明書のみ使用して検証する** | TSA の証明書のみで検証を実施<br>検証の時間を短縮したい場合に選択 |
| **検証しない（デフォルト）** | 検証をしない |

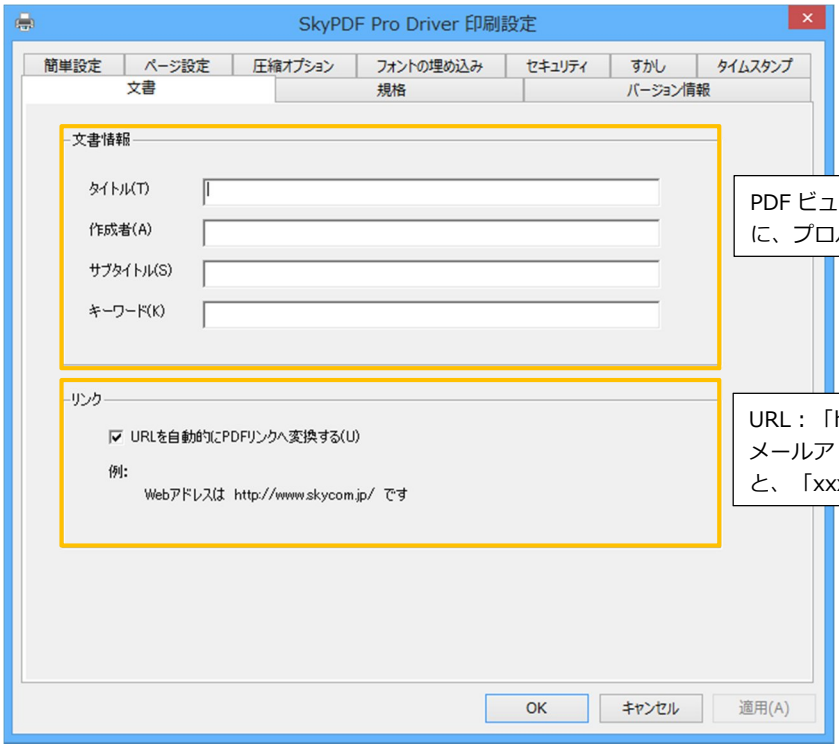
## 10 日時形式/タイムゾーンの設定

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **日付形式** | プルダウンメニューより選択 |
| **時刻形式** | プルダウンメニューより選択 |
| **略称で表示する** | 選択したタイムゾーンの略称をタイムスタンプに表示 |
| **UTC との時間差で表示する** | 時刻を記録する際に使用される世界共通の時刻「**UTC**」（Coordinated Universal Time：協定世界時）との時間差（数値）をタイムスタンプに表示 |

© 2015 SKYCOM Corporation

## 2.10 PDF ファイルに文書の情報や URL リンクを付けたい（文書タブ）

PDFファイルにタイトルや作成者等の情報を付与したり、文書内のURL（またはメールアドレス）をハイパーリンクに変換したりすることができます。

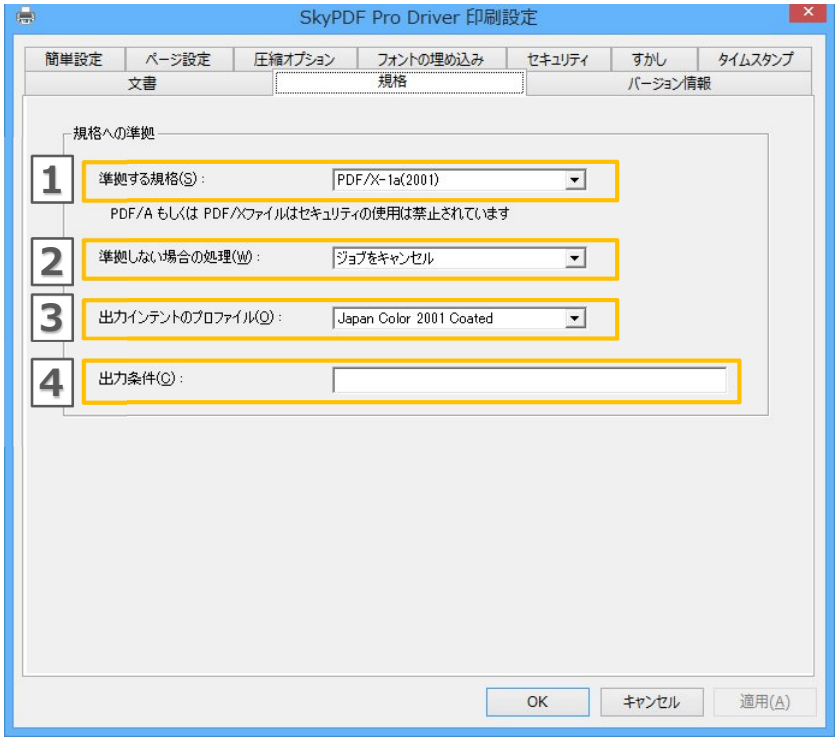



PDF ビューアで PDF ファイルを開いたときに、プロパティに表示される文書情報

URL：「http://」「https://」「ftp://」
メールアドレス：「mailto:」で始まる文字列
と、「xxx@xxx.xxx」形式で記載される文字列


© 2015 SKYCOM Corporation

## 2.11 PDF 規格に準拠した PDF ファイルを作成したい（規格タブ）




1 **準拠する規格**・・・国際標準化機構（ISO）で定義されている規格

**なし**

PDF 規格に準拠しない PDF ファイルを作成

**PDF/A-1b**

ISO19005-1 の一部準拠で、PDF1.4 使用に基づく電子文書の長期保存用の形式です。
e-文書法長期保存フォーマットに適しています。
※以下の機能は、この形式に準拠していないため、併用することができません。

- セキュリティ付与（セキュリティタブ）
- ダウンサンプリングの JPEG2000 設定（圧縮オプションタブ）
- すかしの透過率 100%以外の設定（すかしタブ）
- Web 最適化設定、「**同名ファイルが存在した場合の処理**」で[**既存ファイルの後に追加する**]（ページ設定タブ）
- タイムスタンプ付与（タイムスタンプタブ）

**PDF/X-1a(2001) / PDF/X-1a(2003)**

ISO15930 に準拠した規格で、印刷用のデータ交換やグラフィック交換を容易にする目的があります。

- PDF/X-1a(2001)・・・インライン・イメージの圧縮に CCITT や JPEG の使用を禁止

- PDF/X-1a(2003)・・・上記は使用可能

本形式は主に、次の仕様で PDF が生成されます。

- カラー空間

  DeviceRGB は使用できないため、DeviceCMYK に変更します。

- 文書情報

  「**文書**」タブにて、[**タイトル**]が空白の場合に仮の文字列を入力します。

- フォント

  「**フォント埋め込み**」タブにて、すべてのフォントを埋め込んでいない場合、すべて埋め込みフォントとします。埋め込みできないフォントが検出された場合は、準拠しない場合の処理が実施されます。

※以下の機能は、この形式に準拠していないため、併用することができません。

- セキュリティ付与（セキュリティタブ）
- ダウンサンプリング、カラー画像圧縮の JPEG2000、白黒画像圧縮の JBIG2（圧縮オプションタブ）
- すかしの透過率 100%以外の設定（すかしタブ）
- タイムスタンプ付与（タイムスタンプタブ）
- URL リンク付与（文書タブ）

### 2 準拠しない場合の処理

以下の場合は、本製品では制御できません。

- 埋め込み禁止フォントが使用された場合
- ICC プロファイル*のレジストリが存在しない場合
- インストール先に ICC プロファイルが無い場合

*ICCプロファイル・・・International Color Consortiumの公表した標準に従ったカラーマネジメントの仕様を記述したもの

これらを生成時に自動検知した場合、以下の措置を実施します。

**ジョブをキャンセル**：PDF変換を中止し、エラーメッセージを表示

**続行**：指定した規格に準拠しない、標準のPDFを作成

### 3 出力インテントのプロファイル（カラー印刷特性）

以下のいずれかを選択します。

- Japan Color 2001 Coated（日本）


© 2015 SKYCOM Corporation

- Coated FORGA27（欧州）
- US.Web Coated(SWOP)v2（北米）

### 4 出力条件

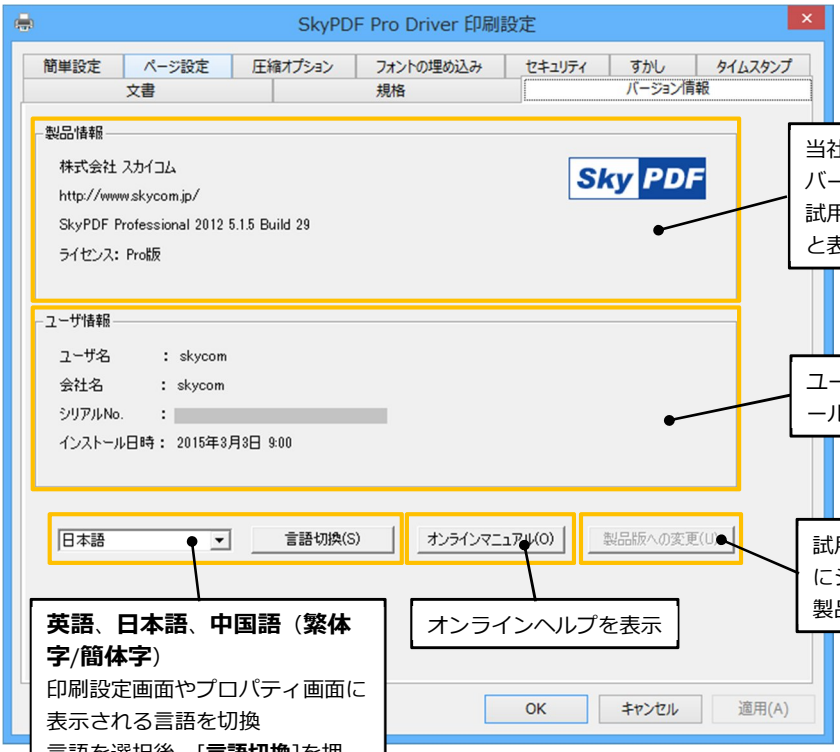
印刷の条件を示すために使用します。この項目は必須ではありませんが、入力しておくと、PDFファイルの受信者に有用な情報を提供することができます。

デフォルト：空白

文字数上限：255文字

## 2.12 バージョン情報を確認したい（バージョン情報タブ）

SkyPDF Pro Driverのバージョンやライセンス、登録ユーザーの情報などを確認することができます。




当社の社名・URL と、ご使用の製名およびバージョン、ライセンス形態を表示
試用版起動時は、「ライセンス：試用版」と表示

ユーザ名、会社名、シリアル No、インストール日時

試用版から製品版へ変更する場合にシリアル No.等を入力
製品版起動時は選択不可

**英語、日本語、中国語（繁体字/簡体字）**
印刷設定画面やプロパティ画面に表示される言語を切換
言語を選択後、[**言語切換**]を押し、印刷設定画面を再起動する

オンラインヘルプを表示


© 2015 SKYCOM Corporation

# 3 PDF ファイルを作成する

## 3.1 [印刷]メニューから作成する

アプリケーションから物理プリンターを使用して文書を印刷するときと同様に、SkyPDF Pro Driverを使用して元の文書のPDFファイルを作成することができます。

ここでは、Microsoft WordでPDFファイルを作成する方法を例にして説明します。

画面の項目名などは、アプリケーションによって異なる場合があります。

**【手順】**

1. Word文書を開き、[**ファイル**]（Office2007の場合は**Officeボタン**）－[**印刷**]を選択します。

2. 印刷の設定画面が表示されたら、「**プリンター**」ボックスで［**SkyPDF ProDriver**］を選択します。

3. 用紙サイズやセキュリティなどの設定を変更したい場合は、［**プリンターのプロパティ**］をクリックして、SkyPDF Pro Driverのプロパティを表示します。

「**SkyPDF Pro Driverのプロパティ**」ダイアログボックスの各設定は、2章の該当項目を参照してください。

2.3 簡単に設定をしたい
2.4 用紙設定や保存の設定を変更したい
2.5 ファイルサイズを小さくしたい
2.6 PDFファイルにフォントを埋め込みたい
2.7 PDFファイルにセキュリティを設定したい
2.8 PDFファイルにすかしを付けたい
2.9 タイムスタンプを付与したい
2.10 PDFファイルに文書の情報やURLリンクを付けたい
2.11 PDF規格に準拠したPDFファイルを作成したい

4. PDFファイルの設定が終了したら、「**SkyPDF Pro Driverのプロパティ**」ダイアログボックスで［**OK**］を押します。

5. 印刷の設定画面に戻ったら、［**印刷**］を押します。

6. 「**PDFファイルに名前をつけて保存**」ダイアログボックスが表示された場合は、PDFファイルを保存するフォルダーを指定し、必要に応じてファイル名を編集して［**保存**］をクリックします。

※ ここで設定した内容は、一度アプリケーションを終了すると初期設定に戻ります。

※ 作成したPDFファイルを開くには、PDF1.6に対応したPDFビューアが必要です。SkyPDF Proで作成されるPDFファイルは、PDF1.6に準拠しています。


© 2015 SKYCOM Corporation

## 3.2　ドラッグ＆ドロップ*操作で作成する

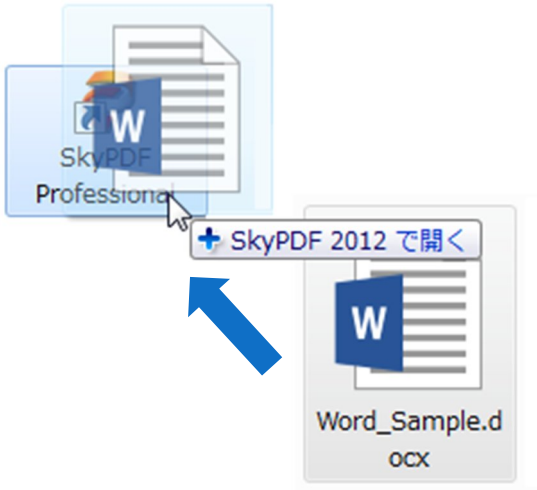
*ドラッグ＆ドロップ＝マウスボタンを押しながらファイルアイコン等を移動すること

デスクトップ上にある「SkyPDF Professional（またはStandard）」ショートカットアイコンを利用してPDFファイルを作成することができます。

ファイルをショートカットアイコンにドラッグ＆ドラッグすると、拡張子に関連付けられたアプリケーション（例：*.docxならWord）が自動的に起動し、PDFファイルの生成が実行されます。

**【手順】**

1. PDFファイルを生成したい対象元ファイルをデスクトップ上の「SkyPDF Professional（またはStandard）」アイコンにドラッグ&ドロップします。




2. 「**PDFファイルに名前をつけて保存**」ダイアログボックスが表示された場合は、PDFファイルを保存するフォルダーを指定し、必要に応じてファイル名を編集して［**保存**］をクリックします。

※　アプリケーションの種類やファイルの内容によっては、正常にPDFファイルの生成ができない場合があります。そのような場合には、アプリケーションの印刷コマンドで、PDFファイルを生成してください。
（参照：3.1 [印刷]メニューから作成する）

© 2015 SKYCOM Corporation

## 3.3 コンテキストメニューから作成する

ファイルを右クリックして表示されるメニュー※からPDFを生成することができます。

※　別途設定が必要です。（参照：2.1 SkyPDFセットアップ画面を表示する）

**【手順】**

1. PDFファイル生成したい対象元ファイルを右クリックし、コンテキストメニューに表示される[**SkyPDFで変換**]（または[**Convert to SkyPDF**]）を選択します。
   拡張子に関連付けられたアプリケーションが自動的に起動し、PDFファイルの生成が実行されます。

2. 「**PDFファイルに名前をつけて保存**」ダイアログボックスが表示された場合は、PDFファイルを保存するフォルダーを指定し、必要に応じてファイル名を編集して［**保存**］をクリックします。

※　アプリケーションの種類やファイルの内容によっては、正常にPDFファイルの生成ができない場合があります。そのような場合には、アプリケーションの印刷コマンドで、PDFファイルを生成してください。
（参照：3.1 [印刷]メニューから作成する）


© 2015 SKYCOM Corporation

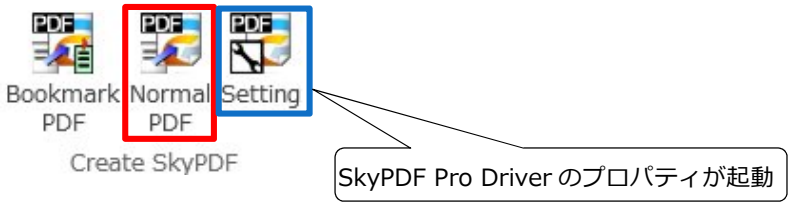
## 3.4 Office アプリケーションのアドインから作成する

Microsoft Office（Word, Excel, PowerPoint）上のツールボタン※（[NormalPDF]）をクリックして、PDFを生成することができます。

※ 別途設定が必要です。（参照：2.1 SkyPDFセットアップ画面を表示する）

**【手順】**

1. Officeメニュー上のSkyPDFタブを開いて、［**NormalPDF**］ボタンをクリックします。




PDFファイルの生成が実行されます。

2. 「**PDFファイルに名前をつけて保存**」ダイアログボックスが表示された場合は、PDFファイルを保存するフォルダーを指定し、必要に応じてファイル名を編集して［**保存**］をクリックします。

※ アプリケーションの種類やファイルの内容によっては、正常にPDFファイルの生成ができない場合があります。そのような場合には、アプリケーションの印刷コマンドで、PDFファイルを生成してください。（参照：3.1 [印刷]メニューから作成する）

※ Excelでは、選択している1シートのみPDF生成が可能です。

© 2015 SKYCOM Corporation

## 3.5 しおりとリンク注釈付きの PDF ファイルを作成する Professional

Microsoft Office（Word, Excel, PowerPoint）上のツールボタン※（[BookmarkPDF]）をクリックするだけで、しおりやリンク注釈付きのPDFファイルを作成することができます。

※　別途設定が必要です。（参照：2.1 SkyPDFセットアップ画面を表示する）

**しおり**　・・・PDFビューアでPDFファイルを開いた時に表示される一覧で、PDFファイル内の特定の箇所へのリンクになっています。クリックすることで、PDFファイル内の特定の箇所にジャンプすることができます。

**リンク注釈**　・・・PDFビューアでPDFファイルを開いた時、Officeで設定していた文書内のハイパーリンクが、PDFファイル内でも同様の箇所へリンクできるようになる機能です。

アプリケーションによって、「**しおり**」または「**リンク注釈**」の対象が異なります。

**Word**

- 見出しスタイルを検知し、しおりとして設定します。（“見出し”という文言が含まれた書式のみで、見出し1～9まで対応）
- ハイパーリンク情報を検知し、リンク注釈を付与します。

**Excel**　**※リンク注釈は動作しません。**

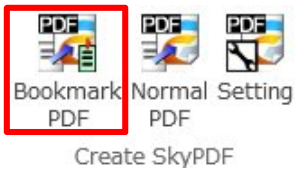
- “シート名”を検知し、しおりとして設定します。（選択された1シート目のみの対応）

**PowerPoint**

- “スライドのタイトル”を検知し、しおりとして設定します。（タイトルが無い場合スライド番号が“スライド番号1”という形式で検知されます。
- ハイパーリンク情報を検知し、リンク注釈を付与します。

### 手順

1. Microsoft Officeのツールバー上にある[**BookmarkPDF**]をクリックします。




PDFファイルの生成が実行されます。

2. 「**PDFファイルに名前をつけて保存**」ダイアログボックスが表示された場合は、PDFファイルを保存するフォルダーを指定し、必要に応じてファイル名を編集して［**保存**］をクリックします。

※　１ページ内（ページをまたがない）の複数行のURLリンクは、[**BookmarkPDF**]でPDF作成をした場合のみ有効です。

※　PowerPointは読み取り専用の文書では動作しません。

※　PowerPoint上で変更履歴の表示設定をしている文書は動作保証外です。


© 2015 SKYCOM Corporation

# 4 PDF ファイルを表示する

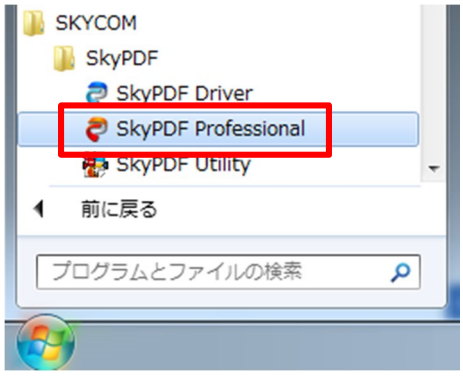
作成後の PDF ファイルや、既存の PDF ファイルを表示する方法について説明します。

## 4.1 SkyPDF Standard / Professional を起動する

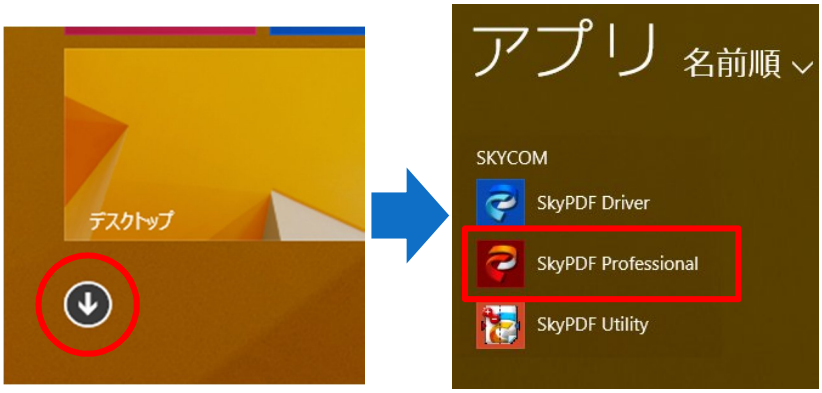
SkyPDF Standard / Professionalを起動して、PDFファイルを開きます。

### 4.1.1 Windowsのスタートメニューから

**Windows VistaやWindows 7**の場合、画面左下のスタートボタンを押し、[**すべてのプログラム**]－[**SKYCOM**]－[**SkyPDF**]－[**SkyPDF Professional**]（または**SkyPDF Standard**）を実行します。




**Windows 8.1**の場合は、スタート画面左下の矢印ボタンを押して、アプリ一覧から[**SkyPDF Professional**]（または**SkyPDF Standard**）を実行します。

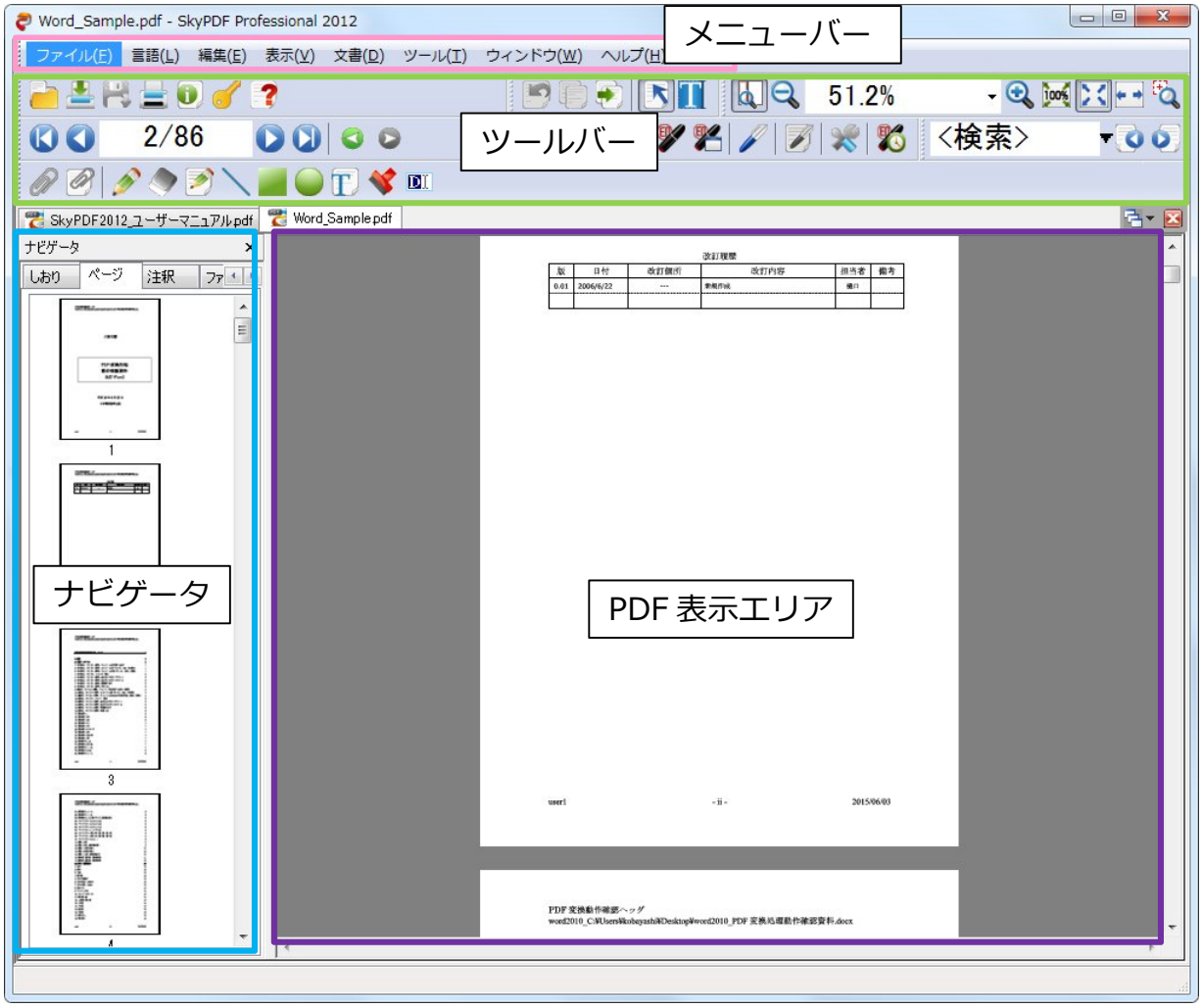



### 4.1.2 ショートカットアイコンから

デスクトップ上の**ショートカットアイコンをダブルクリック**して起動します。

© 2015 SKYCOM Corporation

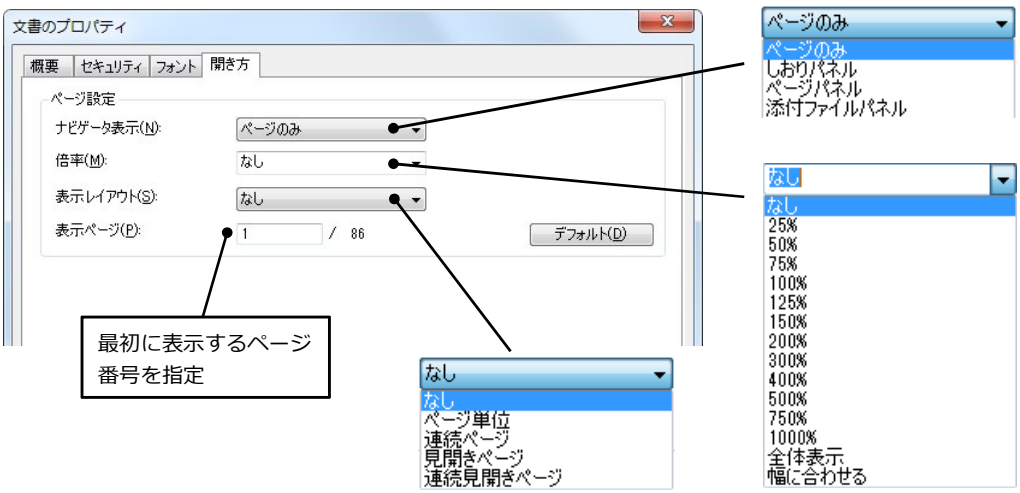
## 4.1.3 画面の説明




PDF 表示の初期状態は、文書のプロパティで変更できます。（Professional のみ）

[**ファイル**]－[**文書のプロパティ**]（ ）

「**開き方**」タブで設定します。





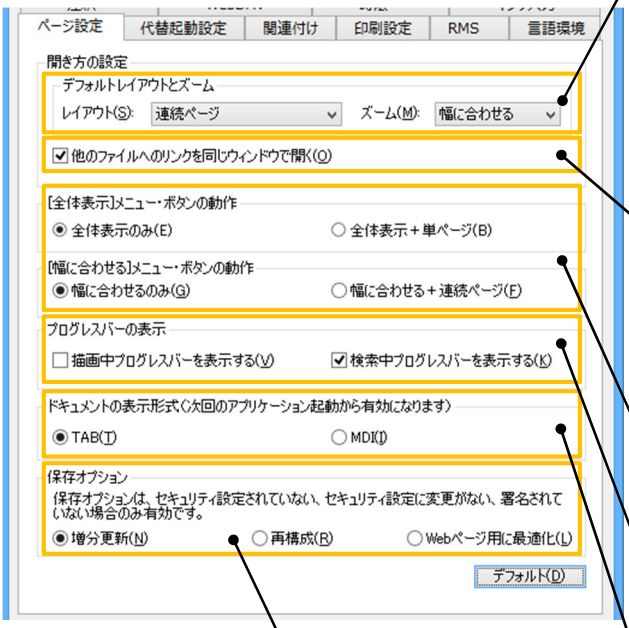
© 2015 SKYCOM Corporation

## 4.2 環境設定

本製品では、機能に応じた初期設定や詳細設定を「**環境設定**」で行います。各機能に対応しているタブは、それぞれの機能の項で説明しますので、ここでは、全体的な設定に関するタブのみ説明します。

**[ツール]－[環境設定]（ ）**

### ページ設定




PDF ファイルを開くときの、ページのレイアウトとズームの設定

**レイアウト**：4.5.1 画面内の表示を切り替える

**ズーム**：4.5.2 表示倍率を変更する

しおりやリンク機能で他のファイルにジャンプする際、元のファイルを閉じてから同じウインドウで開く

※しおり（またはリンク）のプロパティで以下の設定の場合にのみ有効
[**アクション種類**]・・・ファイルを開く
[**ページを開く**]・・・環境設定で設定されたウインドウ

ツールバーの[**全体表示**]・[**幅に合わせる**]ボタンを押したときの動作を設定

PDF ファイルの描画表示処理中や、テキスト検索処理中に、プログレスバーを表示

複数の PDF ファイルを開くときの表示方法

**TAB**：タブ選択で表示を切り替える

**MDI**：別ウインドウで表示

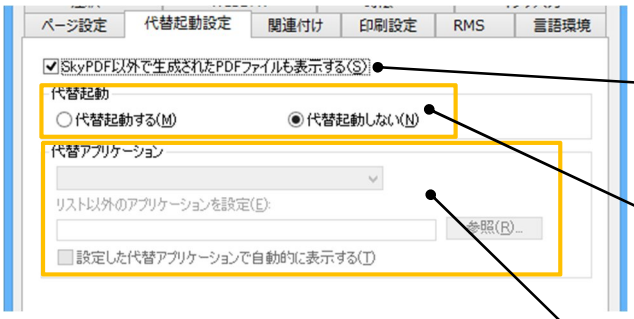
PDF ファイルに変更を加えたときの保存方法

**増分更新**：変更を加えた部分のみを反映して保存。ページ抽出や削除の場合は、ファイルサイズは変わらない

**再構成**：変更後の PDF ファイルを再構成して保存。ページ抽出や削除の場合は、ファイルサイズが減る

**Web ページ用に最適化**：Web ブラウザーで PDF ファイルを開く場合に、最初に開くページを可能な限り素早く表示できるよう、再構成して保存

## 代替起動設定




本製品以外の PDF 生成ツールから作成した PDF ファイルも表示するかどうか

チェックが ON で、代替起動しない場合は、SkyPDF で表示される（チェック OFF の場合は、[**代替起動しない**]は選択不可）

本製品以外のアプリケーションで開くかどうか

代替起動する場合の設定

**自動選択**：PDF ファイルを表示できるアプリケーションがインストールされていれば、自動的にそのアプリケーションで表示する

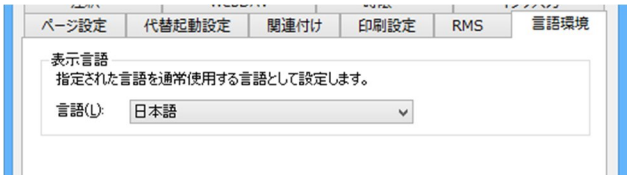
**その他**：[**参照**]を押して、PDF ファイルを表示可能なアプリケーションの実行ファイルを指定

※事前に Adobe Reader をインストールしておくと選択肢として表示される

## 関連付け

PDF ファイルを開く際に、SkyPDF Professional を使用するかどうかを設定
（インストール時にも設定可）

## 言語環境　※設定変更後は、本製品の再起動時が必要

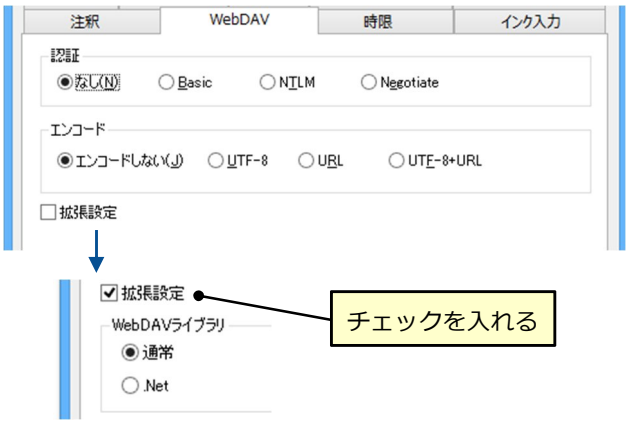



メニューの表示言語を設定
- **オペレーティングシステムと同じ**
- **英語**
- **日本語**
- **中国語（繁体字）**
- **中国語（簡体字）**


© 2015 SKYCOM Corporation

## WebDAV*

*WebDAV・・・Webサーバー上のファイル管理を目的とした分散ファイルシステムを実現するプロトコル




認証方法とエンコードを設定

## 4.3 PDF ファイルを開く

PDFファイルは、次のような方法で開くことができます。

### 4.3.1 SkyPDF Professional（またはStandard）から開く

SkyPDF Standard / Professionalを起動し、メニューより[**ファイル**]－[**開く**]を実行します。

### 4.3.2 ドラッグ＆ドロップ操作で開く

PDFファイルをデスクトップ上の**SkyPDF Professionalアイコンにドラッグ＆ドロップ**します。

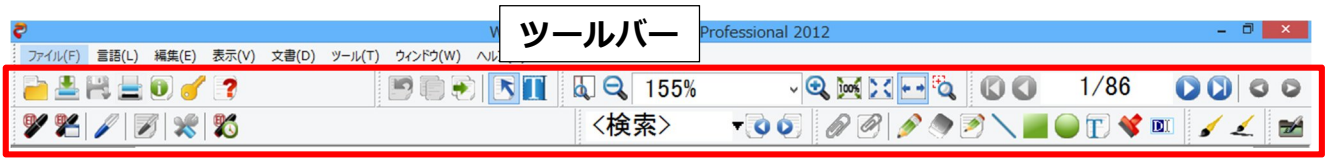
### 4.3.3 ファイルをダブルクリックして開く

PDFファイルを表示するアプリケーションとして本製品が関連付けられている場合は、エクスプローラー上やデスクトップ上の**PDFファイルをダブルクリック**すると、ファイルを開くことができます。

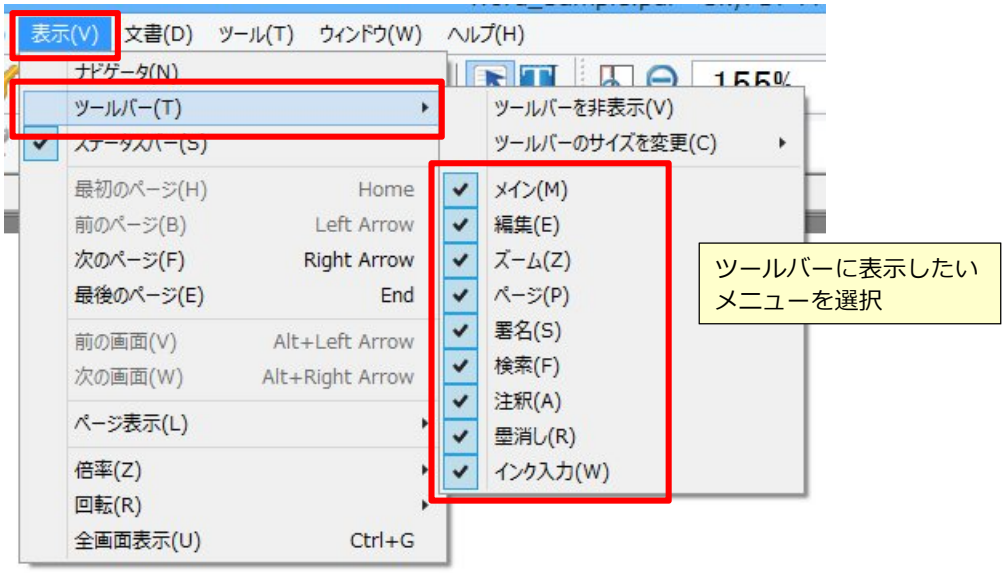

© 2015 SKYCOM Corporation

## 4.4 ツールバーを表示する

ツールバーを表示すると、ショートカットアイコンからメニューが実行できるため、操作がより容易になり、作業の効率化も期待できます。




**[表示]－[ツールバー]**



# 4.5 表示状態を変更する

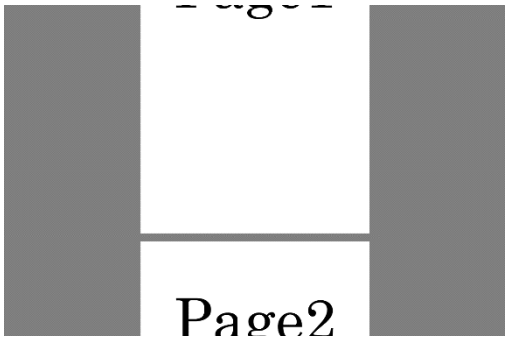
## 4.5.1 画面内の表示を切り替える（ページ表示）

初期状態では、ページが連続で表示されます。（連続ページ表示：スクロールバーやマウスカーソルをスクロールすると、ページ内をスクロールして前後ページを表示）

この他にもページ単位表示（スクロールするとすぐに前後ページを表示）、見開きページ表示（2ページを一度に表示し、スクロール時は前後の2ページを表示）、連続見開きページ表示（2ページを一度に表示し、スクロールで両ページを同時にスクロールして前後ページを表示）が可能です。

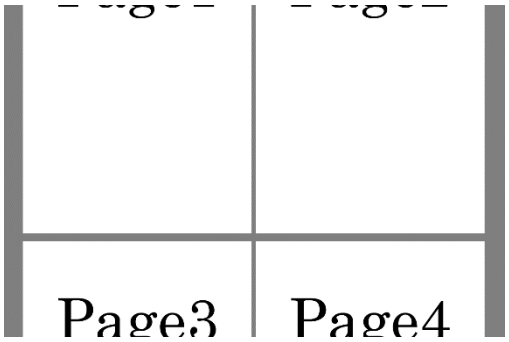
[**表示**]－[**ページ表示**]

連続ページ表示（初期状態）

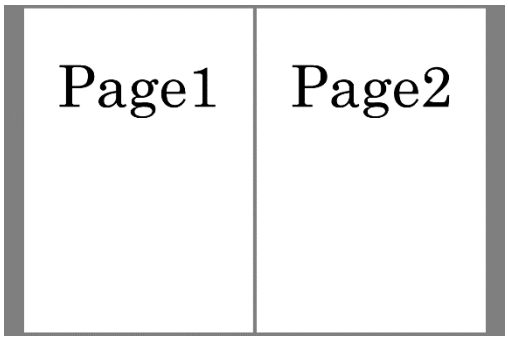



ページ単位表示

連続見開きページ表示




見開きページ表示



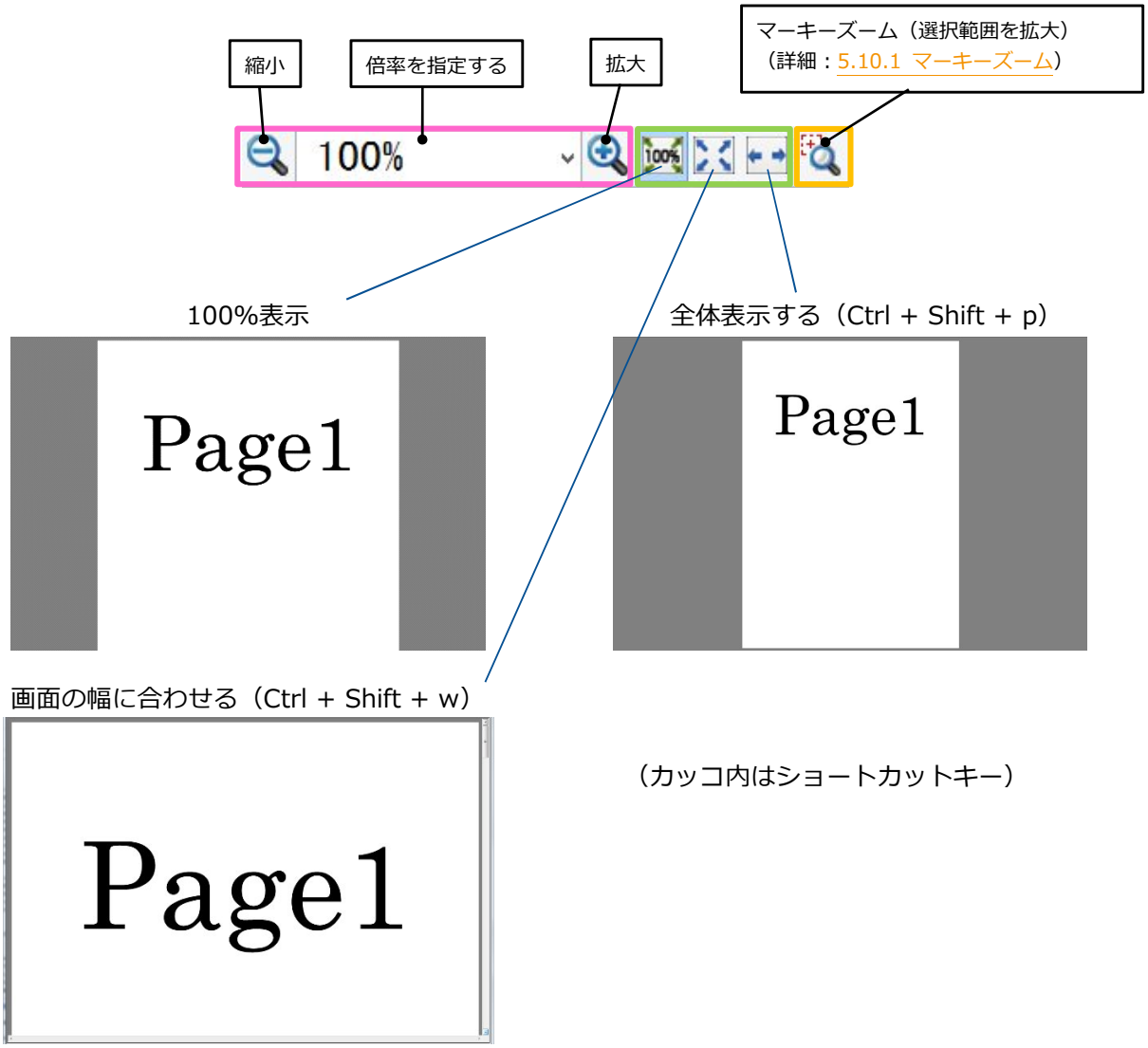


© 2015 SKYCOM Corporation

### 4.5.2 表示倍率を変更する（ズーム）

閲覧や編集作業時にPDFファイルを見やすくしたい場合、表示倍率を変更することができます。

**[表示]－[ツールバー]－[ズーム]**



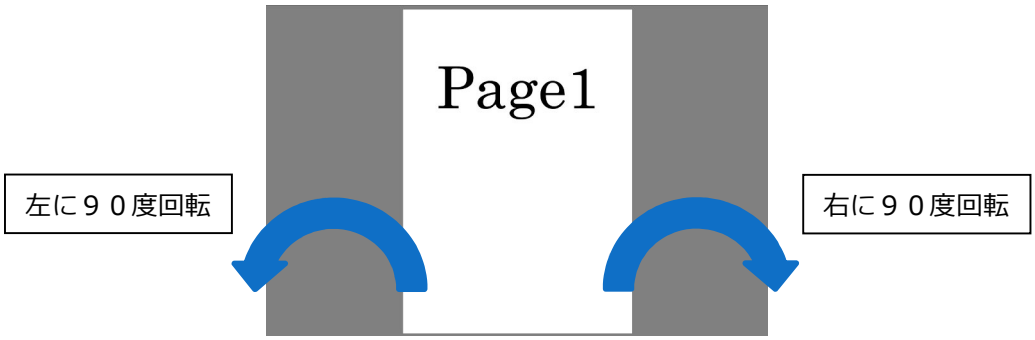

（カッコ内はショートカットキー）

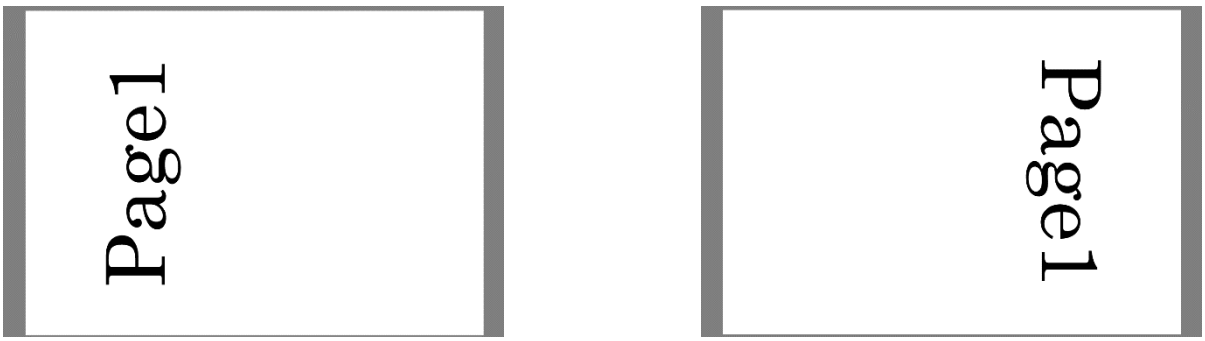
### 4.5.3 ページを回転する（回転）

PDFファイルの表示方向を左右に９０度回転させることができます。

[**表示**]－[**回転**]

例：全体表示時

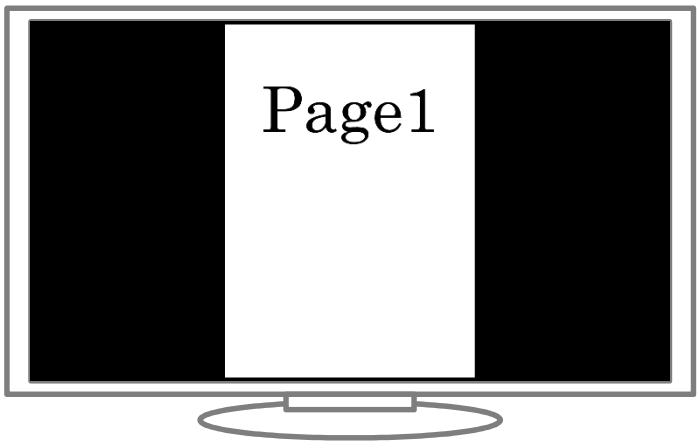



### 4.5.4 全画面表示にする

ご使用中の表示機器の画面全体にPDFファイルを表示します。

[**表示**]－[**全画面表示**]（ショートカットキー：Ctrl + g）

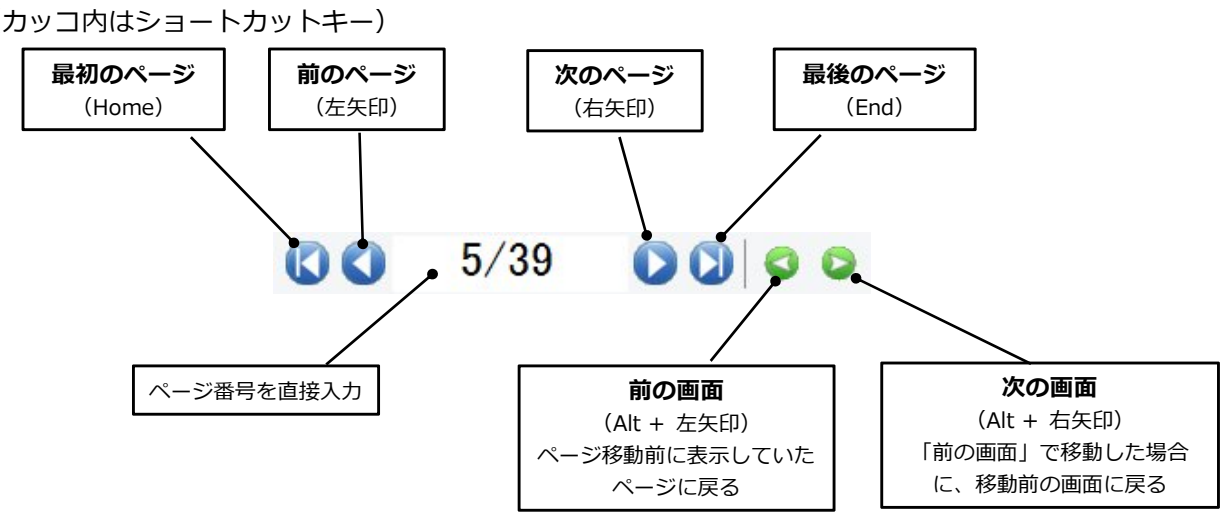



キーボード上の[**Esc**]キーを押すか、ショートカットキー「**Ctrl + g**」で終了します。


© 2015 SKYCOM Corporation

### 4.5.5 表示するページを切り替える

スクロールバーやマウススクロールによる移動のほかに、ページ番号を指定したり、ショートカットボタンをクリックしたりして、ページを移動することができます。




[前の画面/次の画面]は以下の場合に利用できます。

- 先頭ページ/最終ページ/前のページ/次のページの各移動
- ページ番号入力による移動
- スクロールによる移動
- しおり、リンク注釈による移動
- テキスト検索による移動
- 前回最終表示ページ（最大5ファイル分保持可能）

## 4.6 文字列を検索する

PDFファイルに含まれている文字列を指定して検索することができます。

[**表示**]－[**ツールバー**]－[**検索**]（ショートカットキー：**Ctrl + f**）

## 4.7 タッチで操作する（タッチ操作が可能な表示機器のみ有効）

タッチスクリーンのPCやタブレット端末で、マウスを使用せずに本製品をご使用になる場合、表示中のPDFファイルをタッチで操作できる機能です。

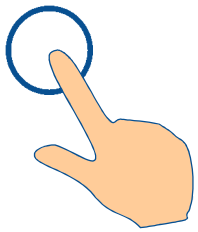
※ **Windows7以降のOSで有効な機能です**

サポートされている操作とマウス操作の対応は以下のとおりです。

| タッチ操作 | マウス操作 |
|---|---|
| **タップ** | 左クリック |
| **ダブルタップ** | ダブルクリック |
| **長押し** | 右クリック |
| **スワイプ** | スクロールホイール |
| **ピンチ** | [Ctrl]キー+スクロールホイール |

### 4.7.1 ページ移動（タップ操作）

表示中のPDFファイル内で指定領域を**タップ**すると、ページ移動ができます。

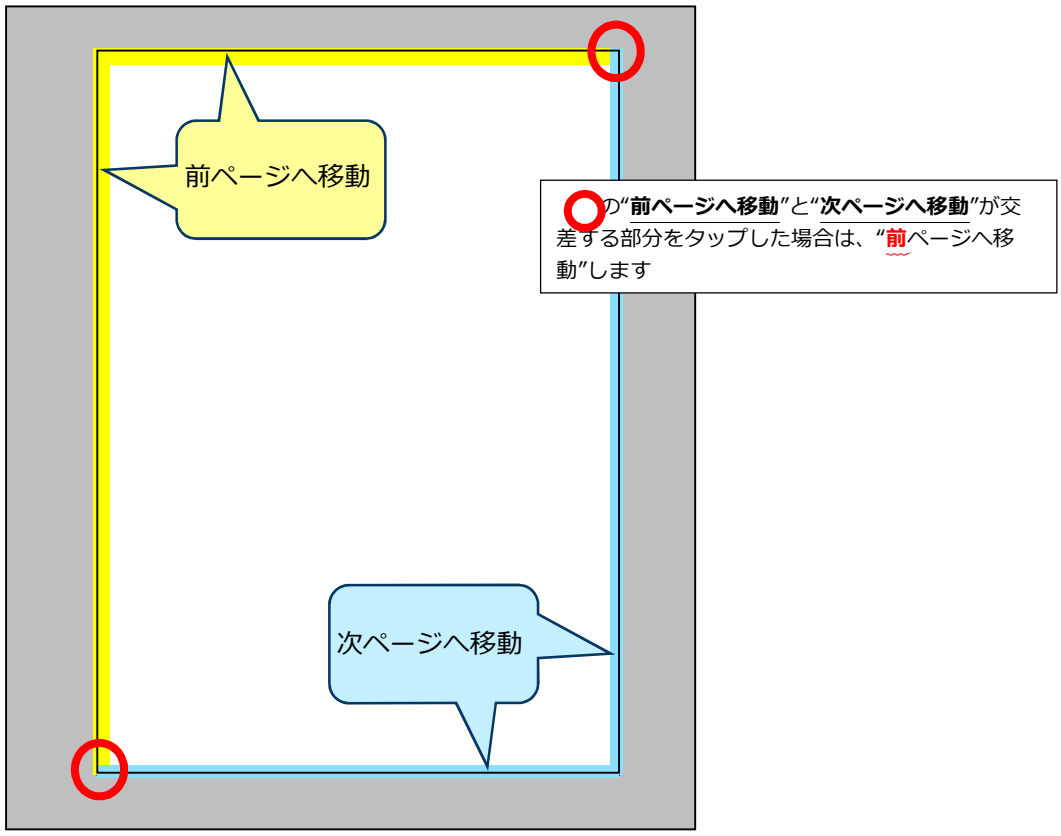


1. 使用条件
   - ページ表示状態　：ページ単位表示かつ全体表示
   - カーソル状態　：通常モード（注釈機能等を選択していない状態）
   - タッチポイント　：１点


© 2015 SKYCOM Corporation

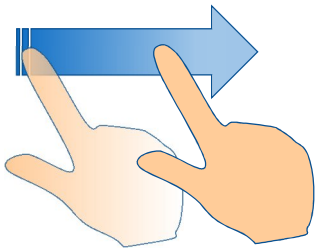
2. 有効範囲

表示中のPDFファイルの上下端および左右端



## 4.7.2 ページ移動（スワイプ操作）

表示中のPDFファイル上をスワイプすると、ページ移動ができます。

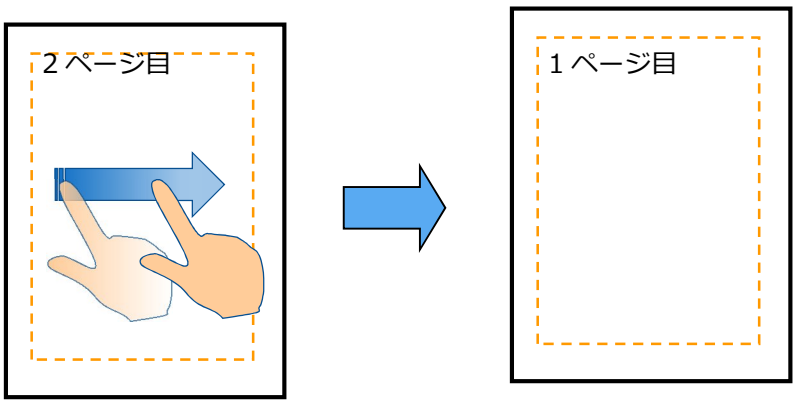


1. 使用条件
   - ページ表示　　：ページ単位表示
   - カーソル状態　　：通常モード
   - タッチポイント　　：１点

2. 有効範囲

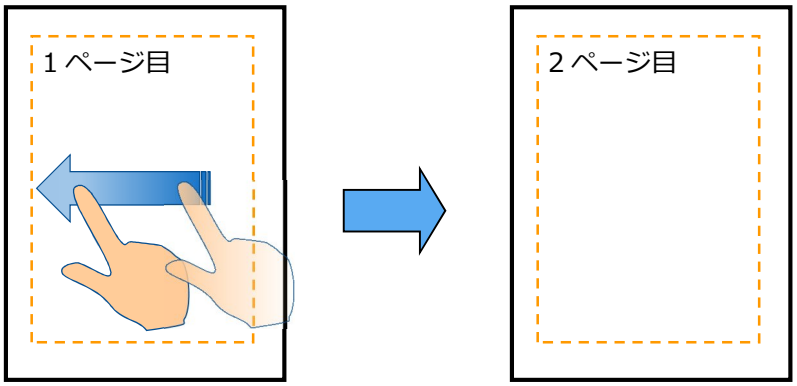
   ファイル表示エリア上（PDFファイルのエリア外も有効）

（1）　右方向へスワイプ操作：前のページへ移動




**操作のコツ**
画面を押さえ続けずに、すべらせるように指を動かします

（2）　左方向へスワイプ操作：次のページへ移動





© 2015 SKYCOM Corporation

### 4.7.3 ページの拡大表示（ダブルタップ操作）

表示中の PDF ファイルを**ダブルタップ**すると、ページを拡大表示できます。

1. 使用条件

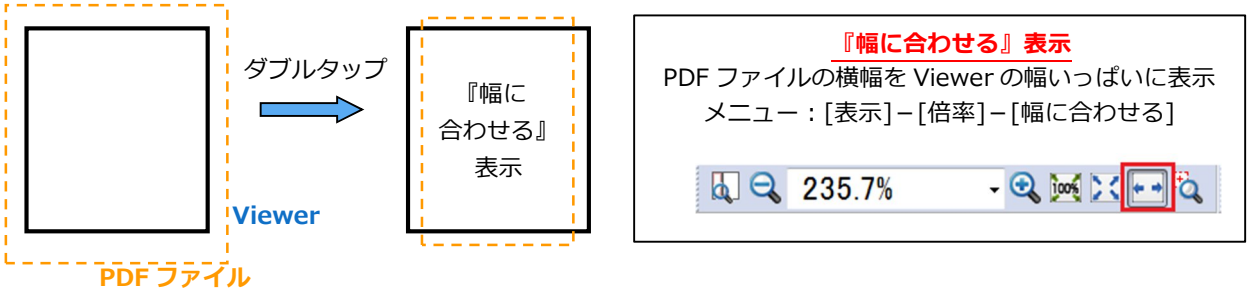
   なし

2. 有効範囲

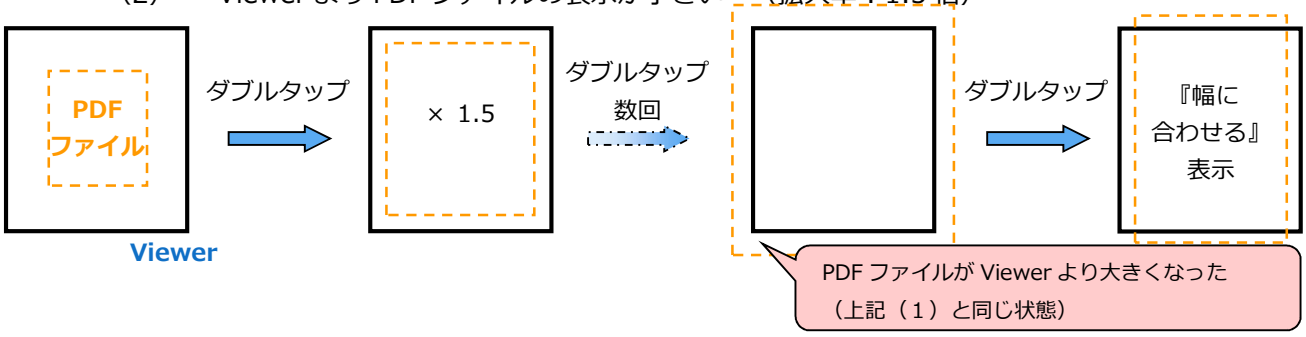
   表示中のPDFファイル上（エリア外では機能しない）

3. 拡大率

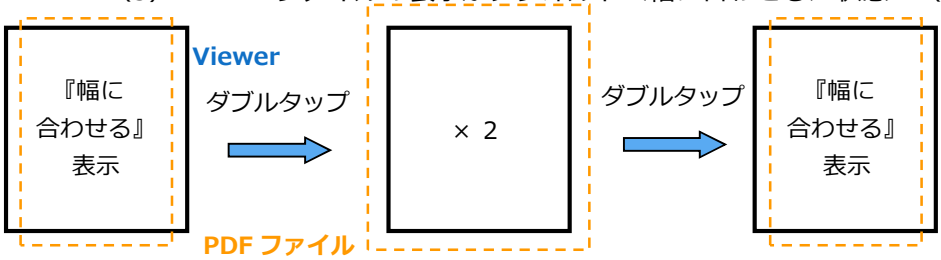
（1） Viewer より PDF ファイルの表示が大きい（拡大せず、[**幅に合わせる**]表示に縮小）




（2） Viewer より PDF ファイルの表示が小さい （拡大率：1.5 倍）




（3） PDF ファイルの表示がデフォルト＜幅に合わせる＞状態 （拡大率：2 倍）



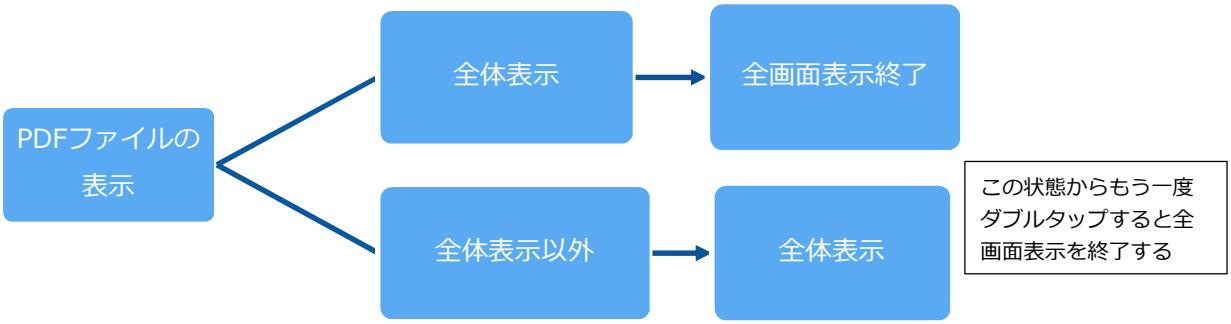

© 2015 SKYCOM Corporation

4. 特定条件下での機能

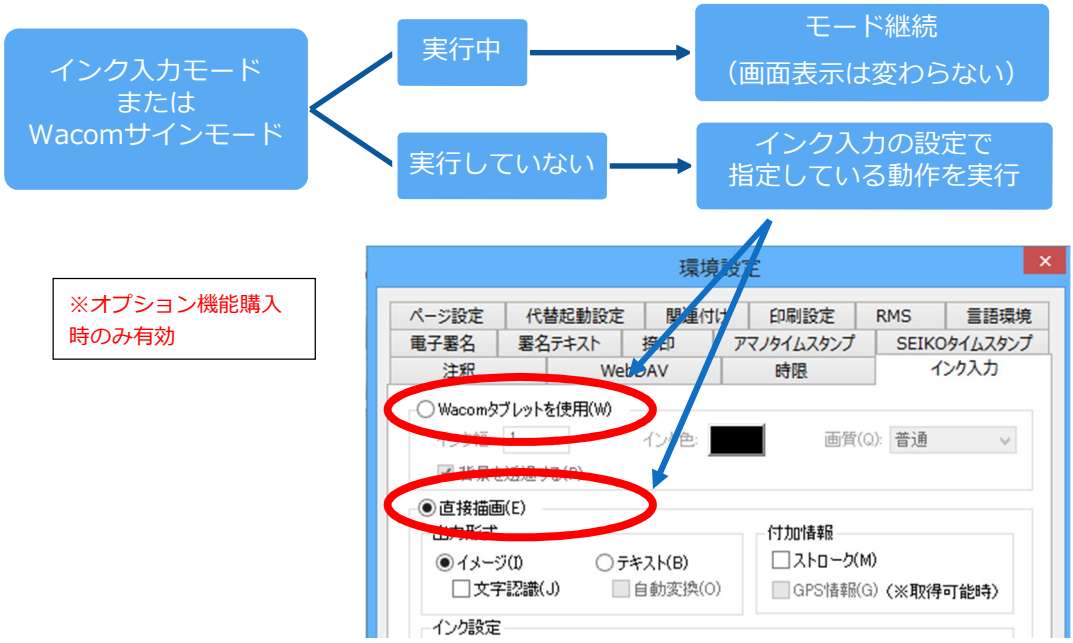
（1） 全画面表示中（メニュー：「表示」－「全画面表示」）

※鉛筆注釈／消しゴム注釈描画中ではない状態

ページ領域**内**でダブルタップを 1 回実行




ページ領域外でダブルタップを 1 回実行



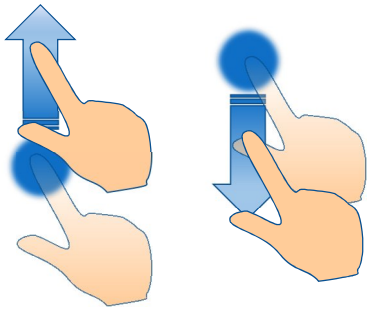

（2） 鉛筆注釈／消しゴム注釈描画中

- ページ領域をダブルタップ・・・描画を確定
- ページ領域外をダブルタップ・・・描画をキャンセル


© 2015 SKYCOM Corporation

## 4.7.4 ページのスクロール（パン操作）

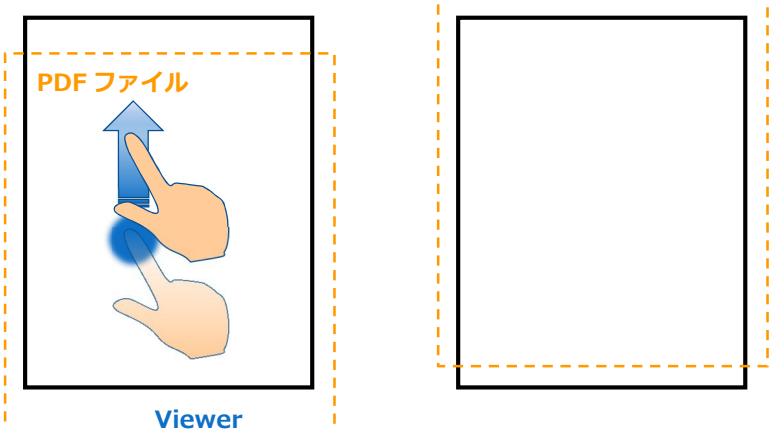
パン操作で、表示中のPDFファイルをスクロールします。



1. 使用条件
   1. ページ表示状態：スクロール可能状態
      ※『ページ単位表示』かつ『全体表示』時は機能しない
   2. カーソル状態：通常モード（注釈機能等を選択していない状態）
2. 有効範囲

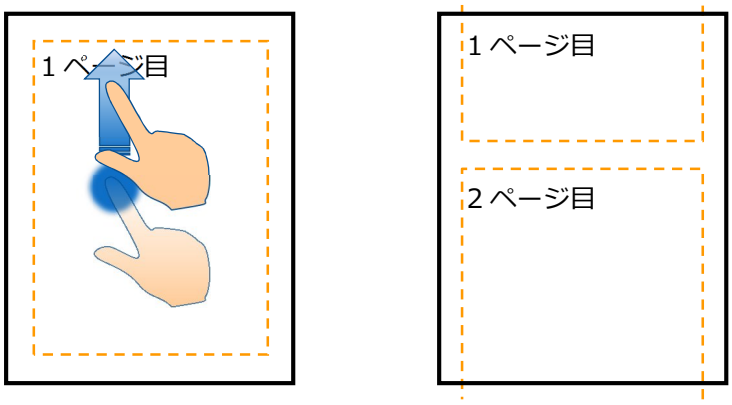
ファイル表示エリア上（PDF ファイルのエリア外も有効）
スクロール時に指をデバイスから離した場合、スクロールが維持されます（慣性スクロール）

（1） ページ単位表示（表示ページ内のみスクロール）




上方にパンすると表示中のページの最下部までスクロールされる
（下方へのパンは、表示中のページの最上部までのスクロール）

（2） 連続表示（ページをまたいでスクロール可）

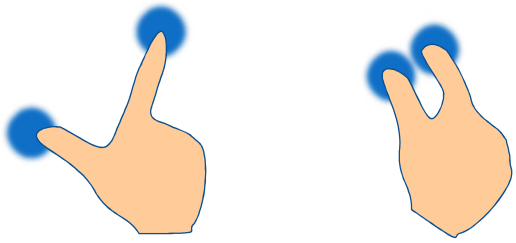



上方にパンすると、次ページ以降、最終ページまでスクロール可能
（下方へのパンは、ページをさかのぼり、1 ページ目までスクロール可能）

© 2015 SKYCOM Corporation

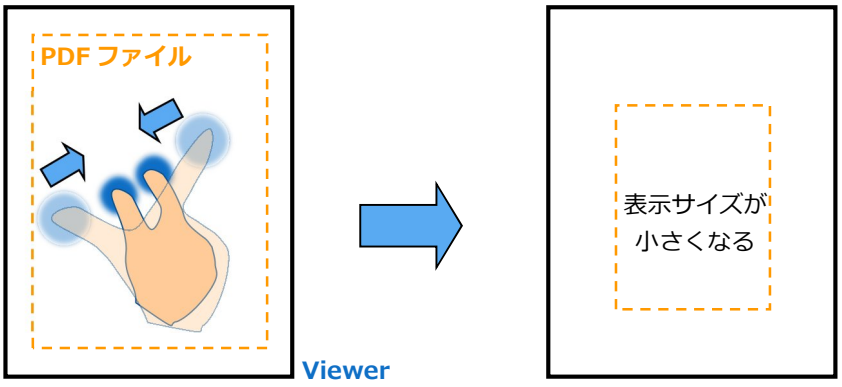
### 4.7.5 ズーム機能（ピンチイン／ピンチアウト操作）

ピンチイン／ピンチアウト操作で、表示中のPDFファイルを拡大／縮小表示します。

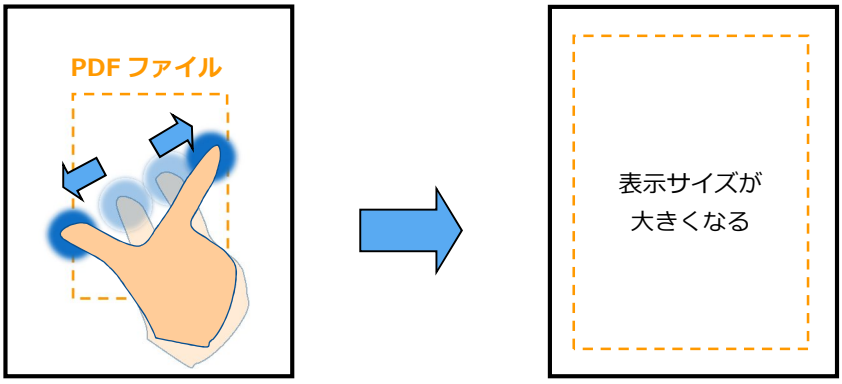


1. 使用条件
   タッチポイント：２点
2. 有効範囲
   ファイル表示エリア上（PDFファイルのエリア外は無効）

（1） ピンチイン（縮小）
2点間をつまむように動かす




（2） ピンチアウト（拡大）
2点間を広げるように動かす

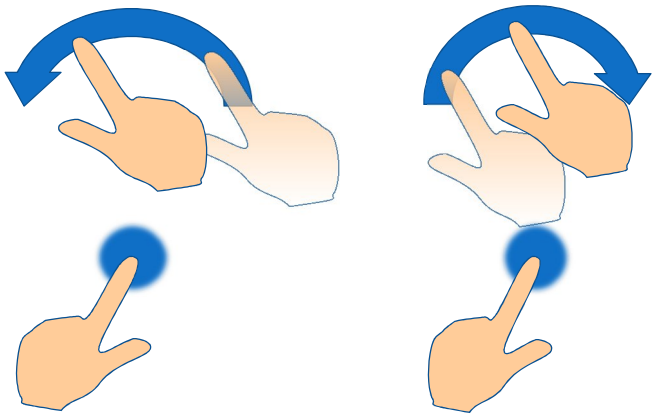




© 2015 SKYCOM Corporation

## 4.7.6 ページの回転表示（回転操作）

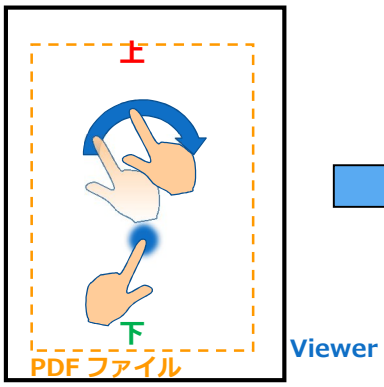
表示中のPDFファイルを回転表示します。（メニュー：「**表示**」－「**回転**」と同一動作）



1. 使用条件
   タッチポイント：２点

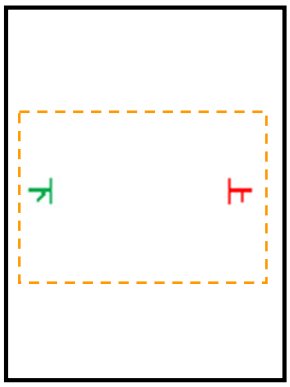
2. 有効範囲
   ファイル表示エリア上（PDFファイルのエリア外は無効）

（1） 時計回りに 90 度以上



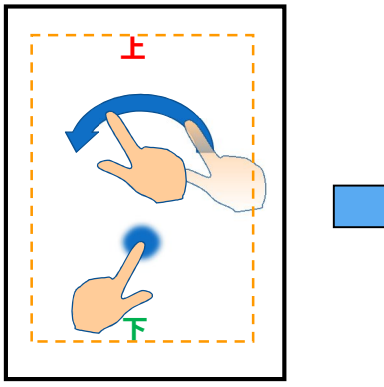

Viewer

右に 90 度回転

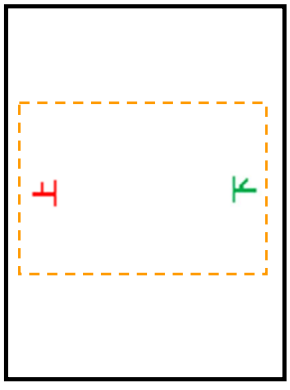



**操作のコツ**
支点にした指（例では左手）を動かさないようにして、その周りに弧を描くように右手を動かし、両手を同時に画面から離します

（2） 反時計回りに 90 度以上

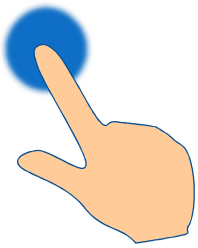



左に 90 度回転



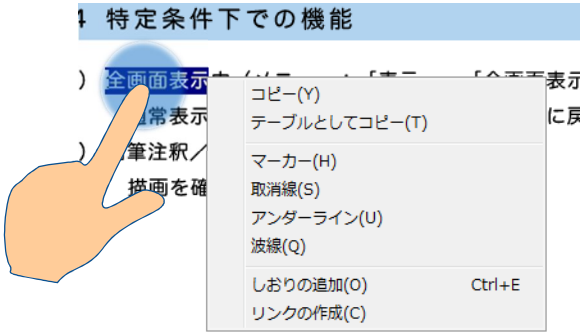
### 4.7.7 コンテキストメニュー表示（長押し操作）

画面上を長押しすると、ツールメニュー実行時のコンテキストメニューを表示できます



1. 使用条件
   タッチポイント：１点（２点以上は無効）
   タッチ継続時間：1.5秒以上

2. 有効範囲
   ファイル表示エリア上（PDFファイルのエリア外では無効）





© 2015 SKYCOM Corporation

# 5 PDF ファイルを編集する

SkyPDF Standard / Professional で PDF ファイルを表示すると、さまざまな編集を行うことができます。

本章では、それぞれの編集機能について、操作手順を説明します。

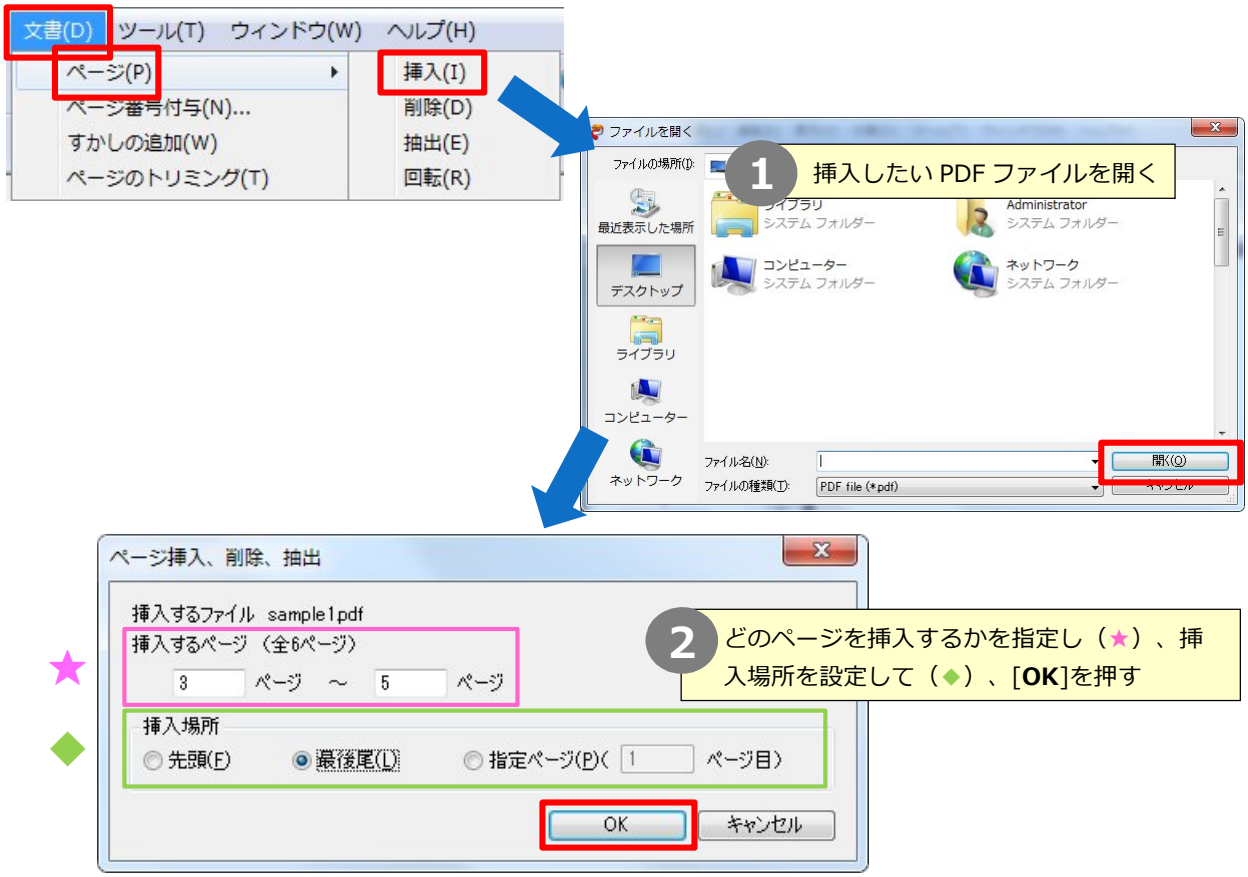
## 5.1 ページを編集する Professional

### 5.1.1 ページを挿入する

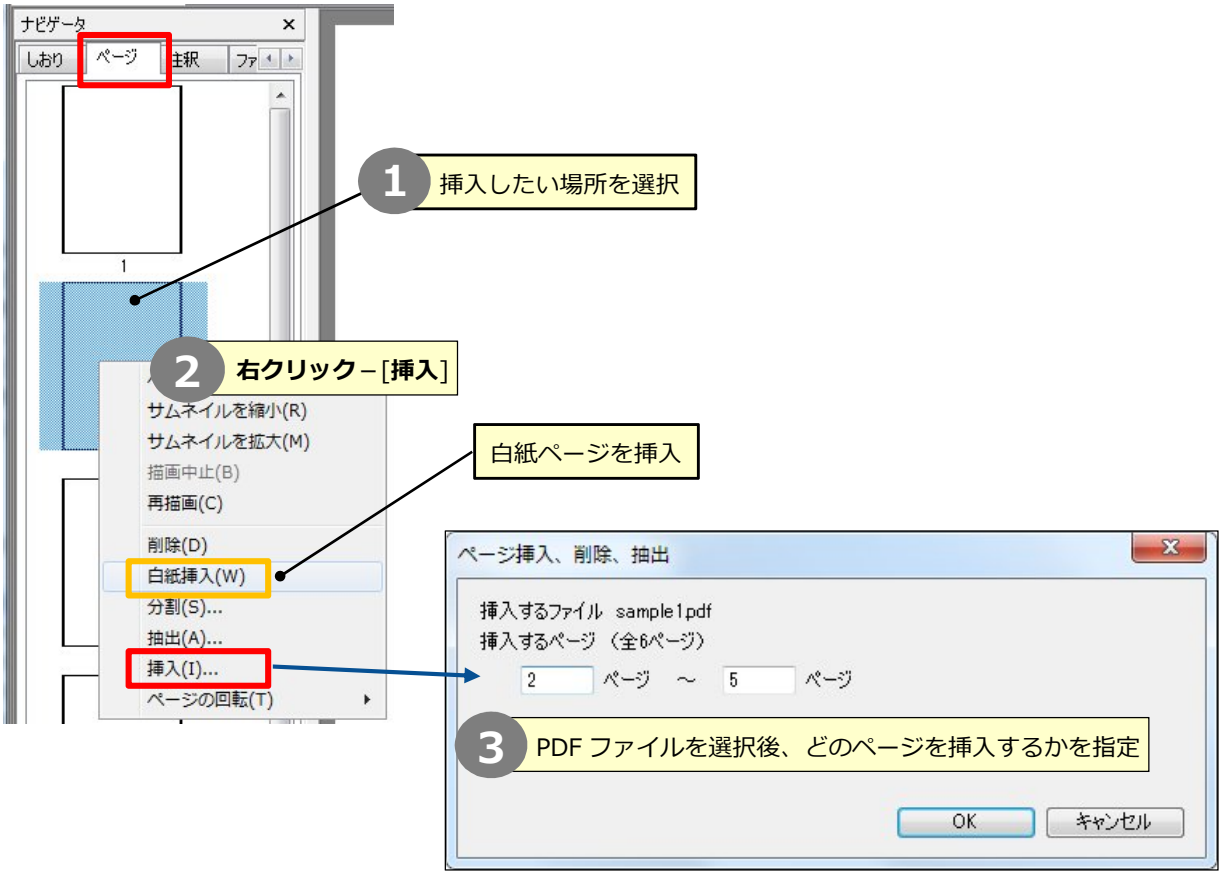
表示中のPDFファイルに、別のPDFファイル内のページを挿入することができます。

**メニューバーから操作**

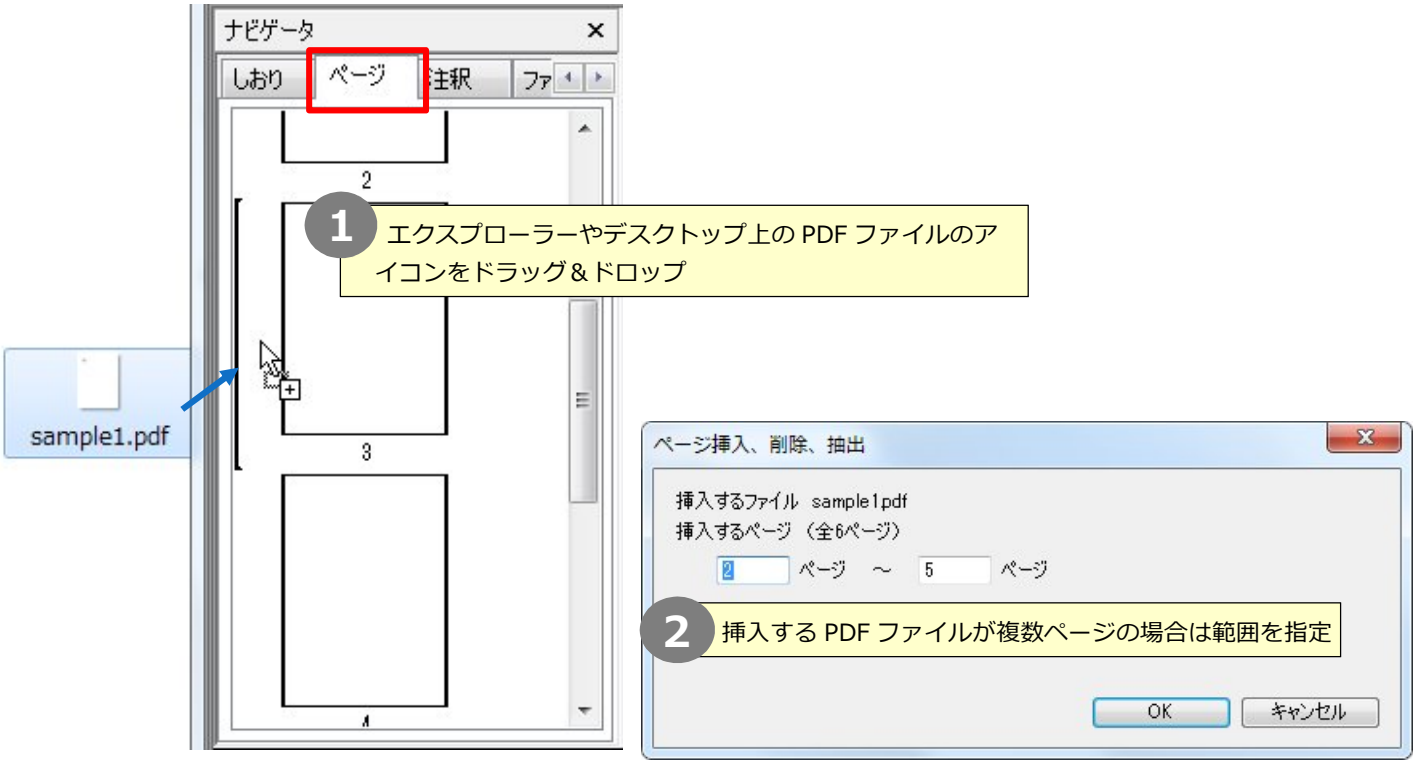
[**文書**]－[**ページ**]－[**挿入**]



## ナビゲータから操作１（コンテキストメニュー）




## ナビゲータから操作２（ドラッグ＆ドロップ）





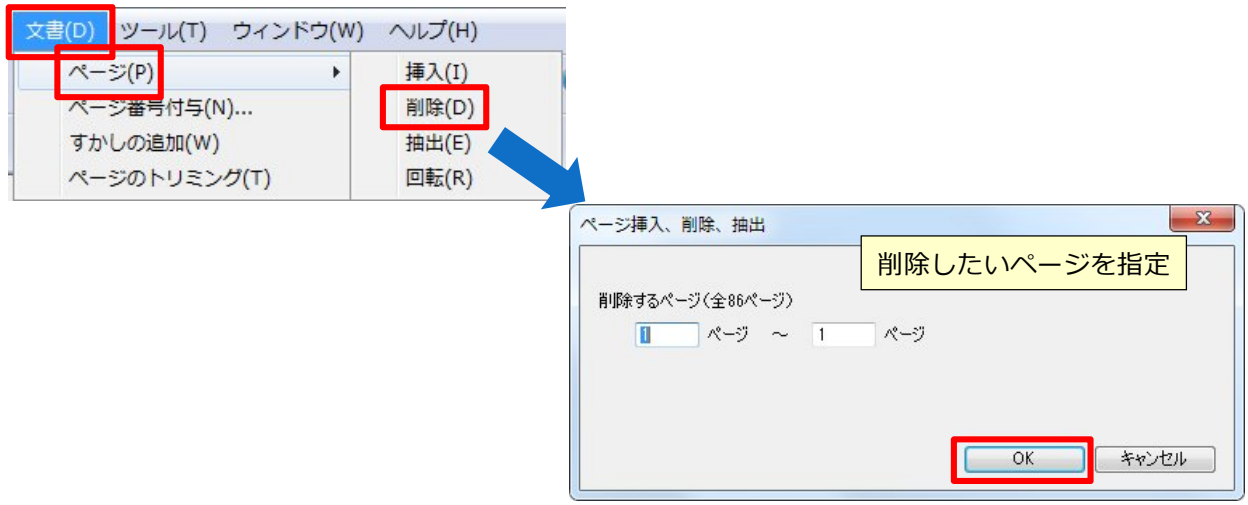
© 2015 SKYCOM Corporation

## 5.1.2 ページを削除する

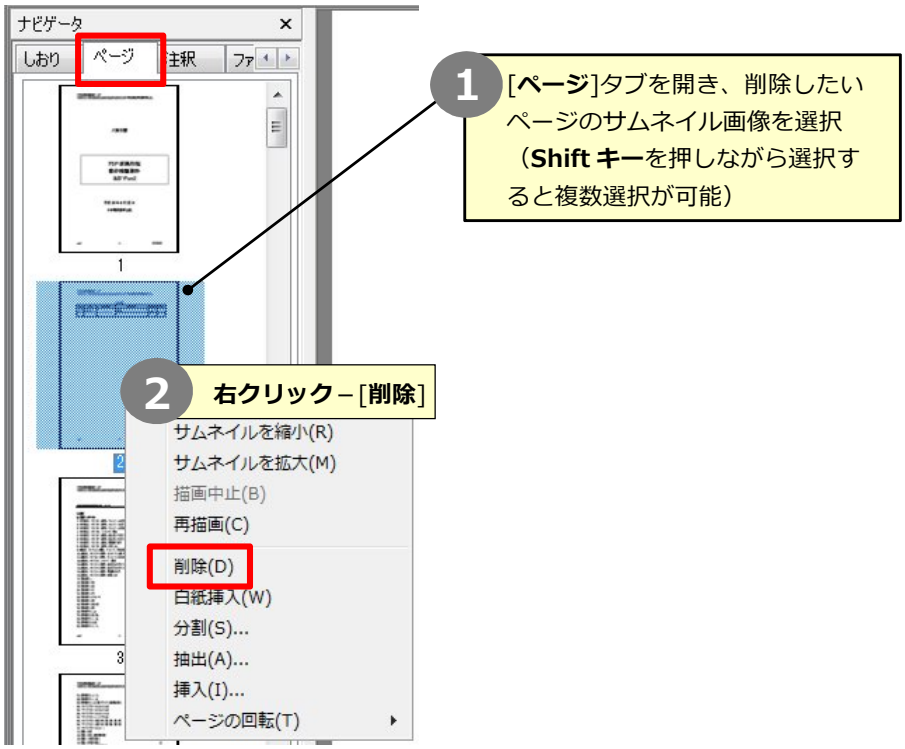
表示中のPDFファイルから、不要なページを削除することができます。

### メニューバーから操作

**[文書]－[ページ]－[削除]**




### ナビゲータから操作




© 2015 SKYCOM Corporation

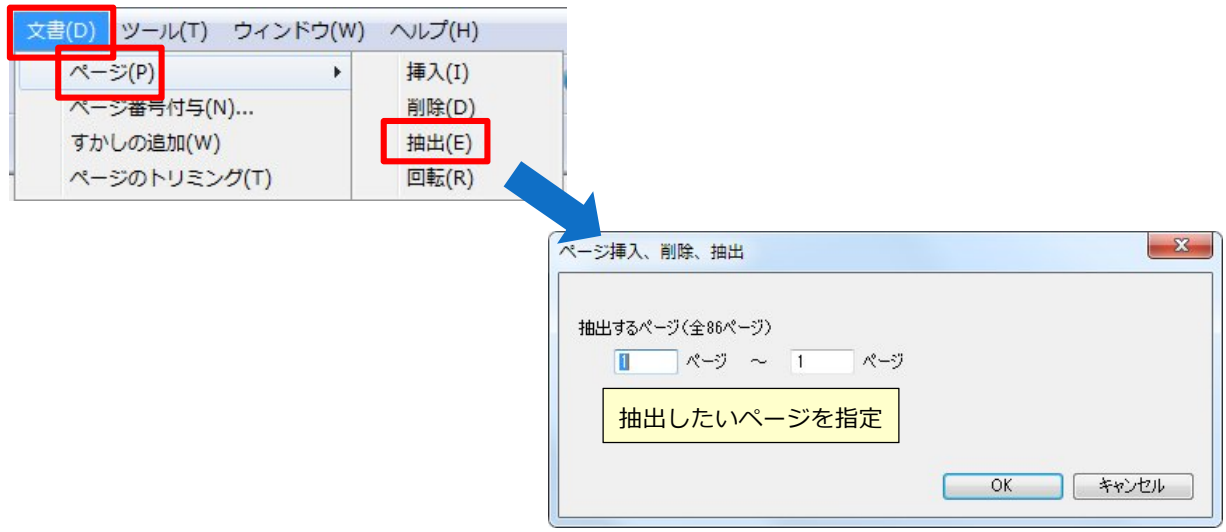
## 5.1.3 ページを抽出する

表示中のPDFファイルから、指定したページのコピーを作成することができます。

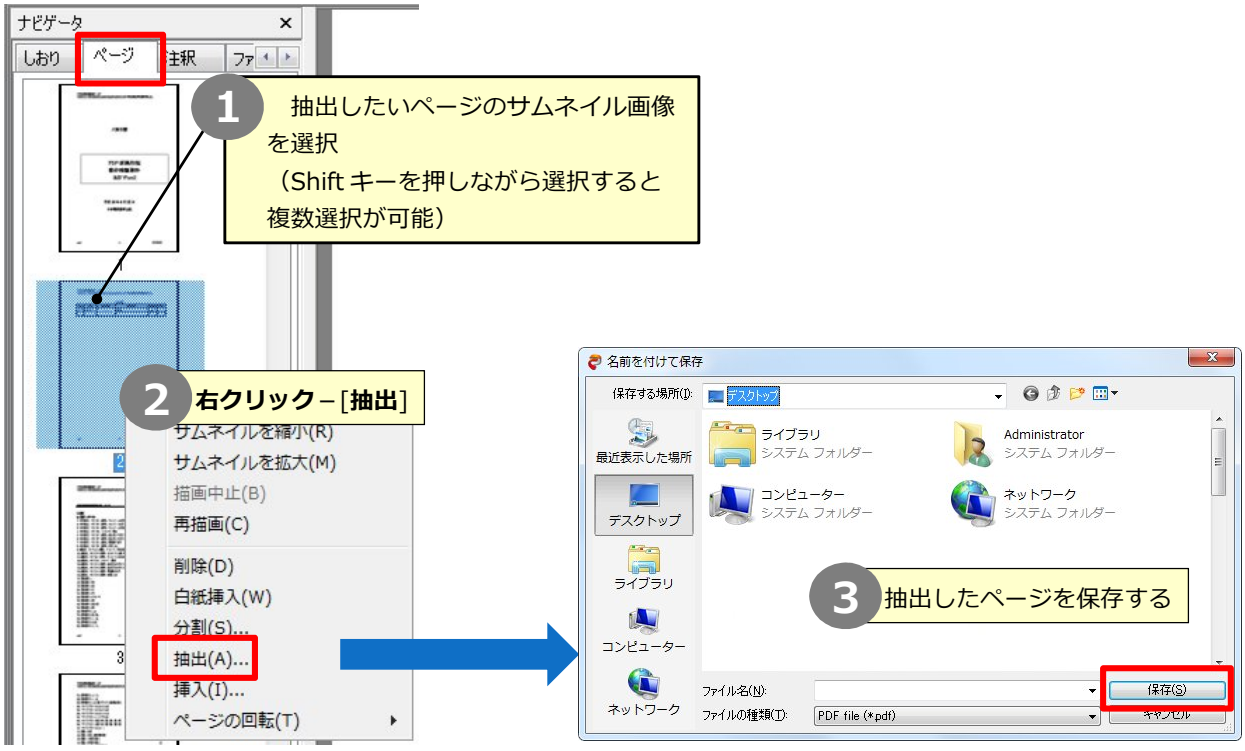
※　抽出禁止のセキュリティが付与されているPDFファイルは抽出できません。

### メニューバーから操作

**[文書]－[ページ]－[抽出]**



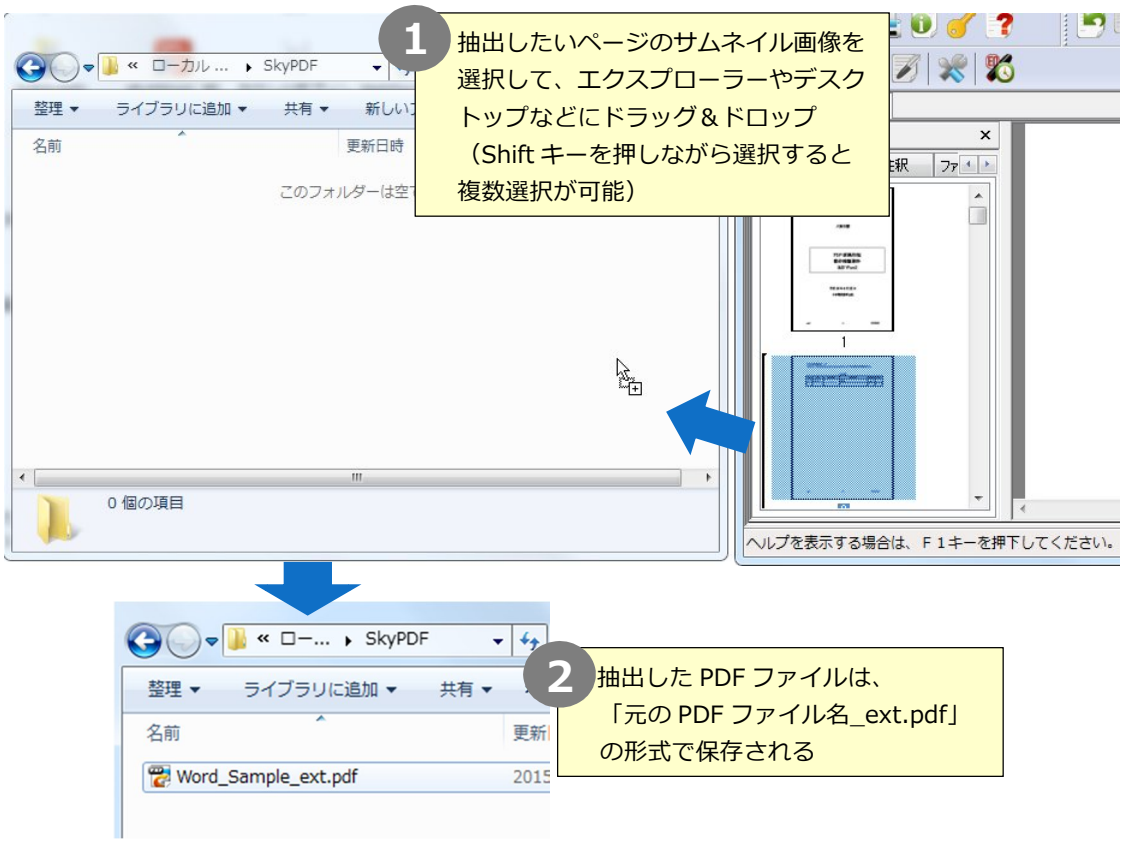

### ナビゲータから操作１（コンテキストメニュー）





© 2015 SKYCOM Corporation

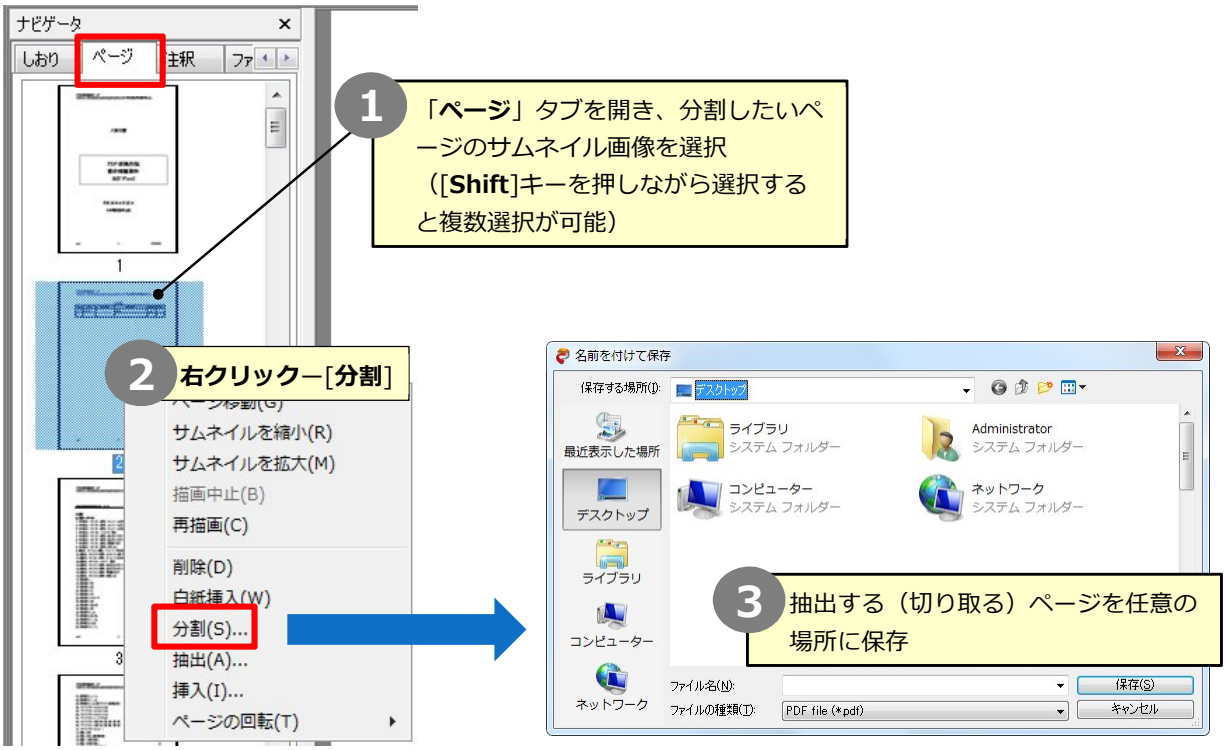
## ナビゲータから操作２（ドラッグ＆ドロップ）



## 5.1.4 ページを分割する

表示中のPDFファイルから、指定したページを切り取ることができます。

**ナビゲータから操作（コンテキストメニュー）**

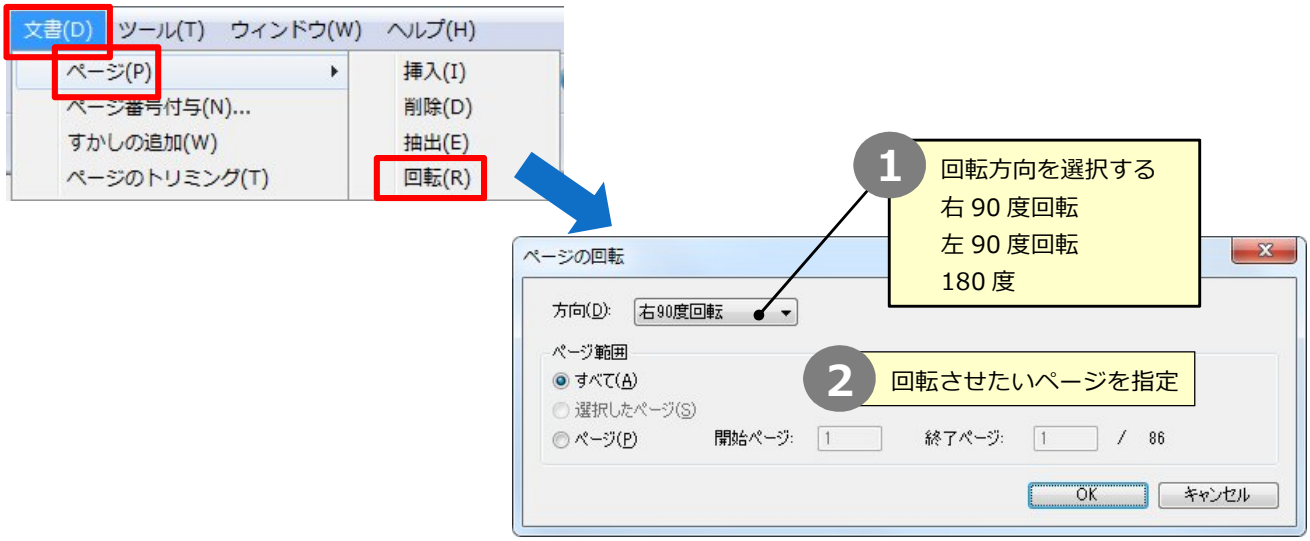



## 5.1.5 ページを回転する

ページ表示を「回転」させた状態で保存することができます。

**メニューバーから操作**

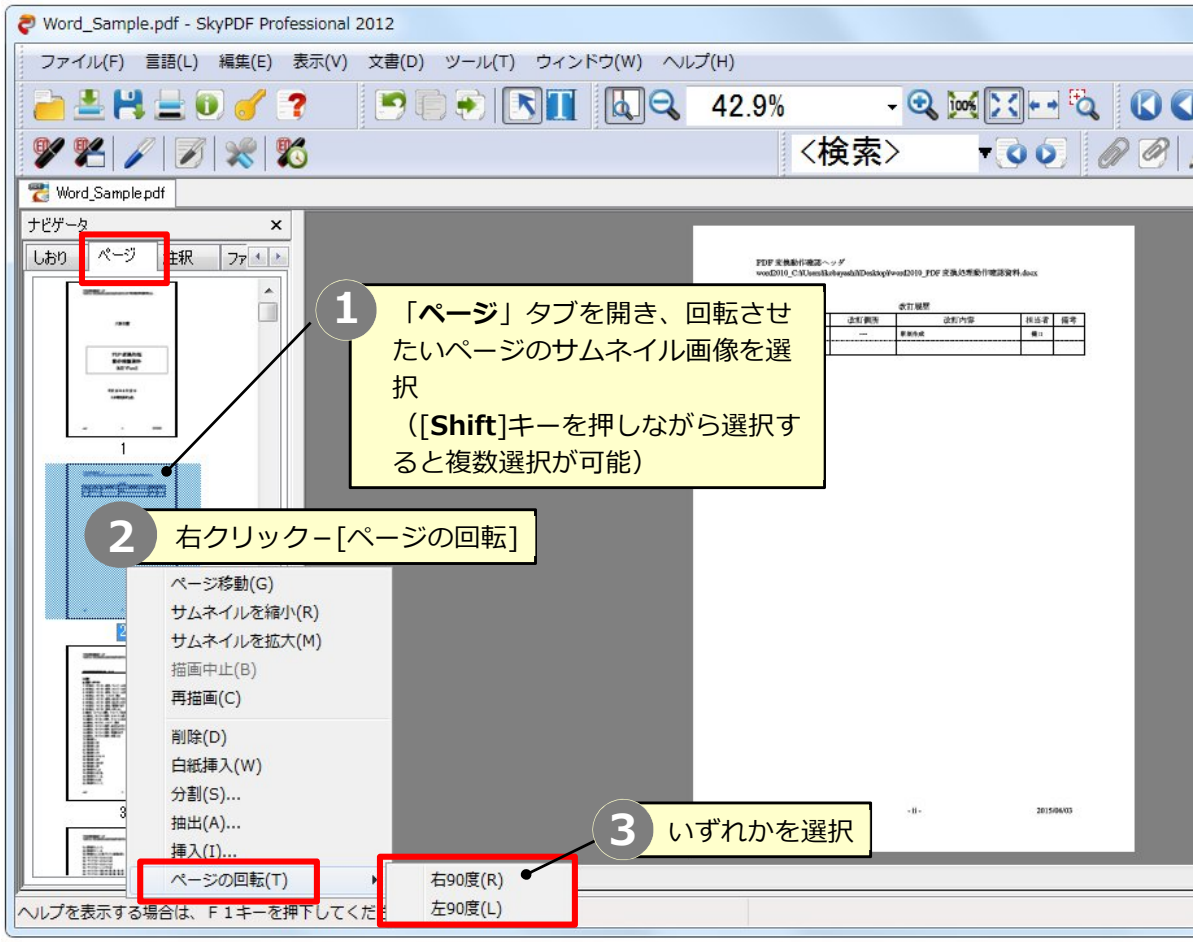
[**文書**]－[**ページ**]－[**回転**]

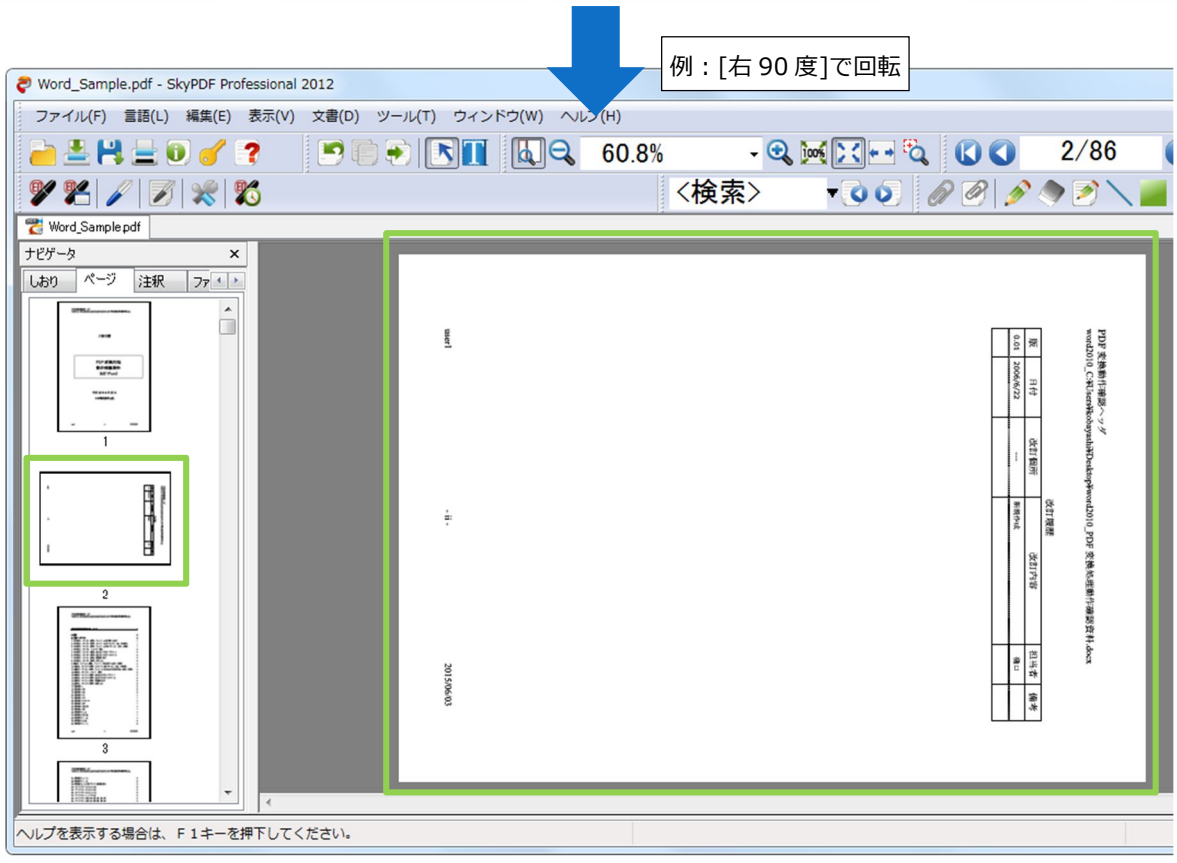




© 2015 SKYCOM Corporation

## ナビゲータから操作


Word_Sample.pdf - SkyPDF Professional 2012
ファイル(F) 言語(L) 編集(E) 表示(V) 文書(D) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
42.9%
<検索>
Word_Sample.pdf
ナビゲータ
しおり
ページ
注釈
1
「ページ」タブを開き、回転させたいページのサムネイル画像を選択
（[Shift]キーを押しながら選択すると複数選択が可能）
2
右クリック－[ページの回転]
ページ移動(G)
サムネイルを縮小(R)
サムネイルを拡大(M)
描画中止(B)
再描画(C)
削除(D)
白紙挿入(W)
分割(S)...
抽出(A)...
挿入(I)...
ページの回転(T)
右90度(R)
左90度(L)
3
いずれかを選択
ヘルプを表示する場合は、Ｆ１キーを押下してくだ

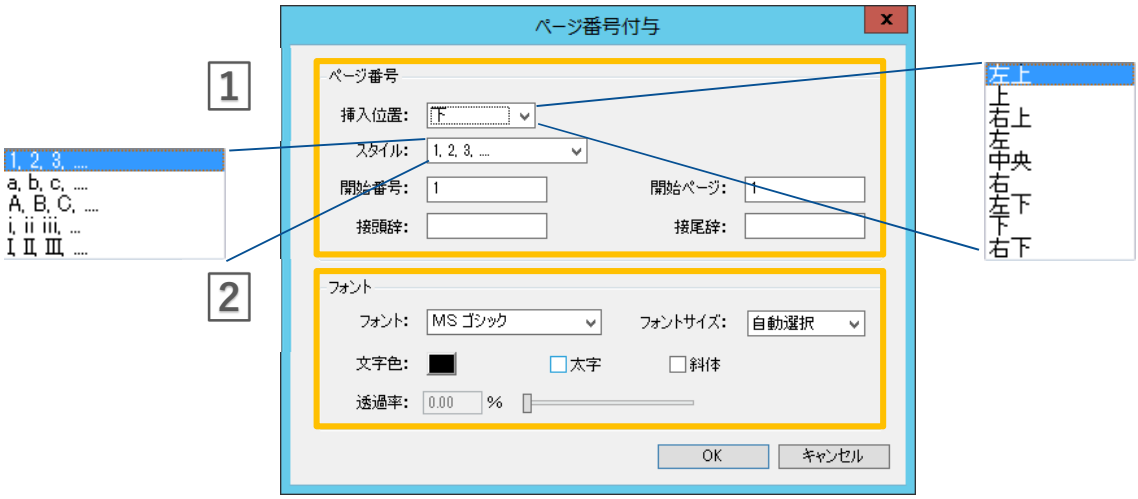

例：[右 90 度]で回転
Word_Sample.pdf - SkyPDF Professional 2012
ファイル(F) 言語(L) 編集(E) 表示(V) 文書(D) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
60.8%
2/86
<検索>
Word_Sample.pdf
ナビゲータ
しおり
ページ
注釈
ヘルプを表示する場合は、Ｆ１キーを押下してください。

## 5.1.6 ページ番号を付与する

PDFファイル内にページ番号を付与することができます。

[**文書**]－[**ページ番号付与**]

各項目を設定したら[**OK**]を押します。




### 1 ページ番号

| | 詳細 |
|---|---|
| **挿入位置** | ページ番号を挿入する位置を指定 |
| **スタイル** | ページ番号のスタイルを指定 |
| **開始番号** | ページ番号の最初の番号を指定 |
| **開始ページ** | ページ番号を付与する最初のページを指定 |
| **接頭辞** | ページ番号の**前**に付与する文字を指定<br>例：-（半角ハイフン）を指定　-1 |
| **接尾辞** | ページ番号の**後ろ**に付与する文字を指定<br>例：-（半角ハイフン）を指定　1- |

### 2 フォント

| | 詳細 |
|---|---|
| **フォント** | ペーに番号のフォントを指定 |
| **フォントサイズ** | ページ番号の文字サイズを指定 |
| **文字色** | ページ番号の文字色を指定 |
| **太字** | ページ番号を太字にする場合に ON |
| **斜体** | ページ番号を斜体にする場合に ON |
| **透過率** | ページ番号を透過する場合に、バーを左右に操作して透過率を指定 |

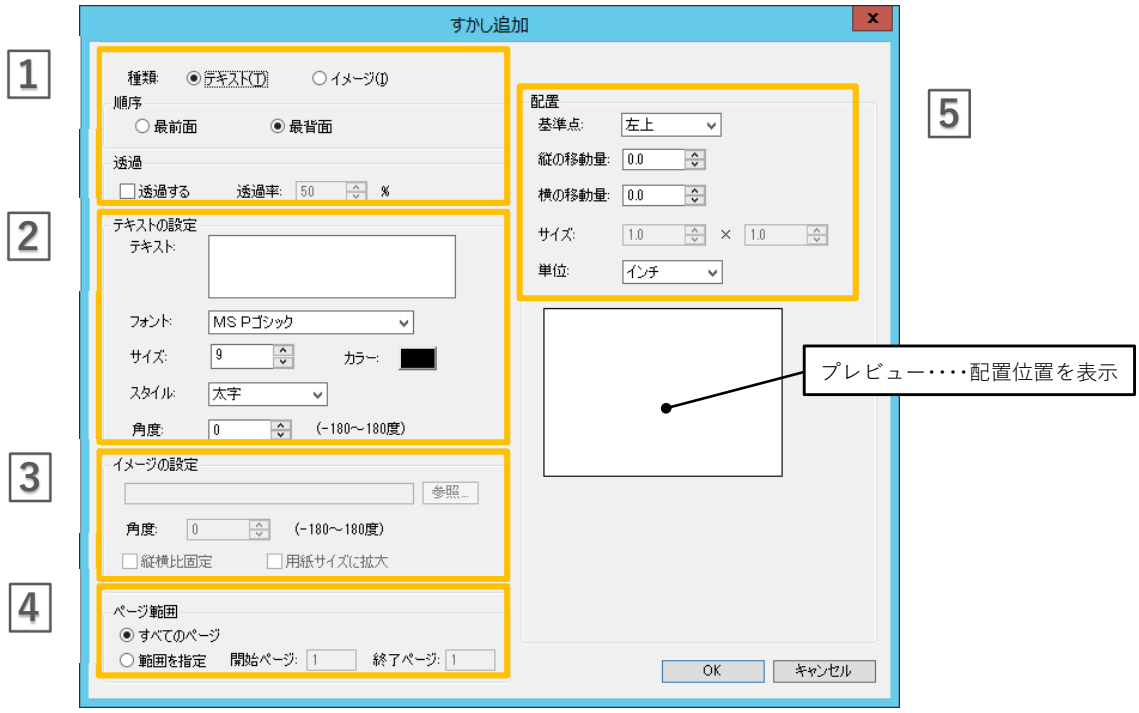

© 2015 SKYCOM Corporation

## 5.1.7 すかしを追加する

PDFファイル内にすかしを追加することができます。

**[文書]－[すかしの追加]**

各項目を設定したら[**OK**]を押します。




### 1 種類・順序・透過

| | 詳細 |
|---|---|
| **テキスト** | すかしとしてテキストを挿入 |
| **イメージ** | すかしとして画像を挿入 |
| **最前面** | PDF ファイルの前面にすかしを挿入 |
| **最背面** | PDF ファイルの背面にすかしを挿入 |
| **透過する** | すかしの透過率を設定 |
| **透過率** | 0～100%の間で設定<br>0%：透明、100%：透過されない |

### 2 テキストの設定

すかしとして挿入するテキストの設定を行います。

| | 詳細 |
|---|---|
| **テキスト** | すかしとして挿入する文字列 |
| **フォント** | 文字のフォント |
| **サイズ** | 文字のサイズ |
| **カラー** | 文字の色 |
| **スタイル** | 文字のスタイル（標準/太字/斜体/太字斜体） |
| **角度** | 文字列の表示角度 |

### 3 イメージの設定

すかしとして挿入する画像の設定を行います。

| | 詳細 |
|---|---|
| **参照** | テキストボックスに直接入力するか、[**参照**]を押して、画像のファイルパスを指定 |
| **角度** | 画像の表示角度 |
| **縦横比固定** | 縦横の比率を変えずに画像のサイズを変更する |
| **用紙サイズに拡大** | 画像を用紙全体に拡大 |

### 4 ページ範囲

| | 詳細 |
|---|---|
| **すべてのページ** | PDF ファイルの全ページにすかしを挿入 |
| **範囲を指定** | 指定した範囲にのみすかしを挿入<br>**開始ページ**：すかしを挿入する最初のページ<br>**終了ページ**：すかしを挿入する最後のページ |

### 5 イメージの設定

| | 詳細 |
|---|---|
| **基準点** | テキストや画像の位置の基準となる位置 |
| **縦の移動量** | 基準点で指定した位置から上下に移動したい数値を指定<br>**上**に移動させたい場合：**負**の数値<br>**下**に移動させたい場合：**正**の数値 |
| **横の移動量** | 基準点で指定した位置から左右に移動したい数値を指定<br>**左**に移動させたい場合：**負**の数値<br>**右**に移動させたい場合：**正**の数値 |
| **サイズ** | 画像のサイズを入力<br>イメージの設定の[縦横比固定]を ON にしている場合は、いずれかの値を変更すると、もう一方は自動的に変更される |
| **単位** | 縦横の移動量やサイズの指定で使用する単位<br>インチ/ポイント/ミリ<br>1 インチ＝72 ポイント＝25.4 ミリ |

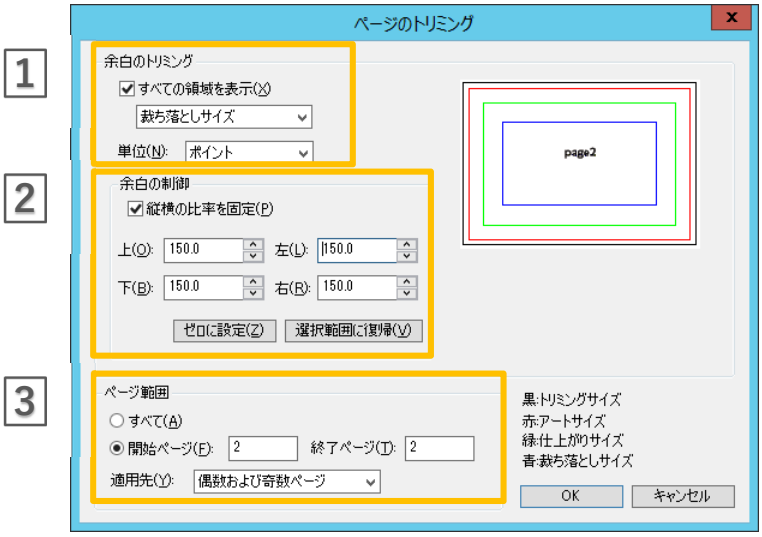

© 2015 SKYCOM Corporation

## 5.1.8 ページをトリミングする

表示中のページをトリミングすることができます。

[**文書**] – [**ページのトリミング**]

各項目を設定したら[**OK**]を押します。




### 1 余白のトリミング

| | 詳細 |
|---|---|
| **すべての領域を表示** | プレビュー図に、トリミングサイズ・アートサイズ・仕上がりサイズ・裁ち落としサイズすべてを色分けして表示します。 |
| **トリミングサイズ** | 表示または印刷したときのページコンテンツの境界線 |
| **アートサイズ** | 空白を含む、ページ内のオブジェクトなどのコンテンツ |
| **仕上がりサイズ** | ページの最終寸法 |
| **裁ち落としサイズ** | ページをプリプレス印刷するときの、紙の裁断や折りのための裁ち落とし領域 |

### 2 余白の制御

| | 詳細 |
|---|---|
| **縦横の比率を固定** | トリミングの縦横比を固定して、上下左右の余白を同じサイズに設定<br>※ページ領域が 3 × 3 ポイント以下になるような余白サイズは指定できない |
| **上 / 下 / 右 / 左** | 選択中のトリミング種別の上下左右の余白サイズを設定 |
| **ゼロに設定** | 選択中のトリミング種別の上下左右の値をゼロに戻す |
| **選択範囲に復帰** | 選択中のトリミング種別の上下左右の値を変更前の値に戻す |

© 2015 SKYCOM Corporation

### 3 ページ範囲

トリミングを適用するページを指定します。

| | 詳細 |
|---|---|
| **すべて** | PDF ファイル全ページに適用 |
| **開始ページ** | トリミングを適用する最初のページを指定 |
| **終了ページ** | トリミングを適用する最後のページを指定 |
| **適用先-偶数および奇数ページ** | 指定した範囲の全ページに適用 |
| **適用先-奇数ページ** | 指定した範囲の奇数ページにのみ適用 |
| **適用先-偶数ページ** | 指定した範囲の偶数ページにのみ適用 |


© 2015 SKYCOM Corporation

## 5.2　マーカー/取消線/アンダーライン/波線をひく Professional

テキスト装飾機能で、PDF ファイル上の文字にマーカー・取消線・アンダーライン・波線をひくことができます。付与方法は以下の２通りです。

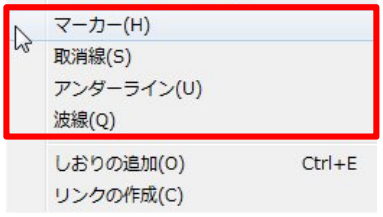
**テキスト選択モードで実行**

[編集]－[選択モード]（ T ）

1 テキストを選択

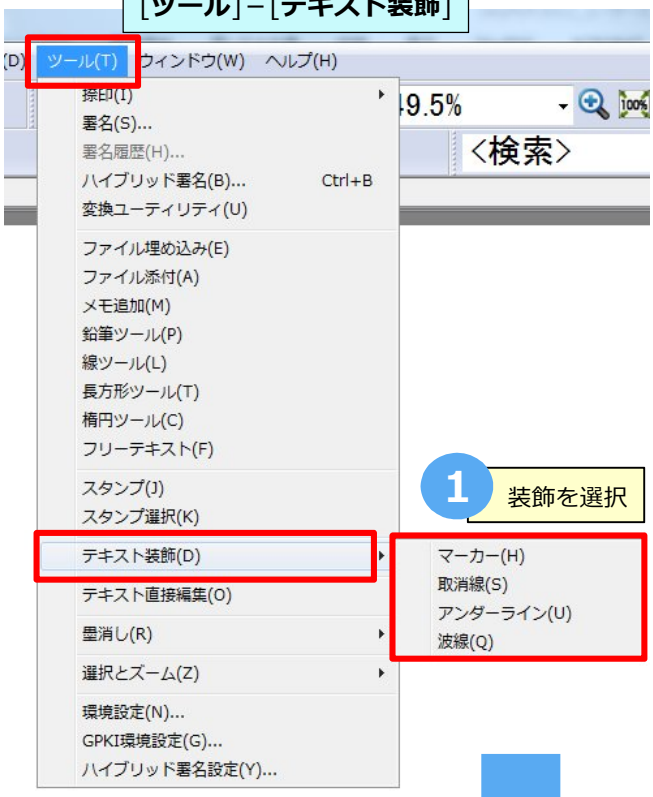
どこで生れたかとんと見当がつ;
でも薄暗いじめじめした
泣いていた事だけは記

2 右クリックメニューから装飾を選択




**[ツール]メニューから実行**

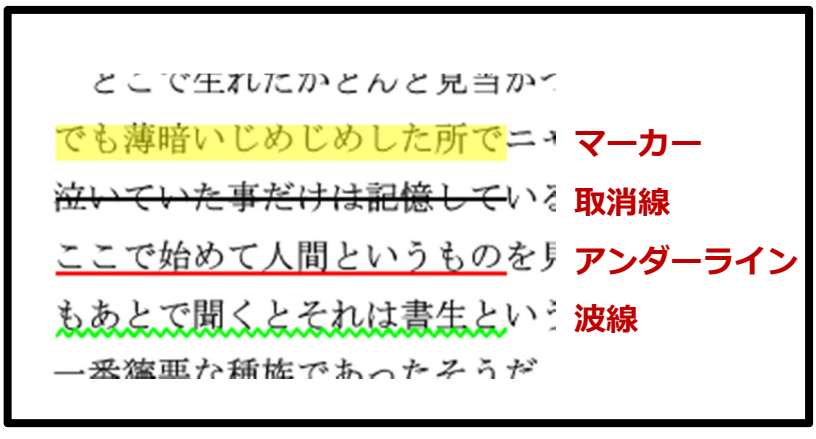
[ツール]－[テキスト装飾]




1 装飾を選択

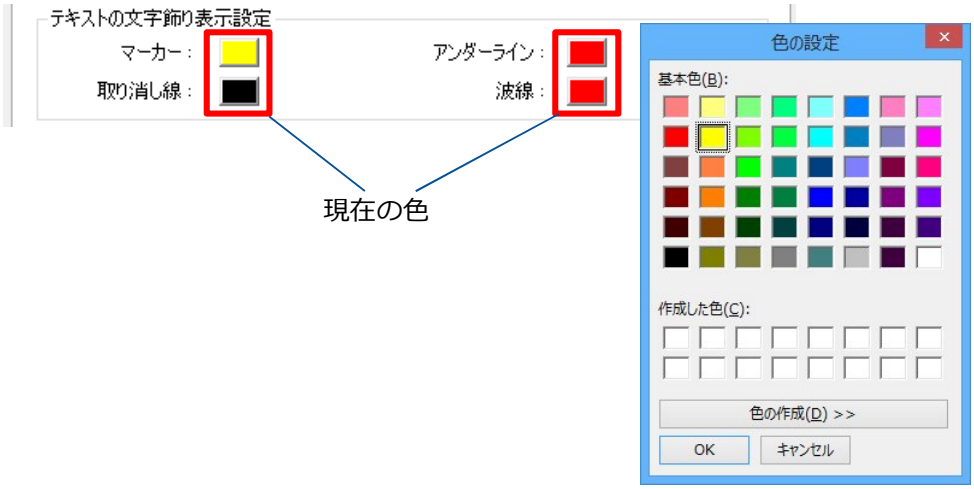
どこで生れたかとんと見当がつ;
でも薄暗いじめじめした所で
泣いていた事だけは記憶している。

2 テキストを選択



なお、テキスト装飾はそれぞれ個別に色を変更することができます。

[**ツール**]－[**環境設定**]を実行し、[**注釈**]タブ内の「**テキストの文字飾り表示設定**」で、現在の色表示をクリックして「**色の設定**」ダイアログで任意の色を選択してください。





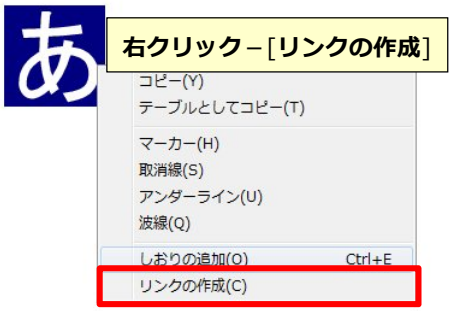
© 2015 SKYCOM Corporation

## 5.3 リンクを追加する Professional

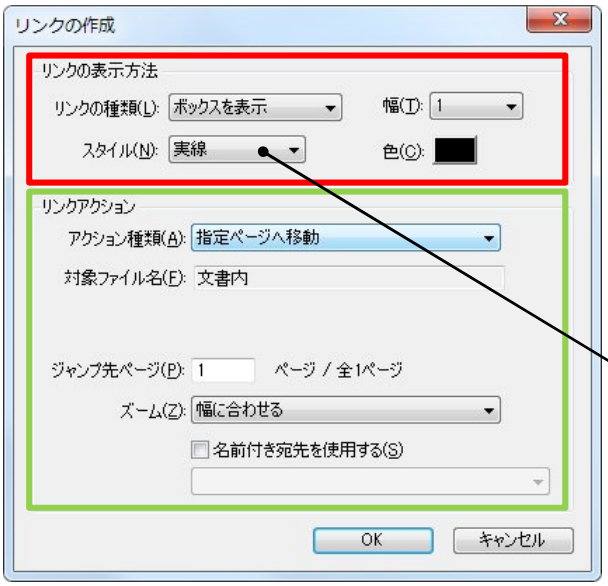
文字列に文書内の別ページへのリンクや、URL へのリンクを追加したり編集したりすることができます。

### 5.3.1 リンクを作成する

選択モード（ ）でPDF上のテキストを選択します。



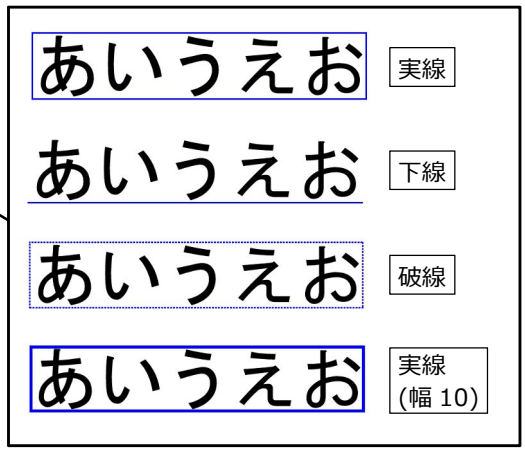

「リンクの作成」ダイアログが表示されますので、**リンクの種類**と**リンクアクション**を設定します。




**リンクの種類**

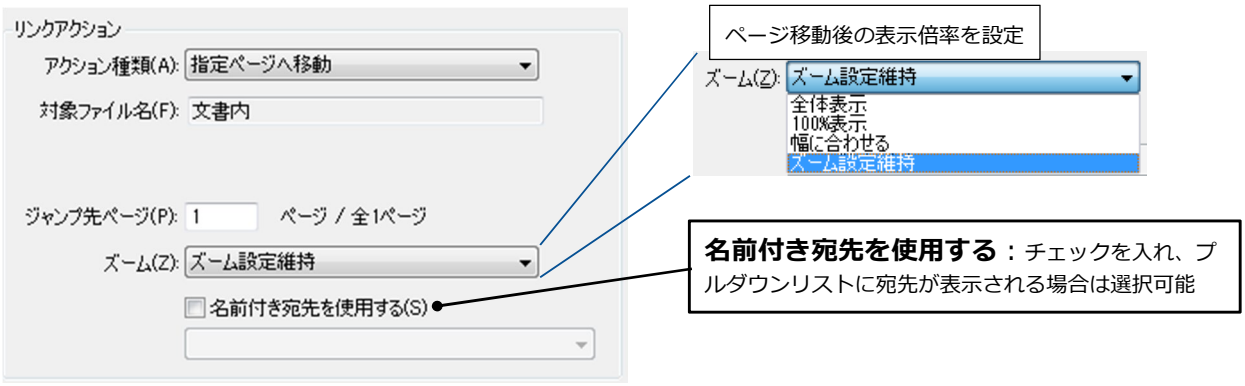
**ボックスを非表示**：囲み線や下線は非表示

**ボックスを表示**：以下の例のように表示



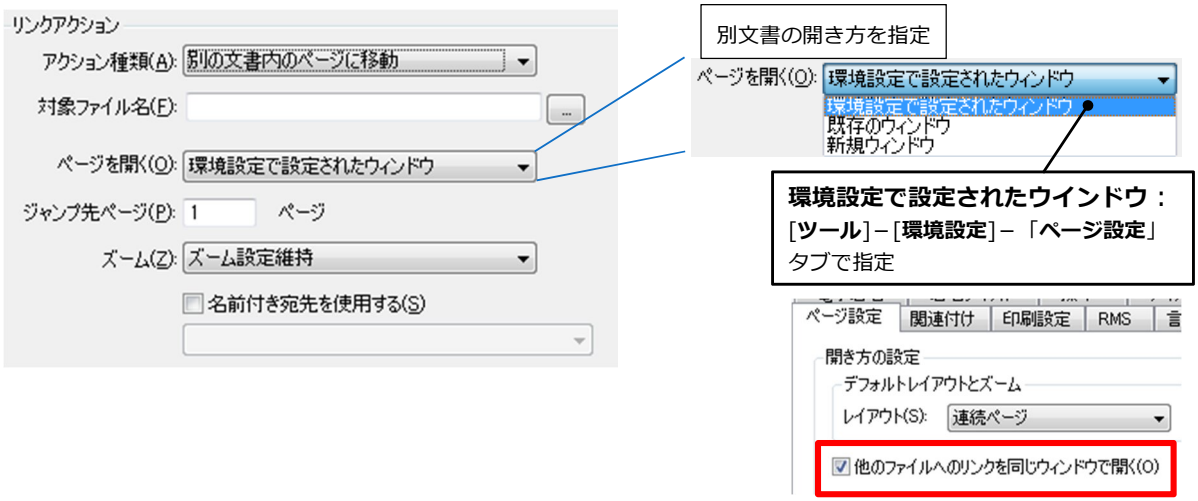
## リンクアクション

**指定ページへ移動**・・・文書内の指定したページへのリンクを作成します。

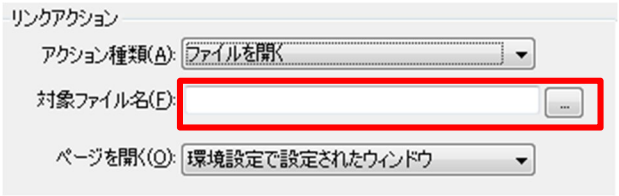



**指定 URL へジャンプ**・・・指定した URL を Web ブラウザーなどで開きます。

**別の文書内のページに移動**・・・別の PDF 文書に移動します。




**ファイルを開く**・・・PDF ファイルに限らず別の形式のファイルを開きます。




※.js, .vbs, .exe, .bat, .cmd は対象外です。

参照ボタンを押してファイルを指定します。（直接入力も可）

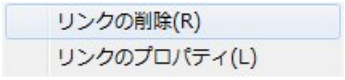

© 2015 SKYCOM Corporation

### 5.3.2 リンクの編集や削除をする

表示されているリンク上で右クリックして、表示されるメニューを選択します。

リンク削除・・・[**リンクの削除**]

リンク編集・・・[**リンクのプロパティ**]




© 2015 SKYCOM Corporation

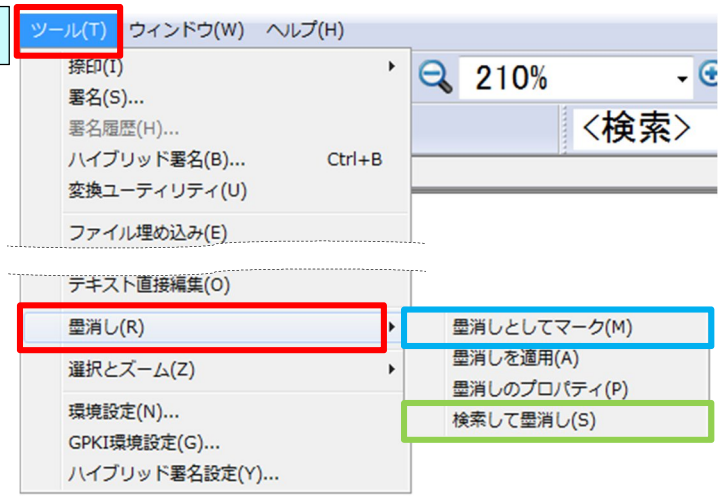
## 5.4　墨消しを付ける Professional

特定の文字や文字列をPDFファイル内から完全に削除します。墨消しされた箇所は、指定した色で塗りつぶされます。

※　一度適用した墨消しは、ファイルを保存すると元に戻すことはできません。

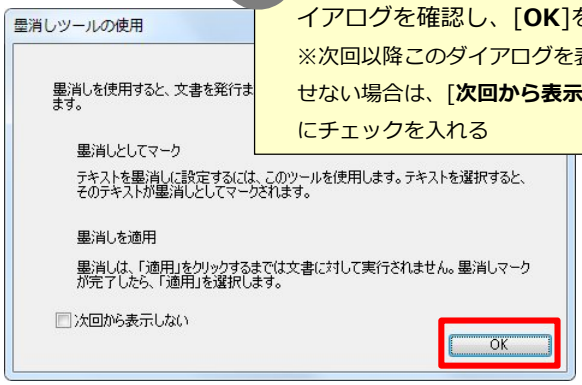
墨消しを適用する方法は、[**墨消しとしてマーク**]と[**検索して墨消し**]の2通りあります。

[**ツール**]－[**墨消し**]




### 墨消しとしてマーク

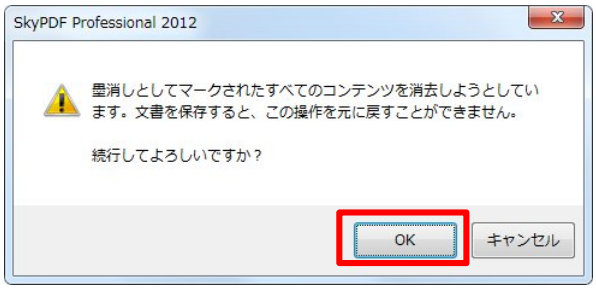
1　墨消しの使用方法についてのダイアログを確認し、[**OK**]を押す
※次回以降このダイアログを表示させない場合は、[**次回から表示しない**]にチェックを入れる




2　墨消ししたい箇所を範囲選択する

あいうえお

3　[**ツール**]－[**墨消し**]－[**墨消しを適用**]を選択

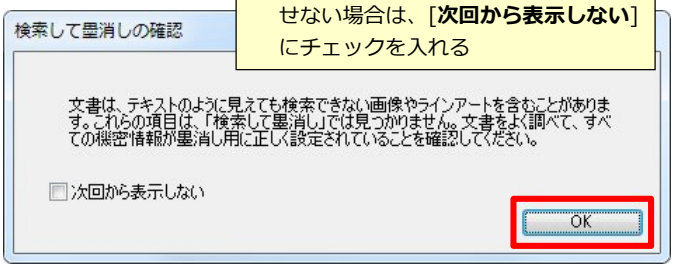


4　[**OK**]を押して終了

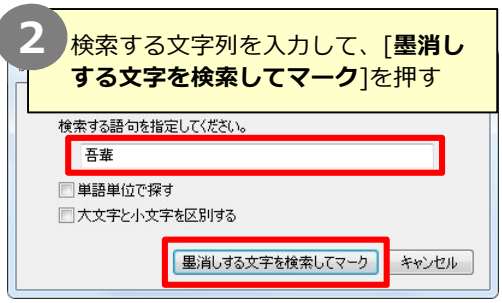

© 2015 SKYCOM Corporation

## 検索して墨消し

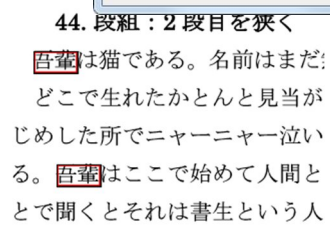
1 墨消しの使用方法についてのダイアログを確認し、[**OK**]を押す
※次回以降このダイアログを表示させない場合は、[**次回から表示しない**]にチェックを入れる



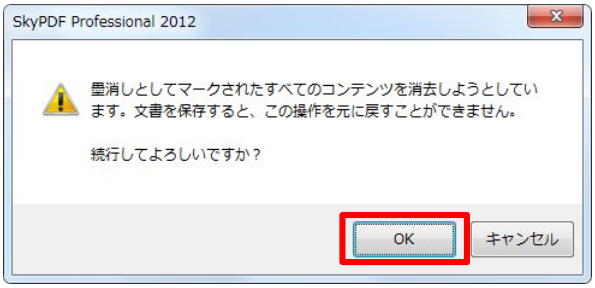

2 検索する文字列を入力して、[**墨消しする文字を検索してマーク**]を押す



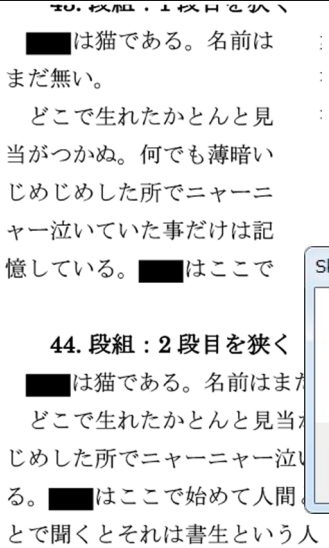

3 一致した語句が選択されているのを確認したら、ダイアログの[**OK**]を押す



4 [**ツール**]－[**墨消し**]－[**墨消しを適用**]を選択




検索した語句が墨消しされます



5 [**OK**]を押して終了

## 5.5　しおりを追加する Professional

PDFファイルにしおりを設定すると、ページ間の移動がより便利になります。

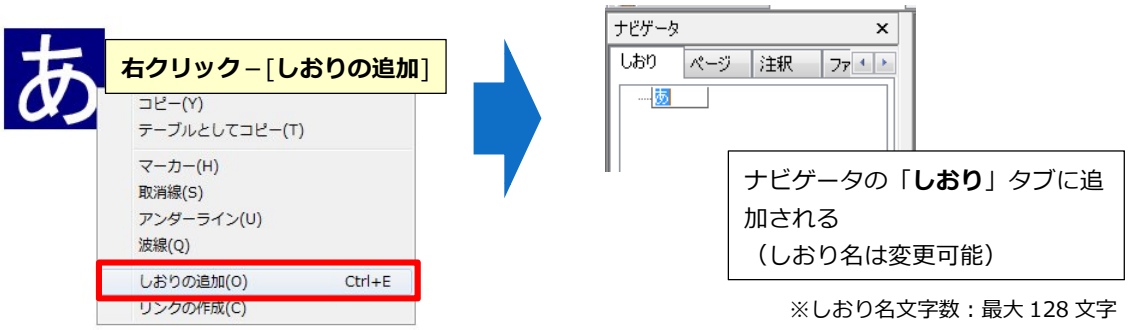
しおりはナビゲータのしおりタブに表示され、Office文書であれば、しおり付きのPDFファイルを作成することが可能です。（参照：3.5 しおりとリンク注釈付きのPDFファイルを作成する）

ここでは、既存のPDFファイルにしおりを追加する手順を説明します。

### 5.5.1 しおりを作成する

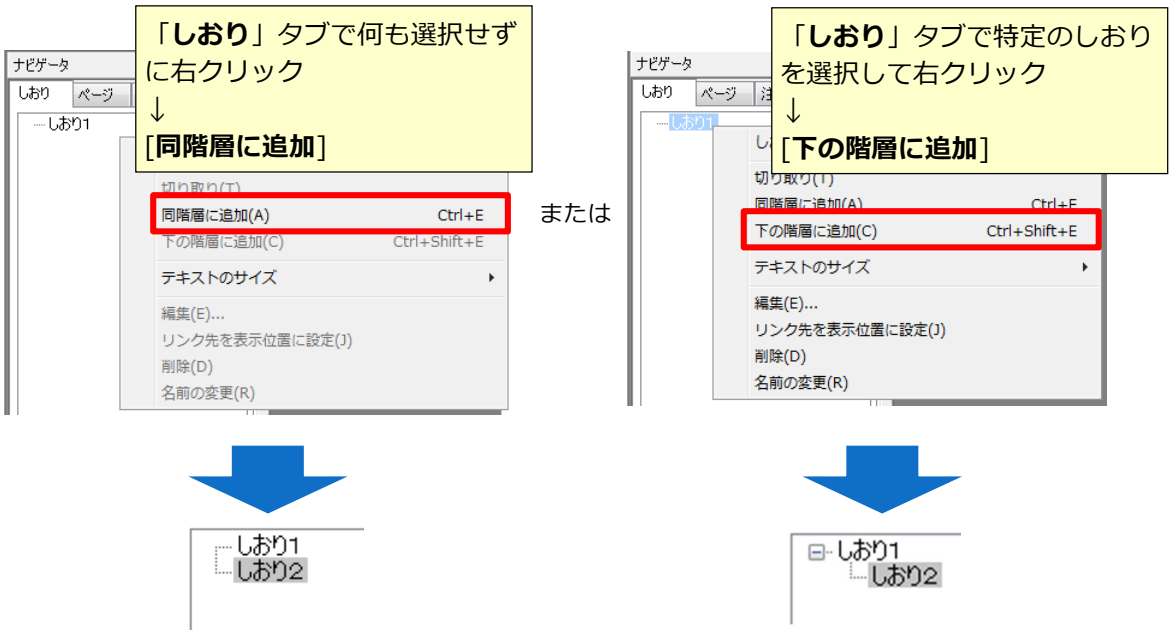
**PDF表示上から操作**

選択モード（ ）でPDF上のテキストを選択します。




※しおり名文字数：最大 128 文字

**ナビゲータから操作**





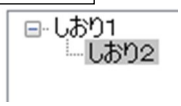
© 2015 SKYCOM Corporation

## 5.5.2 しおりを移動する

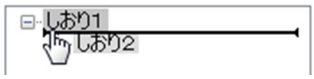
ナビゲータ上でしおりをマウスドラッグすると、位置を移動させることができます。

“しおり２”を“しおり１”の**上**にドラッグ

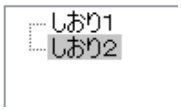
下階層への移動が可能



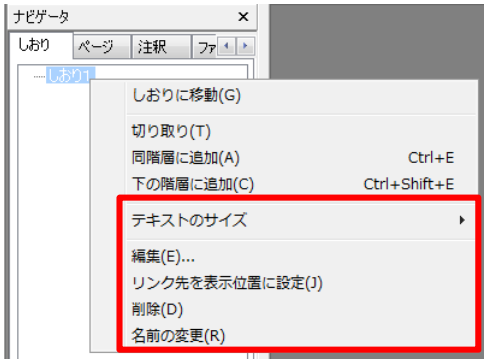

“しおり２”を“しおり１”の**下**にドラッグ



同階層への移動が可能

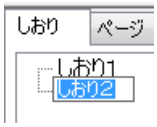



## 5.5.3 しおりを編集する




**[名前の変更]**

しおりを選択して[**F2**]キーを押すか、右クリックから[**名前の変更**]をクリックします。

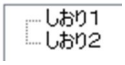



しおり名が編集状態に変わったら、名称を変更してください。

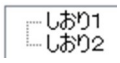
**[テキストのサイズ]**

[小]・[標準]・[大]から選択できます。

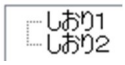
小




標準




大



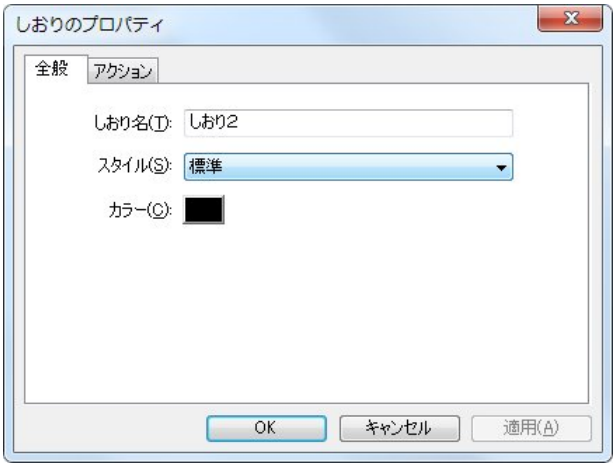

**[リンク先を表示位置に設定]**

しおりのジャンプ先を現在表示中のページに変更します。（表示倍率と位置を保持）

© 2015 SKYCOM Corporation

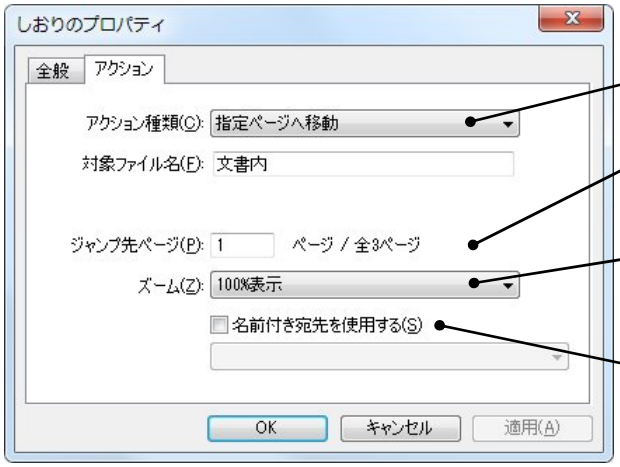
## [編集]

a. 「**全般**」タブ




**しおり名**：しおり名を入力
**スタイル**：しおりの文字スタイルを指定
**カラー**：しおりの文字色を指定

b. 「**アクション**」タブ－[**指定ページへ移動**]



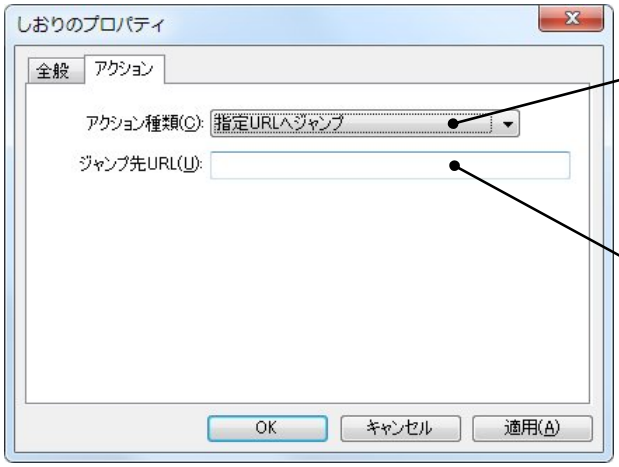

同じ文書内の指定ページへ移動

ジャンプ先のページを指定

ジャンプ先表示時の表示倍率
[全体表示][100%表示][幅に合わせる][ズーム設定維持]

プルダウンメニューに宛先が表示される場合のみ使用可

c. 「**アクション**」タブ－[**指定URLへジャンプ**]

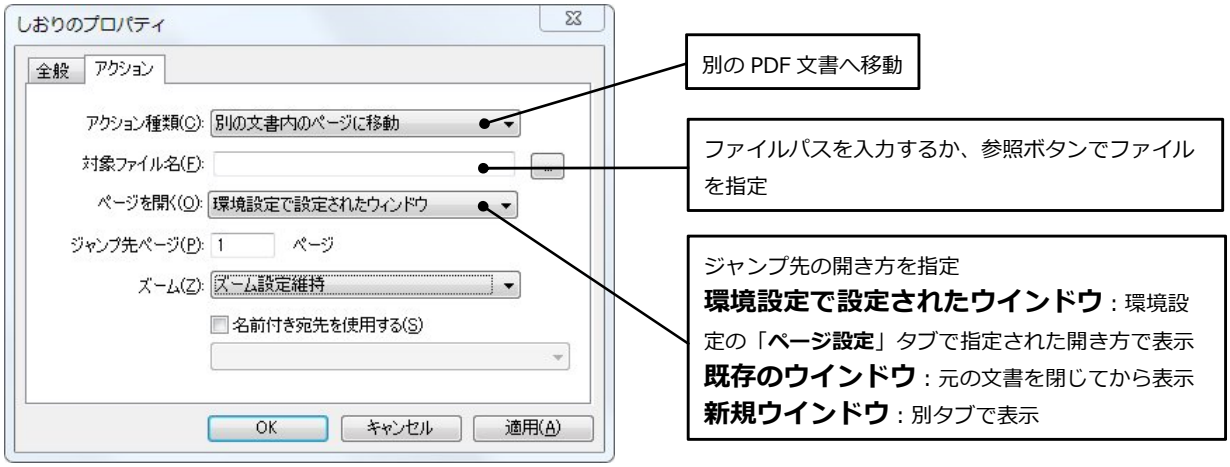



Web ブラウザ等の URL 指定で移動

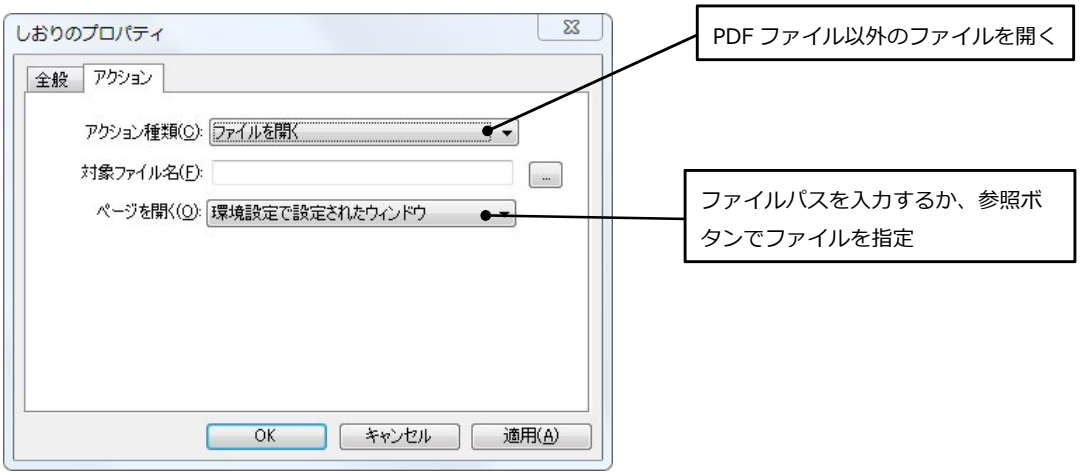
- URL を入力するとジャンプ時に Web ブラウザが起動
- メールアドレスの前に「mailto:」を入力すると、メールソフトが起動


© 2015 SKYCOM Corporation

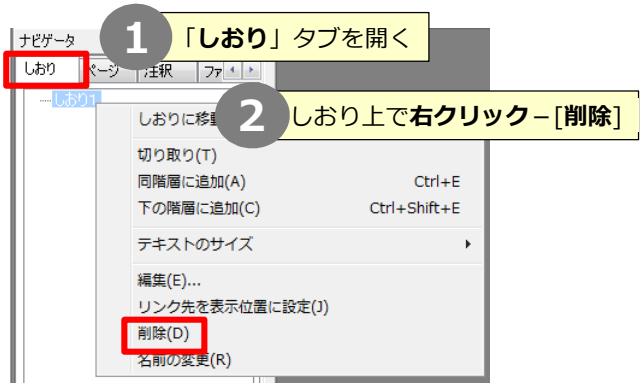
d. 「**アクション**」タブー[**別の文書内のページに移動**]




e. 「**アクション**」タブー[**ファイルを開く**]




## 5.5.4 しおりを削除する



## 5.6 注釈を付ける Professional

PDFファイルのページ上に、注意書きやメモ、図形などを付与する機能です。
メニューバーの[**ツール**]から実行します。
ツールバー：

描画したものをダブルクリックすると、ポップアップ注釈が表示され、説明書きなどを追加することができます。

### 5.6.1 環境設定

**[ツール]－[環境設定]**

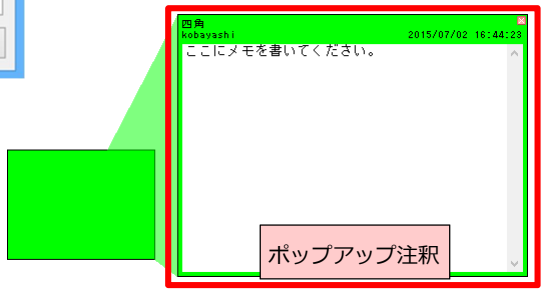
注釈ごとに、線色・線幅の設定が可能
[**メモ貼り付け**]と[**ファイル添付**]はアイコンの初期設定も可

フリーテキストのフォントと文字サイズを設定

テキスト装飾の色設定
（参照：5.2 マーカー/取消線/アンダーライン/波線をひく）

注釈をダブルクリックしたときに表示されるポップアップを非表示にする

スタンプの初期設定（参照：5.6.8 スタンプ）



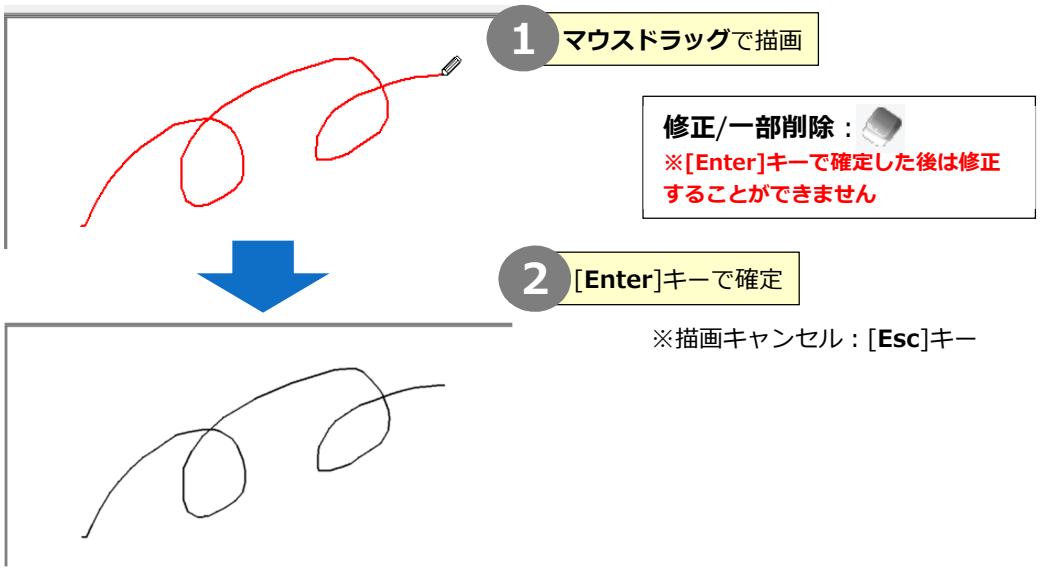


© 2015 SKYCOM Corporation

## 5.6.2 鉛筆ツール

フリーハンドで図形を描画することができます。

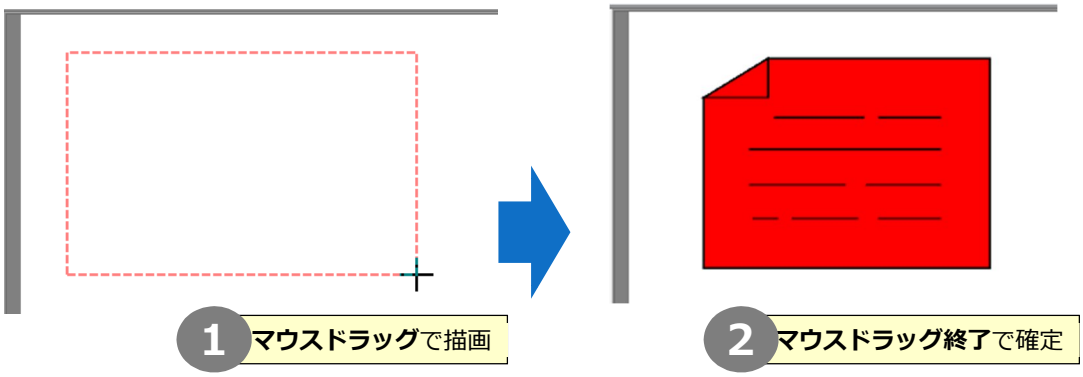
**[ツール]－[鉛筆ツール]**（ ）




## 5.6.3 メモ追加

ページ上にメモを追加します。（メモアイコンのみ表示されます）

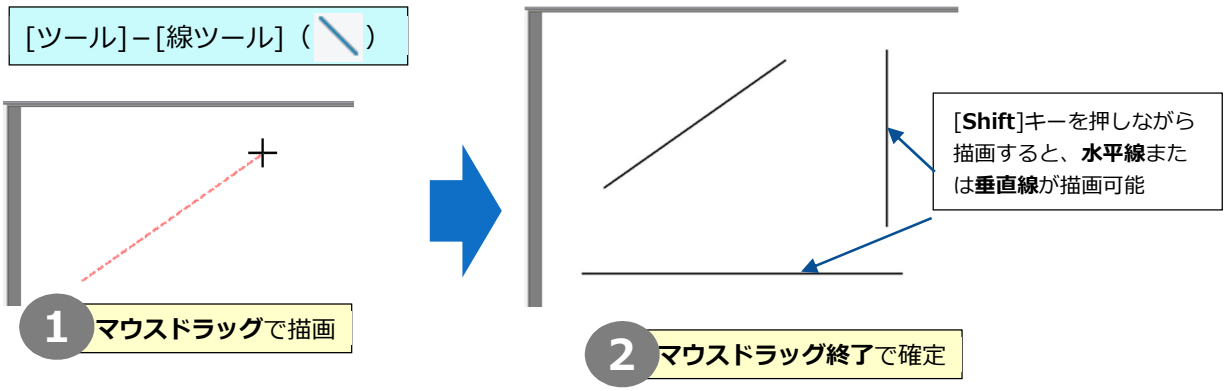
**[ツール]－[メモ追加]**（ ）




© 2015 SKYCOM Corporation

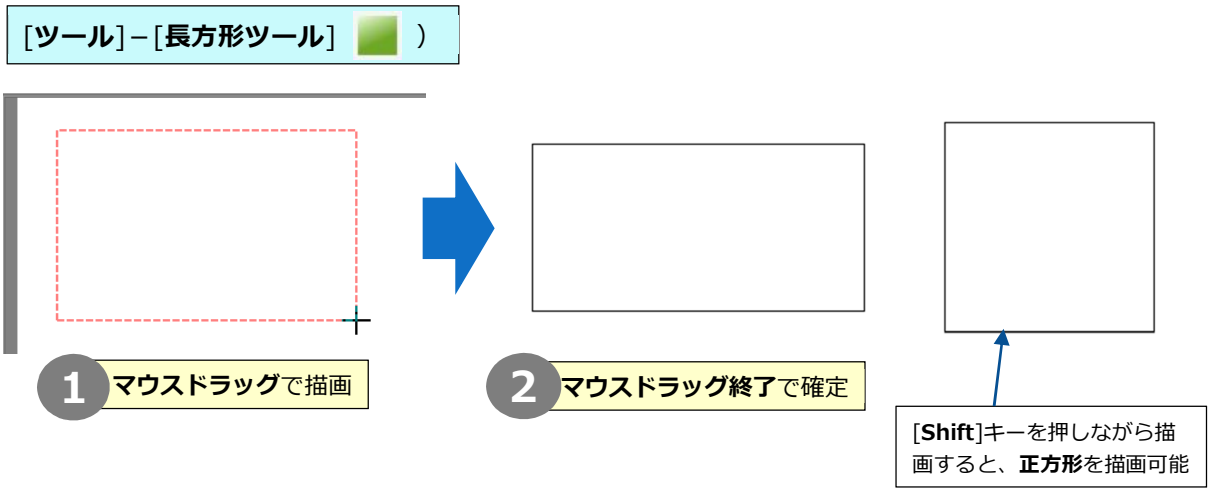
## 5.6.4 線ツール

直線を引くことができます。



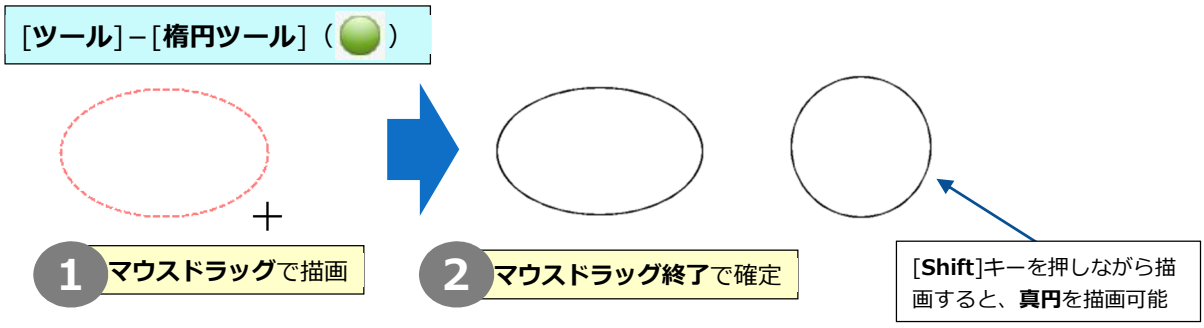

## 5.6.5 長方形ツール

四角形を描画することができます。




## 5.6.6 楕円ツール

楕円を描画することができます。



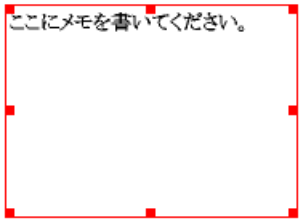


© 2015 SKYCOM Corporation

## 5.6.7 フリーテキスト

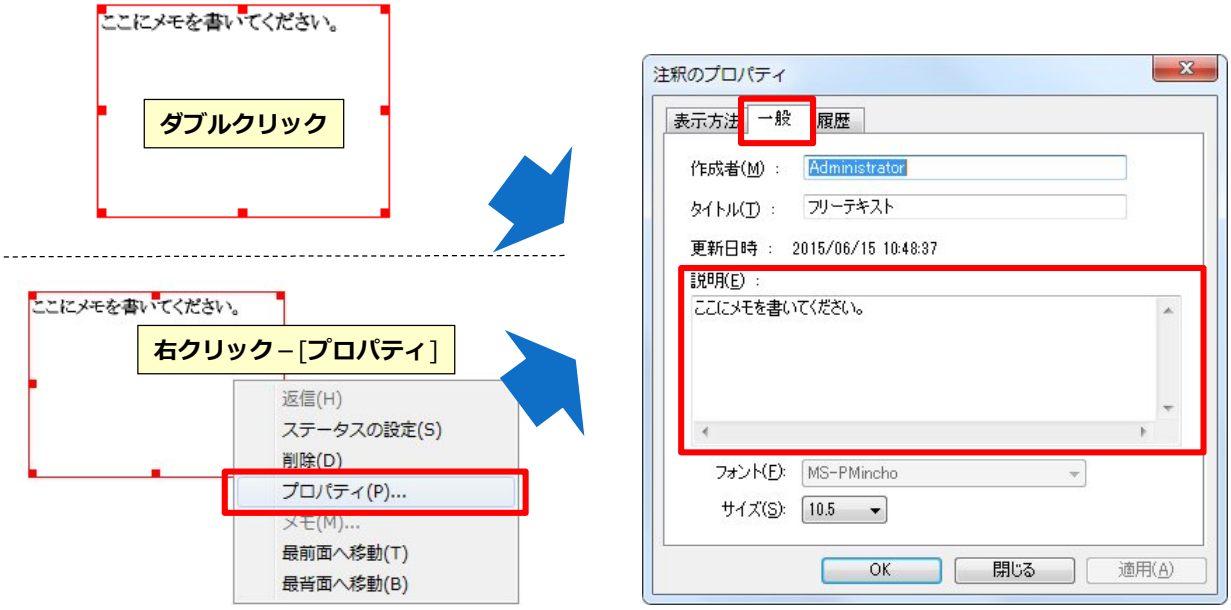
フリーテキストを配置することができます。

**[ツール]－[フリーテキスト]**（ ）




**マウスドラッグ**で描画

ダブルクリックするか、右クリックメニューの[**プロパティ**]で「**注釈のプロパティ**」ダイアログを開き、「**一般**」タブの[**説明**]欄にテキストを入力して、[**OK**]を押してください。



## 5.6.8 スタンプ

定型スタンプ・印鑑・イメージ（画像）をスタンプ注釈として付けることができます。

[**ツール**]－[**スタンプ**]（ ）

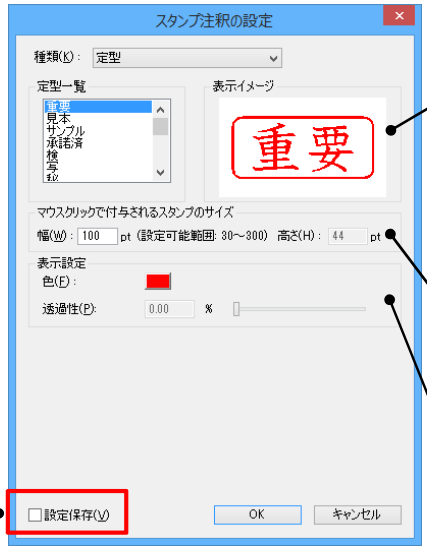
「**スタンプ注釈の設定**」ダイアログで、任意のスタンプを選択して[**OK**]を押します。

**マウスドラッグ**で描画

同じ PDF ファイルで連続してスタンプを付ける場合は、2 回目以降は「**スタンプ注釈の設定**」ダイアログが表示されず、1 回目と同じスタンプが付与されます。
スタンプを変更する場合は、[**ツール**]－[**スタンプ選択**]で設定してください。

スタンプ種類：定型

定型スタンプ一覧

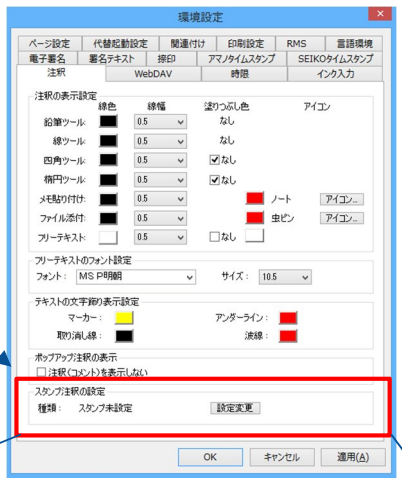



選択したデザインのイメージを表示

スタンプサイズを設定
縦横比固定のため、横幅のみ指定する

スタンプの色と透明度（0%不透明～100%透明）を設定

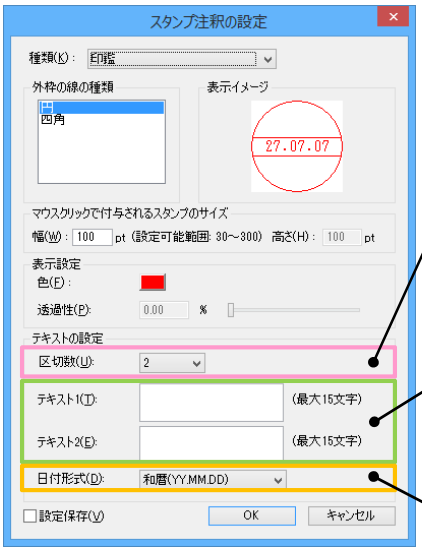
チェックを入れると、ここでの設定が、環境設定（[**ツール**]－[**環境設定**]―「**注釈**」タブ）の設定に反映される
※スタンプ初回付与時は表示されない



© 2015 SKYCOM Corporation

スタンプ種類：**印鑑**

印鑑一覧

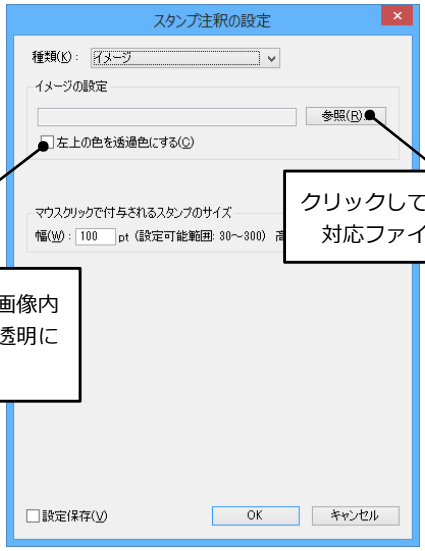



**0**：テキスト１のみ表示
**1**：テキスト１とテキスト２を表示
**2**：テキスト１、テキスト２、日付形式を表示

**テキスト１**：上部に表示
**テキスト２**：下部に表示
どちらも全角・半角ともに１５文字まで入力可能
改行を入力して、２行にすることも可能

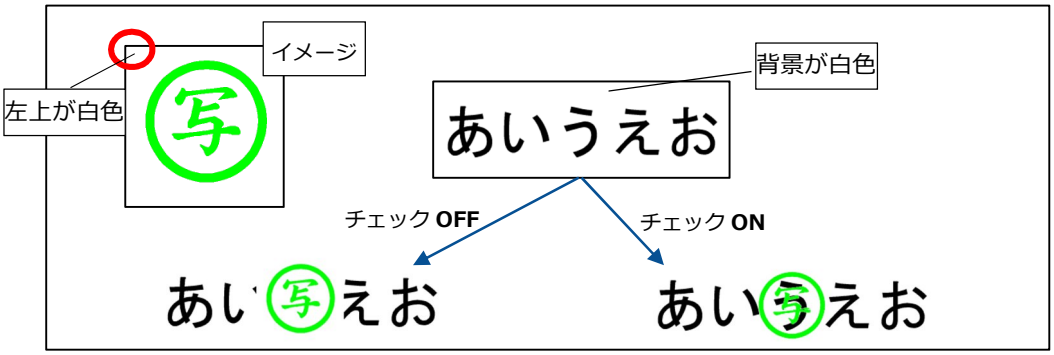
**日付形式**：和暦/西暦のいずれかを選択

スタンプ種類：**イメージ**




クリックして、画像ファイルを指定
対応ファイル形式：**BMP** / **JPEG** / **PNG**

左上のドットの色と同じ色が同じ画像内に使用されている場合、その色を透明にする

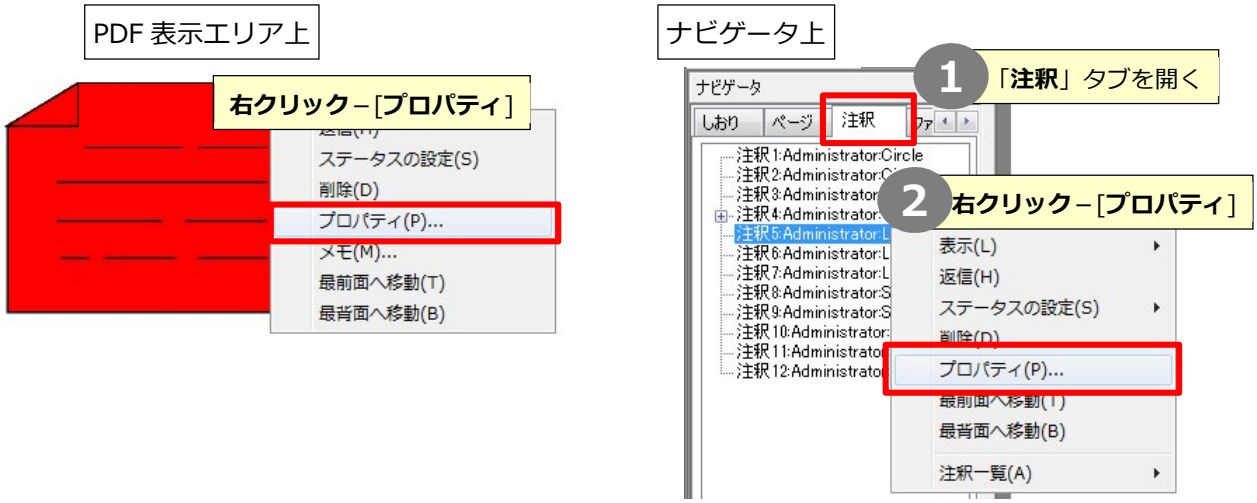


## 5.6.9 注釈を移動する

マウスドラッグで任意の位置に移動させることができます。

## 5.6.10 注釈のプロパティを表示する

注釈上で**右クリック**し、表示されるコンテキストメニューから[**プロパティ**]を選択します。

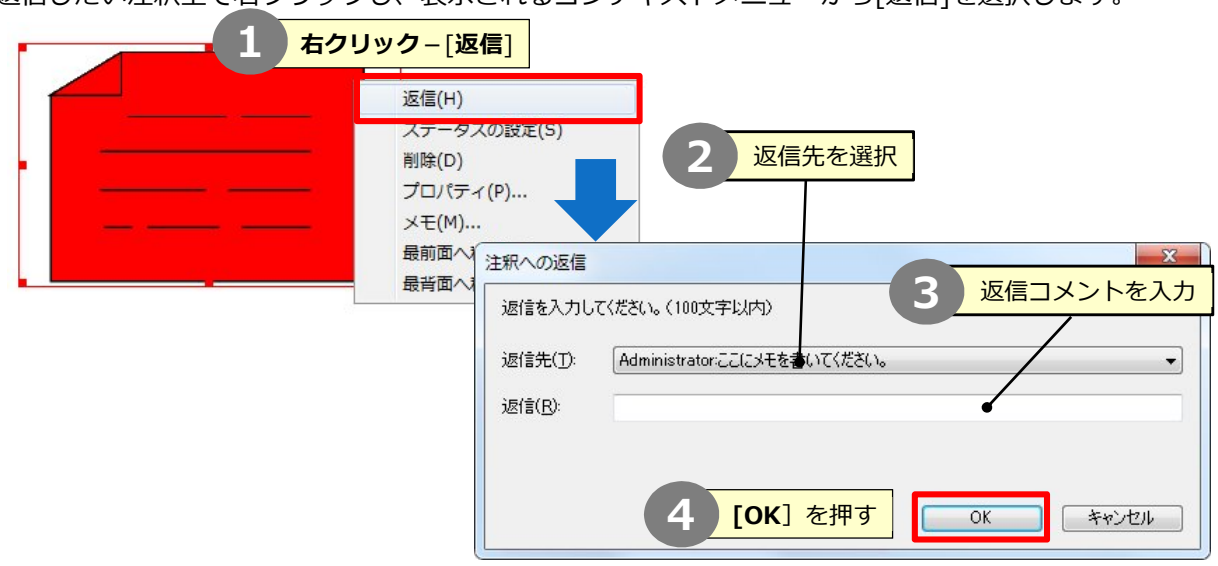



## 5.6.11 注釈に返信コメントを付ける

付与済みの注釈に、返信コメントを付けることができます。

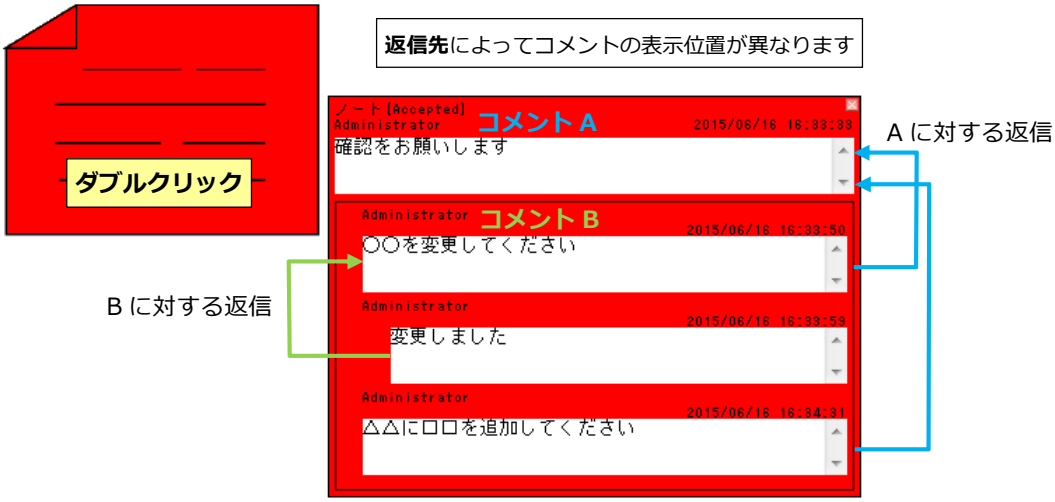
**PDF表示エリアで操作**

返信したい注釈上で右クリックし、表示されるコンテキストメニューから[返信]を選択します。



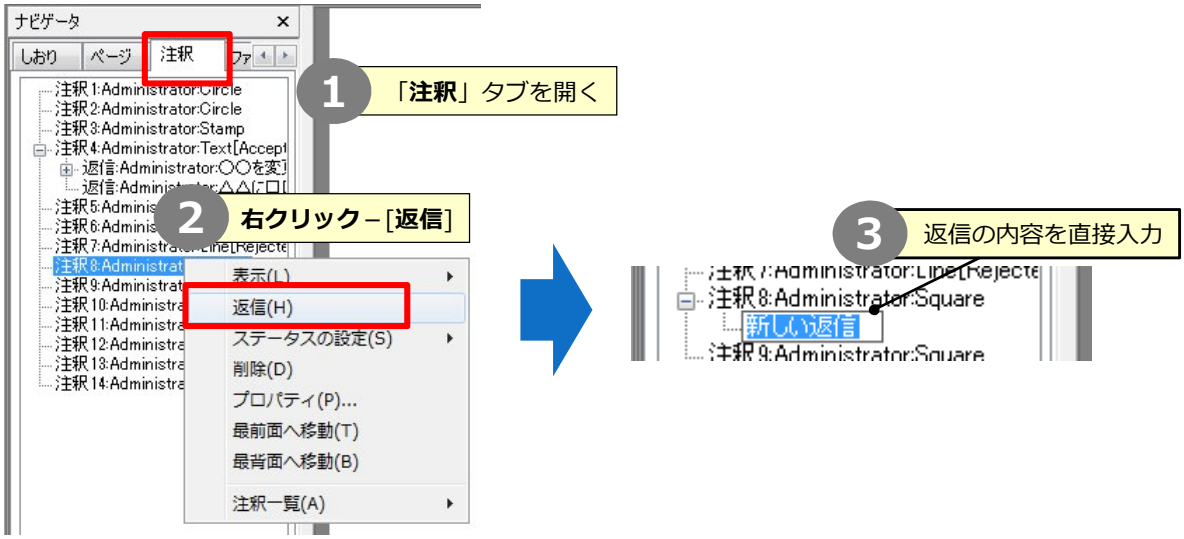

返信コメント付与後、注釈をダブルクリックすると、返信コメントが表示されます。


© 2015 SKYCOM Corporation

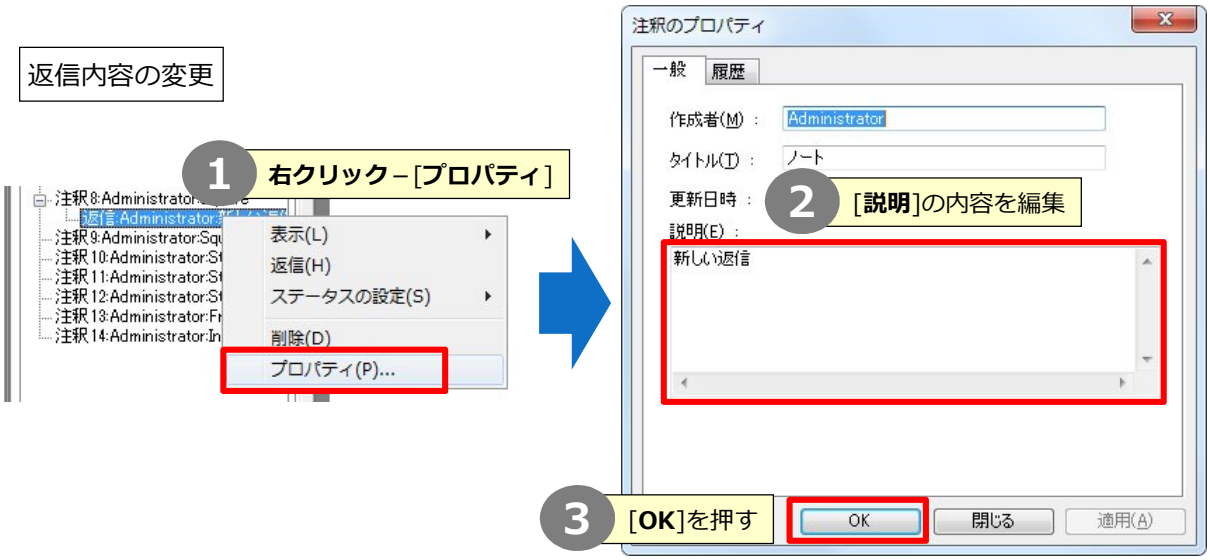



## ナビゲータから操作

返信したい注釈を選択して、右クリックメニューから[**返信**]を実行します。

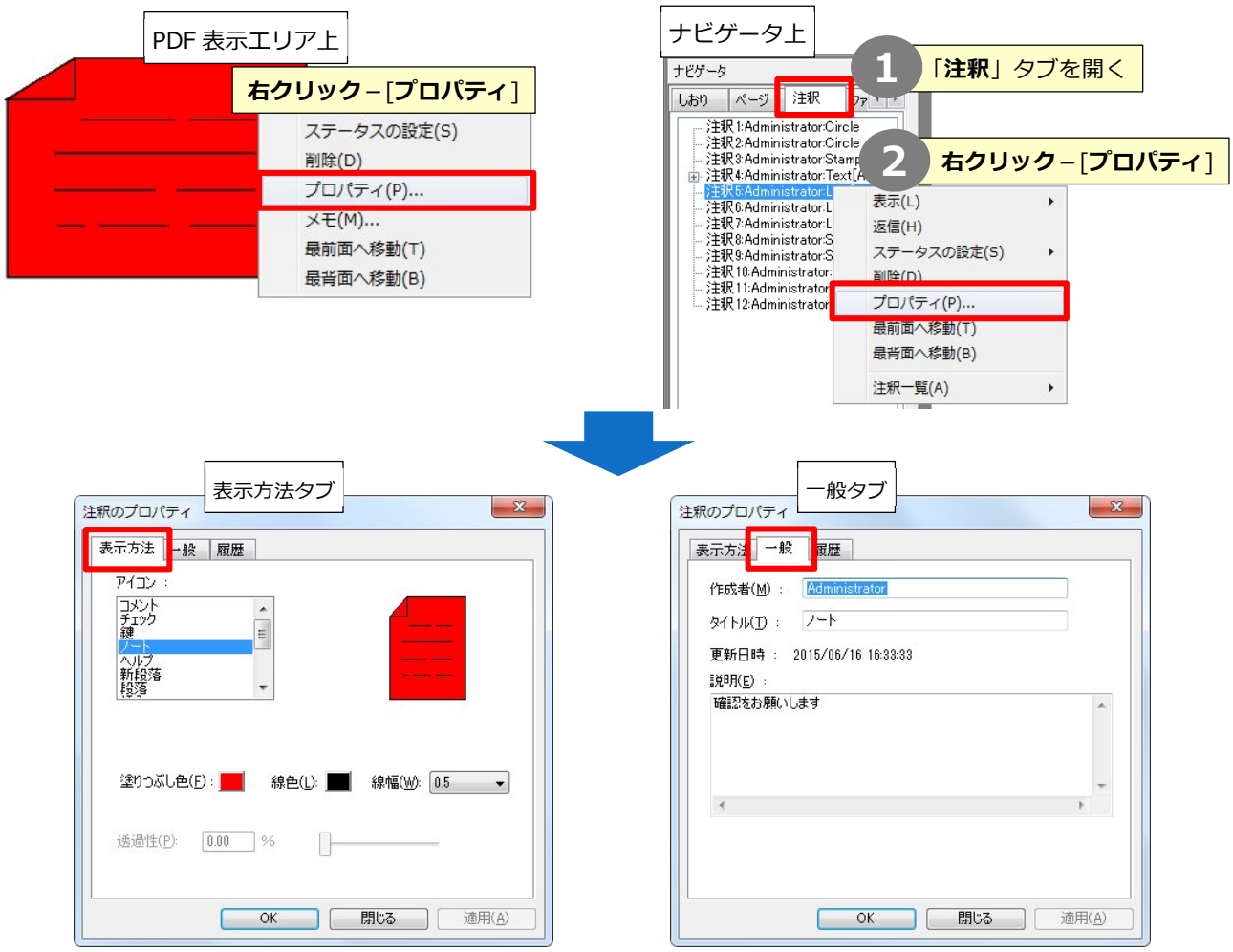



返信内容の変更



## 5.6.12 注釈や返信コメントを編集する

編集したい注釈や返信を選択して、右クリックメニューから[プロパティ]を実行します。

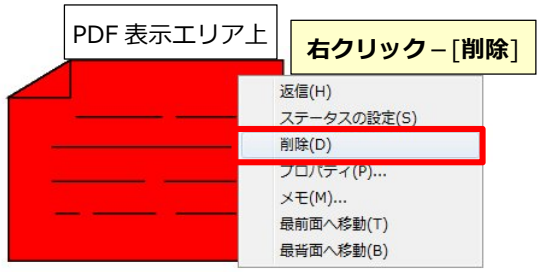


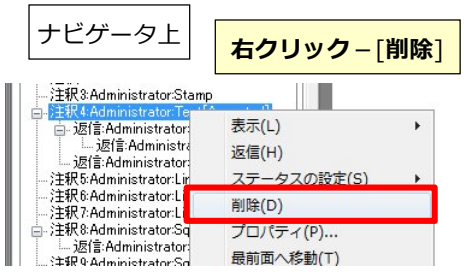

表示方法タブで編集可能な項目

| 注釈種類 | 塗りつぶし色 | 線色 | 線幅 | 透過性 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|
| **鉛筆** | — | ○ | ○ | ○ | — |
| **メモ** | ○ | ○ | ○ | — | アイコン |
| **線** | — | ○ | ○ | ○ | 両端の形状 |
| **四角** | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| **円** | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| **フリーテキスト** | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| **スタンプ** | — | — | — | ○ | — |


© 2015 SKYCOM Corporation

＜削除方法＞




返信が複数あるもの（ツリー上に表示されている）は、下位の返信も同時に削除されます。

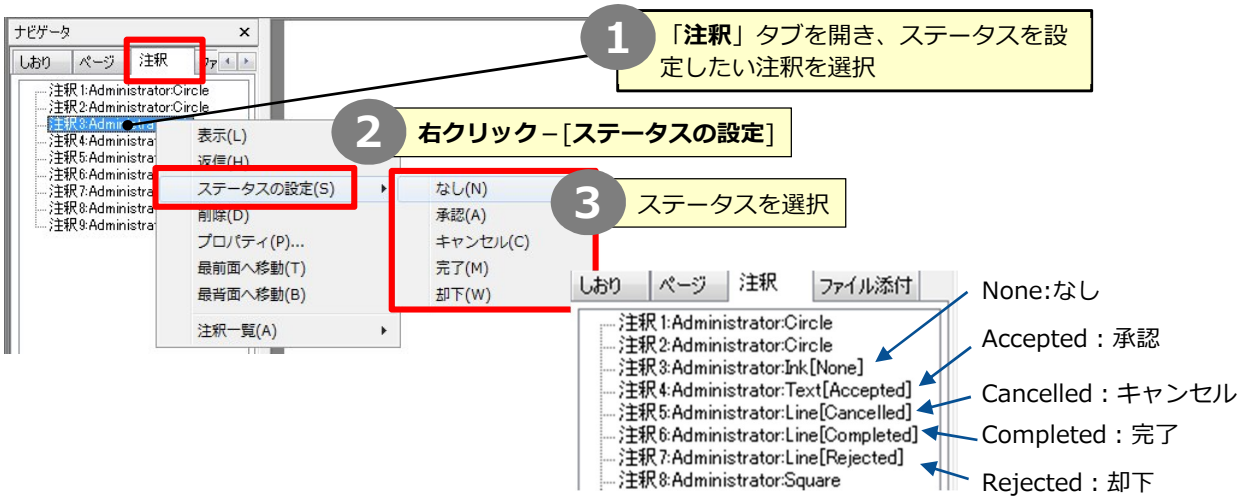
※PDF表示エリア上で注釈を選択した際の右クリックメニューにある[**削除**]は、注釈自体を削除するため、返信を個別に削除することはできません。

## 5.6.13 注釈にステータスを付与する

注釈や返信に、「承認」や「完了」などのステータスを設定することができます。

**ナビゲータから**

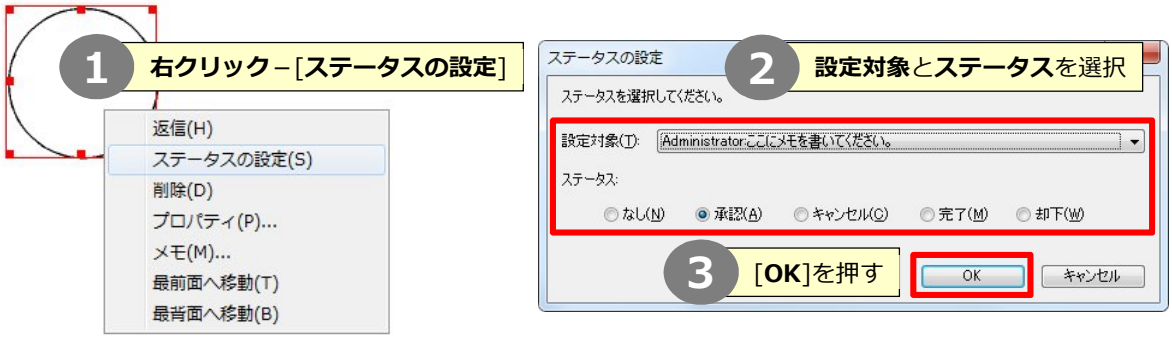
「**注釈**」タブ内で、ステータスを設定したい注釈を選択し、右クリックメニューの[**ステータスの設定**]より、任意のステータスを選択します。




**PDF表示エリアから**

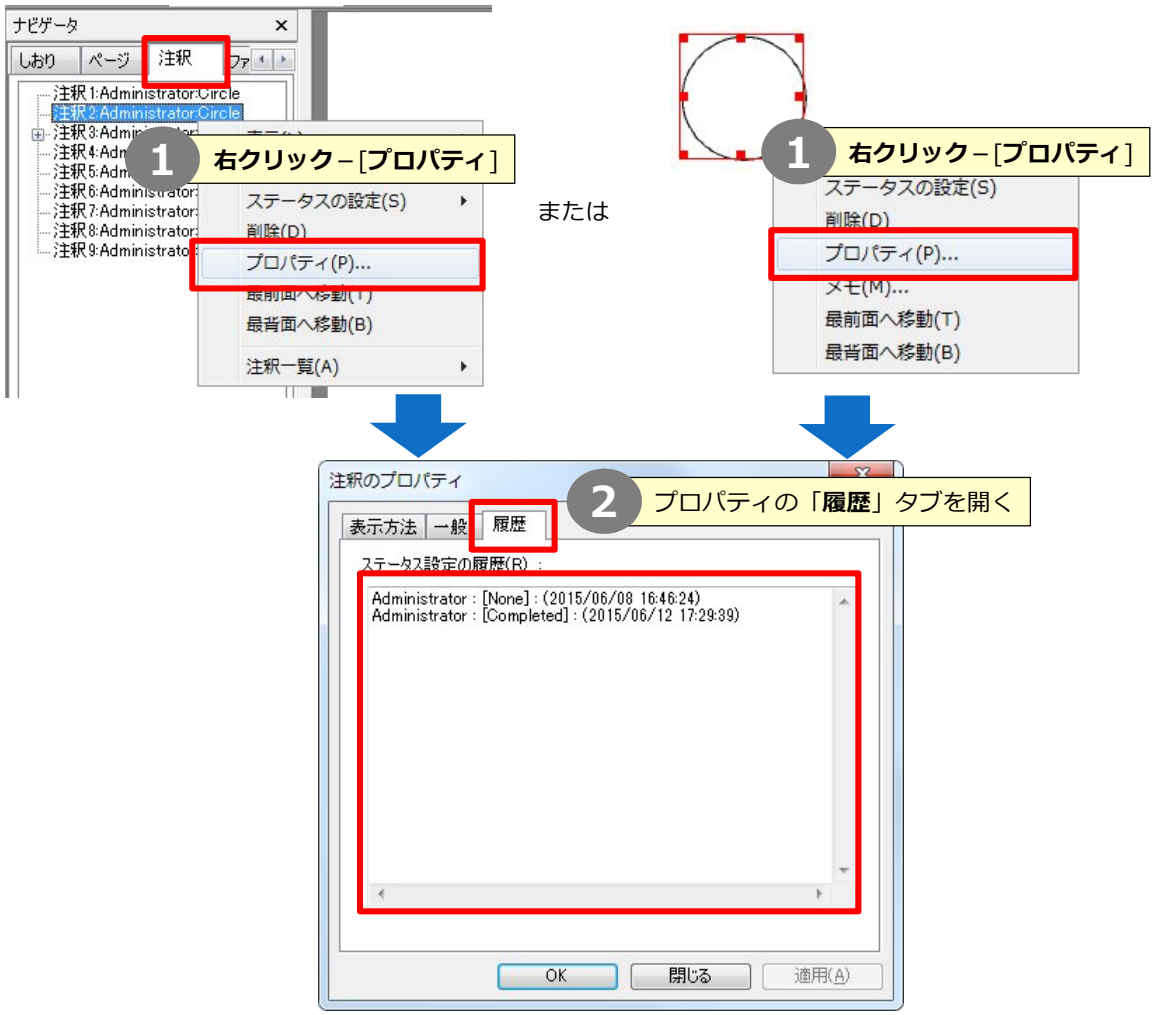
注釈上で右クリックし、メニューより[**ステータスの設定**]を選択

「**ステータスの設定**」ダイアログが開きますので、任意のステータスを選択します。



## ステータスの履歴を確認する

注釈のプロパティを開いて、「**履歴**」タブで確認できます。



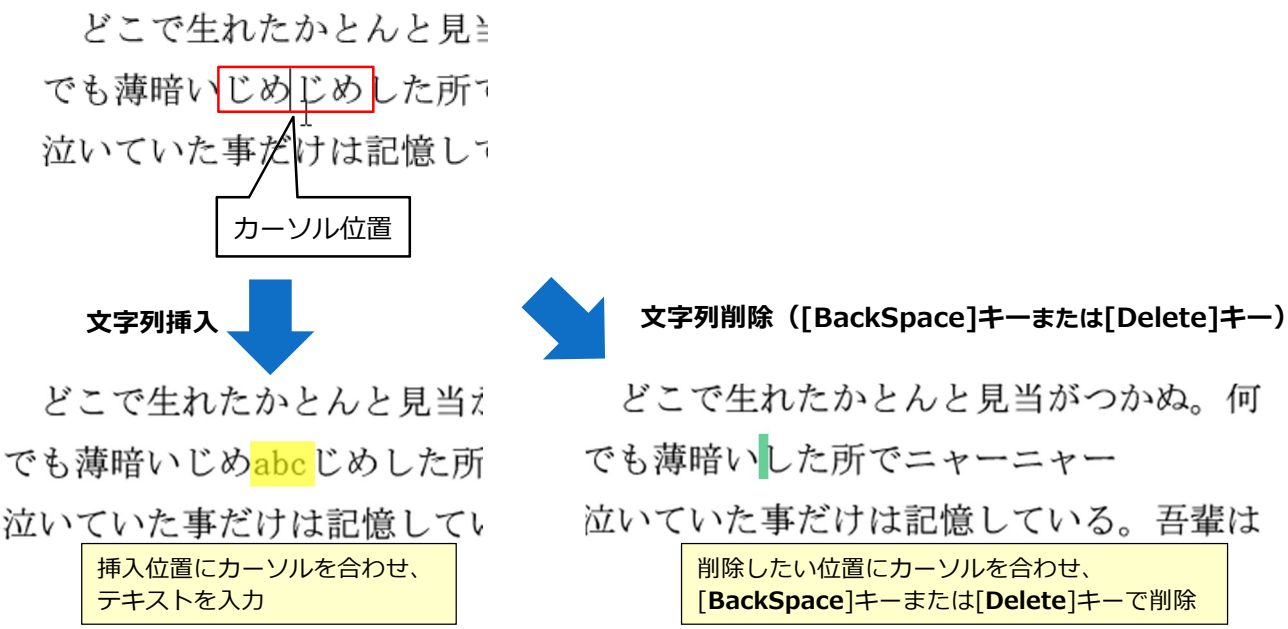


© 2015 SKYCOM Corporation

## 5.7 テキストを直接編集する Professional

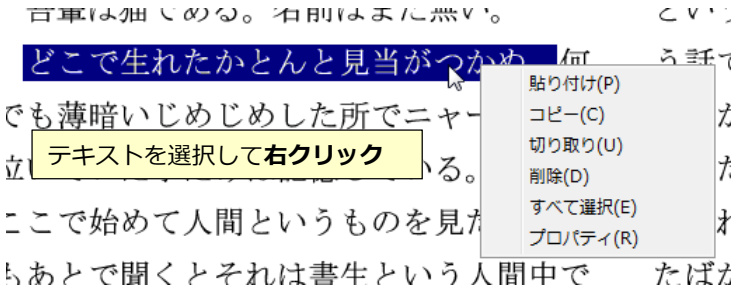
PDFファイルに含まれている文字列を直接編集することができます。

### 5.7.1 文字列の挿入と削除




### 5.7.2 コンテキストメニューからの操作

ページ内で右クリックしてメニューから操作を選択します。




**貼り付け**

カーソル位置にクリップボード内のテキストを貼り付ける

**コピー**

選択範囲をクリップボードにコピー

**切り取り**

選択範囲を切り取る

© 2015 SKYCOM Corporation

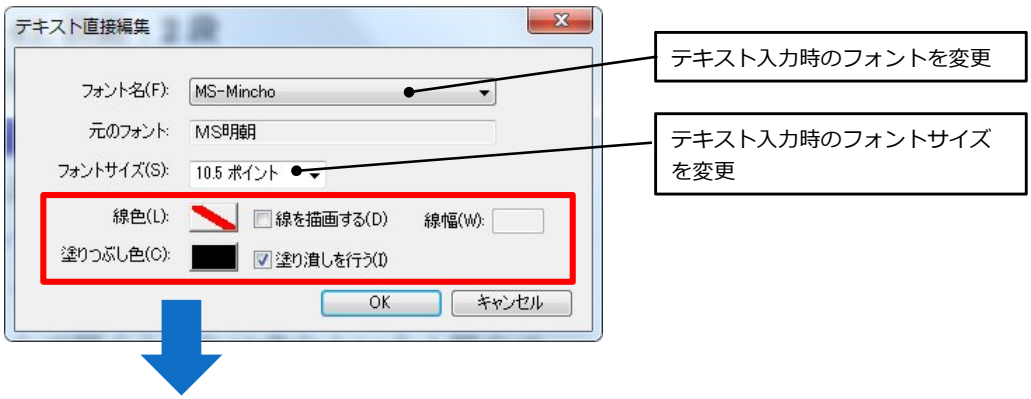
**削除**

選択範囲を削除

**すべて削除**

ページ内の文字列をすべて選択

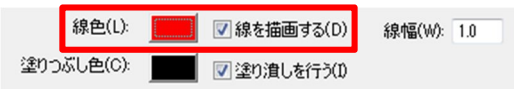
**プロパティ**

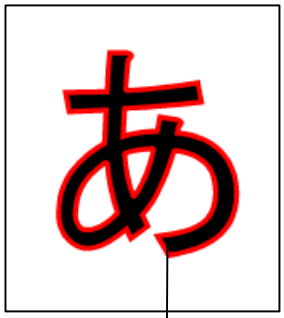



文字の外形や塗りつぶしの色を変更することができます。

元の文字

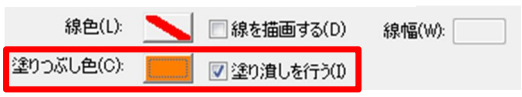
線色を赤に設定




赤のふちどり

塗りつぶし色をオレンジに設定



文字色がオレンジに変更


© 2015 SKYCOM Corporation

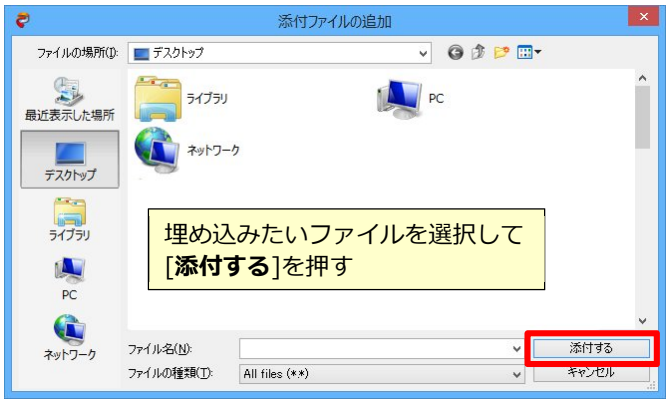
## 5.8　ファイルを埋め込む Professional

PDFファイルに各種ファイルを埋め込むことができます。埋め込んだファイルは、ナビゲータの「**添付ファイル**」タブに表示されます。

### 5.8.1 ファイルを埋め込む

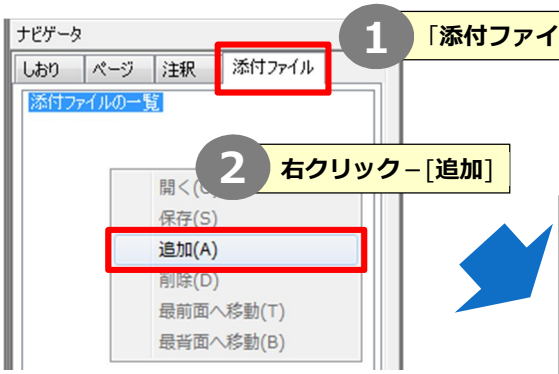
**メニューバーから操作**

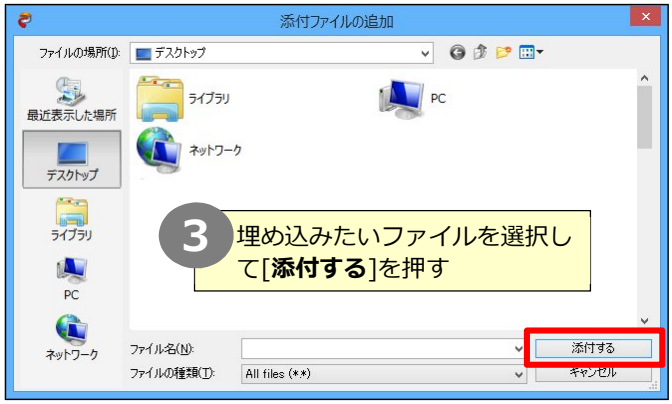
[**ツール**]－[**ファイル埋め込み**]（ ）



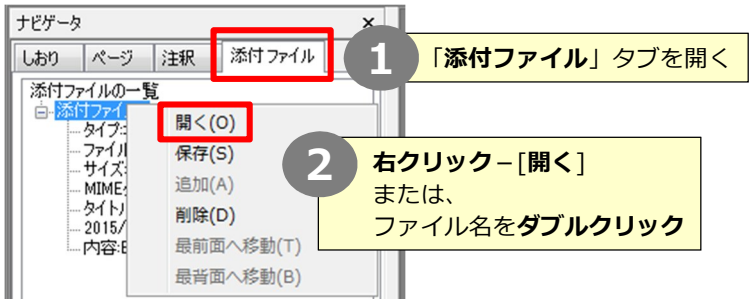

ナビゲータの「**添付ファイル**」タブに追加される

**ナビゲータから操作**

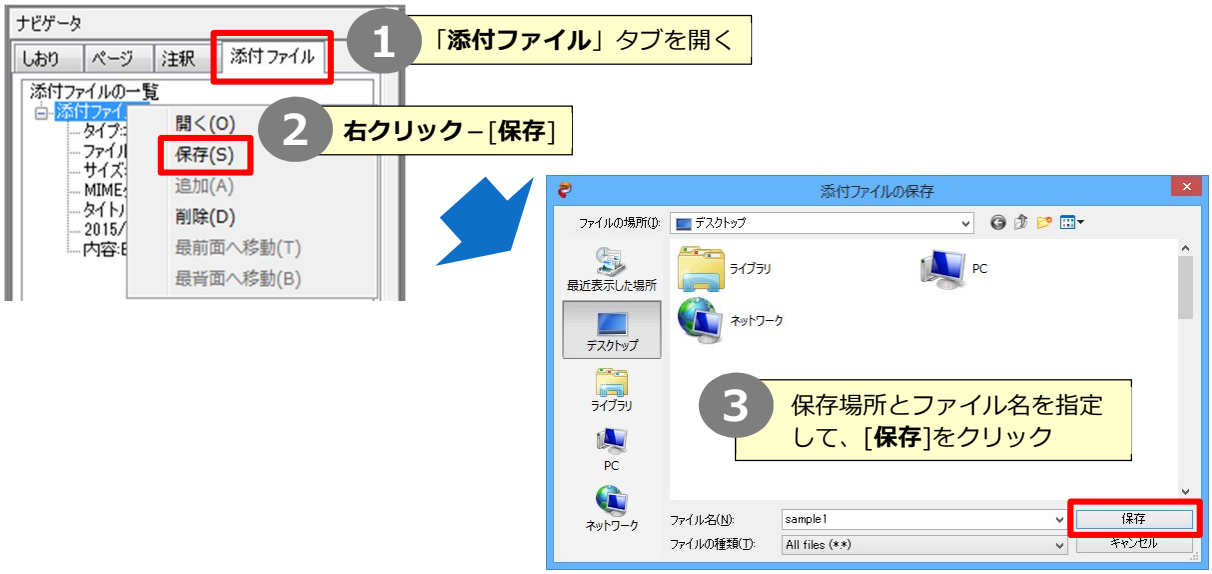


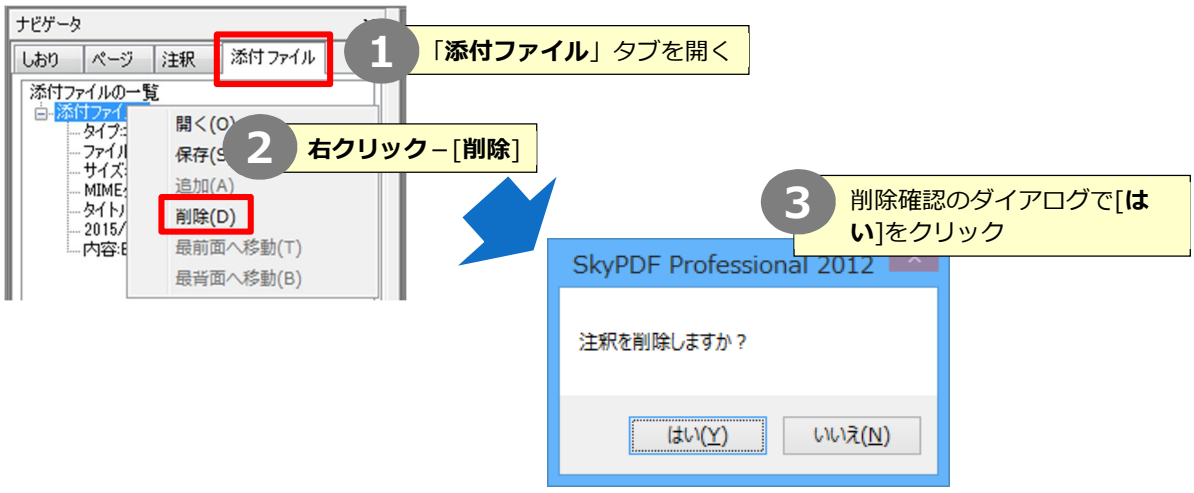
## 5.8.2 埋め込みファイルを開く




## 5.8.3 埋め込みファイルを保存する




## 5.8.4 埋め込みファイルを削除する





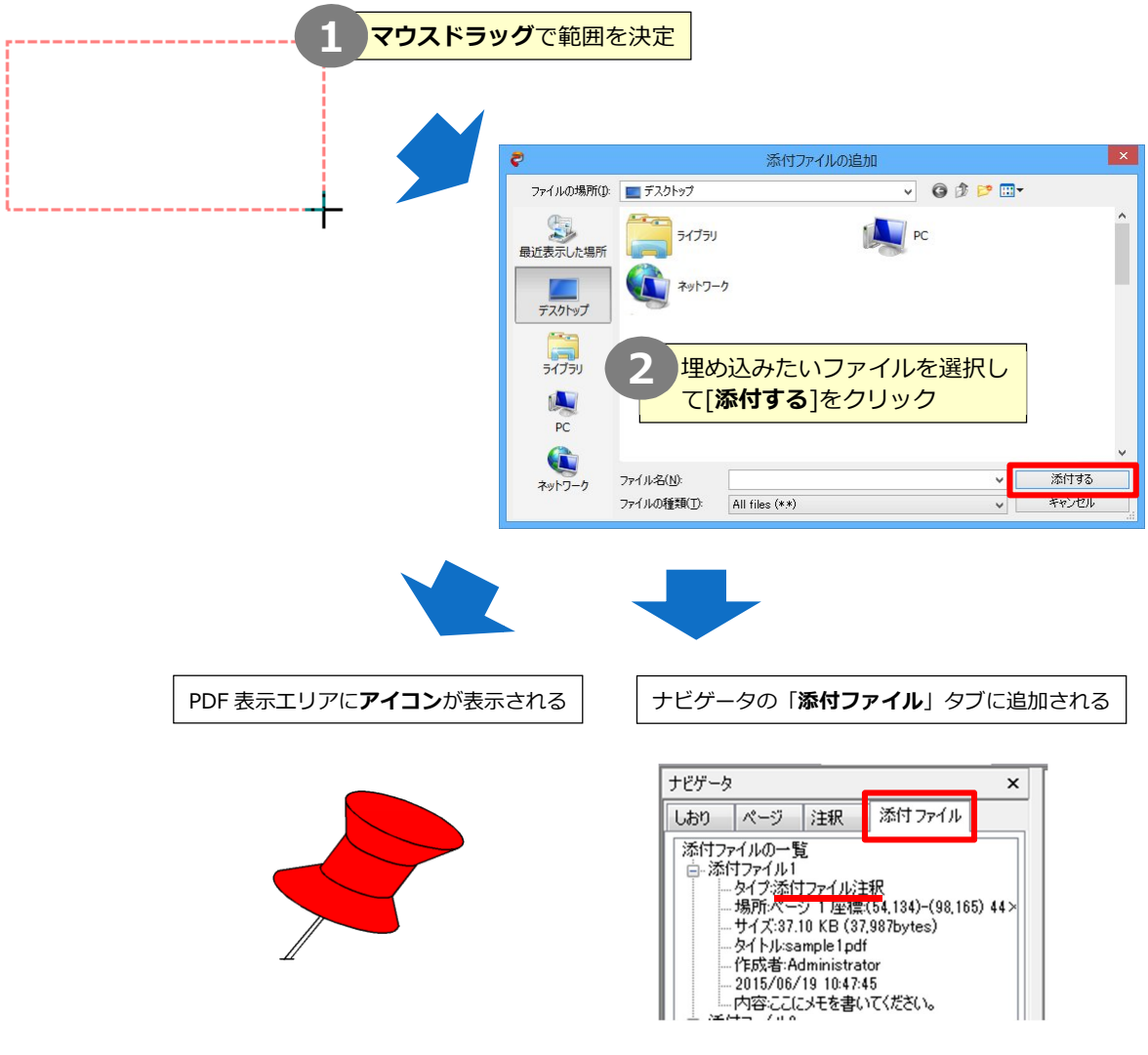
© 2015 SKYCOM Corporation

## 5.9　ファイルを添付する Professional

PDFファイルに、各種ファイルを添付することができます。「**ファイル添付**」で追加したファイルは、PDF表示エリア上から開くことができます。

### 5.9.1 ファイルを添付する

[**ツール**]－[**ファイル埋め込み**]（ ）



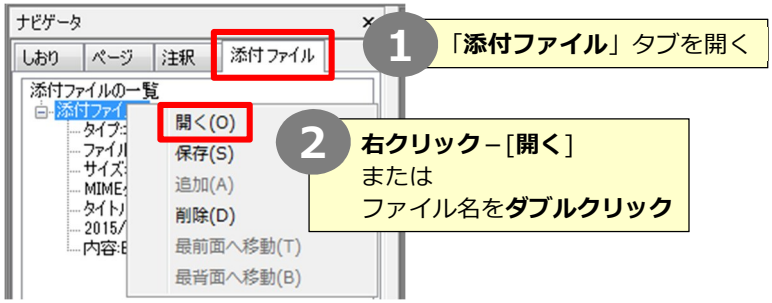

PDF 表示エリアに**アイコン**が表示される



ナビゲータの「**添付ファイル**」タブに追加される

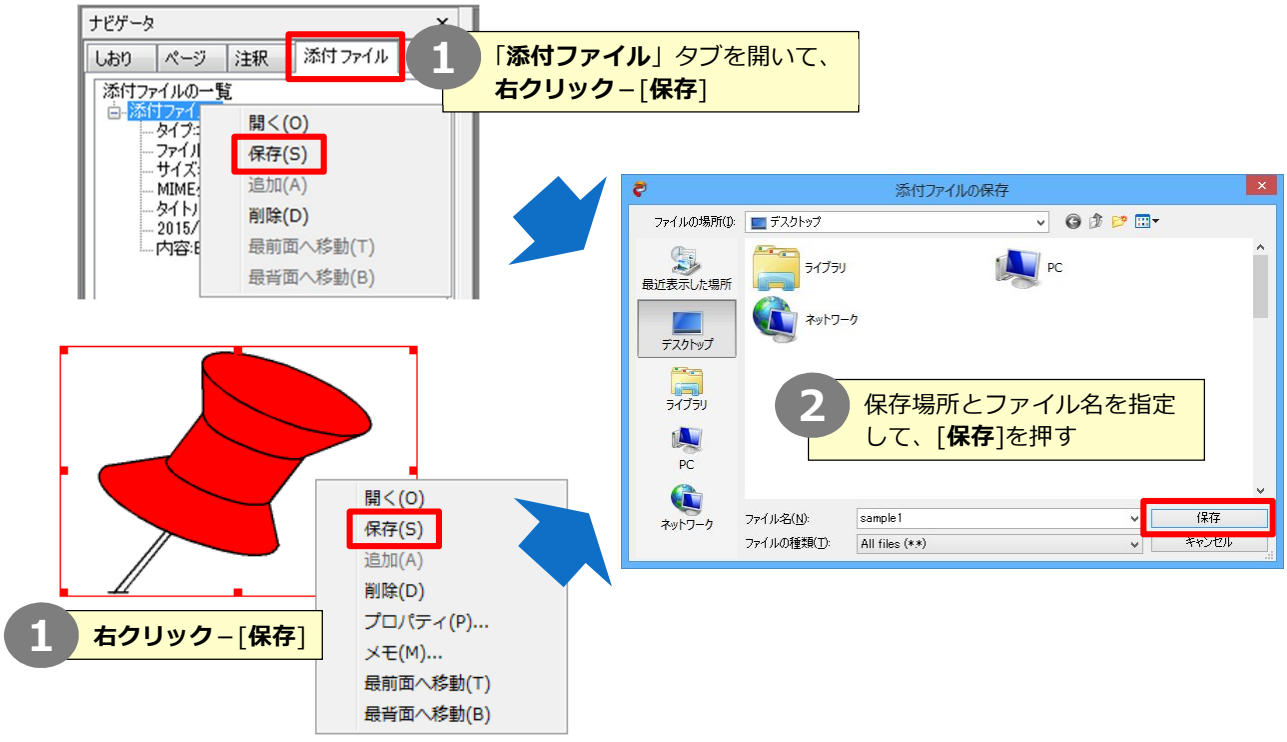
## 5.9.2 添付ファイルを開く

**ナビゲータから操作**




**PDF表示エリア上から操作**

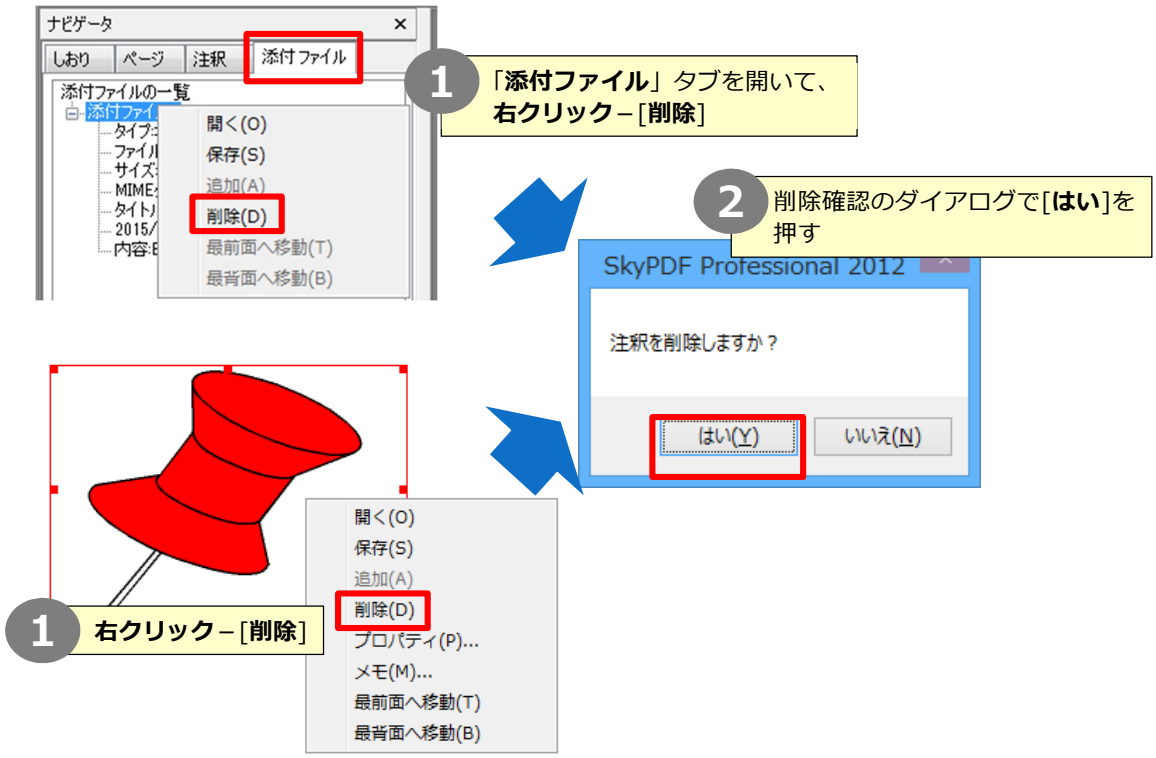
## 5.9.3 添付ファイルを保存する





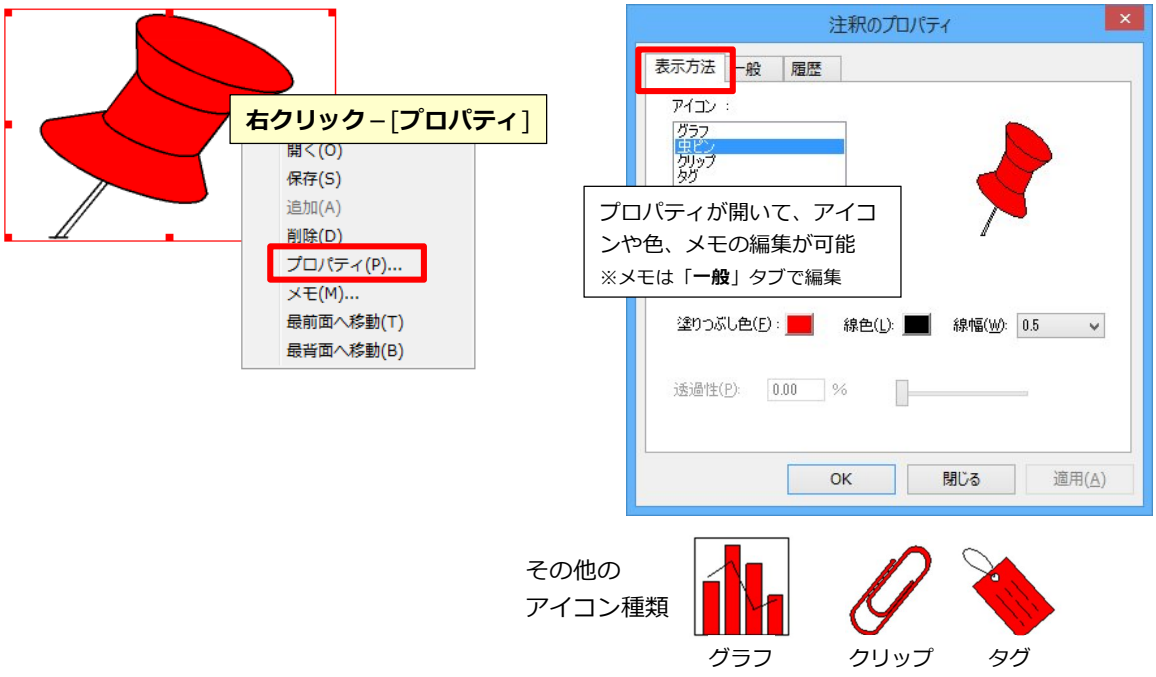
© 2015 SKYCOM Corporation

## 5.9.4 添付ファイルを削除する




## 5.9.5 添付ファイルのプロパティを変更する

アイコンの種類や色、またはメモを編集することができます。



## 5.10 選択とズームメニュー

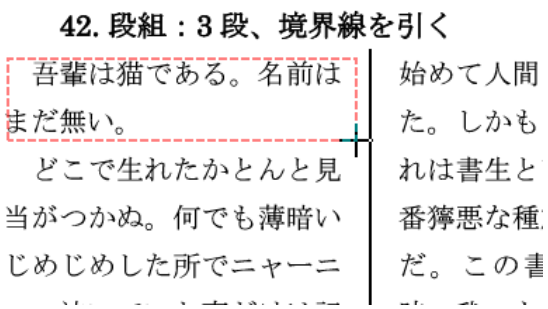
指定範囲の拡大表示やスナップショットをとることができます。

### 5.10.1 マーキーズーム

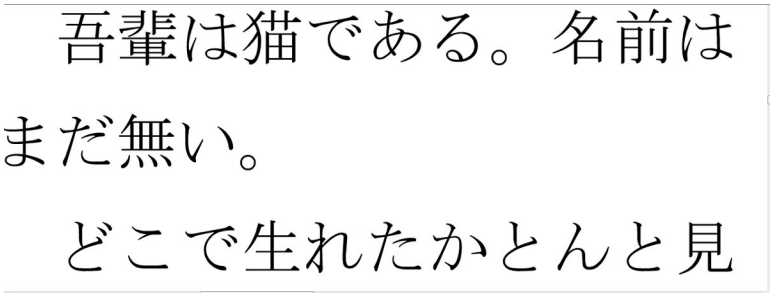
マウスで範囲指定した領域を部分的に拡大表示します。

[**ツール**]－[**選択とズーム**]－[**マーキーズーム**]

1. 拡大したい箇所をマウスドラッグで選択します。




2. ドラッグを終了すると、選択した領域を中心にして拡大表示されます。



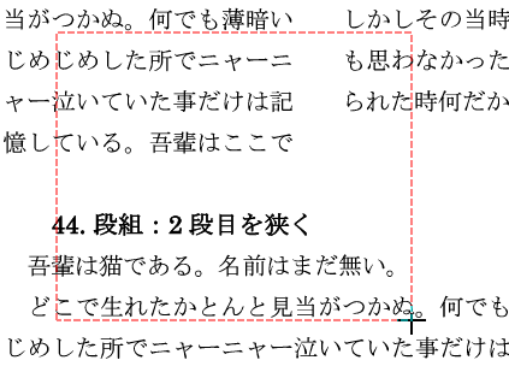

### 5.10.2 スナップショット

画像コピーや貼り付けをすることができます。

[**ツール**]－[**選択とズーム**]－[**スナップショット**]

**選択範囲を画像としてコピー**

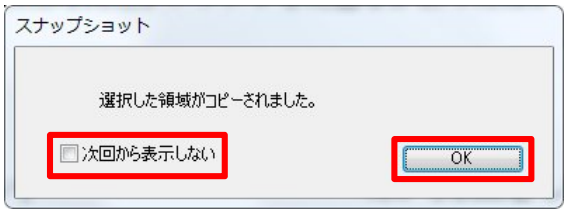
1. 画像コピーしたい範囲をマウスドラッグで選択します。





© 2015 SKYCOM Corporation

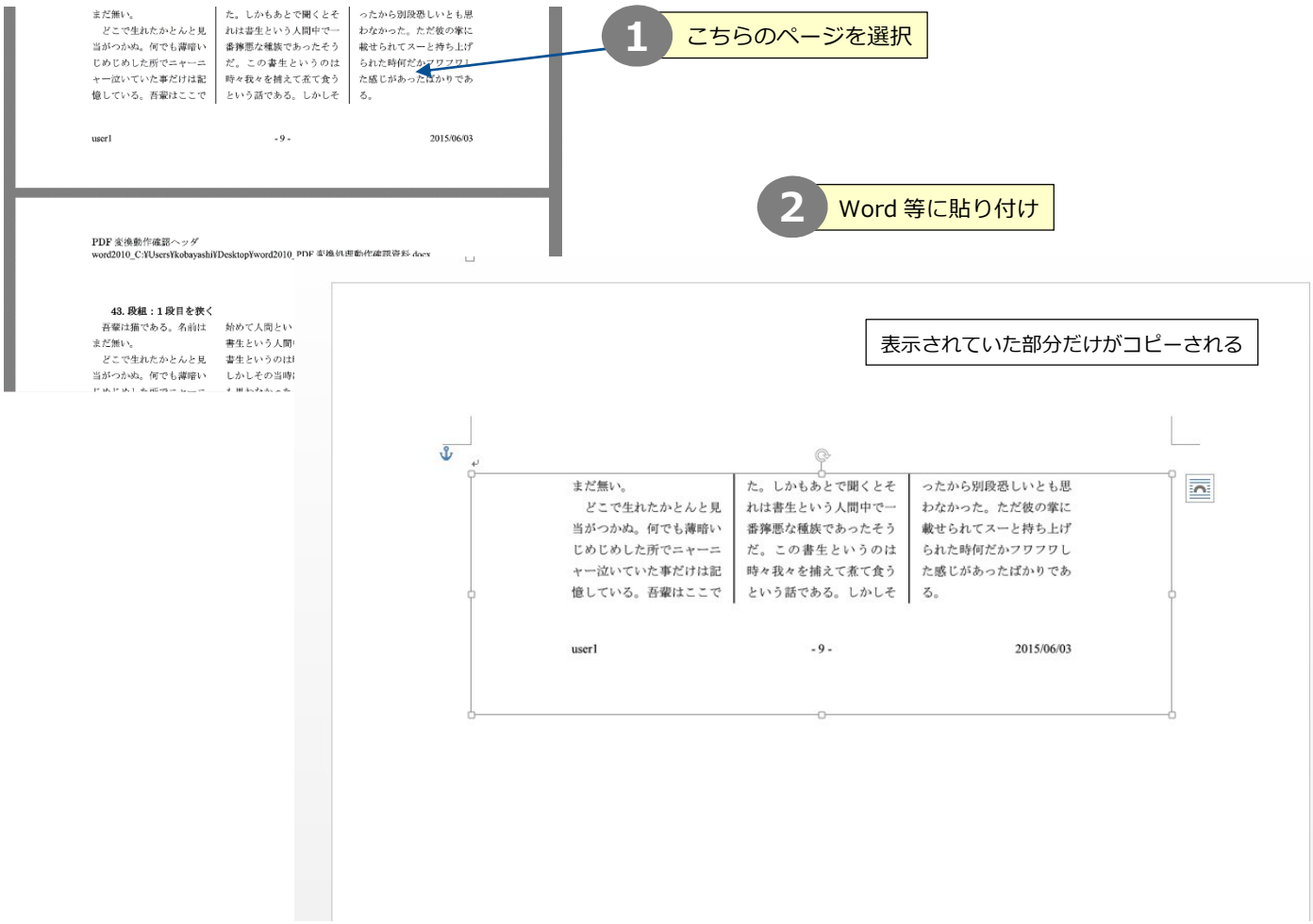
2. ドラッグを終了するとダイアログが表示されますので、[**OK**]で閉じます。
[**次回から表示しない**]にチェックを入れると、次回以降の操作終了時にこのダイアログは表示されなくなります。




## 表示されているページ全体を画像としてコピー

画像コピーしたいページをクリックします。

※ 複数ページの PDF ファイルが、ページをまたいで表示されている場合にこの操作を行うと、クリックしたページの、画面上に表示されている部分のみがコピーされます。




## 貼り付け方法

貼り付け対象のアプリケーション上で、キーボードから「**Ctrl + v**」入力か、アプリケーションの「**貼り付け**」メニューを実行してください。

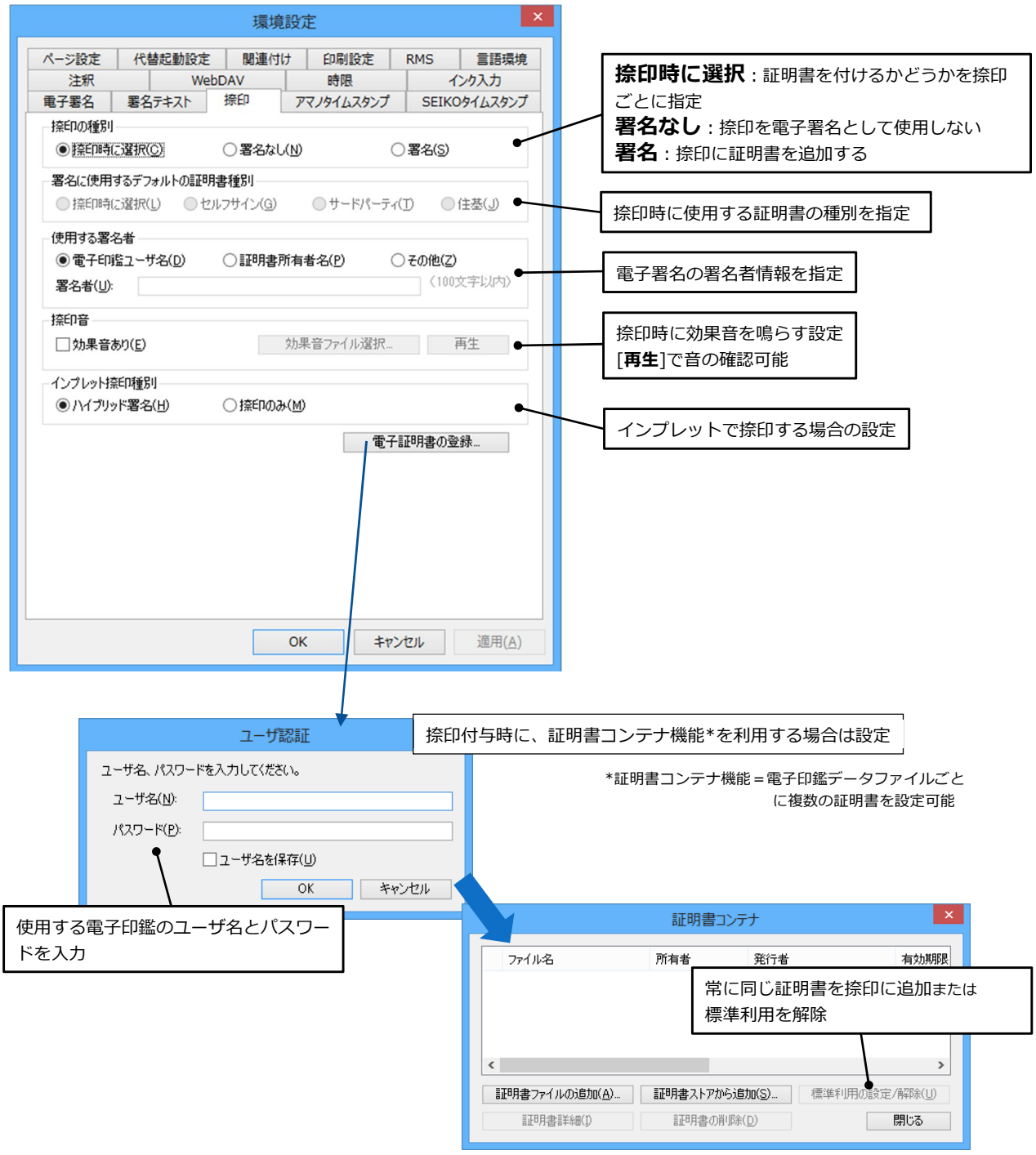
# 5.11 捺印する

電子印鑑を使用して、PDFファイルに捺印することができます。

あらかじめ、印鑑データファイルとこれを使用するためのユーザー名およびパスワードをご用意ください。

## 5.11.1 環境設定

**[ツール]－[環境設定]**



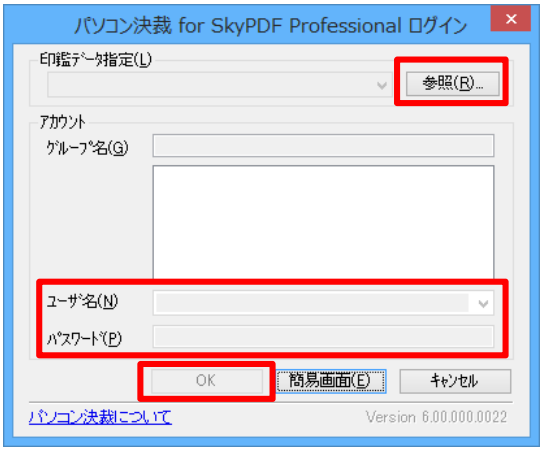


© 2015 SKYCOM Corporation

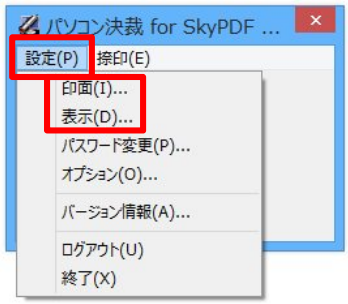
## 5.11.2 付与する

**[ツール]－[捺印]－[捺印]**

1. 「**パソコン決済for SkyPDF Professional ログイン**」画面が表示されますので、[**参照**]を押して印鑑データファイルを選択します。

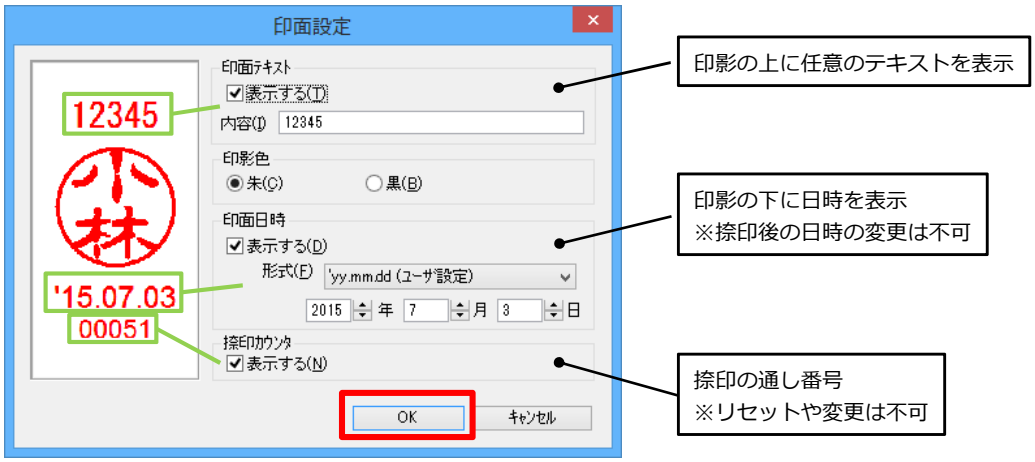



2. [**ユーザ名**]より、使用するユーザ名を選択し、パスワードを入力して[**OK**]を押します。
3. 印鑑選択ダイアログが表示されたら、印面および表示する印鑑の設定を行い、それぞれの画面の[**OK**]を押して決定します。




**印面設定**

印面のデザインを設定します。



### 表示設定

使用できる印鑑が複数ある場合、捺印時に表示する印鑑を設定します。

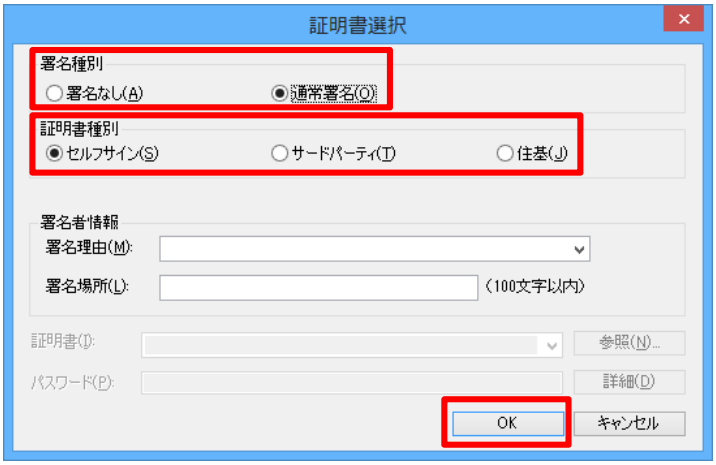
4. 印鑑のイメージをダブルクリックするか、[**捺印**]を押します。

5. 印影がポインターの位置に表示されますので、ポインターを動かして目的の位置でクリックします。

© 2015 SKYCOM Corporation

（ここからはProfessionalのみの機能）

6. 「**証明書選択**」ダイアログボックスが表示されたら、[**署名種別**]および[**証明書種別**]を設定します。



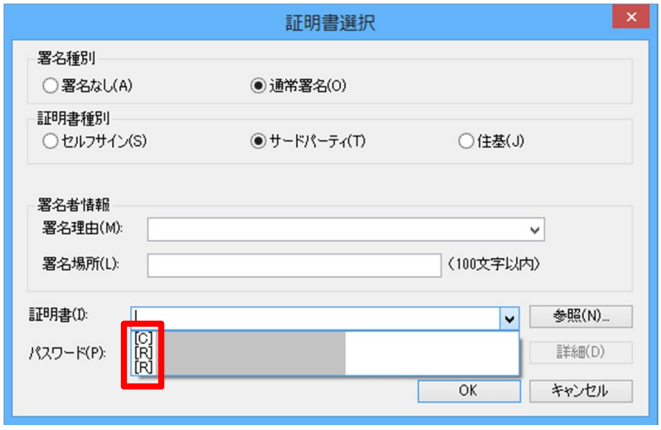

署名種別：[**署名なし**] ⇒ [**OK**]押す

署名種別：[**通常署名**] ⇒ [**セルフサイン**]/[**サードパーティ**]/[**住基**]のいずれかを選択

※ セルフサイン形式の証明書を捺印に追加し、捺印を電子署名として使用する場合は、[**セルフサイン**]を選択します。この場合、環境設定で署名者や署名理由、署名場所の情報が設定されていれば、この情報が電子署名の情報として使用されます。

※ 第三者機関などで発行された既存の証明書やICカードを捺印追加し、捺印を電子署名として使用する場合は、[**サードバーティ**]を選択します。

7. [**証明書種別**]で[**サードパーティ**]を選択した場合は、[**証明書**]で目的の証明書を選択します。
[**証明書**]の一覧に目的の証明書が無い場合は、[**参照**]を押して目的の証明書ファイルを指定します。



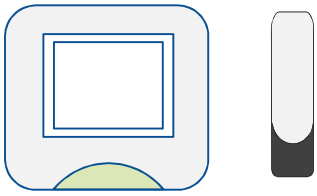

証明書の一覧で先頭に[**C**]と表示されているものは、証明書コンテナに保存されている証明書です。[**R**]と表示されているものは、Windowsの証明書ストアに保存されている証明書です。

8. 選択した証明書に秘密キーが設定されている場合は、パスワードを入力するボックスが表示されますので、証明書のパスワードを入力して、[**OK**]を押します。
これで捺印が追加されます。

© 2015 SKYCOM Corporation

## インプレットで捺印する場合

インプレットはICチップを内蔵した印鑑型のデバイスです。



1. 捺印したいPDFファイルを開きます。
2. 印面キャップをしたインプレットを専用タブレット上で動かして、印影を移動します。
3. 印影の位置が決まったら、インプレットのボタンを押して捺印します。

インプレットについては、シヤチハタ社の Web サイトをご覧ください。
（参照：http://dstmp.shachihata.co.jp/）


© 2015 SKYCOM Corporation

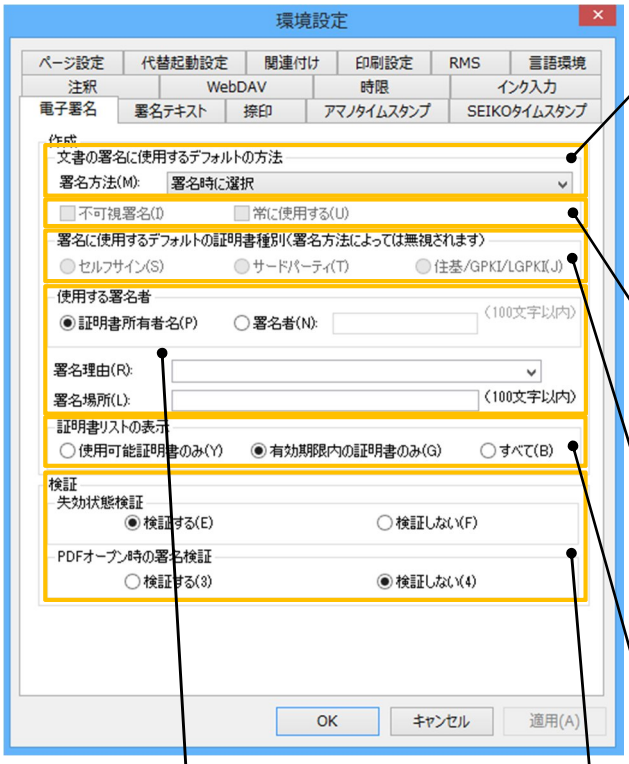
# 5.12 電子署名を付ける

電子署名は、電子文書の完全性を証明する役割を果たすものです。作成者の本人確認や、改ざん・偽造の防止に用いられます。

## 5.12.1 環境設定

**[ツール]－[環境設定]**

「**電子署名**」タブ




**署名時に選択**：署名方法を毎回指定
**SKYCOM Long Term Signature**：長期署名を追加（参照：7.3 長期署名を付ける）
**SKYCOM Standard Signature**：タイムスタンプ以外の通常の電子署名を追加
**AMANO Time Stamp Service 3161**：アマノタイムスタンプを使用
**SEIKO Time Stamp Service**：SEIKO タイムスタンプを使用

**不可視署名**：不可視（PDF 上に表示されない）電子署名を追加
**常に使用する**：設定した署名方法を常に使用する
※署名やタイムスタンプの付与時に、毎回選択画面が表示されなくなります

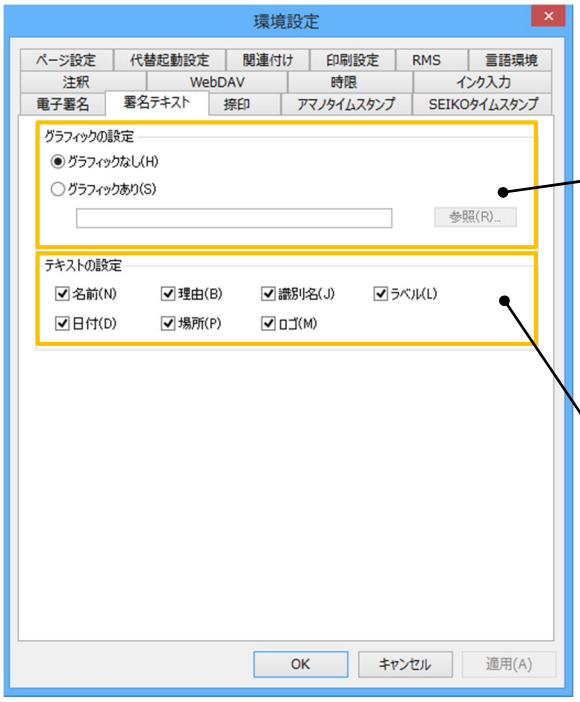
**セルフサイン**：ユーザーが自作する証明書
**サードパーティ**：第三者機関などから発行された証明書や IC カードを使用
**住基/GPKI/LGPKI**：住基カードで公的個人認証

**使用可能証明書のみ**：使用可能な証明書のみを表示
**有効期限内の証明書のみ**：期限が切れていない証明書のみを表示
**すべて**：証明書ストア内のすべての証明書を表示

**証明書所有者名/署名者**：署名者を指定
**署名理由**：プルダウンリストから選択
**署名場所**：100 字以内で入力

各アクション時の署名検証の有無
**失効状態検証**：失効している署名に対して
**PDF オープン時の検証**：PDF ファイルを開いたとき

## 「**署名テキスト**」タブ




署名に表示させるグラフィック（画像）を設定

署名上に表示させるテキストを指定

**名前**：署名者名（[電子署名]タブで設定）

**理由**：署名の理由（[電子署名]タブで設定）※

**識別名**：署名者名

**ラベル**：各項目の項目名

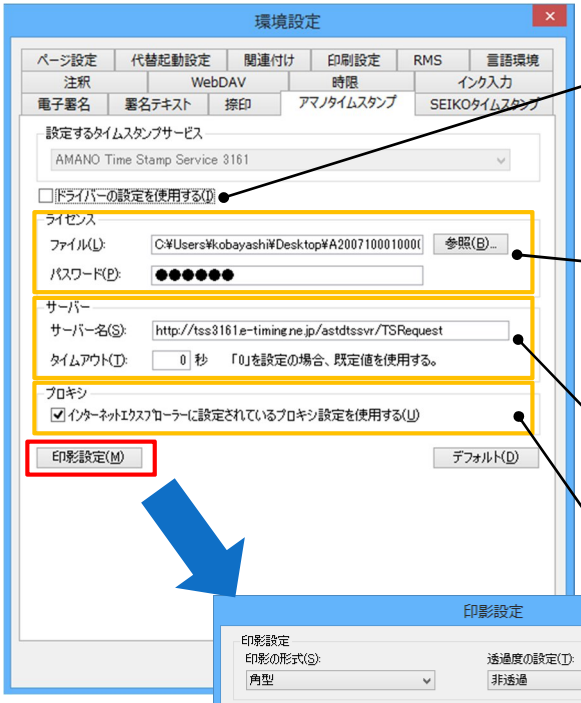
**日付**：署名をした日付

**場所**：署名をした場所（[電子署名]タブで設定）※

**ロゴ**：SkyPDF のロゴマーク

※署名時に入力可

## [**アマノタイムスタンプ**]タブ



**ドライバーの設定を使用する**
SkyPDF Pro Driver の設定を使用　※ライセンス以下の項目は設定不可
（参照：2.9.2 SkyPDF Pro Driver の設定）

**ファイル**：タイムスタンプライセンスファイルのパスを直接入力するか、[**参照**]を押して指定

**パスワード**：タイムスタンプライセンスファイルのパスワード

**サーバー名**：タイムスタンプ認証の URL

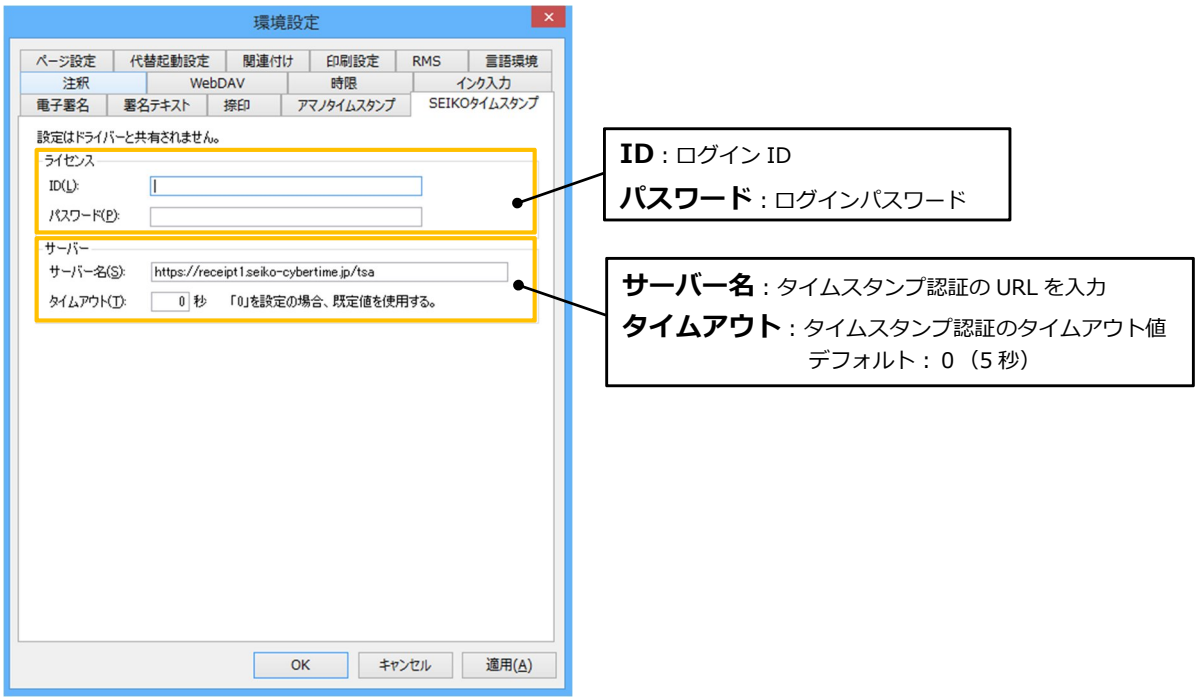
**タイムアウト**：タイムスタンプ認証のタイムアウト値
デフォルト：0（5 秒）

インターネットエクスプローラーで設定されているプロキシ設定を有効にする

印影の形、透過度、日付/時刻形式を設定
（参照：アマノタイムスタンプの印影設定）


© 2015 SKYCOM Corporation

「**SEIKOタイムスタンプ**」タブ




## 5.12.2 付与する

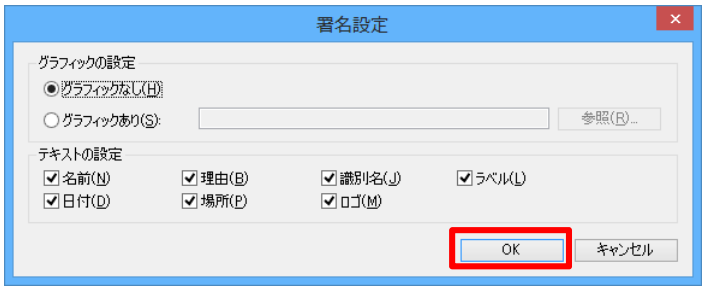
[**ツール**]－[**署名**]（ ）

「**署名方法の選択**」ダイアログで署名方法を選択します。

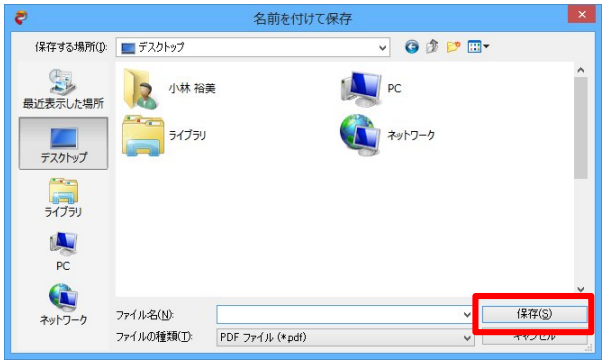
**SKYCOM Standard Signature**を選択した場合

1. マウスドラッグで、署名の配置範囲を指定します。
2. 「**証明書選択**」ダイアログで、証明書種別や署名の設定を行い、[**署名**]を押します。

3. 「**署名設定**」ダイアログで、グラフィックの設定や、署名に表示するテキストの設定を行い、[**OK**]を押します。



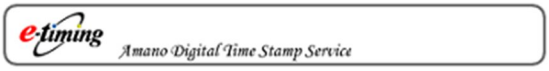

4. 「**名前を付けて保存**」ダイアログが表示されますので、署名付与後のPDFファイルの保存場所およびファイル名を指定して、[**保存**]を押します。



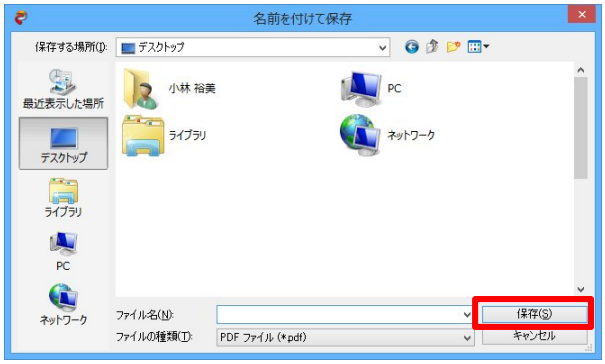

PDF上に署名が追加されます。

**AMANO Time Stamp Service 3161**を選択した場合

1. タイムスタンプの印影が表示されますので、配置したい場所でクリックします。




2. 「**名前を付けて保存**」ダイアログが表示されますので、署名付与後のPDFファイルの保存場所およびファイル名を指定して、[**保存**]を押します。





© 2015 SKYCOM Corporation

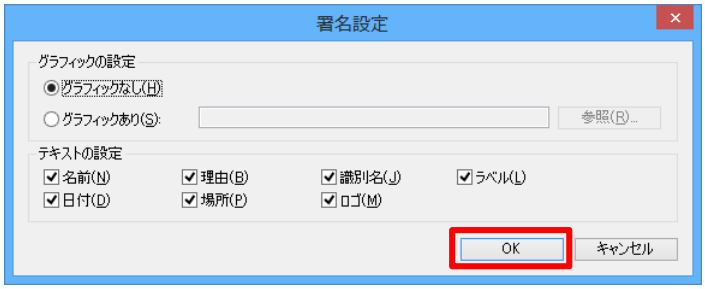
署名が始まります。

署名処理が終了したら、PDF上に署名が付与されます。

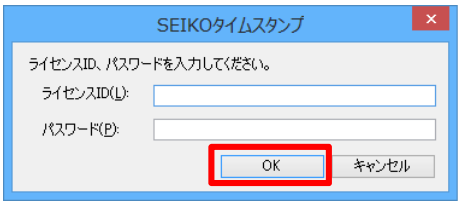
**SEIKO Time Stamp Service**を選択した場合

1. マウスドラッグで、署名の配置範囲を指定します。
2. 「**証明書選択**」ダイアログで、証明書種別や署名の設定を行い、[**署名**]を押します。

3. 「**署名設定**」ダイアログで、グラフィックの設定や、署名に表示するテキストの設定を行い、[**OK**]を押します。



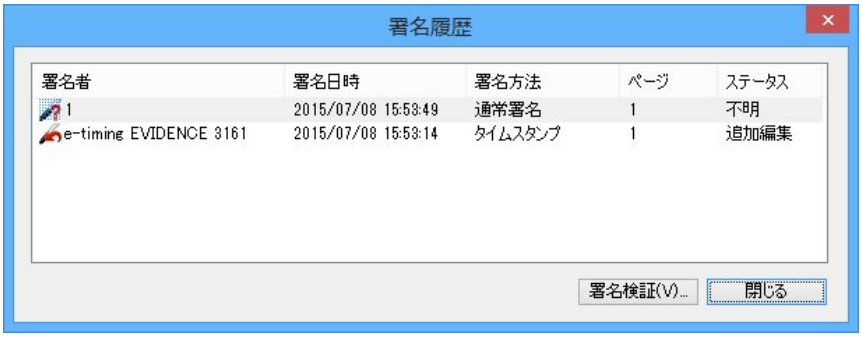

4. **ライセンスID**と**パスワード**を入力して[**OK**]を押します。



## 5.12.3 署名情報を表示する

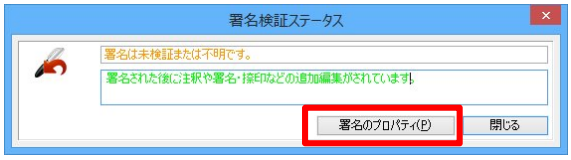
PDFファイルに追加されている電子署名の情報を表示します。

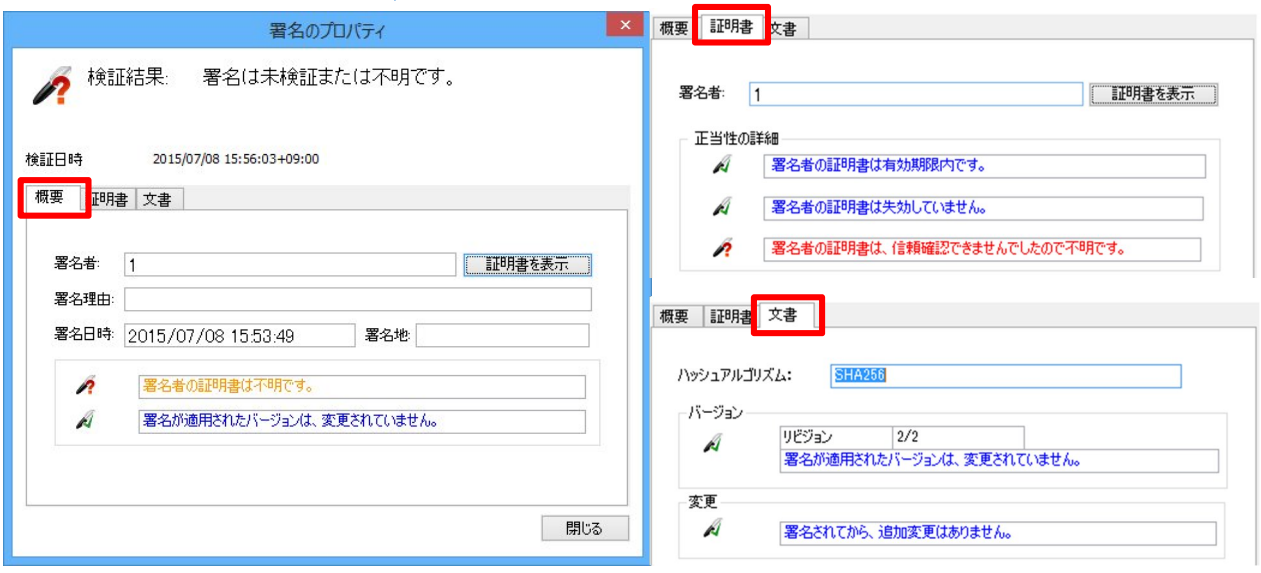
**[ツール]－[署名履歴]**（ ）




情報を表示したい署名を**ダブルクリック**してください。

**署名**の場合

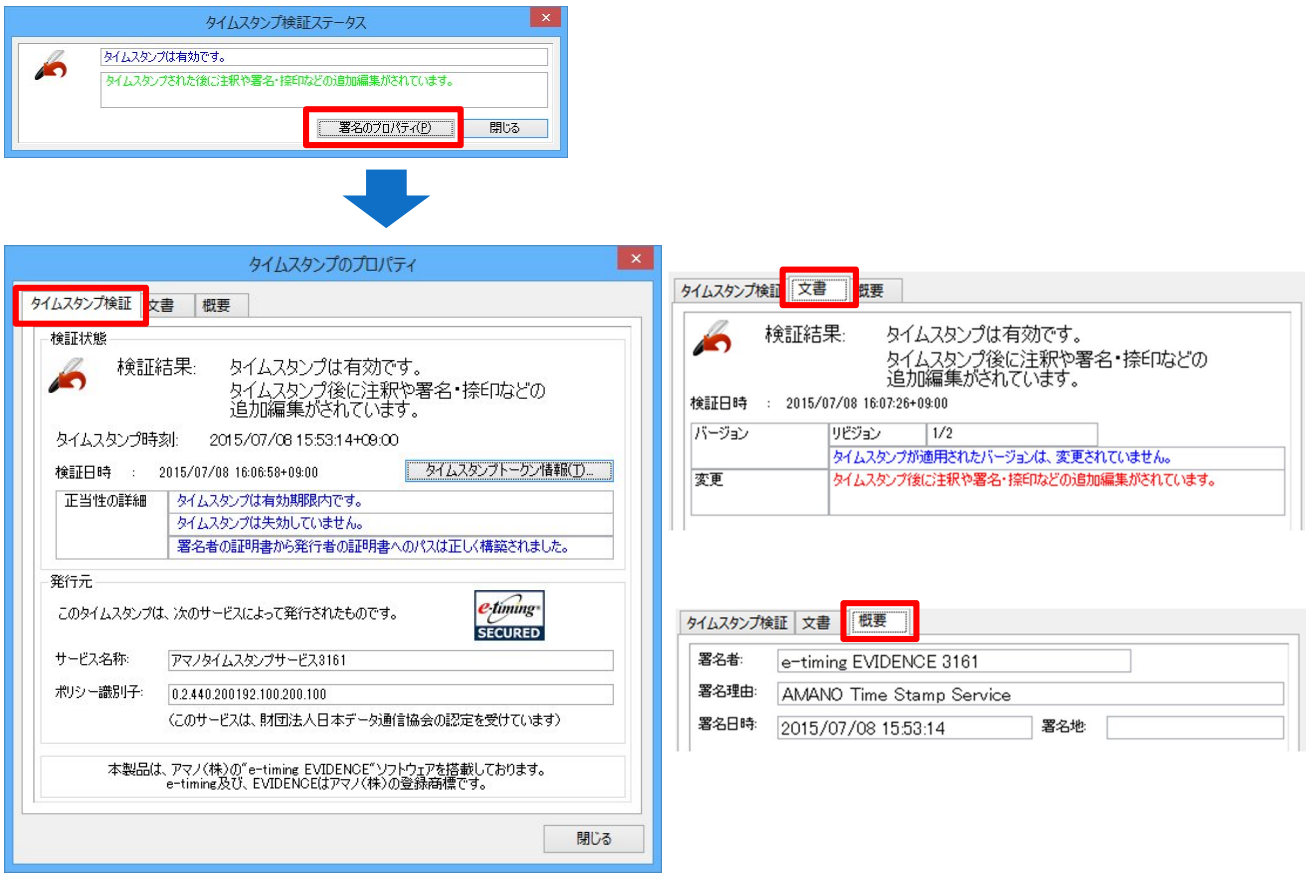




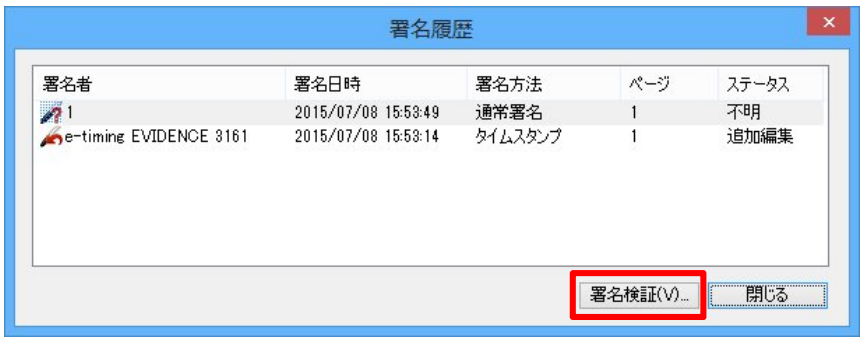
© 2015 SKYCOM Corporation

**タイムスタンプ**の場合




## 5.12.4 検証する

署名をの検証を行う場合は、署名をクリックするか、**署名履歴**を表示して[**署名検証**]を実施します。

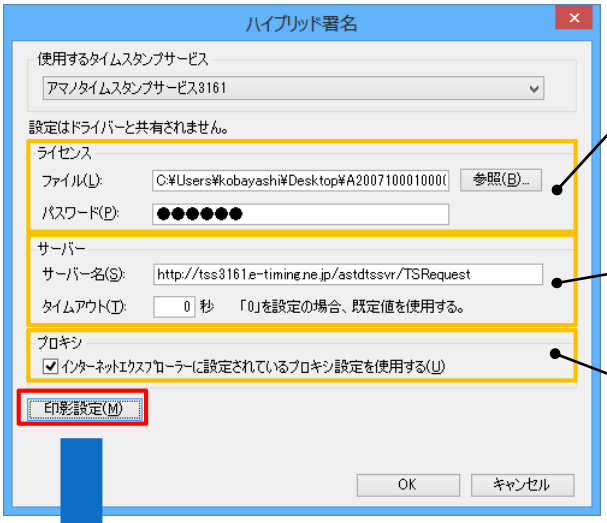


## 5.12.5 ハイブリッド署名

シヤチハタ電子印鑑とアマノタイムスタンプ付与が同時に行えます。

### 環境設定

**[ツール]－[ハイブリッド署名設定]**




**ファイル**：タイムスタンプライセンスファイルのパスを直接入力するか、[**参照**]を押して指定
**パスワード**：タイムスタンプライセンスファイルのパスワード

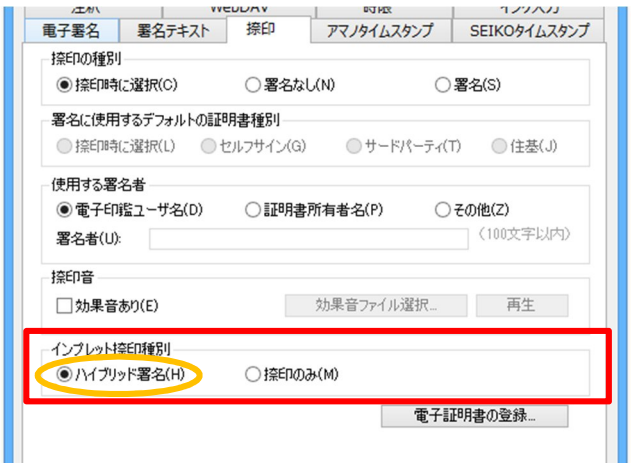
**サーバー名**：タイムスタンプ認証の URL
**タイムアウト**：タイムスタンプ認証のタイムアウト値
デフォルト：0（5 秒）

インターネットエクスプローラーで設定されているプロキシ設定が有効になる

印影の形、透過度、日付/時刻形式を設定
（参照：アマノタイムスタンプの印影設定）

### インプレットでハイブリッド署名する場合

環境設定「**捺印**」タブの、[**インプレット捺印種別**]で、[**ハイブリッド署名**]を選択します。



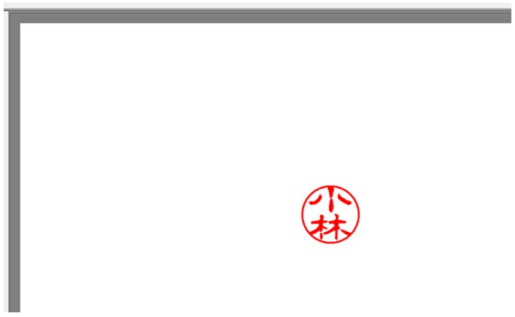


© 2015 SKYCOM Corporation

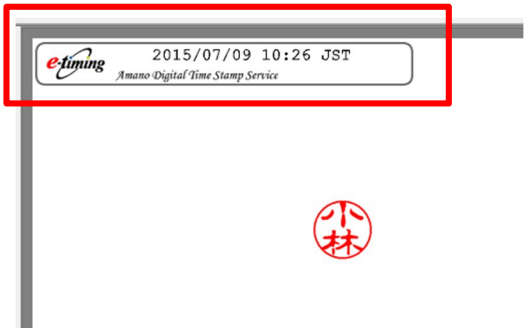
## 付与する

[**ツール**]－[**ハイブリッド署名**]（ ）

1. 電子印鑑にログインします。自動ログインが設定されている場合は、そのまま印鑑の印影が表示されます。
2. 印影をPDF上の任意の位置に移動し、捺印します。



3. 「**名前をつけて保存**」ダイアログが表示されますので、ハイブリッド署名後のPDFファイルの保存先とファイル名を指定して[**保存**]を押します。




アマノタイムスタンプは捺印したページの**左上**に追加されます。

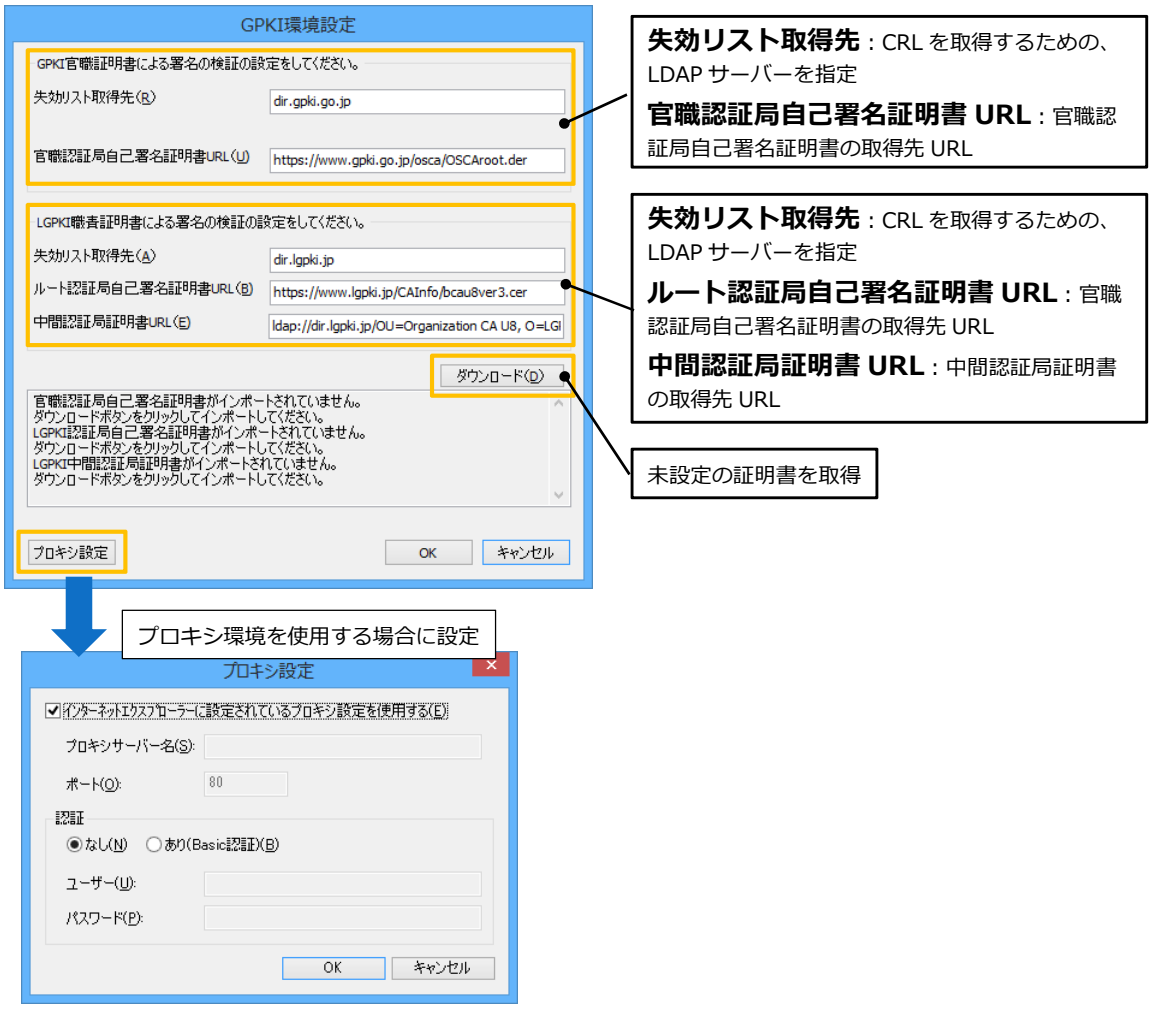
# 5.13 GPKI 対応の署名を付ける Professional

※　本機能は、日本語OS環境のみ動作検証済みです。

政府認証基盤（GPKI）対応の署名付与および検証が可能です。

## 5.13.1 環境設定

**[ツール]－[環境設定]**





© 2015 SKYCOM Corporation

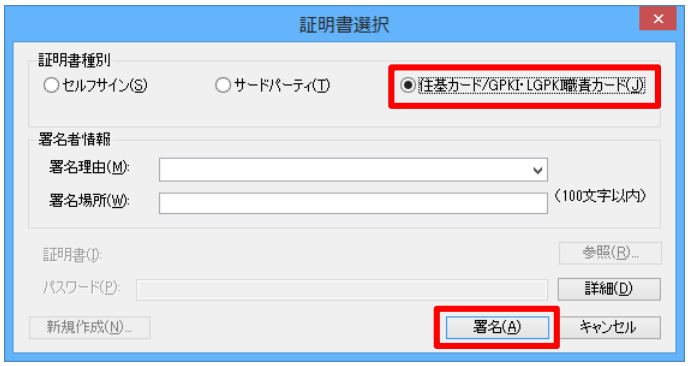
### 5.13.2 付与する

あらかじめ、以下の入手およびインストールを実施しておいてください。

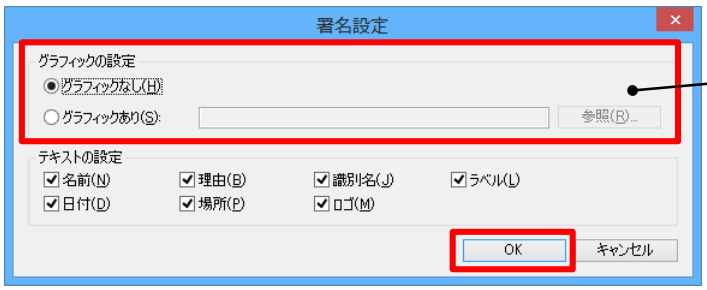
- GPKI/LGPKI利用者ソフト
- ICカード
- カードリーダー

1. PDFファイルを開きます。
2. [**ツール**]－[**署名**]を選択します。
3. 「**署名方法の選択**」ダイアログで、[**方法**]プルダウンリストより[**SKYCOM Standard Signature**]を選択します。

4. [**OK**]を押して、署名したい範囲をマウスドラッグで指定します。
5. 「**証明書選択**」ダイアログの[**証明書種別**]から[**住基カード/GPKI・LGPKI職責カード**]を選択します。[**署名理由**]と[**署名場所**]は必要に応じて入力してください。




6. [**署名**]を押します。
7. 「**署名設定**」ダイアログが表示されますので、必要に応じて設定し、[**OK**]を押します。




任意の画像を署名に付けたい場合は、[グラフィックあり]を選択して、画像ファイルを指定

8. “**住民基本台帳カードまたは職責カードをカードリーダに挿入してください。**”と表示されたら、ICカードをカードリーダーに挿入して[**OK**]を押します。

   ※ ICカードを挿入していないか、必要なソフトをインストールしていない場合は、“利用者クライアントソフトまたはGPKI利用者ソフトがインストールされていません。”と表示されます。ソフトのインストールを確認してください。

9. パスワードダイアログにパスワードを入力すると、署名が付与されます。

10. 「**名前を付けて保存**」ダイアログで、PDFファイルの保存場所とファイル名を指定して、保存してください。

### 5.13.3 検証する

PDFファイル上の署名アイコンをクリックすると検証が実施されます。
検証結果は、上記実施後に表示される「**署名検証ステータス**」で確認します。


© 2015 SKYCOM Corporation

# 6 セキュリティを設定する

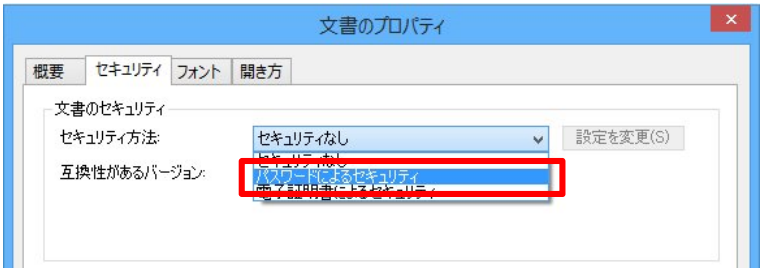
本製品で設定できるセキュリティには、“**パスワード**”によるものと、“**PKI（公開鍵）**”によるものとの2通りあります。それぞれについて説明します。

[**ファイル**]－[**文書のプロパティ**]（ ）

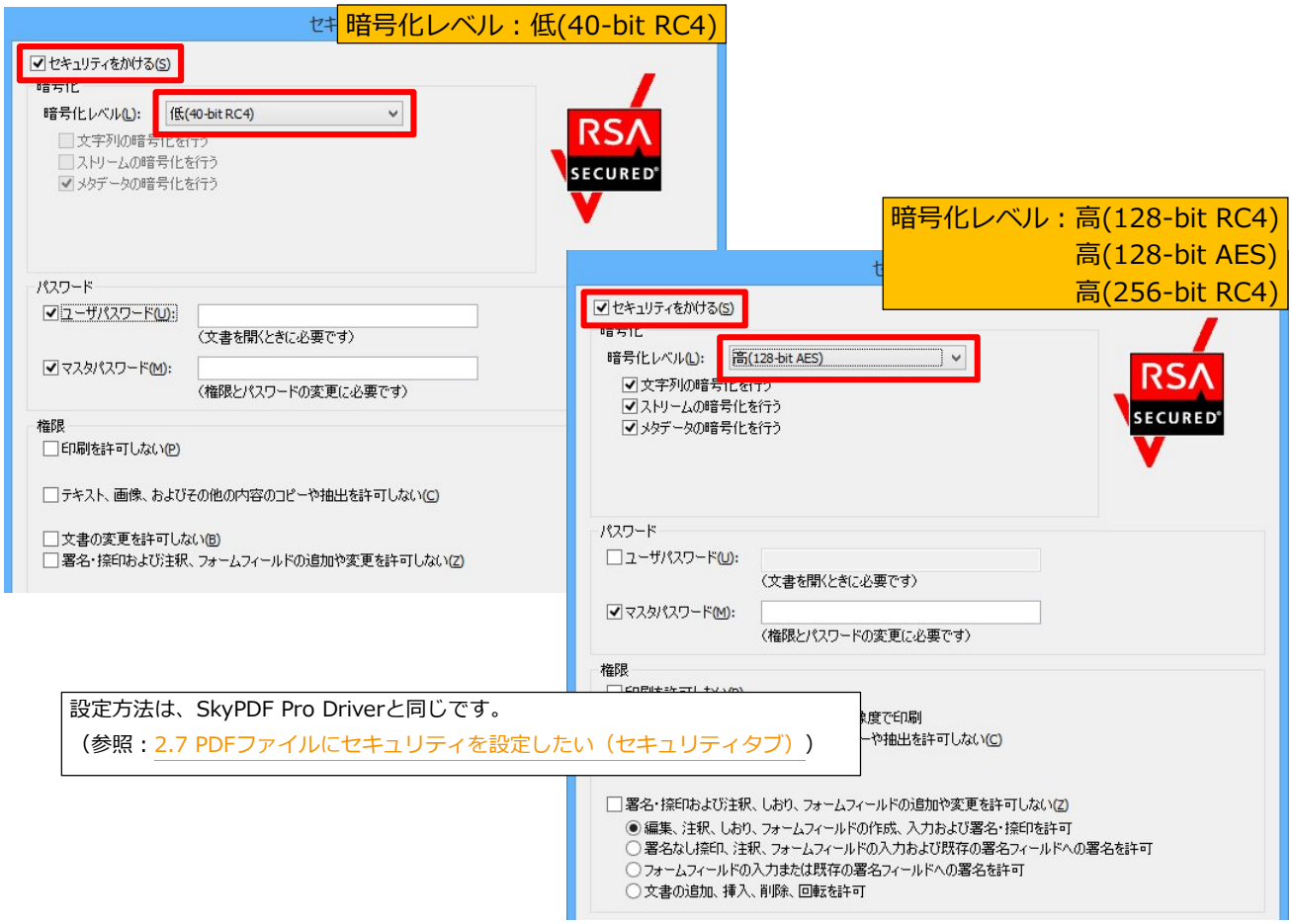
## 6.1 パスワードによるセキュリティ設定

オーナーパスワードを設定して、PDFファイルにセキュリティをかけます。印刷やPDFファイルの編集を制限することができます。

1. 「**セキュリティ**」タブを開いて、[**パスワードによるセキュリティ**]を選択します。




2. [**セキュリティをかける**]にチェックを入れて、**暗号化レベル・パスワード・権限**を設定します。

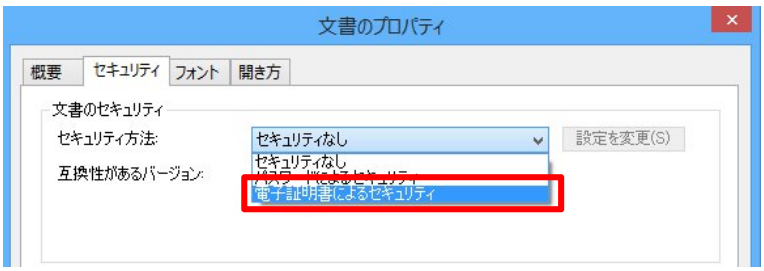



設定方法は、SkyPDF Pro Driverと同じです。
（参照：2.7 PDFファイルにセキュリティを設定したい（セキュリティタブ））

© 2015 SKYCOM Corporation

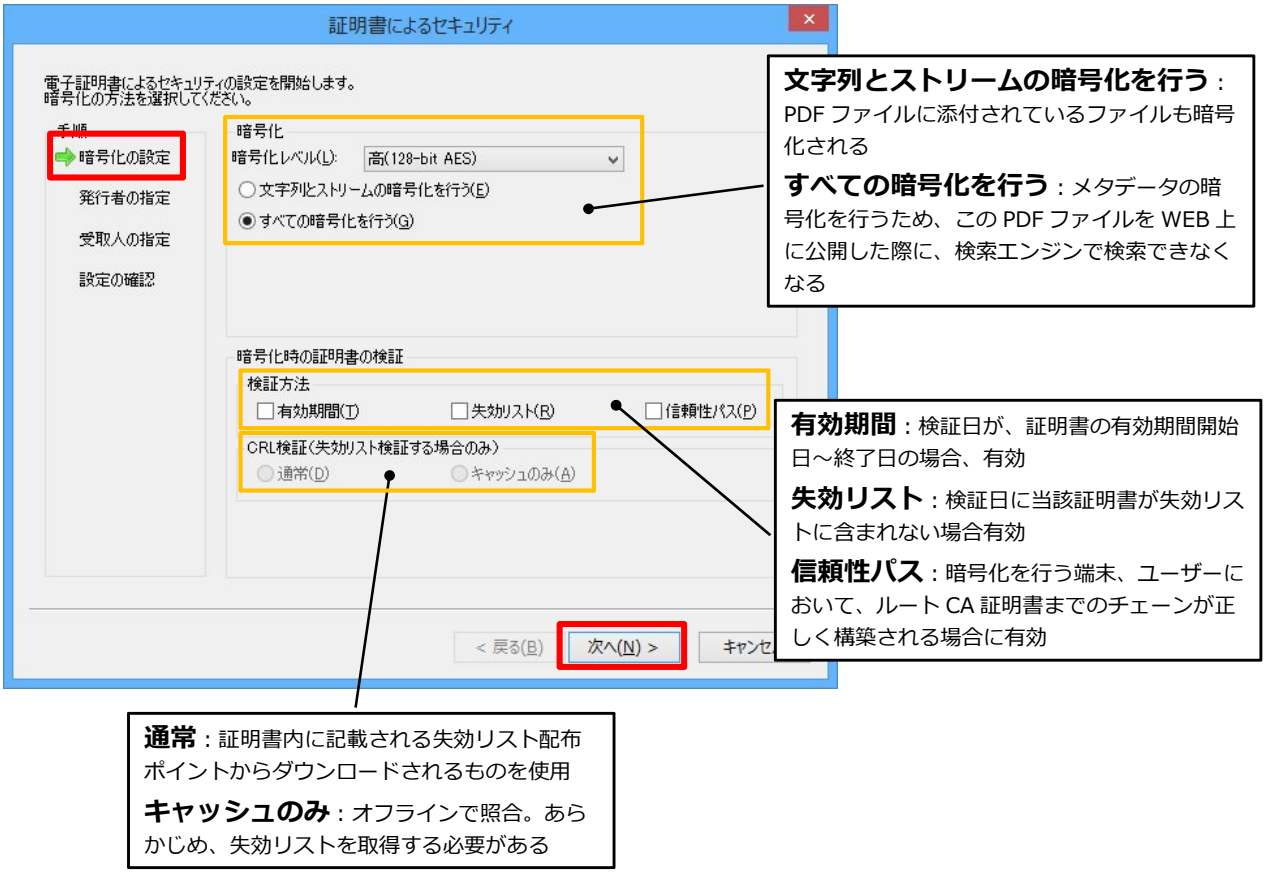
## 6.2 電子証明書によるセキュリティ設定

1. 「**セキュリティ**」タブを開いて、[**電子証明書によるセキュリティ**]を選択します。




2. 「**証明書によるセキュリティ**」ダイアログが開きます。

手順"暗号化の設定"では、[**暗号化レベル**]などを設定して、[**次へ**]を押します。




**文字列とストリームの暗号化を行う**：PDF ファイルに添付されているファイルも暗号化される

**すべての暗号化を行う**：メタデータの暗号化を行うため、この PDF ファイルを WEB 上に公開した際に、検索エンジンで検索できなくなる

**有効期間**：検証日が、証明書の有効期間開始日～終了日の場合、有効

**失効リスト**：検証日に当該証明書が失効リストに含まれない場合有効

**信頼性パス**：暗号化を行う端末、ユーザーにおいて、ルート CA 証明書までのチェーンが正しく構築される場合に有効

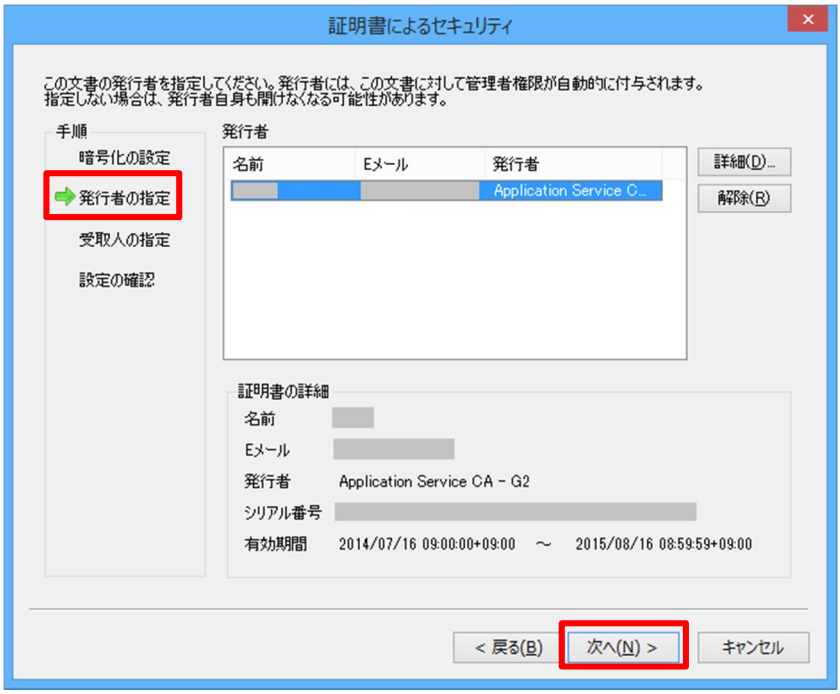
**通常**：証明書内に記載される失効リスト配布ポイントからダウンロードされるものを使用

**キャッシュのみ**：オフラインで照合。あらかじめ、失効リストを取得する必要がある

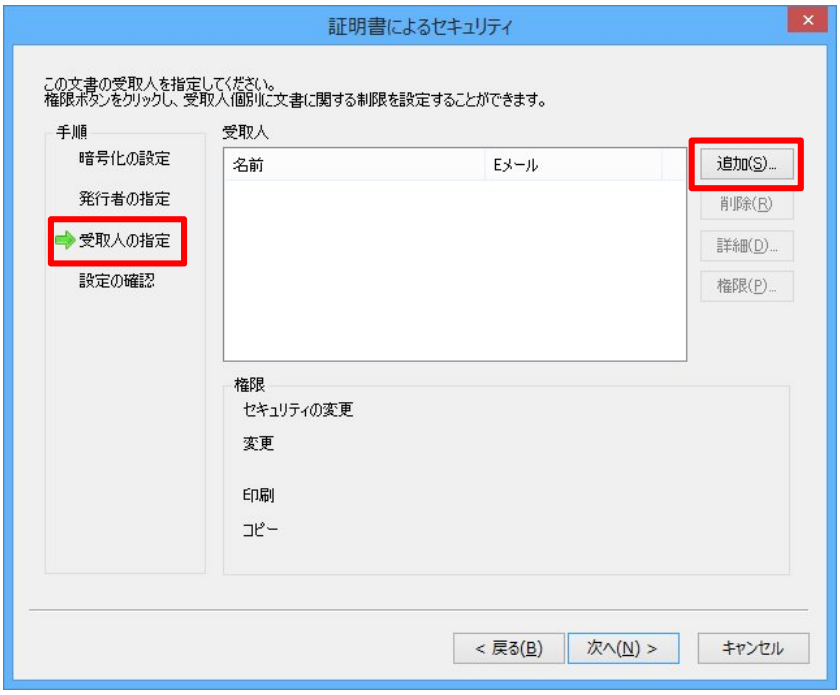

© 2015 SKYCOM Corporation

3. 手順“発行者の指定”では、作業中のPDFファイルの発行者を指定します。発行者には、自動的に管理者権限が付与されます。

   発行者を選択して、[**次へ**]を押します。

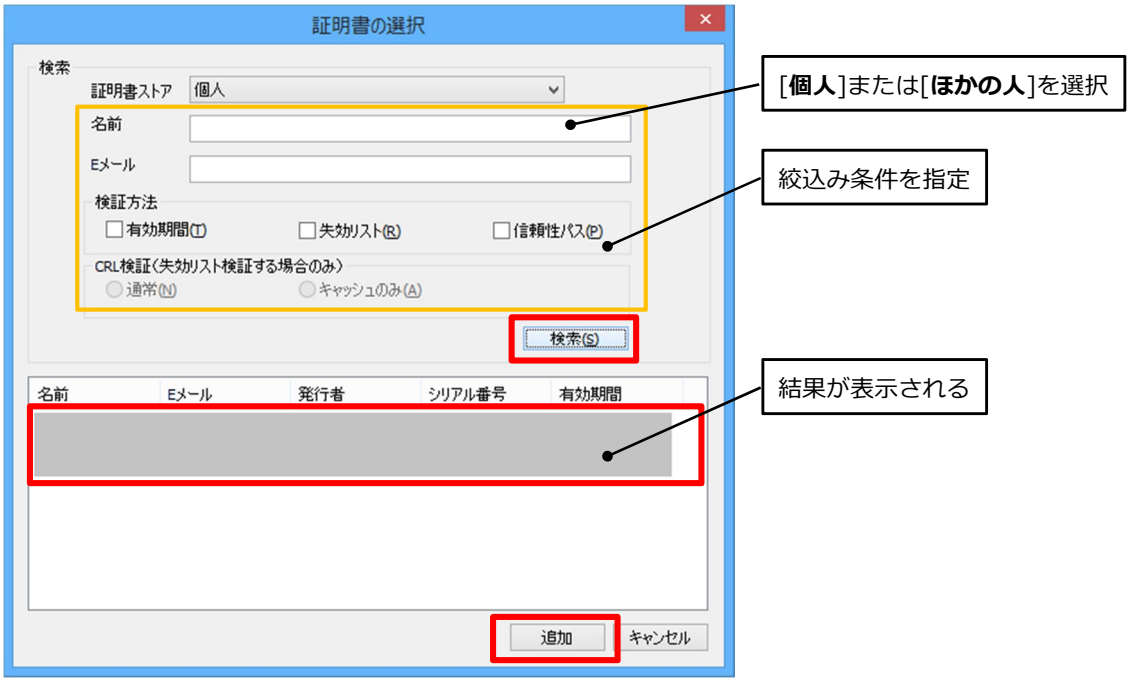



4. 手順“受取人の指定”では、[**追加**]を押して、セキュリティ付与後のPDFファイルの受取人を指定します。受取人ごとに権限を付与することができます。

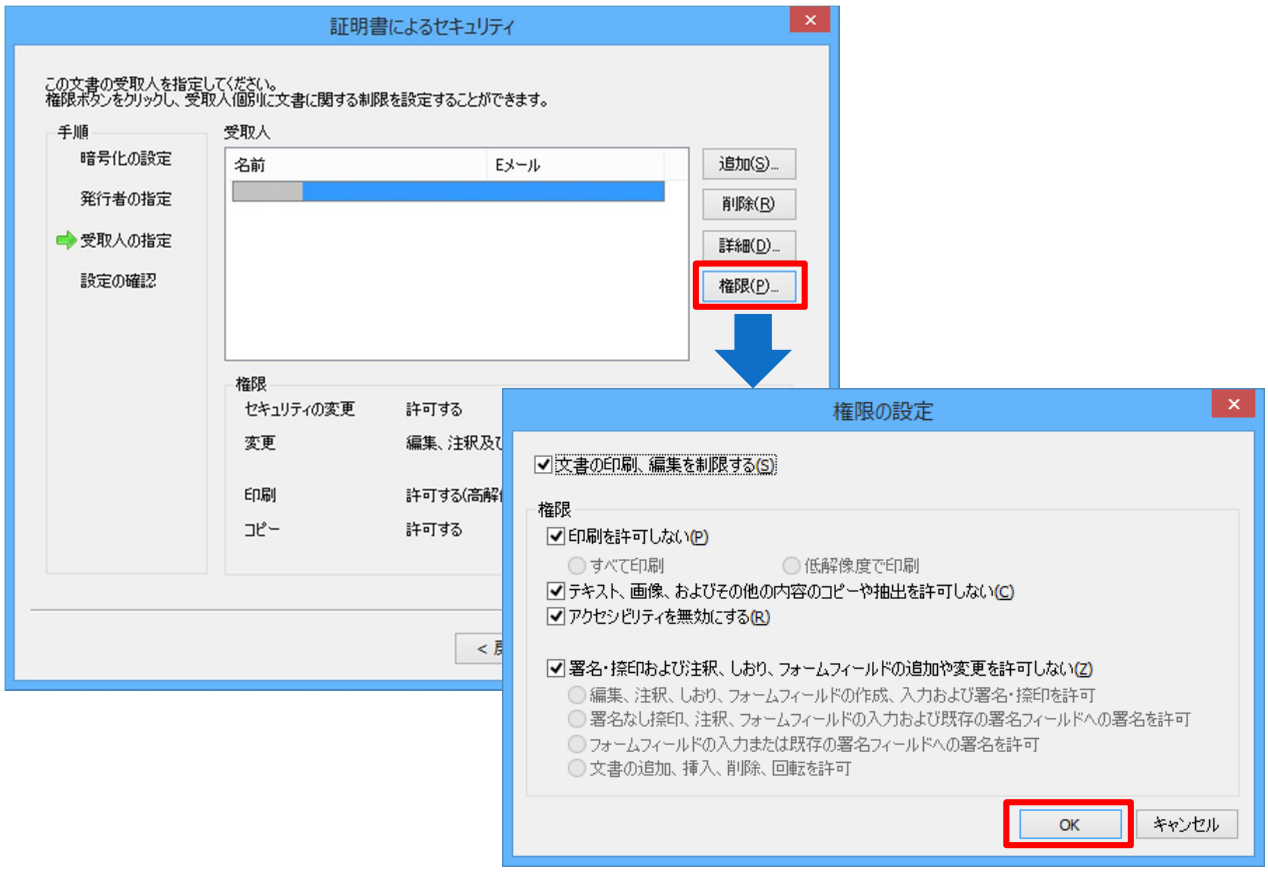


5. 「**証明書の選択**」ダイアログが開きますので、証明書ストアをプルダウンリストより選択し、[**検索**]を押します。

   検索結果が表示されたら、証明書を選択して[**追加**]を押します。



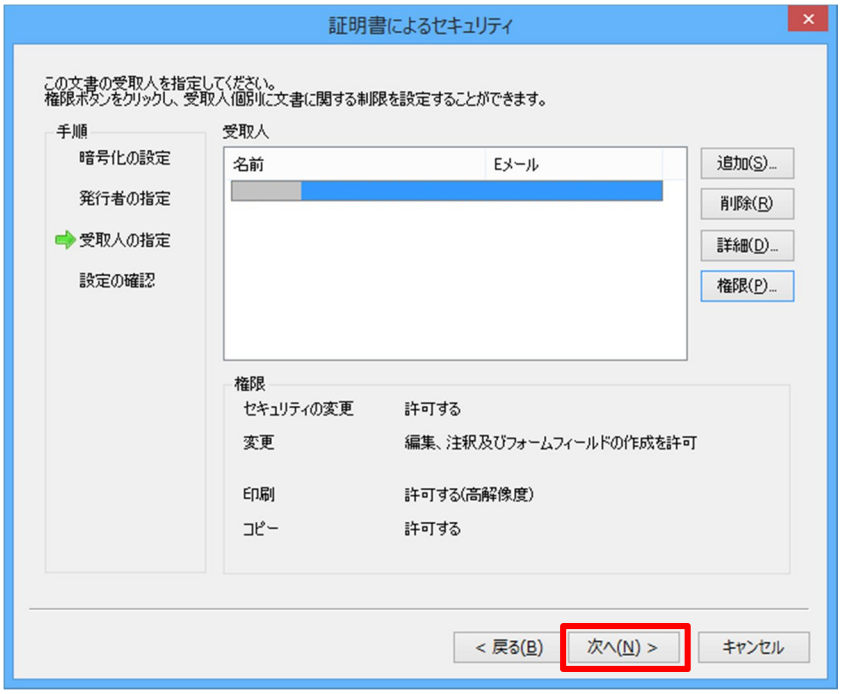

6. 追加された受取人は、フルコントロール権限を持っているため、受取人を選択して[**権限**]を押すと、個別に権限を設定します。



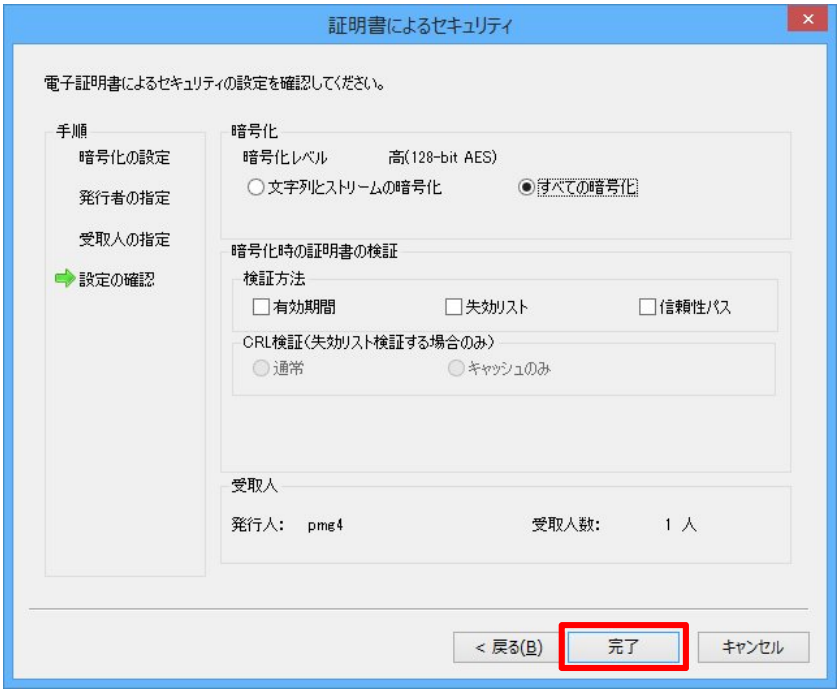


© 2015 SKYCOM Corporation

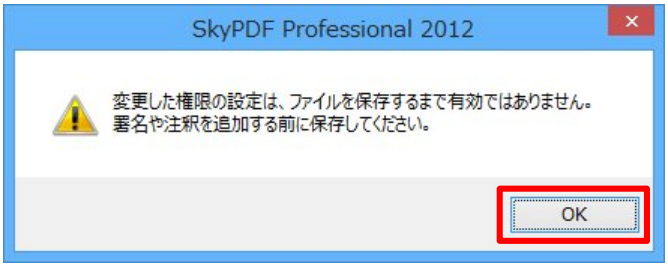
7. 権限の設定が終わったら、[**次へ**]を押します。




8. 手順“設定の確認”では、これまでの設定を確認し、設定を変更したい箇所があれば変更して、最後に[**完了**]を押します。



9. 以下のダイアログが表示されるので、[**OK**]を押します。
   ファイルを保存するまで、権限の設定は有効になりません。





© 2015 SKYCOM Corporation

# 7 オプション機能 Professional

本製品のオプション機能について説明します。

※オプション機能は別途購入が必要です。当社営業窓口までお問い合わせください。

## 7.1 RMS によるセキュリティを設定する

RMSは、コンテンツに対して永続的な権利と条件を割り当てる「権利管理」によって、アクセス権限を持つユーザーによる情報漏えいを防止します。

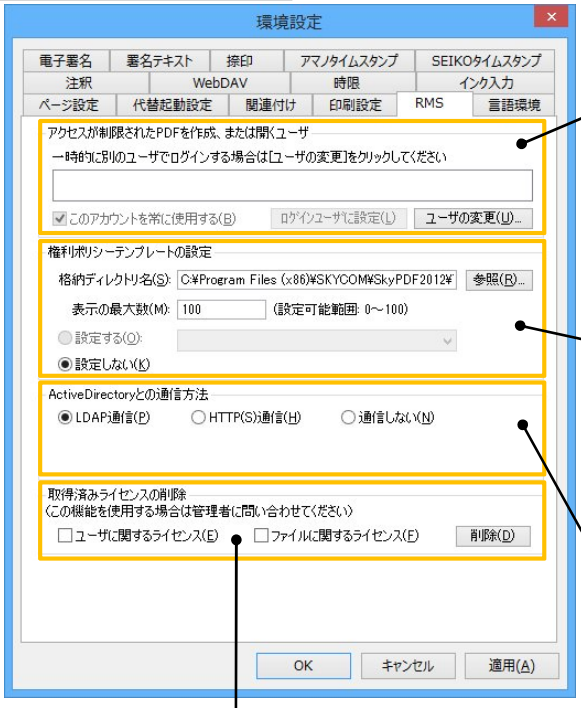
RMSで保護されたコンテンツは、これらの権利や条件を確認した上で、ユーザーに情報へのアクセスを許可します。また、権利を持つユーザーであっても、情報にアクセスできる範囲が制限されます。画面キャプチャーも防止します。

※ RMSテクノロジでは、RMSサーバーやデータベースサーバー、ActiveDirectory、RMSクライアントなどのコンポーネントが必要です。

※ ActiveDirectoryの管理者は、RMS対応のためユーザーアカウントにメールアドレス情報を入力し、アカウントとマッピングさせる必要があります。

### 7.1.1 環境設定

**[ツール]－[環境設定]**




アクセスが制限されたコンテンツを一時的に別ユーザーが作成したり開いたりすることができる

1. [**ユーザの変更**]を押す
2. ユーザ名・パスワード・ドメイン名を入力して[**OK**]を押す

**格納ディレクトリ**：直接入力、または[参照]を押して格納ディレクトリを指定

**表示の**最大数：

**設定する**：プルダウンリストから、常に使用するテンプレートを選択

**設定しない**：設定を解除

**LDAP 通信**：Lightweight Directory Access Protocol を用いて通信

**HTTP(S)通信**：Hyper Text transfer Protocol(Security)を用いて通信
ファイアウォールで LDAP 通信が許可されていない場合に設定
サーバーで DSML サービスが稼動している必要がある

**通信しない**：本製品と ActiveDirectory が直接通信しない
権限に設定されているグループアドレスやプロキシアドレスは無視される

**取得済みライセンスの削除**：アクティベーションをリセットする際、取得ライセンスを削除する
削除したいライセンスにチェックを入れて、[**削除**]を押す

**権利ポリシーテンプレートを使用する**

RMS管理者によって作成されたポリシーテンプレートを使用することで、コンテンツを制御することができます。

あらかじめ、環境設定でテンプレートファイルを指定しておきます。

① [**ファイル**]－[**アクセス許可**]

使用したいテンプレートを選択します。

② [**ファイル**]－[**アクセス許可**]－[**配布禁止**]（ ）

1. 「**セキュリティ設定**」ダイアログで、[**このドキュメントへのアクセスを制限する**]にチェックを入れます。

2. 権利ポリシーテンプレートのプルダウンリストから、使用したいポリシーテンプレートを選択します。
3. [**OK**]を押します。


© 2015 SKYCOM Corporation

## 7.1.2 設定する

**[ファイル]－[アクセス許可]－[配布禁止]（ ）**

1. 「**セキュリティ設定**」ダイアログで、[**このドキュメントでのアクセスを制限する**]にチェックを入れます。

2. 各権限のボックスに、ユーザーのメールアドレス※1を入力します。（または、[**閲覧**]・[**通常署名**]・[**変更**]の各ボタンを押して、アドレス帳から追加）※2

3. [**OK**]を押します。

※1・・・複数のメールアドレスを入力する場合は、セミコロン（;）で区切ってください。

※2・・・すべてのユーザーにアクセス許可を与える場合は、それぞれのボックスの右側にある、 （すべてのユーザーに閲覧することを許可します）をクリックします。

**※　[長期保存署名]は、現バージョンでは使用できません。**

**※　RMS権限と通常のセキュリティ設定は、同時付与ができません。**

**権限対応表**

| 権限 | テキスト、画像、およびその他の内容のコピーや抽出を許可する | 文書の変更を許可する | 印刷を許可する | 保存を許可する | 署名・捺印を許可する | 添付ファイルの閲覧を許可する | 長期保存署名を許可する | スクリプトの実行 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| フルコントロール | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 閲覧 | — | — | — | — | — | ○ | — | ○ |
| 通常署名 | — | — | — | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| 変更 | — | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

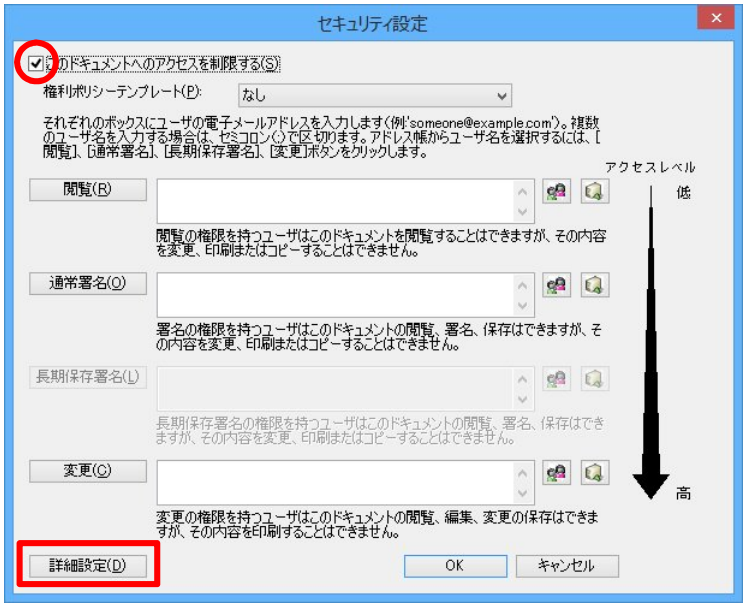
© 2015 SKYCOM Corporation

### 7.1.3 詳細画面を表示する

各権限のアクセスレベルを変更したり、追加したりすることができます。

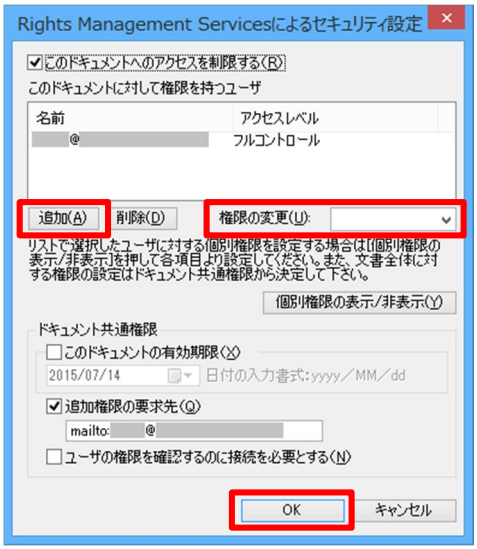
[**ファイル**]－[**アクセス許可**]－[**配布禁止**]（またはセキュリティ ）

1. 「**セキュリティ設定**」ダイアログで、[**このドキュメントへのアクセスを制限する**]にチェックを入れます。




2. [**詳細設定**]を押します。

3. 「**Rights Management Servicesによるセキュリティ設定**」ダイアログが開きます。
ユーザを選択して[**権限の変更**]から権限を変更したり、[**追加**]を押して、ユーザを追加してください。




ドキュメントの有効期限や作成者のメールアドレス、アクセス制限が設定されているコンテンツを開くときに、RMSサーバへの接続をするかどうかの設定も、ここで行います。

4. 設定が終わったら、[**OK**]を押してダイアログを閉じます。


© 2015 SKYCOM Corporation

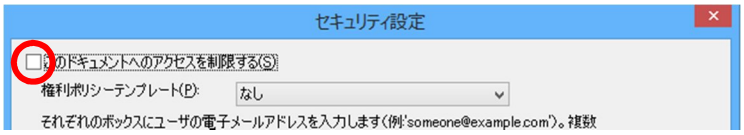
### 7.1.4 設定を解除する

解除方法は２通りあります。

a. [**ファイル**]－[**アクセス許可**]－[**アクセス制限なし**] を実行します。

[**OK**]を押して解除します。

b. を押して、「**セキュリティ設定**」ダイアログで、[**このドキュメントへのアクセスを制限する**]のチェックをはずします。




※　権利ポリシーテンプレートの設定を解除する場合は、[**権利ポリシーテンプレート**]を[**なし**]に変更してください。

### 7.1.5 保護されたPDFファイルを開く

RMSによってアクセス制限が設定されているPDFファイルは、アクセス権限を持つユーザーであれば通常通り開くことができます。

アクセス権限のあるユーザーの情報を入力するダイアログが表示されたら、**ユーザ名・パスワード・ドメイン名**を入力後、[**OK**]を押してください。

※　SkyPDF 2012 Ver.5.1.0.11 以降で RMS セキュリティを付与した PDF ファイルは、SkyPDF 2012 Ver.5.1.0.10 以前および SkyPDF2016 Ver.6.0.0.0 では開くことができません。

© 2015 SKYCOM Corporation

アクセス権限が無い場合や互換性の無いバージョンでは、以下のようなPDFが表示されます。

© 2015 SKYCOM Corporation

## 7.2　PDF ファイルに時限設定をする

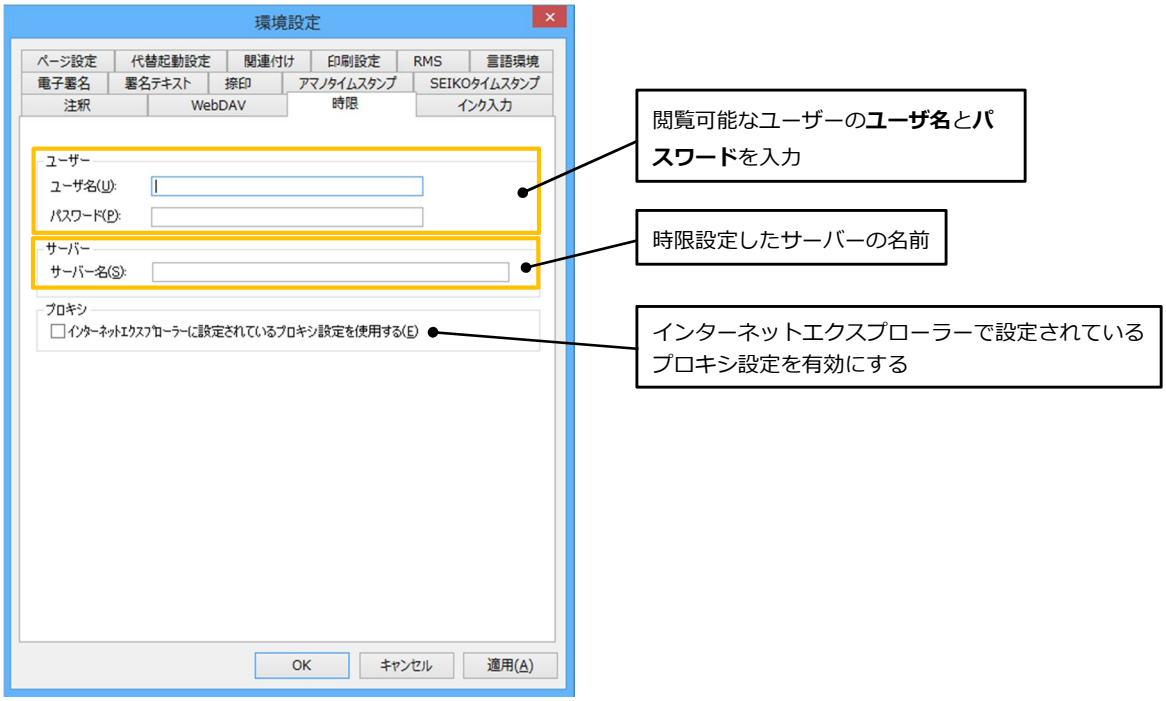
PDFファイルに閲覧期限や回数を設定します。期限や回数を越える場合は自動的にPDFファイルが削除されます。

### 7.2.1 環境設定

オンラインで時限設定されたPDFファイル※を開く際に必要な設定を行います。

※　当社製品「SkyPDF Web Server 2012」のオンライン時限オプションで作成したPDFファイル

**[ツール]－[環境設定]**

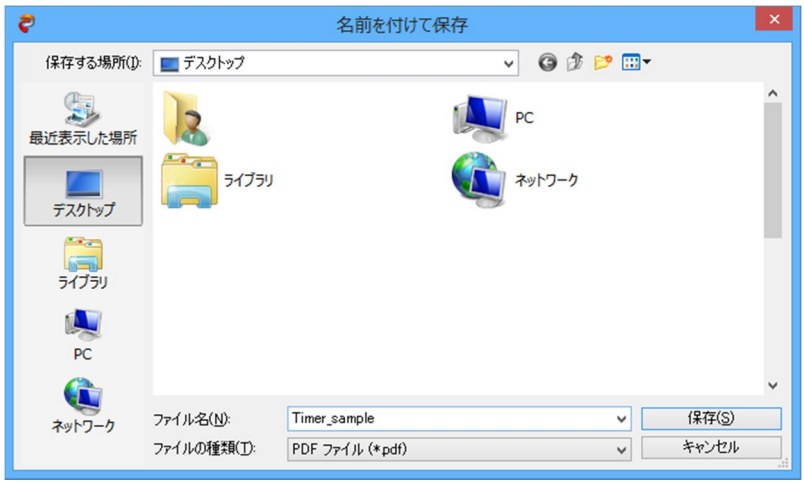


## 7.2.2 設定する

**ファイルメニューから**

**[ファイル]－[PDF に時限をかける]**

1. ［**回数**］にチェックを入れ、閲覧回数を入力します。
2. ［**時限**］にチェックをいれ、表示されている日付横の［**v**］を押して、カレンダーから閲覧期限を指定します。
3. ［**OK**］を押します。
4. 「**名前を付けて保存**」ダイアログが表示されるので、保存場所とファイル名を指定して、[**保存**]を押します。



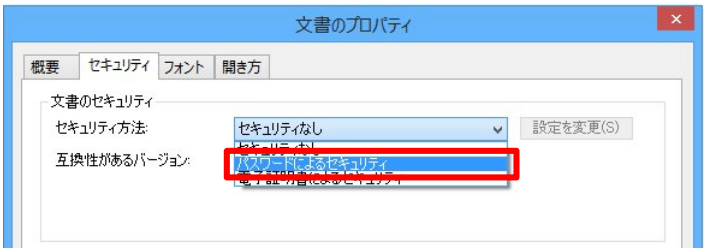


© 2015 SKYCOM Corporation

**文書プロパティから**

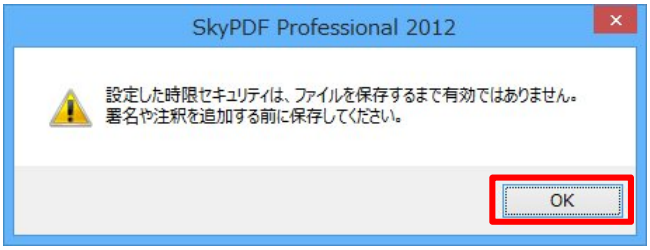
[**ファイル**]－[**文書プロパティ**]（ ）

1. 「**セキュリティ**」タブを開き、セキュリティ方法から［**パスワードによるセキュリティ**］を選択します。




2. ［**時限セキュリティをかける**］にチェックを入れます。

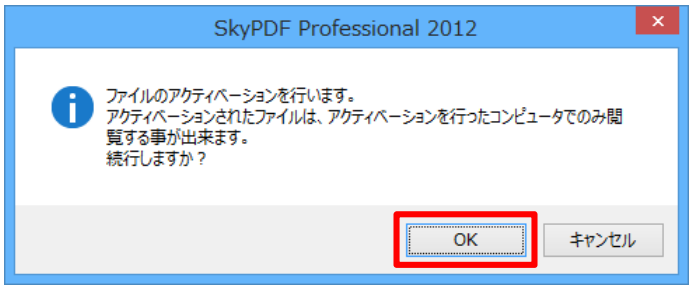
3. ［**回数**］にチェックを入れ、閲覧回数を入力します。
4. ［**時限**］にチェックをいれ、表示されている日付横の［**v**］を押して、カレンダーから閲覧期限を指定します。
5. ［**OK**］を押します。
6. ダイアログが表示されるので、［**OK**］を押します。



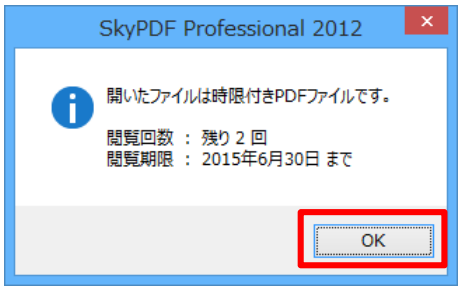

7. 「**文書のプロパティ**」ダイアログ（１の画面）の［**OK**］を押します。
8. [**ファイル**]－[**名前を付けて保存**]で、保存場所とファイル名を指定して保存します。

### 7.2.3 時限設定されたPDFファイルを開く

1. [**ファイル**]－[**開く**]で、時限付きPDFファイルを開きます。
2. アクティベーションを行うダイアログが表示されるますので、[**OK**]を押します。

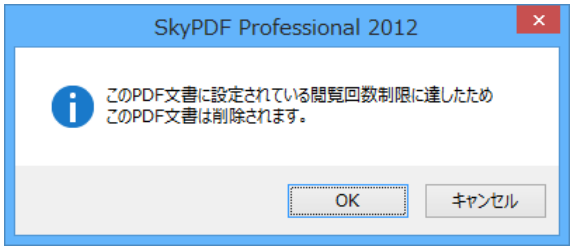



3. 開いたファイルの時限情報が表示されます。確認後、[**OK**]を押します。




※ 閲覧期限が指定されているPDFファイルを開く際に、現在日が閲覧期限を過ぎている場合は、確認ダイアログが表示され、PDFファイルが削除されます。

※ 閲覧回数が指定されているPDFファイルを閉じる際に、残り閲覧回数がゼロの場合、ダイアログが表示されて、PDFファイルが削除されます。





© 2015 SKYCOM Corporation

### 7.2.4 時限情報を確認する

[**ファイル**]－[**文書プロパティ**]（ ）

「**セキュリティ**」タブを開きます。
画面下部の［**時限セキュリティ**］を確認してください。

## 7.3 長期署名を付ける

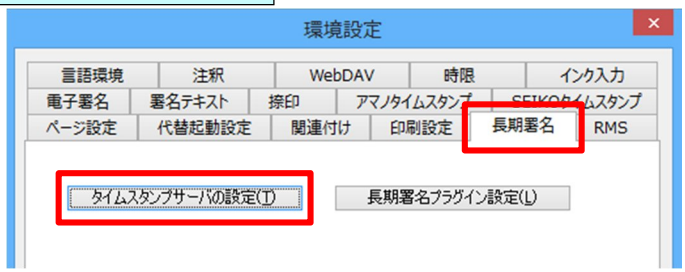
長期保存が可能な署名の付与と検証を行うことができます。
本機能については、別紙「長期署名プラグインユーザーズガイド_Ver2.21.pdf」をご参照ください。

※ 別紙内でSkyPDF Professional2010と記載されていますが、SkyPDF Professional2012に読み替えてください。
また、対応するシステム環境は、本製品の条件に準じます。

ここでは、タイムスタンプサーバの設定に関する説明のみ記載します。

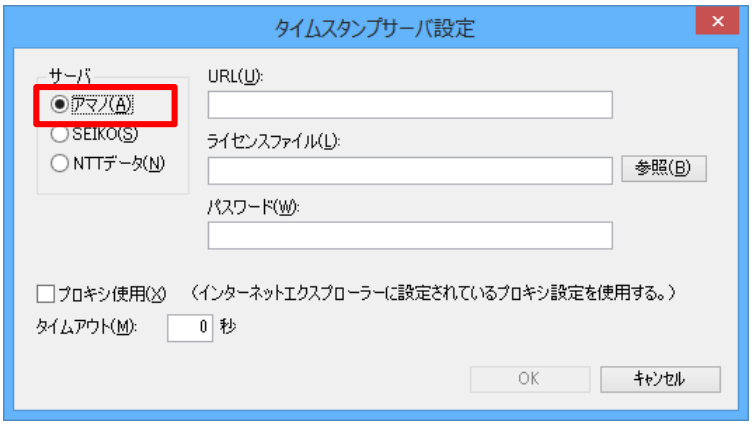
### 7.3.1 タイムスタンプサーバの設定

**[ツール]－[環境設定]**



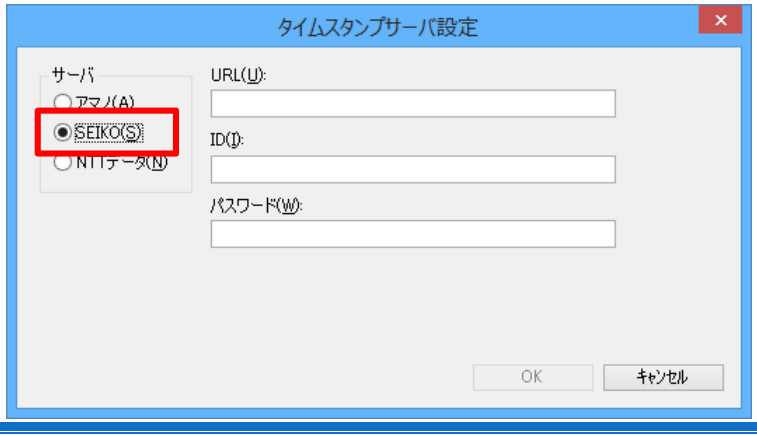

**タイムスタンプサーバの設定**

サーバ：**アマノ**




**URL**：サーバー名を指定
**ライセンスファイル**：ライセンスファイルを指定
**プロキシ使用**：プロキシを使用する場合にチェック

サーバ：**SEIKO**




**URL**：サーバー名を指定
**ID**：ログイン ID を指定
**パスワード**：ログインパスワードを入力


© 2015 SKYCOM Corporation

サーバ：**NTTデータ**

**URL**：サーバー名を指定
**ID**：ログイン ID を指定
**パスワード**：パスワードを入力
**プロキシ使用**：プロキシを使用する場合にチェック

# 8 PDF ファイルを保存する

編集した PDF ファイルの保存方法を説明します。

## 8.1 上書き保存する

保存先とファイル名を変更せずに保存します。

[**ファイル**]－[**上書き保存**]（ ）

## 8.2 名前を付けて保存する

保存先を変更したり、ファイル名を変更したりして保存します。

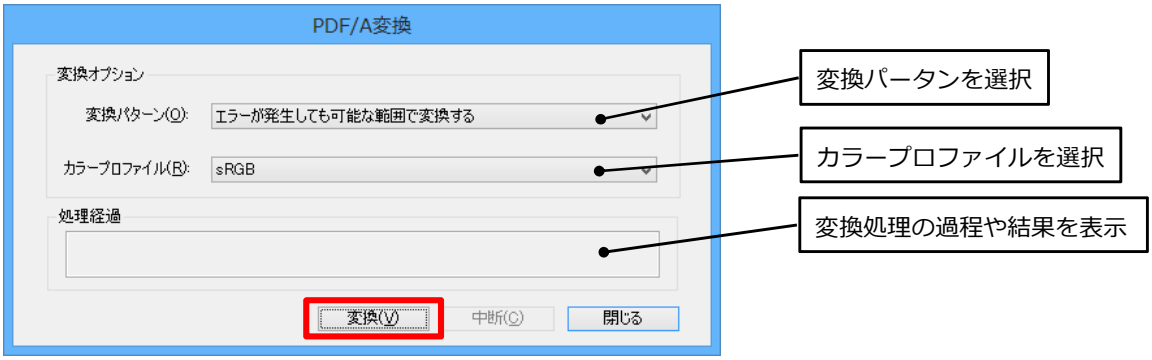
[**ファイル**]－[**名前を付けて保存**]

## 8.3 PDF/A-1b として保存する

PDF/A-1b（PDF1.4仕様に基づく電子文書の長期保存用形式）形式で保存します。

PDFファイルを保存する際の見栄えが、表示機器やアプリケーションに左右されずに常に同じ状態となります。**※処理に失敗した場合は、PDF/A-1bとして保存されません。**

[**ファイル**]－[**PDF/A-1b として保存**]




設定後、[**変換**]を押してください。

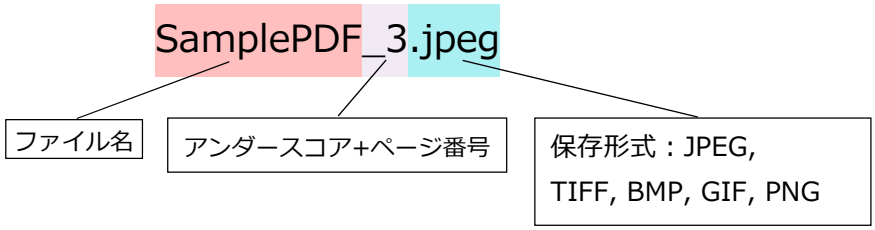

© 2015 SKYCOM Corporation

## 8.4 画像として保存する

PDFファイルを1ページごとに１つの画像ファイルとして保存します。

[**ファイル**]－[**画像として保存**]

複数ページのPDFファイルを画像として保存した場合、ファイル名は以下のように付けられます。




© 2015 SKYCOM Corporation

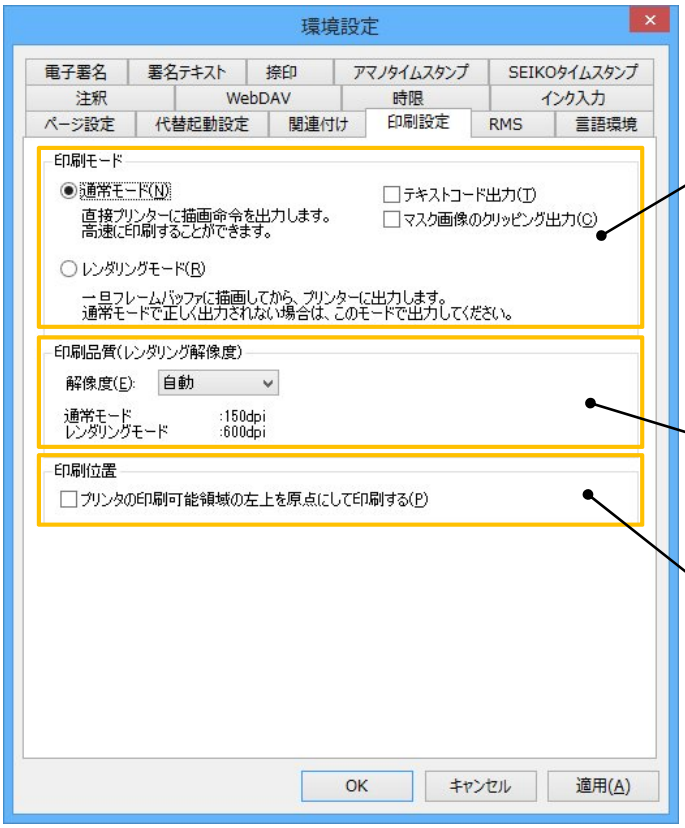
# 9 PDF ファイルを印刷する

紙印刷をしたり、再度 PDF 化したりすることができます。

## 9.1 環境設定

必要に応じて、事前に設定してください。

**[ツール]－[環境設定]**




**印刷モード**：[**通常モード**]か[**レンダリングモード**]を指定
[**通常モード**]時のみ、以下の選択が可能

**テキストコード出力**：文字が正しく出力されない場合

**マスク画像のクリッピング出力**：透過されている画像が正しく出力されない場合

**印刷品質**：解像度をプルダウンリストから選択
・自動（通常モード：150dpi、レンダリングモード 600dpi）
・72, 150, 300, 400, 600dpi

**印刷位置**：印刷の原点を左上に設定する場合に選択

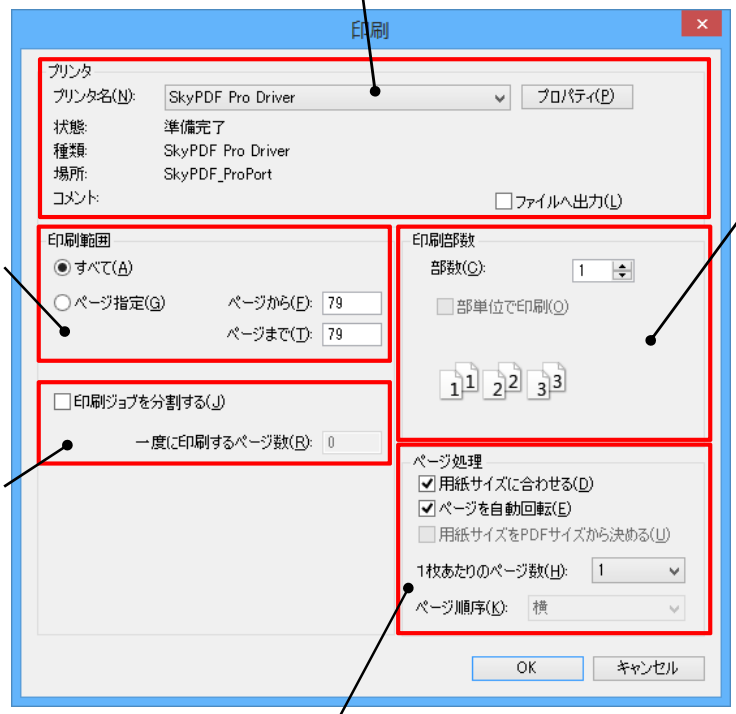
## 9.2 印刷をする

[**ファイル**]メニュー、またはショートカットアイコンから実行します。

**[ファイル]－[印刷]（ ）**


© 2015 SKYCOM Corporation

**プリンタ**：印刷するプリンターを選択
（[**プロパティ**]を押してプリンターの設定を行う




**印刷範囲**：印刷をするページを指定

**印刷ジョブを分割する**：印刷処理を複数回に分けたい場合、1 つのジョブで印刷を行うページ数を指定

**印刷部数**：印刷部数を指定
2 部以上印刷する場合に、部単位で印刷する場合は、[**部単位で印刷**]にチェックを入れる

**用紙サイズに合わせる**：ページが若干縮小されて印刷される

**ページを自動回転**：ページの向きを用紙の向きに合わせる

**用紙サイズを PDF サイズから決める**：PDF サイズから用紙サイズを自動で選択

**1 枚あたりのページ数**：N-UP 印刷する場合の、1 ページに収めるページ数を指定

**ページ順序**：N-UP 印刷時のページ内の各ページの配置順序を指定

© 2015 SKYCOM Corporation

# 10　変換ユーティリティを使用する

本ユーティリティは以下の機能を備えています。

- **PDF 結合**・・・複数の PDF ファイルをひとつまとめる
- **分割/ページ抽出**・・・複数ページの PDF ファイルを分割したり、特定のページを抽出したりする
- **一括 PDF 出力**・・・複数の文書ファイルや画像ファイル等を同時に PDF 変換する

## 10.1 変換ユーティリティ画面を表示する

表示方法は２通りあります。

a.　SkyPDF Professional のメニューから

**[ツール]－[変換ユーティリティ]**

b.　スタートメニューから

**すべてのプログラム－[SKYCOM]－[SkyPDF]－[SkyPDF Utility]**

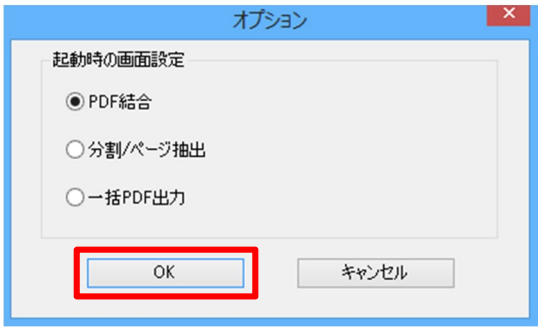
※　ここで設定した内容は、変換ユーティリティ終了時に初期設定に戻ります。設定は保存されませんので、ご注意ください。


© 2015 SKYCOM Corporation

### 10.1.1 初期画面表示の変更

インストール直後の初期設定では、変換ユーティリティ起動時に「**PDF結合**」タブが表示されますが、他のタブを表示させることも可能です。

メニューバーより[**設定**]－[**オプション**]を実行し、起動時に開いておきたいタブ名を選択して[**OK**]を押します。



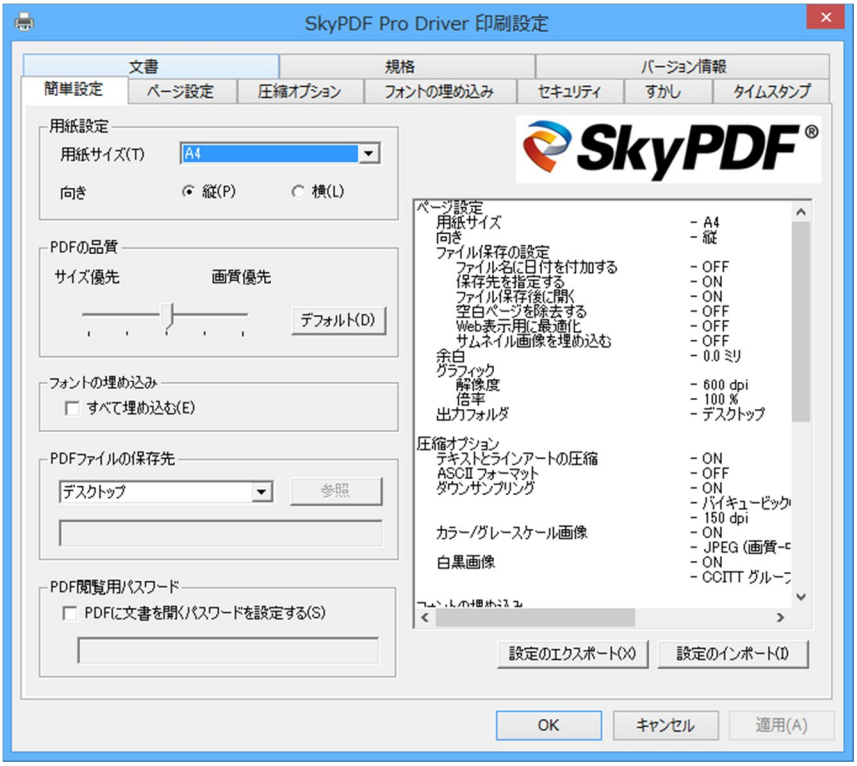

次回起動時よりこの設定が反映されます。

### 10.1.2 PDF印刷設定の表示

「**一括PDF出力**」タブで複数の文書ファイルをPDF変換する際に、変換ドライバーの設定を行います。（このメニューは、「**一括PDF出力**」タブを開いているときのみ有効です）

「**一括PDF出力**」タブを開き、メニューバーより[**設定**]－[**PDF設定**]を実行します。

※　画像ファイルのPDF変換時は、この設定は反映されません。




設定方法は、SkyPDF Pro Driverの設定を参照してください。

（参照：2 PDFファイル作成前の準備（変換ドライバーの設定））

© 2015 SKYCOM Corporation

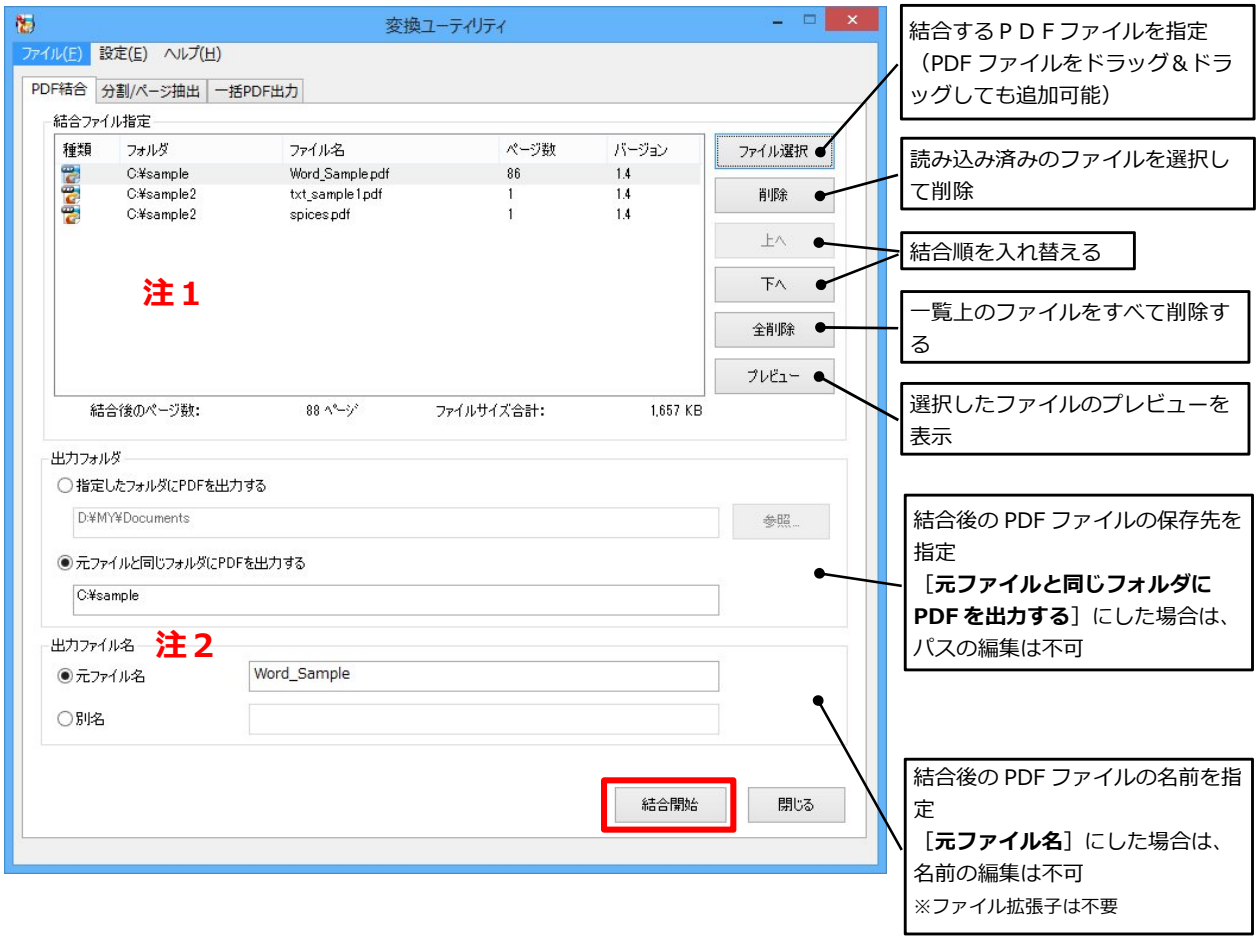
## 10.2 PDF ファイル同士を結合する

複数のPDFファイルをひとつのファイルにまとめることができます。

※　セキュリティ設定および署名付与済みのPDFファイルは選択できません。

**変換手順**

1. [**ファイル選択**]を押して、対象ファイルを指定します。
2. **出力フォルダ**と**出力ファイル名**を指定します。
3. [**結合開始**]を押します。




結合するＰＤＦファイルを指定（PDF ファイルをドラッグ＆ドラッグしても追加可能）

読み込み済みのファイルを選択して削除

結合順を入れ替える

一覧上のファイルをすべて削除する

選択したファイルのプレビューを表示

結合後の PDF ファイルの保存先を指定
［**元ファイルと同じフォルダに PDF を出力する**］にした場合は、パスの編集は不可

結合後の PDF ファイルの名前を指定
［**元ファイル名**］にした場合は、名前の編集は不可
※ファイル拡張子は不要

注１．ファイルリスト**最上部**のPDFファイルのしおり有無によって、結合後のしおりの有無が変わります。
　　しおり**付き**・・・２番目以降のしおりも**有効**になります
　　しおり**無し**・・・２番目以降のしおりは**無効**になります

注２．同名ファイルが存在する場合、上書き許可の警告メッセージが表示されます。

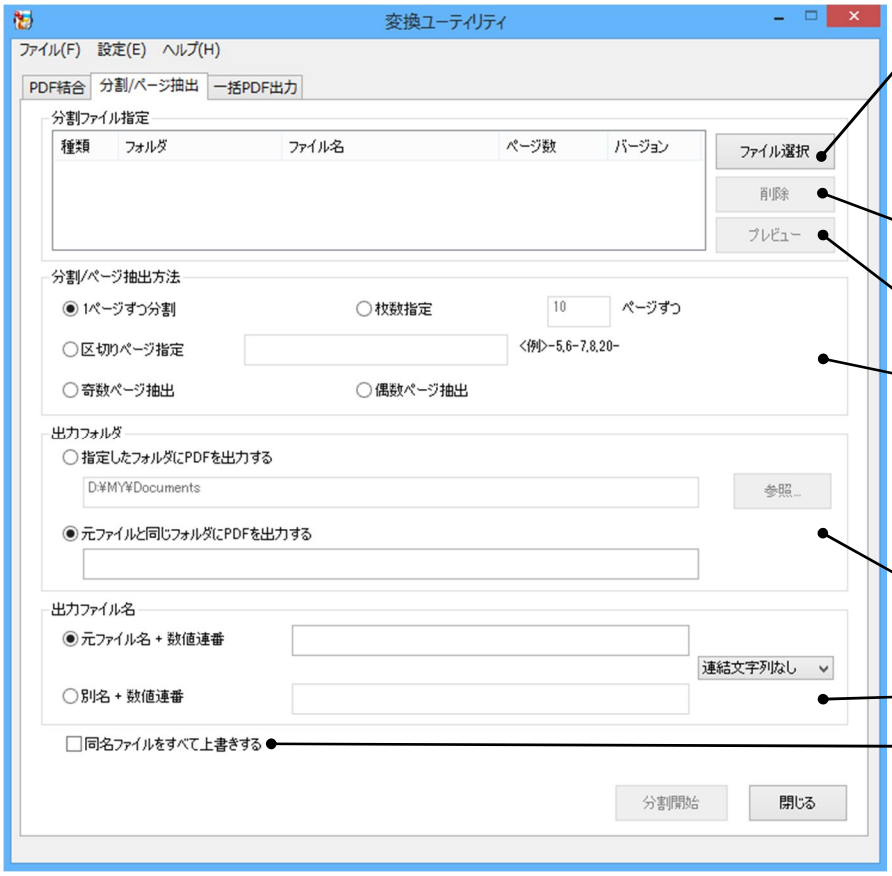

© 2015 SKYCOM Corporation

## 10.3 PDF ファイルの分割とページ抽出

１つのPDFファイルを複数のPDFファイルに分割します。また、指定したページを抽出することもできます。

**変換手順**

1. [**ファイル選択**]を押して、対象ファイルを指定します。
2. 「**分割/ページ抽出方法**」を指定します。
3. **出力フォルダ**を指定します。
4. **出力ファイル名**を指定します。
5. ［**分割開始**］を押します。




分割するＰＤＦファイルを指定（PDF ファイルをドラッグ＆ドラッグしても追加可能）

読み込み済みのファイルを選択して削除

プレビューを表示

表 10-1 参照

分割（抽出）後の PDF ファイルの保存先を指定
［**元ファイルと同じフォルダに PDF を出力する**］にした場合は、パスの編集は不可

表 10-2 参照

同名ファイルが存在する場合は、すべて上書きされる（上書きの警告メッセージは表示されない）

**表 10-1　分割/ページ抽出方法**

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **１ページずつ分割** | 元 PDF ファイルを 1 ページずつの PDF ファイルとして作成 |
| **枚数指定** | 指定した枚数ごとに PDF ファイルを作成 |
| **区切りページ指定** | 指定したページで区切って抽出 |
| **奇数ページ抽出** | 奇数ページのみを抽出 |
| **偶数ページ抽出** | 偶数ページのみを抽出 |

© 2015 SKYCOM Corporation

**表 10-2　出力ファイル名（分割/ページ抽出）**

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **元ファイル名+数値連番** | 元ファイル名の後ろに数値連番を付与<br>**連結文字列なし**：ファイル名 1、ファイル名 2･･･<br>**ハイフン**：ファイル名-1、ファイル名-2･･･<br>**アンダーバー**：ファイル名_1、ファイル名_2･･･ |
| **別名+数値連番** | 任意のファイル名の後ろに数値連番を付与<br>**連結文字列なし**：ファイル名 1、ファイル名 2･･･<br>**ハイフン**：ファイル名-1、ファイル名-2･･･<br>**アンダーバー**：ファイル名_1、ファイル名_2･･･ |

※　使用できない文字・・・¥　/　：　＊　？　“　＜　＞

## 10.4 複数のファイルを一括で PDF 出力する

複数のOffice文書やテキストファイル、画像ファイル等を一括でPDFファイルに変換することができます。対応ファイルの種類については、システム環境を参照してください。

※　タイムスタンプ付与はできません。
※　複数シートで構成されているExcelファイルは、印刷品質が同一の場合のみ「**ブック全体**」でPDFが作成されます。
　印刷品質が統一されていない場合は、全シートのPDF変換ができない場合があります。
※　複数シートで構成されている一太郎ファイルは、最終のシートのみ変換されます。
※　画像ファイルをPDF出力する場合は、SkyPDF Pro Driverの設定は反映されません。

**変換手順**

1. [**ファイル選択**]を押して、ＰＤＦ変換を行う対象ファイルを指定します。
2. 特定のフォルダ内のファイルをすべてPDF変換する場合は、［**フォルダ指定**］を行います。
3. テキストファイルとして出力したいファイルがある場合は、その拡張子を指定します。
4. 出力フォルダと出力ファイル名を指定します。
5. [**一括出力開始**]を押します。


© 2015 SKYCOM Corporation

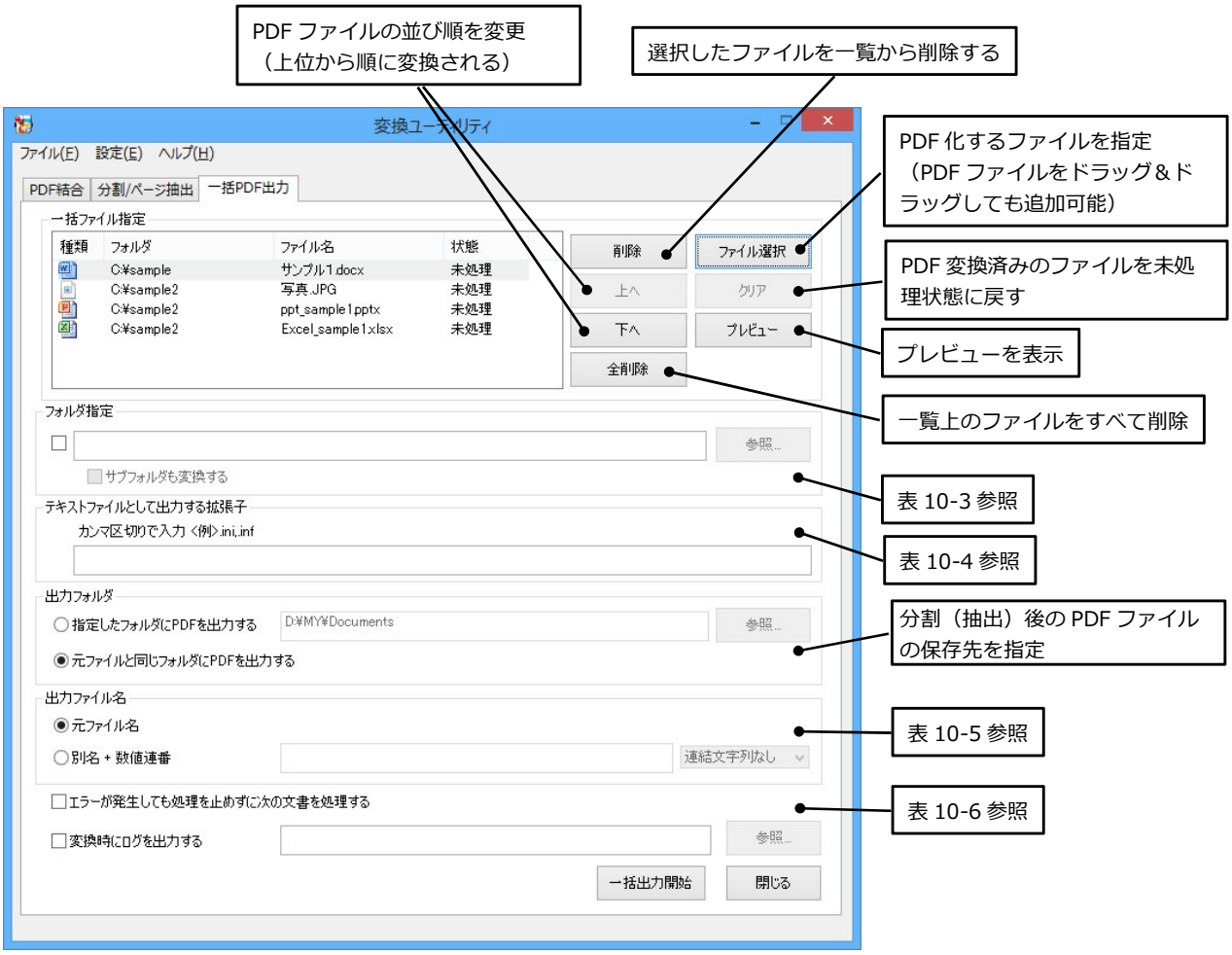



**表 10-3　フォルダ指定**

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **（テキストボックス）** | チェックボックスを ON にして、以下のいずれかの方法で指定<br>①テキストボックスに直接入力<br>②[**参照**]を押してフォルダーを指定 |
| **サブフォルダも変換する** | 指定したフォルダーのサブフォルダーも変換対象にする |

**表 10-4　テキストファイルとして出力する拡張子**

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **（テキストボックス）** | .txt 以外の拡張子のファイルをテキストファイルとして扱う場合、その拡張子を入力<br>入力例：.ini,.inf　（拡張子の最初の「.」（ドット）と、区切りの「,」（カンマ）が必要） |

**表 10-5　出力ファイル名（一括 PDF 出力）**

| 項目 | 詳細 |
|---|---|
| **元ファイル名** | 元のファイル名のまま出力 |
| **別名+数値連番** | 指定した文字列の後ろに数値連番を付与<br>連結文字列なし：ファイル名 1、ファイル名 2･･･<br>ハイフン：ファイル名-1、ファイル名-2･･･<br>アンダーバー：ファイル名_1、ファイル名_2･･･ |

**表 10-6**

| 項目 | チェックボックス状態 | 詳細 |
|---|---|---|
| **エラーが発生しても処理を止めずに次の文書を処理する** | ON | エラーにならないファイルの PDF 生成は実施 |
| | OFF | 処理がタイムアウトとなるファイルが存在した場合、その時点で処理されていない残りのファイルも処理が中止される |
| **変換時にログを出力する** | ON | 生成時にログを出力する<br>ON にしたまま出力先を指定しないと「ログを出力できません。チェックを外すか、出力フォルダを指定してください。」のメッセージ表示<br>ログファイル名は、「Skyutil」+日付<br>例：2015 年 12 月 23 日の場合　skyutil20151223.txt |
| | OFF | ログ出力しない |


© 2015 SKYCOM Corporation

# 11　制限・注意事項

本製品のご利用に際し、下記の事項にご注意ください。

## 11.1 取り扱い PDF ファイルに関する事項

PDF の技術仕様（ISO32000-1）に準拠し、最大 400,000 ページかつファイルサイズ 4GB までが、本製品で表示可能な PDF ファイルの目安になります。

PDF 技術仕様に準拠していない PDF ファイルは、扱うことができない場合があります。また、PDF 技術仕様囲内の PDF ファイルであっても、本書に記載した制限、サポート外の使用環境、文書依存などの要因により、表示や操作に問題が発生する場合があります。

## 11.2 PDF ファイルの関連付けに関する事項

1. Windows 8.1 では、本製品の[**ツール**]－[**環境設定**]－[**関連付け**]タブからは関連付けの復元ができません。[既定のプログラムの選択]画面内の PDF ファイルの関連付け設定から PDF 表示ソフトを選択してください。

2. インストール時または本製品の[**環境設定**]から関連付けを行った場合、[**既定のプログラムの選択**]画面のアプリケーション一覧に「**マイクロソフトリーダー**」が表示されません。本製品の関連付けを解除すると、再度表示されるようになります。

3. インストール時または本製品の[**ツール**]－[**環境設定**]－[**関連付け**]タブで、２つのチェック項目のうち[**SkyPDF Viewer を使用する**]にのみチェックが入っている場合、Internet Explorer で PDF ファイルを開こうとすると、Internet Explorer とは別ウインドウで本製品が起動します。

4. ユーザーを後から追加した場合、そのユーザーではログインして 3 分後に関連付けされます。

5. 自動で Windows Update の処理が起動すると、関連付けが外れてしまいます。重要な更新プログラムを[**更新プログラムを確認しない（推奨されません）**]に設定しない限り、この事象となります。

6. 64 ビット版の Internet Explorer では、本製品の[**ツール**]－[**環境設定**]－[**関連付け**]タブで、[**Web で SkyPDF Viewer を使用する**]にチェックが入っていても、PDF ファイルを開こうとすると、Internet Explorer とは別ウインドウで本製品が起動します。

7. 64 ビット版の Internet Explorer では、Embedded タグを使用して Internet Explorer 上で本製品を起動する機能には対応していません。

8. SkyPDF Pro で PDF 生成後、次のような場合は、関連付けされていないアプリケーションで PDF を開くことがあります。

© 2015 SKYCOM Corporation

a. SkyPDF Viewer / Standard / Professionalで関連付けした後、Adobe Reader / Acrobatの修復機能で関連付けを戻した場合
b. SkyPDF Viewer / Standard / Professionalで関連付けした後、Windowsの機能で、他のアプリケーションに関連付けを変更した場合

## 11.3 ビューアの起動に関する事項

1. 本製品が正常に起動し終わらないうちに連続で起動するなどといった不正な操作を行った場合、PDF ファイルが開けなくなるなど、動作が不安定になる場合があります。

[対処]

本製品を終了させた状態で、**タスクマネージャー**の[**プロセス**]タブを表示させ、SPViewer.exeが残留している場合は、[**プロセスの終了**]ですべてのSPViewer.exeを強制終了してください。

## 11.4 PDF ファイルの作成機能に関する事項

1. Windows 8.1 のスタート画面（ストアアプリ画面）の Internet Explorer からプリンターとして SkyPDF Pro Driver を利用して印刷（PDF 化）しても、処理が無反応もしくは停止したような状態になります。

2. Standard 版のみ、画像ファイルをデスクトップアイコンにドラッグアンドドロップすると、無反応状態になります。

[対処]

画像ファイルの関連付けを[**フォト**]ではなく、[**フォトビューアー**]または[**ペイント**]に変更してください。

3. 外字領域で、文字が割り当てられていない文字コードが使われている時、PDF/A 変換できない場合があります。（PDF/A でない変換であれば可能）

4. SkyPDF Pro Driver の「**フォントの埋め込み**」設定で Type1 フォントを設定し、そのフォントを使用して作成された文書を PDF に変換した場合、アプリケーションによっては、その PDF を開くとエラーメッセージが表示されたり、Type1 フォント部分を空白で表示したりなどといった、意図しない表示となる可能性があります。

[対処]

次の対処策のいずれかを行ってください。

a. Type1フォントをご利用の際は、フォントの埋め込みを行わない
   ※ 埋め込みを行わないため、PDFファイルを開く環境に該当フォントがインストールされていない場合は、代替フォントで表示される可能性があります。
b. Type1フォントを他フォントに変更する


© 2015 SKYCOM Corporation

c. SkyPDF Viewer / Standard / ProfessionalでPDFファイルを開く

5. SkyPDF Pro Driver の「ページ設定」設定について

「空白ページを除去する」場合

a. Microsoft Office PowerPointでは、空白ページがあっても除去されません。
b. Microsoft Office Word(※)では「挿入(I)」→「改ページ(B)…」で作成される空白ページのみ除去されます。(Enterキーを押して作成した空白ページは除去されません)

※ Microsoft Office Word 2007/2010/2013では空白ページ作成時(「挿入」→「空白のページ」)に必ず改行文字が入る仕様のため除去されません。

「サムネイル画像を埋め込む」場合

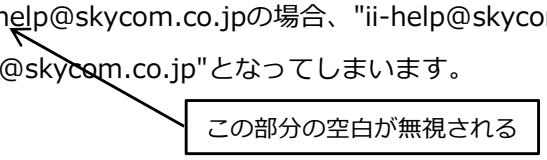
製品仕様上、1200dpiを限界値としています。

6. SkyPDF Pro Driver の「文書」（ハイパーリンク機能）設定について

Justsystem一太郎の場合

e-mailアドレスの直前に文字と空白が有る場合、空白が無視され、文字とアドレスがハイパーリンクとして認識されます。

**例：**e-mail ii-help@skycom.co.jpの場合、"ii-help@skycom.co.jp"でなく、
"e-mailii-help@skycom.co.jp"となってしまいます。




Microsoft Visioの場合

Microsoft Visioは文字データが分割されて扱われるため、PDF作成時にハイパーリンク文字列が認識出来ません。ただし、他アプリ（Word等）からの貼り付けであれば、ハイパーリンクが付与できます。

※ 各項目のフォントの条件を満たす必要があります

Microsoft Office Excel及びPowerPointの場合

特殊記号が別のフォント扱いになるため、通常文字と特殊記号が別々の文字列になり、ハイパーリンク文字列として認識されません。

**例：**特殊なフォント一覧

**Estrangelo Edessa, Gautami, Latha, Mangal, Raavi, Shruti, Tunga**

© 2015 SKYCOM Corporation

全般

a. ハイパーリンク対象文字列の中に、下記の文字が含まれていると、それ以降がハイパーリンク文字列化されません。

**( ^ \ | ‘ “**

**例**

http://msdn2.microsoft.com/ja-jp/library/ms742418(VS.80).aspx

をPDF化した場合、

http://msdn2.microsoft.com/ja-jp/library/ms742418

までがハイパーリンク文字列となります。

b. ハイパーリンク対象文字列は１行のみです。複数行に渡る場合は、Officeアドインツールボタンのしおりボタンで生成してください。

7. アプリケーションや環境によって、適用される圧縮オプションの方式が異なる場合があります。例えば、「**ペイント**」で同一のTIFF画像をPDF作成しても、32ビットOSでは「**白黒画像**」の設定が有効になり、64ビットOSでは「**カラー／グレースケール画像**」が有効になる場合があります。

8. Internet Explorer で Web ページを PDF 生成する場合、生成時の保存先ダイアログをキャンセルすると、エラーメッセージが表示されますが、これは Internet Explorer におけるマイクロソフト社の既知の問題です。エラーメッセージ表示はそのまま終了させてください。

9. Internet Explorer から Web ページなどを PDF 生成する場合、以下の条件が揃った場合のみ、エラーメッセージが表示されず、PDF 生成も行われません。

[条件]

- 32ビットOSで保護モードが設定されている場合
- 「Web 表示用に最適化」を［ページ設定］タブで設定している場合

[対処]

Standard版の場合、保護モードを解除してPDF生成してください。
Professional版の場合、一旦「Web表示用に最適化」を設定せずにPDF生成し、Professional版のビューアで開いて、環境設定の［ページ設定］内の「Webページ用に最適化」をチェックして「名前を付けて保存」をします。

10. PDF/A 変換をした PDF では、一部 Adobe XI のプリフライトが正常に実施されない場合があります。

[条件]

元から埋め込まれているフォントに設定されているCIDSetに不備がある場合

11. 文書内リンクなどのオブジェクトが大量にある文書の場合、Web 最適化にして保存する処理が終了しない場合があります。


© 2015 SKYCOM Corporation

12. 文字にリンクを追加する場合、以下の操作でリンクが機能しないことがあります。
    a. 複数ページ文書の特定ページの文字に、指定ページへジャンプするリンクを追加します。
    b. 上記 **a** でリンク追加した部分とは別のページに、同様に、指定ページへジャンプするリンクを文字に追加します。
    c. 上記 **a** でリンク追加した部分に戻ると、リンクのポップアップが"ページ-1"と表示され、プロパティでも指定ページ欄が空白になります。
        ※ そのまま文書を保存すれば正常に **a** のリンクが機能します。単ページ文書や、 **a** と同ページに追加するリンクでは発生しません

13. 動作保証アプリケーション
    動作保証アプリケーションの場合でも、レイアウトやファイルサイズなどの条件により、稀にPDFの精度が損なわれる場合があります。

Microsoft Visioの場合

Microsoft VisioのBold（太字）、Italic（斜体）、ItalicBold（太字斜体）文字がPDF化した場合にテキストではなく、グラフィックとして認識されてPDF変換される場合があります。

また、標準字体でもグラフィックとして認識される場合（下記例を参照）があります。

**例：**Microsoft Visioでは"MS Pゴシック"のフォントの標準字体の場合、印刷解像度300dpi以下では文字は全てグラフィックとして認識されます。また、印刷解像度600dpiではフォントサイズが86pt以上、1200dpiでは43pt以上、2400dpiでは22pt以上の文字は全てグラフィックとして認識されます。

※ 動作保証しているアプリケーションにて不具合が発生した場合、弊社カスタマサポートまでメール（e-mail:cs@skycom.jp）でお問い合わせください。今後の改善課題の参考とし調査いたします。また併せて、不具合のサンプルファイルを添付してください。

14. Microsoft Visio の仕様のため、印刷設定で用紙の向きを変更しても反映されません。

15. Microsoft Office からのしおり生成ボタンの生成において、ハイパーリンクの付与された図形が存在する文書には対応しておりません。しおりやリンクの生成に失敗します。

16. Microsoft Office Word からの PDF 生成にて PDF のファイル名に()＝半角括弧文字を使用した場合、Word の仕様により_＝アンダースコアに変換されます。
    Microsoft 参考URL：http://support.microsoft.com/kb/944002/ja

© 2015 SKYCOM Corporation

17. Microsoft Office 2007 以降の PDF 品質について

Microsoft Office 2007以降（以後Officeと記述）でPDF作成をすると、表示品質が問題になることがありますが、Officeの高画質な印刷設定により回避できることがあります。Officeに関する印刷設定の詳細については、Microsoftの情報サイト（※1）をご確認ください。

回避策として、Officeの印刷に関する設定変更を推奨します。例えば、下記サンプル（※2）の赤矢印で示したオブジェクトのように、推奨設定で作成すると描写精度が向上することがあります。

※1：MSDN印刷の概要

http://msdn2.microsoft.com/ja-jp/library/ms742418(VS.80).aspx

※2：出展

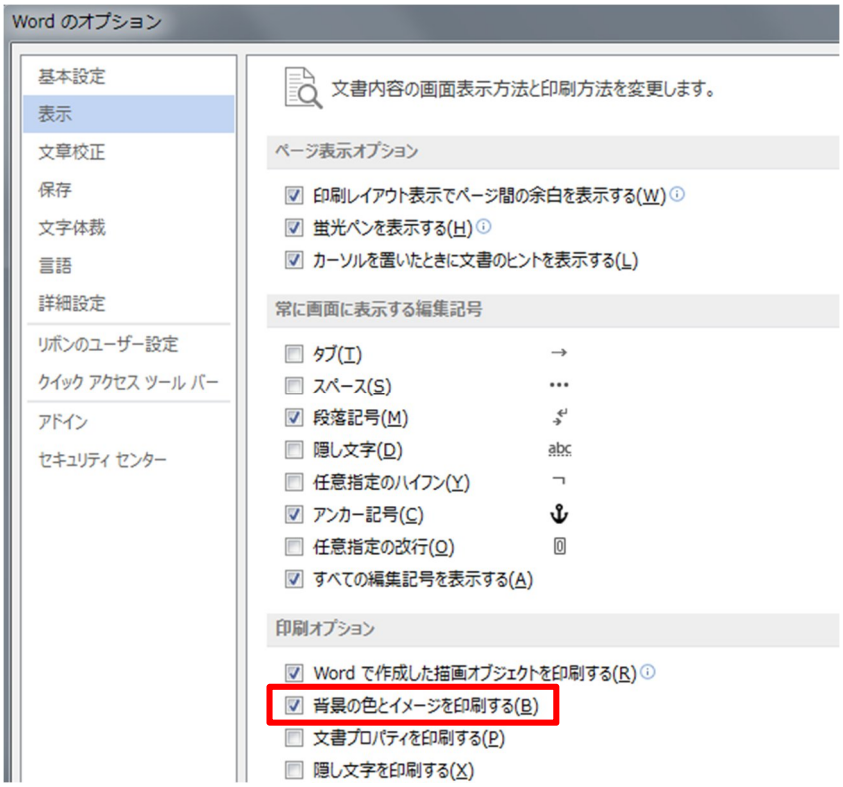
http://download.microsoft.com/documents/uk/technet/postevent/01-05-2007/MicrsoftForefrontAndSystemCenter.pptx

ただし、推奨設定の場合、標準設定で作成されるPDFより**データサイズが大きくなる**傾向がありますので、用途に合わせて、次の推奨設定をお試しください。


© 2015 SKYCOM Corporation

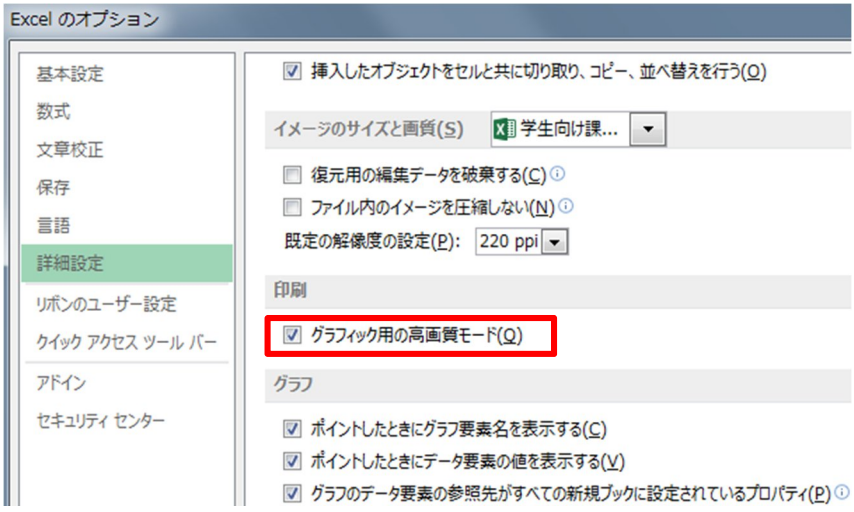
（1） Microsoft Office Wordの場合

[**Wordのオプション**]－[**表示**]を開き、「**印刷オプション**」の[**背景の色とイメージを印刷する**]にチェックします。



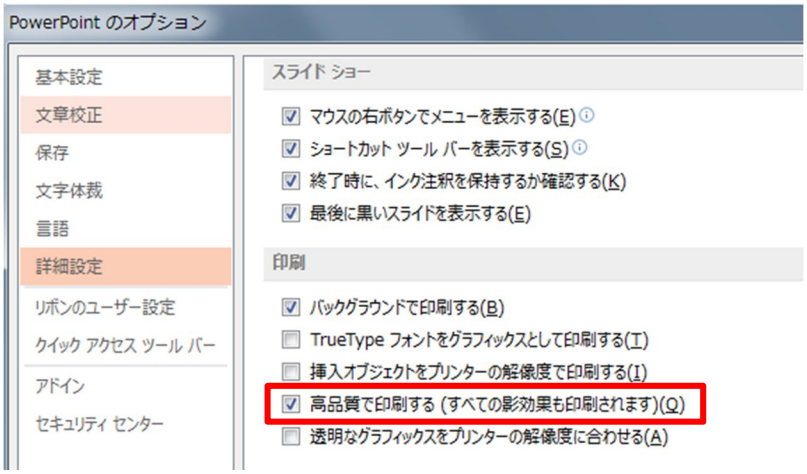

（2） Microsoft Office Excelの場合

[**Excelのオプション**]－[**詳細設定**]を開き、[**印刷**]の[**グラフィック用の高画質モード**]にチェックします。



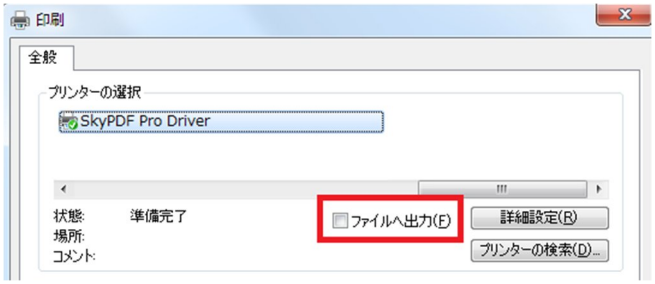
（3） Microsoft Office PowerPointの場合

[**PowerPointのオプション**]－[**詳細設定**]を開き、[**印刷**]の[**高品質で印刷する**]にチェックします。




18. アプリケーションの白黒印刷設定で実施した結果と、モノクロ（グレースケール）PDF の結果が異なる場合があります。

19. [ファイルへ出力]オプションを有効にして印刷を行う場合、ファイル名に「,」（半角カンマ）が含まれていると、0 バイトのファイルが生成されます。
本現象は、Windows の動作上の制限事項です。（KB2819046）
Microsoft 参考 URL：https://support.microsoft.com/ja-jp/kb/2819046




[対処]

以下のいずれかを実施してください。

a. 半角カンマをファイル名に使用したい場合は、[ファイルへ出力]オプションは使用しない
b. 半角カンマをファイル名に使用しない

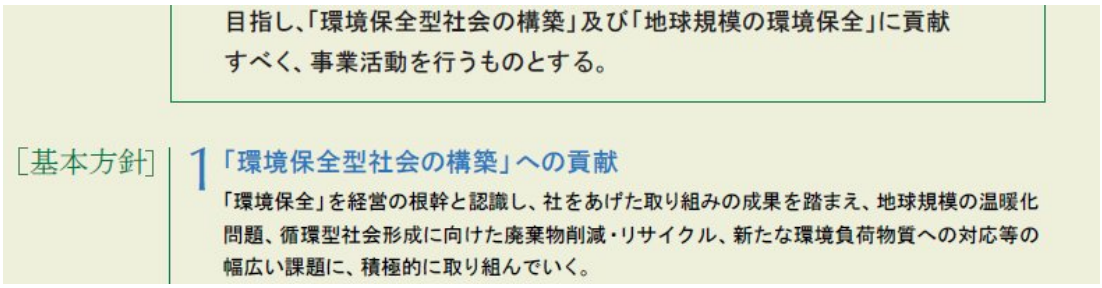
## 11.5 PDF ファイルの表示機能に関する事項

1. フォントが埋め込まれていない、特に Mac OS 上で作成された PDF ファイルの表示は、他社 PDF ファイル閲覧アプリでの表示と異なる場合があります。

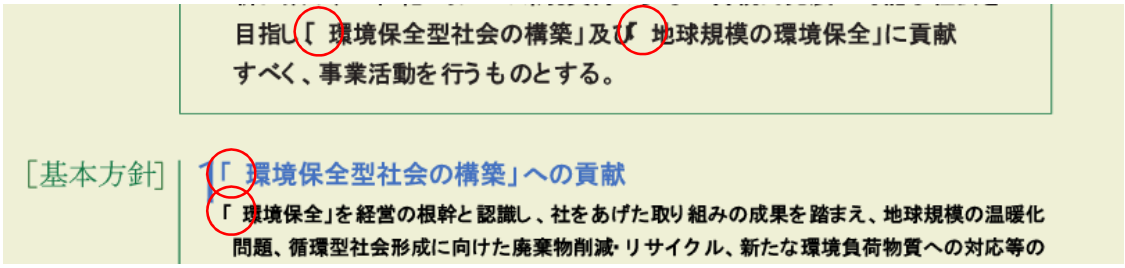

© 2015 SKYCOM Corporation

PDF ファイル内で使用されているフォントがコンピュータ内に存在しない場合は、指定されたフォントと近いフォントを自動選択し、代替フォントとして表示しています。そのため、他社 PDF 閲覧アプリと異なるフォントを使って表示する場合があり、文字（括弧等）の表示位置がずれることがあります。また、サロゲートペアの文字でもフォントが埋め込まれていないと、正しく表示できない場合があります。

他社のPDFファイル閲覧アプリ

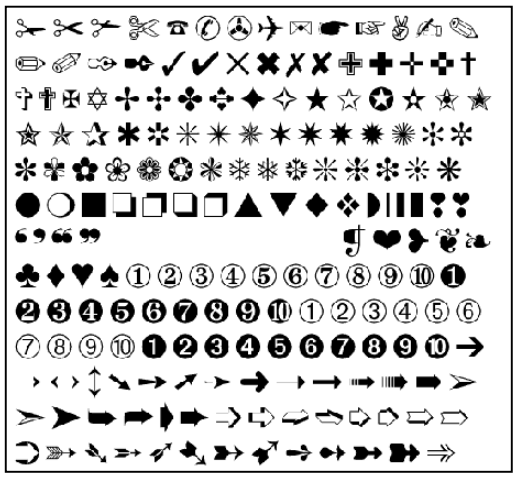



本製品

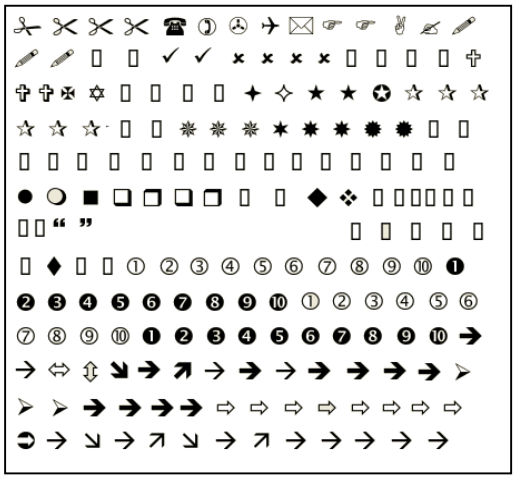



2. ”ZapfDingbats”フォントは Windows 環境でサポートされていないフォントであるため、代替フォントが適用され、四角形や形の異なったグリフ（字形）が表示されます。以下の一覧を参照ください。

ZapfDingbats定義済み参考グリフ



SkyPDF 2012での表示グリフ



3. フォントが埋め込まれていても、DHP行書体フォントには PDF ファイルにすると右寄りで表示される文字があります。

4. スタンプ注釈の印鑑において、区切り数や文字の種類によっては、中央より少しずれた状態で表示される場合があります。

© 2015 SKYCOM Corporation

5. Adobe Acrobat で付与したフリーテキスト注釈の編集をするとスタイルが崩れる場合があります。

6. SDI モード（別ウインドウで表示）の際、同じファイルを複数開くことができます。

7. ネットワーク上など別の PC やサーバーなどにある PDF ファイルを本製品にて、且つ、ローカル PC と別の環境で同時に開いた場合、以下の現象が発生します。
   ローカルPCにて編集して上書き保存をすると、ファイルが使用中のため上書き保存ができない旨のダイアログが表示され、それを閉じると、「**名前を付けて保存**」のダイアログが表示されます。それもキャンセルで閉じると、編集内容は残ったままの状態で、上書き保存がグレーアウトし、操作できなくなります。

   その後、別環境で開いていたPDFを閉じても、ローカルPC側の上書き保存はそのまま機能しません。ファイルを開きなおして編集するか、上記で「**名前を付けて保存**」のダイアログが表示された際に別名で保存してください。

8. 本製品はセキュリティを考慮し、JavaScript を使用したフォームには対応していません。そのため、それらのフォームのボタンや署名フィールドなどは動作しません。

9. ツールバーの［**前の画面**］/［**次の画面**］ボタンの機能で、前回最終表示ページについて、PDF ファイルを閉じた後の 5 ファイル前まで記憶しますが、PDF の内部仕様で文書 ID が存在しない PDF ファイル、およびそのような PDF ファイルを編集中で保存していない状態の場合この記憶ができません。

10. Internet Explorer で本製品を使用して PDF ファイルを表示した際、URL の末尾に「#page=ページ番号」を追加して指定ページを表示させる機能には対応していません。

11. ナビゲータタブの背景部分に、デスクトップ画面の一部が表示される事象が発生することがありますが、動作に影響はありません。

12. ファイル名の文字数が半角 50文字程度の PDF ファイルを多数表示させ、ひとつずつファイルを閉じていくと、ファイル名を表示していたタブが表示されなくなる事象が発生します。
    [対処]
    [**ウインドウ**]メニューからファイルを選択するか、本製品を再起動してください。

13. SkyPDF 2012 Ver.5.1.0.11 以降で RMS セキュリティを付与した PDF ファイルは、SkyPDF 2012 Ver.5.1.0.10 以前および SkyPDF2016 Ver.6.0.0.0 では開くことができません。


© 2015 SKYCOM Corporation

## 11.6 PDF ファイルの編集機能に関する事項

1. Unicode へのマッピング情報が入っていない場合、PDF 内の 1 部の文字列でテキスト選択ができない場合があります。

2. サードパーティ製 PDF（GPL Gostscript 製等）において、Unicode へのマッピング情報が入っていない場合、文字列をテキスト選択し別のアプリケーションにコピー＆ペーストすると文字化けすることがあります。

3. サロゲートペア文字のテキストコピーや検索はできません。

4. テキストを選択コピーし、別のテキストエディタに貼り付けると PDF 上の空白行が空白＋改行として貼り付けられます。

5. Adobe Reader など他の PDF 閲覧/編集アプリで同一ファイルを開いているときは、ファイルの保存ができないため、その間行った署名や注釈などの編集内容はすべて破棄されます。他の PDF 閲覧/編集アプリで開いていないことを確認してから、PDF の編集を行って下さい。

6. テキスト直接編集機能において、PDF ファイルによっては、複数行選択して削除や改行追加で残りの文字がずれる現象やテキスト直接編集の選択自体ができない場合があります。現在、一部の特定 PDF で同現象が確認されていますが、今後改善を検討しています。

7. 文書 ID が存在しない PDF を編集保存すると、以降より記憶が可能になります。SkyPDF Pro Driver で生成される PDF ではセキュリティ付、および、PDF/A 変換の場合のみ文書 ID が付与されますが、それ以外の場合、文書 ID が存在しない状態で生成されます。

## 11.7 紙印刷（物理プリンターによる印刷）に関する事項

1. レンダリングモードで印刷を行う場合、データを画像変換してプリンターへ送信するため、印刷スプールサイズが大きくなります。そのため印刷に時間がかかる場合や、プリンターによっては印刷エラーになる場合があります。

   [対処]

   通常モードで印刷するか、印刷時の操作画面に表示されている印刷ジョブを分割する処理を実施してください。

2. １ライン毎に表現されているようなグラデーションやイメージを含む PDF を通常モードで印刷すると、グラデーション（イメージ）間に線が入る場合があります。

   [対処]

   レンダリングモードで印刷を行って下さい。

© 2015 SKYCOM Corporation

3. PDF 内で代替フォントが使用されており、その代替フォントが持っているグリフ幅と、PDF 内に記述されているグリフ幅が異なる場合、テキストコード出力を ON にして印刷すると文字間隔が崩れて印刷されます。

   [対処]

   テキストコード出力をOFFにして印刷を行って下さい。

4. Type3 フォントが使用されている場合や、プリンターの機種によっては、マスク画像のクリッピング出力を ON にして印刷すると、印刷品質が荒くなる場合があります。

   [対処]

   マスク画像のクリッピング出力をOFFにして印刷を行って下さい。

## 11.8 セキュリティ機能に関する事項

1. RMS セキュリティ機能でコピー・抽出を禁止された PDF を開き、別のタブウィンドウで PDF を複数開くと、RMS セキュリティの付与されていない PDF にもプリントスクリーン機能が抑止され、RMS セキュリティの付与された PDF を終了するまで解除されません。

2. RSA セキュリティ機能で 128bitAES にて添付ファイルのみの暗号化を設定された PDF においては、添付ファイルを開こうとすると警告メッセージが表示され、開くことができません。
3. 署名されている PDF を開くと、文書のプロパティの “セキュリティ”タブで設定画面がグレーアウトになります

4. SkyPDF Pro Driver 印刷設定のページ設定タブで、[**同名ファイルが存在した場合の設定**]が[**既存ファイルの後に追加する**]に設定されている場合、通常、セキュリティ機能によって暗号化されている PDF ファイルに対し、暗号化されていない PDF ファイルを追加することはできません。
   ただし、セキュリティタブの[**マスターパスワード**]のチェックボックスを ON にしたまま[**セキュリティをかける**]のチェックボックスを OFF にしている場合、直前のセキュリティの設定によっては、追加できてしまうことがあります。

## 11.9 表のコピーに関する事項

1. ツールバーのテキスト選択ボタンから PDF 上のテキストを選択し、右クリックで[**テーブルとしてコピー**]を選択し、Excel に貼り付ける場合、以下の結果となります。

   a. Excelに貼り付ける際に[**形式を選択して貼り付け**]する場合、XMLスプレッドシート形式を選択するとフォントサイズが反映された形でコピーされ、Ctrl+V等で普通に貼り付けた場


© 2015 SKYCOM Corporation

合、XMLスプレッドシート形式で貼り付けられます。また、貼り付ける際に[**テキスト**]または[**Unicodeテキスト**]を選択するとフォントサイズは未反映のまま貼り付けられます。

b. 空白セルは無視されるため、例えば、文字セル1+空白セル+文字セル2の横並びをコピーした場合、Excelに貼り付けた結果は、文字セル1+文字セル2となります。

c. 別セルの判断が2文字以上の空白文字で実施しているため、PDF表示のエリアとして表内の文字の末尾に2文字分以上の空白が無い場合は、Excelに貼り付けた結果が同じセル内となります。

d. 次の行という判断が、前の文字列の下の位置という判断で実施しているため、PDF表示のエリアとして表内の文字列の位置が下に位置する文字列は、Excelに貼り付けた結果が次の行となります。

## 11.10 ページのトリミングに関する事項

1. ページのトリミングを実施した直後、各編集操作（例：しおり、注釈付与）が正常に動作しない場合があります。ページのトリミングを実施した後は、一旦 PDF ファイルを保存してください。

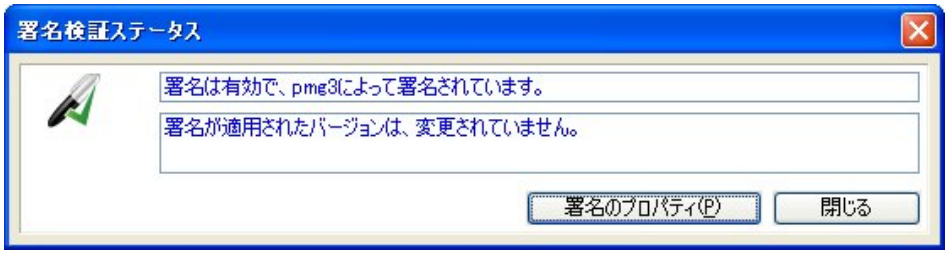
## 11.11 署名に関する事項

1. GPKI 署名の環境設定画面内の[**プロキシ設定**]にて、[**認証**]欄の[**あり（Basic 認証）**]を選択した場合、Basic 認証のみ動作可能です。

2. 署名アイコン上に、署名の有効・無効を示す表示はありません。

[対処]

署名の有効・無効は、署名をクリックすると表示される「署名検証ステータス」画面で確認してください。



## 11.12 電子印鑑に関する事項

1. 電子印鑑インプレットは印刷ドライバーが対応していないため、64 ビット OS では使用できません。

## 11.13 タイムスタンプに関する事項

1. アマノタイムスタンプの仕様により、次の暗号化を使用した PDF は使用できません。
「高（128bit RC4 Acrobat6 互換）」「高（128bit AES)」「高（256bit AES)」

2. 中国語 OS では、証明書のパスに漢字が使用されているとアマノタイムスタンプにエラーで失敗します。

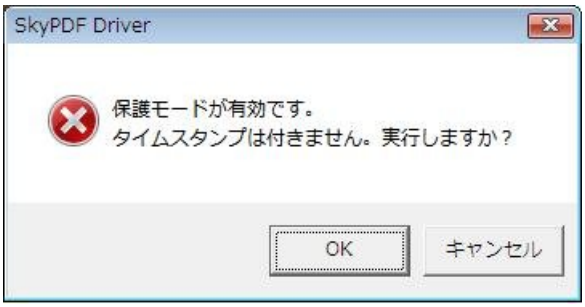
3. Internet Explorer のプロキシ設定においてタイムスタンプサービスがエラーになることがあります。その場合、Internet Explorer の詳細設定で“プロキシ接続で HTTP1.1 を使用する”を有効にしてください。

4. Windows のプロキシ接続環境において、[**コントロールパネル**]－[**プリンター**]より SkyPDF Pro の印刷設定画面を操作した場合、プロパティ画面の「**タイムスタンプ**」タブのテストボタンが動作しない場合があります。その場合は Windows のログオフが必要になります。

5. 保護モードが有効な Internet Explorer からの PDF 作成時、制限ユーザー（Administrator 以外）はタイムスタンプ機能が使えません。
   a. 制限ユーザー（Administrator以外）でWindowsにログインし、Internet Explorerを起動します。

© 2015 SKYCOM Corporation

b. 「保護モード：有効」の場合、「**印刷**」ボタンを押すと、以下のダイアログが表示されます。

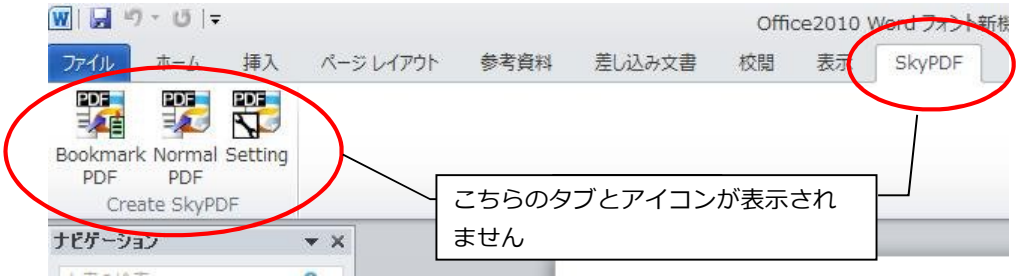



**OK**：タイムスタンプの付かないPDFを作成
**キャンセル**：PDF作成を中断

6. アマノタイムスタンプおよびアマノタイムスタンプを使用するハイブリッド署名は、Windows 8.1 では動作保証外です。

## 11.14 Office 製品のアドイン表示に関する事項

1. Windows7 以降の 64bit OS で Office2010/2013 64bit 版が導入された PC に本製品をインストールすると、Office 製品の画面で SkyPDF アイコンが表示されません。




## 11.15 タッチ操作機能に関する事項

1. Windows Vista では本機能を使用できません。

2. タッチポイントが 3 点以上での操作には対応していません。

## 11.16 タブレット端末での表示に関する事項

1. SkyPDF2012 で PDF ファイルを全画面表示（メニュー：[**表示**]-[**全画面表示**]）している場合、画面の自動回転機能をロックせずに端末を回転させても、PDF ファイルの向きは回転しません。

© 2015 SKYCOM Corporation

## 11.17 変換ユーティリティに関する事項

1. 変換ユーティリティで以下の条件に該当する Excel ファイルの PDF 変換を行う場合、「**保存先を指定する**」にチェックが付いていなくても、「**PDF ファイルに名前をつけて保存**」ダイアログが表示される場合があります。

   [条件]

   過去にSkyPDF Driverで「**保存先を指定する**」にチェックを付けてPDF変換を行った後、保存したExcelファイル

   [対処]

   Excelファイルを、SkyPDF Driver以外のプリンターを選択した状態で保存し直して下さい。

2. PDF の種類によっては、結合・分割を受け付けない場合があります。
   a. SkyPDF製以外の他社製PDFでPDF規格に違反して作成されているもの

      受け付けられない場合、次のメッセージのいずれかが表示されます。

      「PDFオブジェクトの読み込みに失敗しました。」

      「Trailer辞書の読み込みに失敗しました。」

      「PDFファイルの読み込みに失敗しました。」

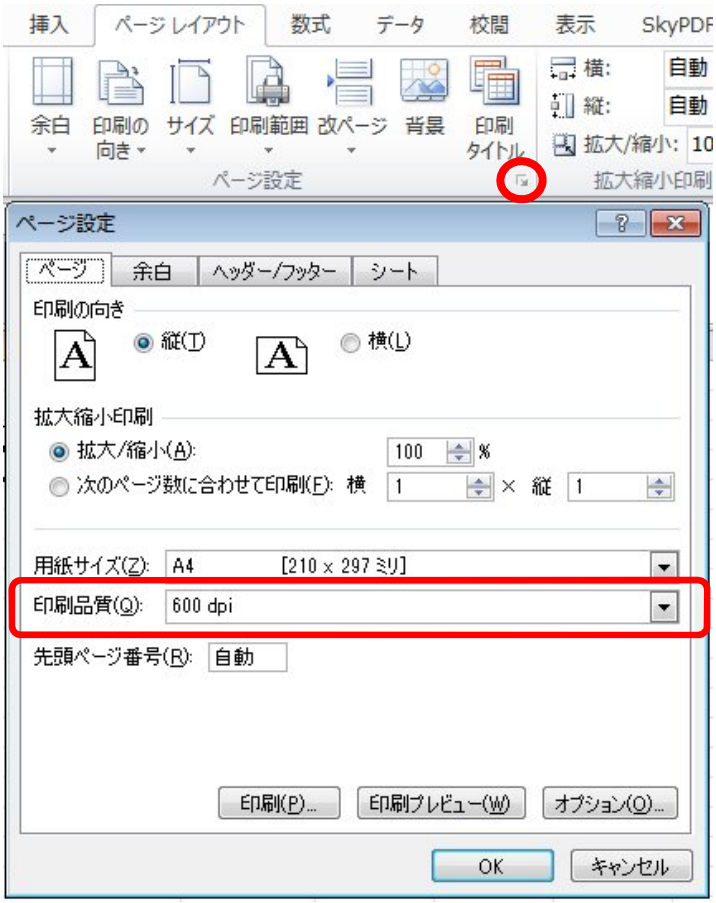
   b. セキュリティ付き（パスワード等）、署名やタイムスタンプ付きのPDF

3. 一括 PDF 出力タブにおいて、
   a. Justsystem一太郎ファイルが複数シートにて構成されている場合、アクティブシートのみPDF生成されます。
   b. Microsoft Office Excelファイルが複数シートにて構成されている場合、変換ユーティリティにおいては、**「ブック全体」**印刷されます。その時、各シートの「**印刷品質**」の値（dpi）を揃えていない場合（空白を含む）は途中シートから最後（一番右）のシートのみの生成になる場合があります。


© 2015 SKYCOM Corporation

Microsoft Office Excelのブック全体印刷を行う場合

シートごとに、「**ページレイアウト**」タブの右下の矢印ボタンを押し、ページ設定画面の[**印刷品質**]の数値を統一してください。




※　この設定後、「**変換ユーティリティ**」の「**一括PDF出力**」で、ブック全体印刷が可能になります。

※　上記dpi値を操作すると、多少ページのレイアウトが変化する場合がありますので、「**表示**」タブ→「**改ページプレビュー**」等で微調整を行ってください。

© 2015 SKYCOM Corporation

SKYCOM®

# SkyPDF Standard / Professional 2012

## ユーザーマニュアル

第3版 ２０１６年2月１５日 発行